

6. 生 物

6.1 評価の進め方

6.1.1 評価方針

鳴鹿大堰は、既存の堰（旧鳴鹿堰堤）を改築する工事に平成元年に着手し、平成 11 年より暫定運用を、平成 16 年より本格運用を開始した。その際、平成元年度から平成 16 年度までは、鳴鹿大堰建設事業および暫定運用に伴う環境への影響の把握と、鳴鹿大堰運用の適正管理に資することを主な目的としてモニタリング調査を実施した。平成 17 年度以降はフォローアップ調査として、底生動物調査、付着藻類調査、魚類（魚道）調査等を実施している。また、平成 3 年度から河川水辺の国勢調査〔河川版〕も実施し、令和 3 年度から 5 巡目調査（魚類・底生動物は 7 巡目調査）を実施している（表 6.1-1 参照）。

したがって、定期報告書を作成するにあたっては、これらの既往調査結果を収集し、その調査内容を整理した上で、活用可能なデータを基に以下の検証・評価を行った。

(1) 評価項目

定期報告書において評価する項目は以下のとおりである。

1) 生物の生息・生育状況の変化の評価

鳴鹿大堰の改築及び魚道の改良に伴い影響・効果を受けると考えられる場所（本川上流、湛水域内、湛水域（陸域）、本川下流）の観点から、環境の状況と生物の生息・生育状況とを経年的に比較・検討し、その変化の状況を検証する。

さらに、重要種[※]及び国外外来種についても、その確認地点や確認時の生息・生育状況を経年的に比較・検討し、その変化の状況を検証する。

それらの検証結果について、評価の視点を定めた上で評価を行い、改善の必要性のある課題を整理する。

※重要種

- ・「文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）」により天然記念物・特別天然記念物に指定されている種
- ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年法律第 75 号）」で指定されている種
- ・「報道発表資料 環境省レッドリスト 2020 の公表について（環境省，2020 年 5 月）」に記載されている種
- ・「改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物（福井県，2016 年 3 月）」に記載されている種

※一部生物情報は、前回定期報告書内容から変更がないため、そのまま及び一部追記して記載した。

(2) 調査の実施状況

鳴鹿大堰は、既存の堰（旧鳴鹿堰堤）を改築する工事に平成元年に着手し、平成 11 年より暫定運用となり、取水が開始され、魚道についても利用が可能となった（一部、工事により魚道が稼働していない期間もある）。その後、堰上流部の掘削、築堤・護岸工等の関連工事が実施され、平成 16 年より本格運用を開始した。

その際、生物調査としては平成元年度から平成 16 年度までは、鳴鹿大堰建設事業および暫定運用に伴う環境への影響の把握と、鳴鹿大堰運用の適正管理に資することを主な目的としてモニタリング調査を実施した。平成 17 年度以降はフォローアップ調査として、底生動物調査、付着藻類調査、魚類（魚道）調査等を実施している。また、平成 2 年度から河川水辺の国勢調査〔河川版〕も実施し、平成 28 年度から 5 巡目調査（魚類・底生動物は 6 巡目）を実施している。

これまでに実施された生物調査の実施状況を表 6.1-1 に示す。

表 6.1-1 鳴鹿大堰における生物調査の実施状況

項目	平成																														令和				備考
	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	
鳴鹿大堰建設	堰本体工事等																																		
	築堤・護岸・導水路工事等																																		
	本体概成																																		
	暫定運用開始																																		
	本格運用開始																																		
魚道工事(右岸)																																			
(左岸)																																			
水生生物	魚類	▲	▲	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	●	▲	■	■	●												●	平成23年度を最後にフォローアップ調査を終了した。
	底生動物	▲	▲	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	●	▲	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	●	平成23年度を最後にフォローアップ調査を終了した。
	付着藻類	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	平成24年度を最後にフォローアップ調査を終了した。
陸域生物	植物		▲	▲	▲	▲	●					▲	●	▲		▲	●																●		
	鳥類		▲	▲		●					●	▲					●	▲																●	平成18年度までは「平成5年度河川水辺の国勢調査マニュアル(案)(生物調査編)」に基づき5年ごと、平成18年度以降は「平成18年度版河川水辺の国勢調査基本調査マニュアル[河川版)」に基づき調査頻度が10年に1度になった。
	両生類・爬虫類 ・哺乳類		●	●					●					●		▲																	●		
	陸上昆虫类等		▲	▲	●					●					●	▲																	●		
河川調査・環境基図																	●																●	平成16年度までは、「植物」調査として実施。	
魚道調査		▲	▲								▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		

凡例) ●: 河川水辺の国勢調査(国実施[河川版])、▲: モニタリング調査、■: フォローアップ調査

定期報告書

6. 生物

6.1.2 評価手順

生物に関する定期報告は、堰の改築（魚道の改良も含む）による環境変化の検証及び今後の方針の抽出を主たる目的とする。ここでは、生物に関する定期報告として、堰及びその周辺の環境特性の把握を行うとともに、堰改築後の生物の生息・生育状況に変化が生じているかどうかを検証・評価し、今後の方針を整理した。検討手順は図 6.1-1 のとおりである。

(1) 資料の収集

鳴鹿大堰及びその周辺で実施したモニタリング調査、フォローアップ調査、河川水辺の国勢調査等の既存の生物調査報告書について収集し、生物調査の実施状況等を整理した。また評価に必要な生物調査以外の資料（流況、水質等）についても収集した。

(2) 鳴鹿大堰周辺の環境の把握

モニタリング調査、フォローアップ調査、河川水辺の国勢調査等の既存の生物調査報告書の結果から、湛水域及びその周辺の環境の概要を把握した。

(3) 生物の生息・生育状況の変化の検証

生物の分類群毎に鳴鹿大堰の改築及び魚道の改良による影響・効果を把握するために必要と考えられる分析対象種を抽出し、それら分析対象種が影響・効果を受けると考えられる場所（本川上流、湛水域内、湛水域（陸域）、本川下流）毎に環境の状況と生物の生息・生育状況を経年的に比較し、変化の状況を把握した。

重要種については、個体数、分布状況、事業との関連等の基本情報を整理するとともに、重要種とダム事業との関連性について、ダム運用・管理に伴う重要種への影響要因を分析し、重要種毎に分布位置、生態的特性から影響の有無を現状分析した。また、重要種の現況の課題について整理するとともに、今後の保全対策等の必要性や方向性についても検証を行った。

国外外来種については、個体数、分布状況、事業との関連等の基本情報を整理するとともに、国外外来種とダム事業との関連性について、ダム運用・管理に伴う国外外来種の経年変化の傾向を分析した。また、国外外来種の現況の課題について整理するとともに、今後の駆除対策等の必要性や方向性についても検証を行った。

(4) 生物の生息・生育状況の変化の評価

「(3) 生物の生息・生育状況の変化の検証」における検証結果について、評価の視点を定めて評価を行い、今後の方針を検討した。

(5) 環境保全対策の効果の評価

環境保全対策ごとに、目標と現状を比較することにより効果の評価を行い、改善の必要性のある課題を整理した。

(6) まとめ

これまでの検討結果より、鳴鹿大堰及びその周辺の環境について、今後の方針をとりまとめた。

(7) 文献リストの作成

使用した文献等のリストを作成した。

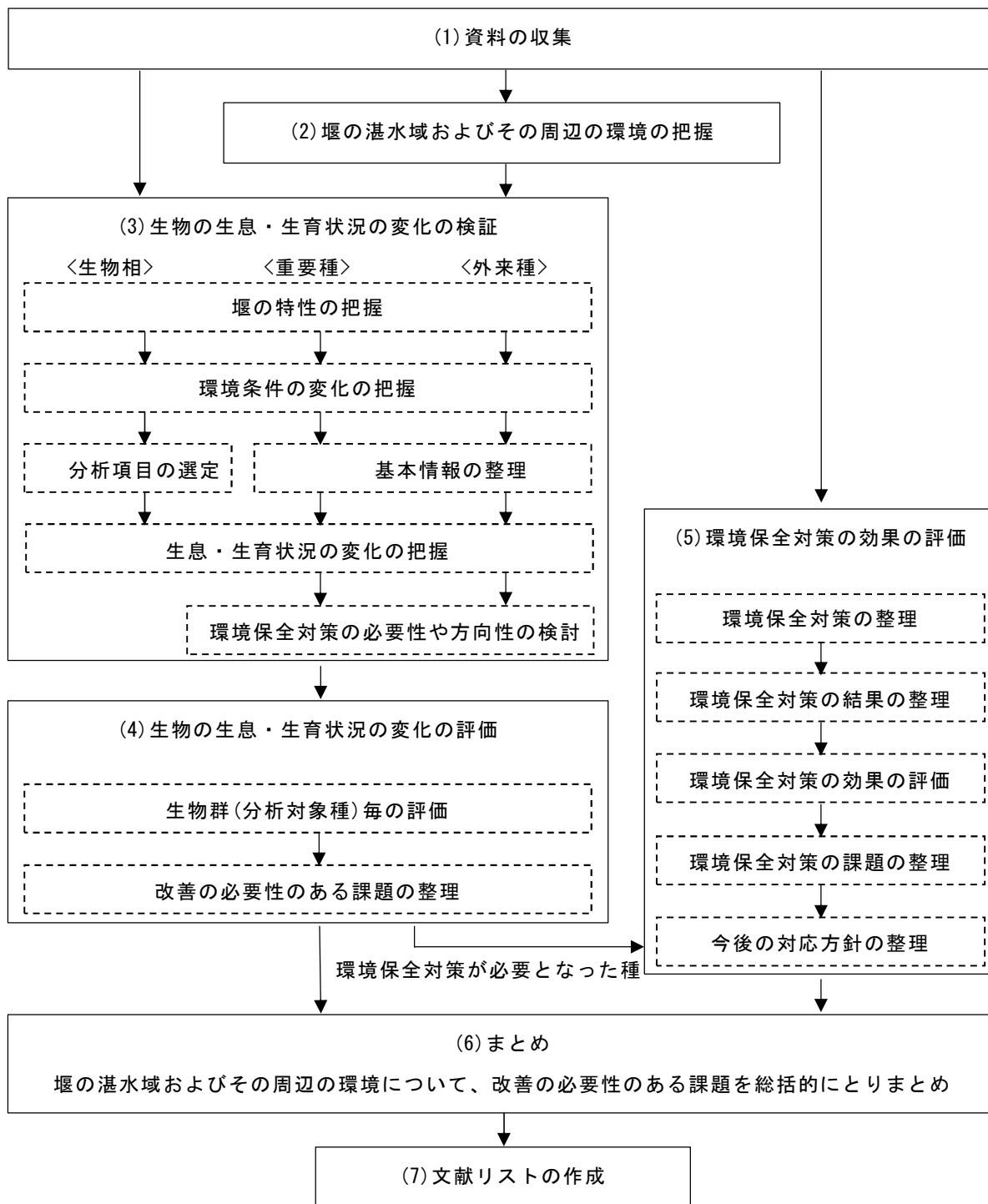


図 6.1-1 鳴鹿大堰定期報告書における生物に関する評価・検討手順

6.1.3 資料の収集

(1) 収集資料の整理

鳴鹿大堰では、河川水辺の国勢調査（以下、国勢調査と言う。）を平成3年（1991年）度から実施しており、令和3年度（2021年）度で現在5巡目（魚類・底生動物は7巡目）の調査を実施しているところである。ここでは、鳴鹿大堰で実施している国勢調査の他に、モニタリング調査やフォローアップ調査等の生物調査報告書について表6.1-2(1)～(5)に示した。

表 6.1-2(1) 鳴鹿大堰 生物調査実施状況

年度	調査件名	調査区分	対象生物							備考	
			魚類	底生動物	植物	鳥類	両生類・爬虫類・哺乳類	陸上昆虫類等	付着藻類		魚道調査
平成元年度 (1989年)	平成元年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	その他の調査	○	○*					○		*水生昆虫
平成2年度 (1990年)	平成2年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	その他の調査	○	○*					○	○	*水生昆虫
	平成2年度アラレゴ生息実態調査業務報告書	その他の調査	○								
	九頭竜川中流域動植物等調査業務報告書	その他の調査			○	○	○	○			
平成3年度 (1991年)	平成3年度 九頭竜川水系小動物調査報告書(本編)	国勢調査					○				
	九頭竜川中流域環境調査業務報告書	その他の調査			○	○	○	○			
	平成3年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	その他の調査	○	○*					○	○	*水生昆虫
	平成3年度 九頭竜川中流域水生生物調査(その2)作業報告書	その他の調査	○*1	○*2	○				○		*1 甲殻類、貝類含む *2 水生昆虫
	アラレゴ生息環境検討資料作成業務報告書	その他の調査	○								
平成4年度 (1992年)	平成4年度 九頭竜川水系陸上昆虫類等調査報告書	国勢調査						○			
	平成4年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	その他の調査	○*1	○*2	○				○		*1 甲殻類、貝類含む *2 水生昆虫
平成5年度 (1993年)	平成5年度 九頭竜川河川水辺生物調査業務報告書(魚類)	国勢調査	○								
	平成5年度 九頭竜川河川水辺生物調査業務報告書(底生動物)	国勢調査		○							
	平成5年度 九頭竜川河川水辺生物調査業務報告書(鳥類)	国勢調査				○					
	平成5年度 九頭竜川河川水辺生物調査業務報告書(付着藻類)	その他の調査							○		
	平成5年度 九頭竜川中流域植物調査業務報告書	その他の調査			○						

定期報告書

6. 生物

表 6.1-2(2) 鳴鹿大堰 生物調査実施状況

年度	調査件名	調査区分	対象生物							備考		
			魚類	底生動物	植物	鳥類	両生類・爬虫類・哺乳類	陸上昆虫類等	付着藻類		魚道調査	河川調査・環境基図
平成6年度 (1994年)	平成6年度 九頭竜川水系植物調査報告書	国勢調査			○							
	平成6年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	その他の調査	○ *1	○						○		*1 魚介類
平成7年度 (1995年)	平成7年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	その他の調査	○ *1	○						○		*1 魚介類
平成8年度 (1996年)	平成8年度 九頭竜川水系両生類・爬虫類・哺乳類調査報告書	国勢調査					○					
	平成8年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	その他の調査	○ *1	○						○		*1 魚介類
	平成8年度 九頭竜川回遊魚環境調査作業報告書	その他の調査	○									
平成9年度 (1997年)	平成9年度 九頭竜川水系陸上昆虫類等調査報告書	国勢調査						○				
	平成9年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	その他の調査	○ *1	○						○		*1 魚介類
平成10年度 (1998年)	平成10年度 九頭竜川水系魚介類調査報告書	国勢調査	○									
	平成10年度 九頭竜川水系底生動物調査報告書	国勢調査		○								
	平成10年度 河川水辺生物調査業務報告書(付着藻類およびアラレガコ)	その他の調査	○ *1							○		*1 アラレガコ
平成11年度 (1999年)	平成11年度 河川水辺生物調査業務報告書(九頭竜川水系鳥類調査)	国勢調査				○						
	平成10年度 鳴鹿大堰魚道モニタリング調査業務報告書	その他の調査								○		
	平成11年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	その他の調査		○	○	○				○		
平成12年度 (2000年)	平成12年度 河川水辺生物調査業務(九頭竜川水系植物調査)報告書	国勢調査			○							
	平成11年度 鳴鹿大堰魚道モニタリング業務報告書	その他の調査								○		
平成13年度 (2001年)	平成13年度 河川水辺生物調査業務(九頭竜川水系両生類・爬虫類・哺乳類調査)報告書	国勢調査					○					
	平成13年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	その他の調査		○	○					○		
	平成13年度 鳴鹿大堰魚道モニタリング調査業務報告書	その他の調査	○							○		

表 6.1-2(3) 鳴鹿大堰 生物調査実施状況

年度	調査件名	調査区分	対象生物								備考	
			魚類	底生動物	植物	鳥類	両生類・爬虫類・哺乳類	陸上昆虫類等	付着藻類	魚道調査		河川調査・環境基図
平成14年度 (2002年)	平成14年度 河川水辺生物調査業務(九頭竜川水系陸上昆虫類等調査)報告書	国勢調査							○			
	平成14年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	その他の調査		○						○		
	平成14年度 鳴鹿大堰魚道モニタリング調査業務報告書	その他の調査	○								○	
平成15年度 (2003年)	平成15年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務魚介類調査報告書	国勢調査	○									
	平成15年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務底生動物調査報告書	国勢調査		○								
	平成15年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	その他の調査		○						○		
	平成15年度 鳴鹿大堰魚道モニタリング調査業務報告書	その他の調査	○								○	
平成16年度 (2004年)	平成16年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務報告書 鳥類	国勢調査				○						
	平成16年度 鳴鹿大堰魚道モニタリング調査業務報告書	その他の調査									○	
	平成16年度 鳴鹿大堰モニタリング調査検討業務報告書	その他の調査	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成16年度 九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務報告書	その他の調査		○	○		○	○	○			
平成17年度 (2005年)	平成17年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務報告書	国勢調査			○							
	平成17年度 鳴鹿大堰環境調査業務報告書	その他の調査		○						○	○	
平成18年度 (2006年)	平成18年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務底生動物調査報告書	国勢調査		○								
	平成18年度 鳴鹿大堰フォローアップ調査業務報告書	その他の調査		○						○	○	
平成19年度 (2007年)	平成19年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査(魚類調査)報告書	国勢調査	○									
	平成19年度 鳴鹿大堰フォローアップ調査業務報告書	その他の調査		○						○	○	
平成20年度 (2008年)	平成20年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務(陸上昆虫類等調査)報告書	国勢調査							○			
	平成20年度 鳴鹿大堰フォローアップ調査業務報告書	その他の調査		○						○	○	

表 6.1-2(4) 鳴鹿大堰 生物調査実施状況

年度	調査件名	調査区分	対象生物								備考		
			魚類	底生動物	植物	鳥類	両生類・爬虫類・哺乳類	陸上昆虫類等	付着藻類	魚道調査		河川調査・環境基図	
平成 21 年度 (2009 年)	平成 21 年度九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務(両生類・爬虫類・哺乳類調査) 報告書	国勢調査						○					
	平成 21 年度鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	その他の調査		○						○	○		
平成 22 年度 (2010 年)	九頭竜川河川水辺国勢調査業務報告書	国勢調査										○	モニタリング調査水生生物調査
	鳴鹿大堰フォローアップ調査他業務 報告書	その他の調査	○								○		
平成 23 年度 (2011 年)	平成 23 年度九頭竜川水辺現地調査(底生動物)他業務 報告書	国勢調査		○									
	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	その他の調査	○	○						○	○		
平成 24 年度 (2012 年)	九頭竜川河川水辺現地調査(魚類)他業務 報告書	国勢調査	○										
	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	その他の調査									○		
平成 25 年度 (2013 年)	九頭竜川河川水辺現地調査(鳥類)他業務	国勢調査				○							
	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務	その他の調査									○		
平成 26 年度 (2014 年)	九頭竜川河川水辺現地調査(植物)他業務	国勢調査			○								
	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務	その他の調査									○		
平成 27 年度 (2015 年)	九頭竜川河川水辺の国勢調査(環境基図)他業務	国勢調査										○	
	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務	その他の調査									○		
平成 28 年度 (2016 年)	福井管内河川水辺の国勢調査他業務	国勢調査		○									
	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務	その他の調査									○		
平成 29 年度 (2017 年)	福井管内河川水辺の国勢調査他業務	国勢調査	○										
	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務	その他の調査									○		

表 6.1-2(5) 鳴鹿大堰 生物調査実施状況

年度	調査件名	調査区分	対象生物								備考		
			魚類	底生動物	植物	鳥類	両生類・爬虫類・哺乳類	陸上昆虫類等	付着藻類	魚道調査		河川調査・環境基図	
平成30年度 (2018年)	福井管内河川水辺の国勢調査他業務(陸上昆虫類等)	国勢調査							○				
	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務	その他の調査									○		
令和元年度 (2019年)	福井管内河川水辺の国勢調査他業務(両生類・爬虫類・哺乳類)	国勢調査					○						
令和2年度 (2020年)	福井管内河川水辺の国勢調査他業務(河川環境基図作成)	国勢調査										○	
	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務	その他の調査									○		
令和3年度 (2021年)	福井管内河川水辺の国勢調査他業務(底生動物)	国勢調査		○									
	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務	その他の調査									○		
令和4年度 (2022年)	福井管内河川水辺の国勢調査他業務(魚類)	国勢調査	○										
	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務	その他の調査									○		

(2) 調査内容の整理

表 6.1-2 に示す資料を用いて、各生物調査項目について調査内容の整理を行った。

1) 魚類

鳴鹿大堰における魚類調査の調査内容を表 6.1-3(1)～(9)に、調査位置を図 6.1-2 に示す。鳴鹿大堰周辺における魚類調査は、河川水辺の国勢調査〔河川版〕の他、平成元年度から、鳴鹿大堰建設事業および暫定運用に伴う環境への影響を把握するとともに、鳴鹿大堰運用の適正管理に資することを主な目的として平成 16 年度までモニタリング調査を実施してきた。

平成 17 年度のフォローアップ調査からは、鳴鹿大堰の魚道でのみ調査を継続して実施している。なお、平成 19 年度の調査からデニール式魚道と接続水路においても魚類調査を実施している。平成 25 年度から大型魚等が遡上する実態把握調査を実施している。

平成 5 年度から河川水辺の国勢調査を実施している。

表 6.1-3(1) 鳴鹿大堰周辺魚類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成元年度 (1989 年)	平成元年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川上流	St. 1	No. 1 坂東島	H01.11.9	投網(13.5, 16.5, 37.5mm)、刺網(13.5, 16.5, 18.0mm)
		本川上流	St. 2	No. 2 北島	H01.11.9	投網(13.5, 16.5, 37.5mm)、刺網(13.5, 16.5, 18.0mm)
		本川上流	St. 3	No. 3 浄法寺	H01.11.9	投網(13.5, 16.5, 37.5mm)、刺網(13.5, 16.5, 18.0mm)
		本川下流	St. 4	No. 4 志比塚	H01.11.10	投網(13.5, 16.5, 37.5mm)、刺網(13.5, 16.5, 18.0mm)
		本川下流	St. 5	No. 5 高速道路下	H01.11.10	投網(13.5, 16.5, 37.5mm)、刺網(13.5, 16.5, 18.0mm)
		本川下流	St. 6	No. 6 福井大橋	H01.11.10	投網(13.5, 16.5, 37.5mm)、刺網(13.5, 16.5, 18.0mm)
		本川下流	St. 7	No. 7 天池橋	H01.11.11	投網(13.5, 16.5, 37.5mm)、刺網(13.5, 16.5, 18.0mm)
		本川下流	St. 8	No. 8 高屋橋	H01.11.11	投網(13.5, 16.5, 37.5mm)、刺網(13.5, 16.5, 18.0mm)
		支川	St. 9	No. 9 永平寺川下流(法寺)	H01.11.9	投網(13.5, 16.5, 37.5mm)、刺網(13.5, 16.5, 18.0mm)
平成2年度 (1990 年)	平成2年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川上流	St. 1	No. 1 坂東島	H02.05.07~09 H02.09.05~07	投網(目合15mm、網裾3.5m)、刺網(目合24mm、網裾0.6m)
		本川上流	St. 2	No. 2 北島	H02.05.07~09 H02.09.05~07	投網(目合15mm、網裾3.5m)、刺網(目合24mm、網裾0.6m)
		本川上流	St. 3	No. 3 浄法寺	H02.05.07~09 H02.09.05~07	投網(目合15mm、網裾3.5m)、刺網(目合24mm、網裾0.6m)
		本川下流	St. 4	No. 4 志比塚	H02.05.07~09 H02.09.05~07	投網(目合15mm、網裾3.5m)、刺網(目合24mm、網裾0.6m)
		本川下流	St. 5	No. 5 高速道路下	H02.05.07~09 H02.09.05~07	投網(目合15mm、網裾3.5m)、刺網(目合24mm、網裾0.6m)
		本川下流	St. 6	No. 6 福井大橋	H02.05.07~09 H02.09.05~07	投網(目合15mm、網裾3.5m)、刺網(目合24mm、網裾0.6m)
		本川下流	St. 7	No. 7 天池橋	H02.05.07~09 H02.09.05~07	投網(目合15mm、網裾3.5m)、刺網(目合24mm、網裾0.6m)
		本川下流	St. 8	No. 8 高屋橋	H02.05.07~09 H02.09.05~07	投網(目合15mm、網裾3.5m)、刺網(目合24mm、網裾0.6m)
		支川	St. 9	No. 9 永平寺川下流(法寺)	H02.05.07~09 H02.09.05~07	投網(目合15mm、網裾3.5m)、刺網(目合24mm、網裾0.6m)

表 6.1-3(2) 鳴鹿大堰周辺魚類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成3年度 (1991年)	平成3年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川下流	St. 12	No. 1 五松橋	H03. 05. 10 H03. 07. 22 H03. 09. 03 H03. 11. 05 H04. 02. 03	投網(目合12~18mm、網丈3.1~3.4m)、刺網(目合30mm、網丈60cm、網長90cm前後)、仕切り網(二本の竹棒に目合10mm、網丈0.8m、網長1mの一枚網を取り付けたもの)
		本川下流	St. 4 St. 11	No. 2 鳴鹿堰下流	H03. 05. 10 H03. 07. 22 H03. 09. 03 H03. 11. 05 H04. 02. 03	投網(目合12~18mm、網丈3.1~3.4m)、刺網(目合30mm、網丈60cm、網長90cm前後)、仕切り網(二本の竹棒に目合10mm、網丈0.8m、網長1mの一枚網を取り付けたもの)
		本川上流	St. 10	No. 3 下浄法寺	H03. 05. 10 H03. 07. 22 H03. 09. 03 H03. 11. 05 H04. 02. 03	投網(目合12~18mm、網丈3.1~3.4m)、刺網(目合30mm、網丈60cm、網長90cm前後)、仕切り網(二本の竹棒に目合10mm、網丈0.8m、網長1mの一枚網を取り付けたもの)
		支川	St. 9	No. 4 永平寺川(法寺岡)	H03. 05. 10 H03. 07. 22 H03. 09. 03 H03. 11. 05 H04. 02. 03	投網(目合12~18mm、網丈3.1~3.4m)、刺網(目合30mm、網丈60cm、網長90cm前後)、仕切り網(二本の竹棒に目合10mm、網丈0.8m、網長1mの一枚網を取り付けたもの)
平成3年度 九頭竜川中流域水生生物調査(その2)作業報告書	湛水域内	St. 13	貯水池上流側(鳴鹿橋~本覚寺)	H03. 11. 13~19 H04. 01. 08~16	投網(目合18mm、網丈3.4m)、刺網(脇投げ:目合30mm、網丈60cm、網長8m、一枚網:目合24~30mm、網長20~40m、三枚網:目合50mm、網長30m)、ピンドウ、ウナギ筒、カミ籠、しばづけ	
	湛水域内	St. 14	貯水池下流側(堰~鳴鹿橋)	H03. 11. 13~19 H04. 01. 08~16	投網(目合18mm、網丈3.4m)、刺網(脇投げ:目合30mm、網丈60cm、網長8m、一枚網:目合24~30mm、網長20~40m、三枚網:目合50mm、網長30m)、ピンドウ、ウナギ筒、カミ籠、しばづけ	
	本川上流	St. 3	貯水池周辺右岸側(下浄法寺地先)	H03. 11. 13~19 H04. 01. 08~16	投網(目合18mm、網丈3.4m)、刺網(脇投げ:目合30mm、網丈60cm、網長8m、一枚網:目合24~30mm、網長20~40m、三枚網:目合50mm、網長30m)、ピンドウ、ウナギ筒、カミ籠、しばづけ	
	本川上流	St. 10	貯水池周辺右左側(谷口地先)	H03. 11. 13~19 H04. 01. 08~16	投網(目合18mm、網丈3.4m)、刺網(脇投げ:目合30mm、網丈60cm、網長8m、一枚網:目合24~30mm、網長20~40m、三枚網:目合50mm、網長30m)、ピンドウ、ウナギ筒、カミ籠、しばづけ	

表 6.1-3(3) 鳴鹿大堰周辺魚類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成4年度 (1992年)	平成4年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川上流	St. 10	No. 1 下浄法寺	H04. 05. 27 H04. 08. 24 H04. 11. 05	投網(目合 18mm、網丈 3.4m)、仕切網(2~4本の竹棒に目合 10~12mm、網丈 0.8mの一枚網を取り付けたもの)、刺網(目合 24mm、網丈 90cm、網長 15~20m)、タモ網(目合 8mm、網の大きさ 350×250mm)、ウナギ筒、カミ箆、しばづけ
		本川下流	St. 4 St. 11	No. 2 鳴鹿堰下流	H04. 05. 27 H04. 08. 24 H04. 11. 05	投網(目合 18mm、網丈 3.4m)、仕切網(2~4本の竹棒に目合 10~12mm、網丈 0.8mの一枚網を取り付けたもの)、刺網(目合 24mm、網丈 90cm、網長 15~20m)、タモ網(目合 8mm、網の大きさ 350×250mm)、ウナギ筒、カミ箆、しばづけ
		本川下流	St. 12	No. 3 五松橋	H04. 05. 27 H04. 08. 24 H04. 11. 05	投網(目合 18mm(秋季は 100mm併用)、網丈 3.4m)、仕切網(2~4本の竹棒に目合 10~12mm、網丈 0.8mの一枚網を取り付けたもの)、刺網(目合 24mm、網丈 90cm、網長 15~20m)、タモ網(目合 8mm、網の大きさ 350×250mm)、ウナギ筒、カミ箆、しばづけ
		湛水域内	St. 13	貯水池上流側	H04. 05. 25~30 H04. 08. 04 H04. 08. 24~31	刺網(目合 24~30mm、網長 15~30m)、三枚網(目合 50mm、網長 30m)、ビンドウ、ウナギ筒、カミ箆、しばづけ、見つけ取り
		湛水域内	St. 14	貯水池下流側	H04. 05. 25~30 H04. 08. 04 H04. 08. 24~31	刺網(目合 24~30mm、網長 15~30m)、三枚網(目合 50mm、網長 30m)、ビンドウ、ウナギ筒、カミ箆、しばづけ、見つけ取り
		平成5年度 (1993年)	平成5年度 九頭竜川河川水辺生物調査業務報告書(魚類) ※水国: 1巡目	本川下流	St. 3	中角付近
本川下流	St. 4			五松橋付近	H05. 6. 14 H05. 8. 9 H05. 10. 6, 18, 19	投網、タモ網、刺網、どう、セルびん、カニかご、しばづけ
本川下流	St. 5			鳴鹿堰直下流	H05. 6. 14, 25 H05. 10. 18	投網、タモ網、刺網、どう、セルびん、カニかご、しばづけ
湛水域内	St. 6			鳴鹿堰湛水域	H05. 6. 16 H05. 10. 18	投網、タモ網、刺網、どう、セルびん、カニかご、しばづけ
湛水域内	St. 7			鳴鹿堰湛水上流端	H05. 6. 14 H05. 10. 18	投網、タモ網、刺網、どう、セルびん、カニかご、しばづけ

表 6.1-3(4) 鳴鹿大堰周辺魚類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成6年度 (1994年)	平成6年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川下流	St. 12	St. 1 五松橋	H06.08.24~25 H06.10.18~19	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m)、タモ網(水際: 目合0.5mm, 径40cm、目合5mm, 径100cm)(瀬: 目合10mm, 径80cm×100cm(仕切り網))、刺網(目合24mm, 網丈0.8m, 網長15m、目合30mm, 網丈2.0m, 網長30m、目合50mm, 網丈2.0m, 網長30m)、しばづけ、カニかご、見つけ取り
		本川下流	St. 4	St. 2 鳴鹿大堰建設工事区間直下流	H06.08.24~25 H06.10.18~19	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m)、タモ網(水際: 目合0.5mm, 径40cm、目合5mm, 径100cm)(瀬: 目合10mm, 径80cm×100cm(仕切り網))、刺網(目合24mm, 網丈0.8m, 網長15m、目合30mm, 網丈2.0m, 網長30m、目合50mm, 網丈2.0m, 網長30m)、しばづけ、カニかご、見つけ取り
		湛水域内	St. 15	St. 3 鳴鹿堰堤湛水域	H06.08.24~25 H06.10.18~19	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m)、タモ網(水際: 目合0.5mm, 径40cm、目合5mm, 径100cm)(瀬: 目合10mm, 径80cm×100cm(仕切り網))、刺網(目合24mm, 網丈0.8m, 網長15m、目合30mm, 網丈2.0m, 網長30m、目合50mm, 網丈2.0m, 網長30m)、しばづけ、カニかご、見つけ取り
		湛水域内	St. 16	St. 4 鳴鹿堰堤湛水部上流端	H06.08.24~25 H06.10.18~19	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m)、タモ網(水際: 目合0.5mm, 径40cm、目合5mm, 径100cm)(瀬: 目合10mm, 径80cm×100cm(仕切り網))、刺網(目合24mm, 網丈0.8m, 網長15m、目合30mm, 網丈2.0m, 網長30m、目合50mm, 網丈2.0m, 網長30m)、しばづけ、カニかご、見つけ取り

表 6.1-3(5) 鳴鹿大堰周辺魚類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成7年度 (1995年)	平成7年度 九頭 竜川中流域水生生物 調査作業報告書	本川下流	St. 12	St. 1 五松橋	H07. 05. 22~24 H07. 08. 28~30 H07. 10. 23~25	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m、目合50mm, 網裾2.5m)、タモ網(水際: 目合2mm, 径40cm、目合5mm, 径100cm)(瀬: 目合2mm, 径40cm、目合10mm, 径80cm×100cm(仕切り網))、刺網(目合24mm, 網丈0.8m, 網長15m、目合30mm, 網丈2.0m, 網長30m、目合50mm, 網丈2.0m, 網長30m)、しばづけ、カニかご、見つけ取り
		本川下流	St. 4	St. 2 鳴鹿大堰建設 工事区間直下流	H07. 05. 22~24 H07. 08. 28~30 H07. 10. 23~25	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m、目合50mm, 網裾2.5m)、タモ網(水際: 目合2mm, 径40cm、目合5mm, 径100cm)(瀬: 目合2mm, 径40cm、目合10mm, 径80cm×100cm(仕切り網))、刺網(目合24mm, 網丈0.8m, 網長15m、目合30mm, 網丈2.0m, 網長30m、目合50mm, 網丈2.0m, 網長30m)、しばづけ、カニかご、見つけ取り
		湛水域内	St. 15	St. 3 鳴鹿堰堤湛水域	H07. 05. 22~24 H07. 08. 28~30 H07. 10. 23~25	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m、目合50mm, 網裾2.5m)、タモ網(水際: 目合2mm, 径40cm、目合5mm, 径100cm)(瀬: 目合2mm, 径40cm、目合10mm, 径80cm×100cm(仕切り網))、刺網(目合24mm, 網丈0.8m, 網長15m、目合30mm, 網丈2.0m, 網長30m、目合50mm, 網丈2.0m, 網長30m)、しばづけ、カニかご、見つけ取り
		湛水域内	St. 16	St. 4 鳴鹿堰堤湛水 部上流端	H07. 05. 22~24 H07. 08. 28~30 H07. 10. 23~25	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m、目合50mm, 網裾2.5m)、タモ網(水際: 目合2mm, 径40cm、目合5mm, 径100cm)(瀬: 目合2mm, 径40cm、目合10mm, 径80cm×100cm(仕切り網))、刺網(目合24mm, 網丈0.8m, 網長15m、目合30mm, 網丈2.0m, 網長30m、目合50mm, 網丈2.0m, 網長30m)、しばづけ、カニかご、見つけ取り

表 6.1-3(6) 鳴鹿大堰周辺魚類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成8年度 (1996年)	平成8年度 九頭 竜川中流域水生生物 調査作業報告書	本川下流	St. 12	St. 1 五松橋	H08. 05. 07~09 H08. 09. 11~13 H08. 10. 22~24	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m)、タモ網(目合2mm, 径40cm、目合10mm, 径60cm、目合10mm, 径80cm×100cm(仕切り網))、刺網(目合15mm, 網丈0.7m, 網長15m、目合24mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合24mm, 網丈1.2m, 網長30m、目合30mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合30mm, 網丈1.8m, 網長30m、目合50mm, 網丈1.5m, 網長30m)、しばづけ、カニかご、見つけ取り
		本川下流	St. 4	St. 2 鳴鹿大堰建設 工事区間直下 流	H08. 05. 07~09 H08. 09. 11~13 H08. 10. 22~24	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m)、タモ網(目合2mm, 径40cm、目合10mm, 径60cm、目合10mm, 径80cm×100cm(仕切り網))、刺網(目合15mm, 網丈0.7m, 網長15m、目合24mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合24mm, 網丈1.2m, 網長30m、目合30mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合30mm, 網丈1.8m, 網長30m、目合50mm, 網丈1.5m, 網長30m)、しばづけ、カニかご、見つけ取り
		湛水域内	St. 15	St. 3 鳴鹿堰堤湛水 域	H08. 05. 07~09 H08. 09. 11~13 H08. 10. 22~24	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m)、タモ網(目合2mm, 径40cm、目合10mm, 径60cm、目合10mm, 径80cm×100cm(仕切り網))、刺網(目合15mm, 網丈0.7m, 網長15m、目合24mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合24mm, 網丈1.2m, 網長30m、目合30mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合30mm, 網丈1.8m, 網長30m、目合50mm, 網丈1.5m, 網長30m)、しばづけ、カニかご、見つけ取り
		湛水域内	St. 16	St. 4 鳴鹿堰堤湛水 部上流端	H08. 05. 07~09 H08. 09. 11~13 H08. 10. 22~24	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m)、タモ網(目合2mm, 径40cm、目合10mm, 径60cm、目合10mm, 径80cm×100cm(仕切り網))、刺網(目合15mm, 網丈0.7m, 網長15m、目合24mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合24mm, 網丈1.2m, 網長30m、目合30mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合30mm, 網丈1.8m, 網長30m、目合50mm, 網丈1.5m, 網長30m)、しばづけ、カニかご、見つけ取り
	平成8年度 九頭 竜川回遊魚環境調 査作業報告書	—	St. 17	中角地区	H08. 4~7月の 各月1回	遡上状況の確認 小型定置網、投網、刺網、タモ網による回遊魚の捕獲
			St. 18	五松橋地区	H08. 4~7月の 各月1回	遡上状況の確認 小型定置網、投網、刺網、タモ網による回遊魚の捕獲
			St. 19	鳴鹿地区	H08. 4~7月の 各月1回	遡上状況の確認 小型定置網、投網、刺網、タモ網による回遊魚の捕獲

表 6.1-3(7) 鳴鹿大堰周辺魚類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成9年度 (1997年)	平成9年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川下流	St. 12	St. 1 五松橋	H09. 10. 22~24	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m)、タモ網(目合2mm, 径40cm)、サデ網(目合7mm, 径80cm)、刺網(目合15mm, 網丈0.7m, 網長15m、目合24mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合24mm, 網丈1.2m, 網長30m、目合30mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合30mm, 網丈1.5m, 網長30m、目合50mm, 網丈1.8m, 網長20m、目合50mm, 網丈1.5m, 網長30m(三枚網))、しばづけ、カニかご、見つけ取り
		本川下流	St. 4	St. 2 鳴鹿大堰建設工事区間直下流	H09. 10. 22~24	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m)、タモ網(目合2mm, 径40cm)、サデ網(目合7mm, 径80cm)、刺網(目合15mm, 網丈0.7m, 網長15m、目合24mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合24mm, 網丈1.2m, 網長30m、目合30mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合30mm, 網丈1.5m, 網長30m、目合50mm, 網丈1.8m, 網長20m、目合50mm, 網丈1.5m, 網長30m(三枚網))、しばづけ、カニかご、見つけ取り
		湛水域内	St. 15	St. 3 鳴鹿堰堤湛水域	H09. 09. 03~04 H09. 10. 22~24	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m)、タモ網(目合2mm, 径40cm)、サデ網(目合7mm, 径80cm)、刺網(目合15mm, 網丈0.7m, 網長15m、目合24mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合24mm, 網丈1.2m, 網長30m、目合30mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合30mm, 網丈1.5m, 網長30m、目合50mm, 網丈1.8m, 網長20m、目合50mm, 網丈1.5m, 網長30m(三枚網))、しばづけ、カニかご、見つけ取り
		湛水域内	St. 16	St. 4 鳴鹿堰堤湛水域上流端	H09. 09. 03~04 H09. 10. 22~24	投網(目合12mm, 網裾2.5m、目合18mm, 網裾2.5m)、タモ網(目合2mm, 径40cm)、サデ網(目合7mm, 径80cm)、刺網(目合15mm, 網丈0.7m, 網長15m、目合24mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合24mm, 網丈1.2m, 網長30m、目合30mm, 網丈0.9m, 網長20m、目合30mm, 網丈1.5m, 網長30m、目合50mm, 網丈1.8m, 網長20m、目合50mm, 網丈1.5m, 網長30m(三枚網))、しばづけ、カニかご、見つけ取り

表 6.1-3(8) 鳴鹿大堰周辺魚類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成10年度 (1998年)	平成10年度 九頭竜川水系魚介類調査報告書 ※水国：2巡目	本川下流	九九福.3	中角橋付近	H10.5.15, 18, 21 H10.6.18 H10.8.31 H10.10.5 H10.11.9	投網、タモ網、刺網、どう、セルビん、カニかご、しばづけ、サデ網、定置網
		本川下流	九九福.4	五松橋付近	H10.5.18 H10.9.2 H10.10.7	投網、タモ網、刺網、どう、セルビん、カニかご、しばづけ、サデ網
		本川下流	九九福.5	鳴鹿大堰建設工事区間直下流	H10.5.18 H10.9.2 H10.10.7	投網、タモ網、刺網、どう、セルビん、カニかご、しばづけ、サデ網
		湛水域内	九九福.6	鳴鹿堰堤湛水域	H10.5.14 H10.9.4 H10.10.8	投網、タモ網、刺網、どう、セルビん、カニかご、しばづけ
		湛水域内	九九福.7	鳴鹿堰堤湛水域上流端	H10.5.14 H10.9.3 H10.10.8	投網、タモ網、刺網、どう、セルビん、カニかご、しばづけ、サデ網
	平成10年度 河川水辺生物調査業務報告書(付着藻類およびアラレガコ)	本川下流	二番瀬	天池橋付近	H10.12.13, 21, 22, 25, 29 H11.1.6~8	網戸漁
		本川下流	一番瀬	福井大橋下流	H10.11.18~21 H10.11.26 H10.12.8, 9, 12, 18, 21	網戸漁
平成15年度 (2003年)	平成15年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務魚介類調査報告書 ※水国：3巡目	本川下流	St.17	九九福3 中角橋付近	H15.05.18~22 H15.06.17 (釣り) H15.08.18~23 H15.10.27~30	投網(網目12mm, 網裾12m, 網目18mm, 網裾12m)、タモ網(網目3mm, 口径30cm)、刺網(網目18mm, 網丈90cm, 長さ30mの二枚網、網目18mm, 網丈120cm, 長さ40mの一枚網、網目30mm, 網丈90cm, 長さ30mの二枚網、網目54mm, 網丈90cm, 長さ35mの三枚網)、サデ網(網目2mm, 口径50cm)、延縄(丸セイゴ針12号)、定置網(袖網部5m, 袋網部3m)、セルビん(口径3cm)、どう(口径10cm, 長さ70cm)、カニかご、釣り
		本川下流	St.18	九九福4 五松橋付近	H15.05.18~22 H15.06.17 (釣り) H15.08.18~23 H15.10.27~30	投網(網目12mm, 網裾12m, 網目18mm, 網裾12m)、タモ網(網目3mm, 口径30cm)、刺網(網目18mm, 網丈90cm, 長さ30mの二枚網、網目18mm, 網丈120cm, 長さ40mの一枚網、網目30mm, 網丈90cm, 長さ30mの二枚網、網目54mm, 網丈90cm, 長さ35mの三枚網)、サデ網(網目2mm, 口径50cm)、延縄(丸セイゴ針12号)、定置網(袖網部5m, 袋網部3m)、セルビん(口径3cm)、どう(口径10cm, 長さ70cm)、カニかご、釣り

表 6.1-3(9) 鳴鹿大堰周辺魚類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成 19 年度 (2007 年)	平成 19 年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査(魚類調査) 報告書 ※水国 : 4 巡目	本川下流	St. 7	九九福 3 中角橋付近	H19. 05. 17~22 H19. 08. 16~21 H19. 10. 18~24	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、セルびん、カゴ網
		本川下流	St. 6	九九福 4 福井大橋付近	H19. 05. 17~22 H19. 08. 16~21 H19. 10. 18~24	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、セルびん、カゴ網
		本川下流	St. 12	九九福 5 五松橋付近	H19. 05. 17~22 H19. 08. 16~21 H19. 10. 18~24	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、セルびん、カゴ網
		湛水域内	St. 20	九九福 6 鳴鹿橋付近	H19. 05. 17~22 H19. 08. 16~21 H19. 10. 18~24	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、セルびん、カゴ網
平成 24 年度 (2012 年)	九頭竜川河川水辺現地調査(魚類)他業務 報告書 ※水国 : 5 巡目	本川下流	St. 7	九九福 3 中角橋付近	H24. 05. 21~25 H24. 08. 06~10 H24. 10. 15~19	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、セルびん、カゴ網、潜水観察
		本川下流	St. 6	九九福 4 福井大橋付近	H24. 05. 21~25 H24. 08. 06~10 H24. 10. 15~19	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、セルびん、カゴ網、潜水観察
		本川下流	St. 12	九九福 5 五松橋付近	H24. 05. 21~25 H24. 08. 06~10 H24. 10. 15~19	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、セルびん、カゴ網、潜水観察
		湛水域内	St. 20	九九福 6 鳴鹿橋付近	H24. 05. 21~25 H24. 08. 06~10 H24. 10. 15~19	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、セルびん、カゴ網、潜水観察
平成 29 年度 (2017 年)	福井管内河川水辺の国勢調査他業務報告書 ※水国 : 6 巡目	本川下流	St. 7	九九福 3 中角橋付近	H29. 05. 22~26 H29. 08. 05~07 H29. 08. 15~18 H29. 11. 06~11	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、カゴ網、セルびん
		本川下流	St. 6	九九福 4 福井大橋付近	H29. 05. 22~26 H29. 08. 05~07 H29. 08. 15~18 H29. 11. 06~11	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、カゴ網、セルびん、潜水目視
		本川下流	St. 12	九九福 5 五松橋付近	H29. 05. 22~26 H29. 08. 05~07 H29. 08. 15~18 H29. 11. 06~11	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、カゴ網、セルびん、潜水目視
		湛水域内	St. 20	九九福 6 鳴鹿橋付近	H29. 05. 22~26 H29. 08. 05~07 H29. 08. 15~18 H29. 11. 06~11	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、カゴ網、セルびん、潜水目視
令和 4 年度 (2022 年)	福井管内河川水辺の国勢調査他業務報告書 ※水国 : 7 巡目	本川下流	St. 21	九九福 3 中角橋付近	R4. 10. 24~25 R5. 5. 16~17 R5. 8. 1~2	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、カゴ網、セルびん
		本川下流	St. 22	九九福 4 福井大橋付近	R4. 10. 25~26 R5. 5. 16~17 R5. 8. 1~2	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、カゴ網、セルびん、潜水目視
		本川下流	St. 12	九九福 5 五松橋付近	R4. 10. 26~27 R5. 5. 15~16 R5. 7. 31~8. 1	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、カゴ網、セルびん、潜水目視
		湛水域内	St. 13	九九福 6 鳴鹿橋付近	R4. 10. 26~27 R5. 5. 15~16 R5. 7. 31~8. 1	投網、タモ網、定置網、刺網、サデ網、はえなわ、どう、カゴ網、セルびん、潜水目視

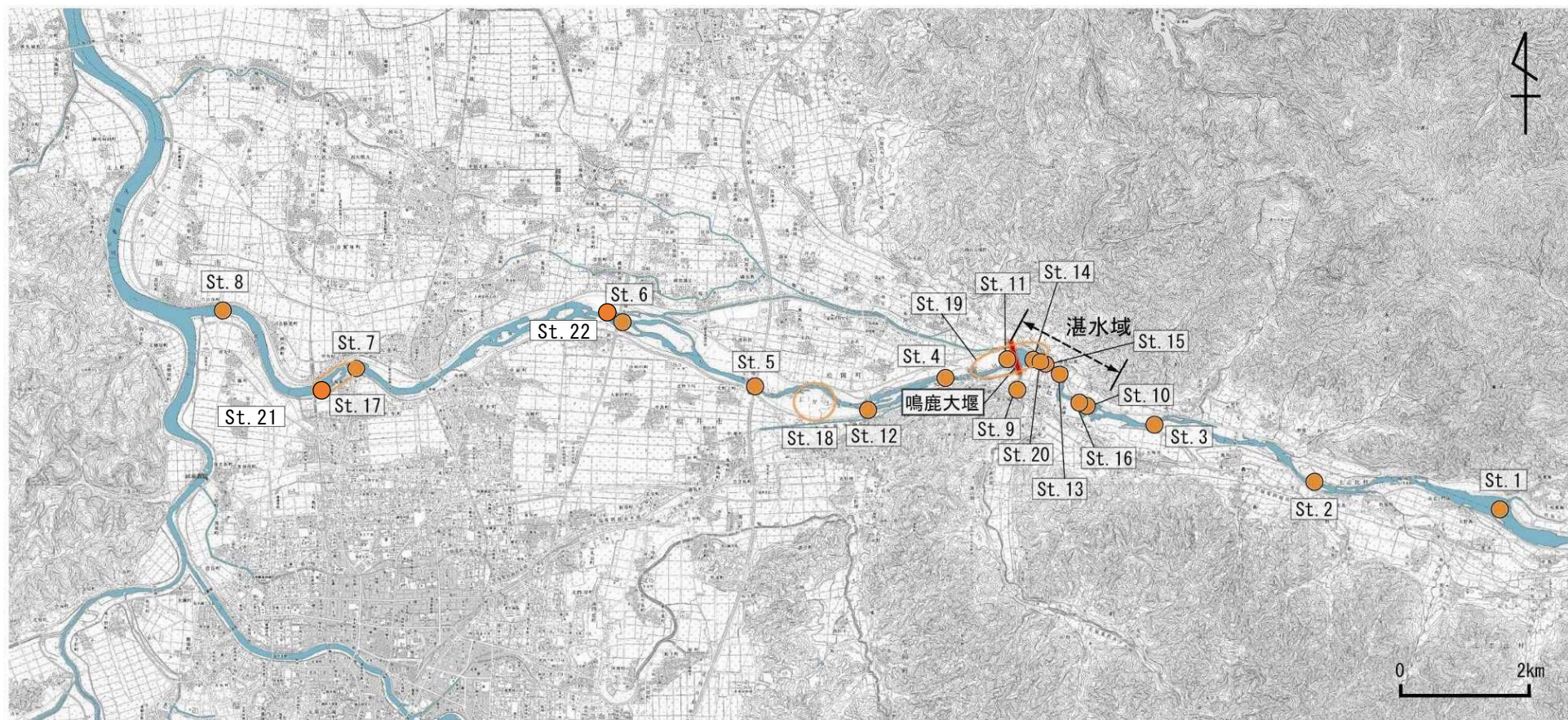


図 6.1-2 鳴鹿大堰周辺魚類調査位置図

定期報告書

6. 生物

2) 底生動物

底生動物調査の調査内容を表 6.1-4(1)～(8)に、調査位置を図 6.1-3 に示す。

表 6.1-4(1) 鳴鹿大堰周辺底生動物調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成元年度 (1989年)	平成元年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川上流	St. 1	No. 1 坂東島	H01. 11. 11	サーバーネットによる採集
		本川上流	St. 2	No. 2 浄法寺	H01. 11. 11	サーバーネットによる採集
		本川下流	St. 3	No. 3 志比堺	H01. 11. 11	サーバーネットによる採集
		本川下流	St. 4	No. 4 福井大橋	H01. 11. 11	サーバーネットによる採集
		本川下流	St. 5	No. 5 天池橋	H01. 11. 11	サーバーネットによる採集
		支川	St. 6	No. 6 永平寺川	H01. 11. 11	サーバーネットによる採集
平成2年度 (1990年)	平成2年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川上流	St. 1	No. 1 坂東島	H02. 05. 12 H02. 09. 14	サーバーネットによる採集
		本川上流	St. 2	No. 2 浄法寺	H02. 05. 12 H02. 09. 14	サーバーネットによる採集
		本川下流	St. 3	No. 3 志比堺	H02. 05. 12 H02. 09. 14	サーバーネットによる採集
		本川下流	St. 4	No. 4 福井大橋	H02. 05. 12 H02. 09. 14	サーバーネットによる採集
		本川下流	St. 5	No. 5 天池橋	H02. 05. 12 H02. 09. 14	サーバーネットによる採集
		支川	St. 6	No. 6 永平寺川	H02. 05. 12 H02. 09. 14	サーバーネットによる採集
平成3年度 (1991年)	平成3年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	湛水域内	St. 7	No. 1 下浄法寺	H03. 05. 13 H03. 08. 05 H03. 09. 04 H03. 11. 01 H04. 02. 01	サーバーネットによる採集
		本川下流	St. 3	No. 2 鳴鹿堰堤下流	H03. 05. 13 H03. 08. 05 H03. 09. 04 H03. 11. 01 H04. 02. 01	サーバーネットによる採集
		本川下流	St. 8	No. 3 五松橋下流	H03. 05. 13 H03. 08. 05 H03. 09. 04 H03. 11. 01 H04. 02. 01	サーバーネットによる採集
		支川	St. 9	No. 4 永平寺川	H03. 05. 13 H03. 08. 05 H03. 09. 04 H03. 11. 01 H04. 02. 01	サーバーネットによる採集
	平成3年度 九頭竜川中流域水生生物調査(その2)作業報告書	湛水域内	St. 10	鳴鹿大橋上流	H03. 11. 18	サーバーネットによる採集
		湛水域内	St. 11	鳴鹿大橋下流	H03. 11. 18	サーバーネットによる採集
平成4年度 (1992年)	平成4年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川上流	St. 7	No. 1 下浄法寺	H04. 05. 22 H04. 08. 04 H04. 11. 04	サーバーネットによる採集
		本川下流	St. 3	No. 2 鳴鹿堰下流	H04. 05. 22 H04. 08. 04 H04. 11. 04	サーバーネットによる採集
		本川下流	St. 8	No. 3 五松橋	H04. 05. 22 H04. 08. 04 H04. 11. 04	サーバーネットによる採集
		湛水域内	St. 10	鳴鹿大橋上流	H04. 05. 29 H04. 08. 05	サーバーネットによる採集
		湛水域内	St. 11	鳴鹿大橋下流	H04. 05. 29 H04. 08. 05	サーバーネットによる採集

表 6.1-4(2) 鳴鹿大堰周辺底生動物調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成5年度 (1993年)	平成5年度 九頭竜川河川水辺生物調査業務報告書 (底生動物) ※水国：1巡目	本川上流	St. 2	中角付近	H05.04.23 H05.08.09 H05.11.01	コドラートによる採集(定量) タモ網及び大型のふるいによる採集(定性)
		本川上流	St. 3	福井大橋付近	H05.04.26 H05.08.09 H05.11.02	コドラートによる採集(定量) タモ網及び大型のふるいによる採集(定性)
		本川上流	St. 4	五松橋付近	H05.04.26 H05.08.09 H05.11.02	コドラートによる採集(定量) タモ網及び大型のふるいによる採集(定性)
		本川上流	St. 5	鳴鹿堰直下流	H05.04.26 H05.08.25 H05.11.01	コドラートによる採集(定量) タモ網及び大型のふるいによる採集(定性)
		湛水域内	St. 6	鳴鹿堰湛水域	H05.04.22 H05.08.22 H05.11.04	コドラートによる採集(定量) タモ網及び大型のふるいによる採集(定性)
		湛水域内	St. 7	鳴鹿堰湛水上流端	H05.04.22 H05.08.25 H05.11.01	コドラートによる採集(定量) タモ網及び大型のふるいによる採集(定性)
平成6年度 (1994年)	平成6年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川下流	St. 8	St. 1 五松橋	H06.08.20 H06.08.23 H06.10.15 H06.10.17	サーバーネットによる採集(定量)6ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(定性)3ヶ所以上
		本川下流	St. 3	St. 2 鳴鹿大堰建設工事区間直下流	H06.08.20 H06.08.23 H06.10.15 H06.10.17	サーバーネットによる採集(定量)6ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(定性)3ヶ所以上
		湛水域内	St. 12	St. 3 鳴鹿堰堤湛水域	H06.08.20 H06.08.23 H06.10.15 H06.10.17	コドラート(50cm×50cm)による採集3ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(定性)3ヶ所以上
		湛水域内	St. 13	St. 4 鳴鹿堰堤湛水部上流端	H06.08.20 H06.08.23 H06.10.15 H06.10.17	サーバーネットによる採集(定量)6ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(定性)3ヶ所以上
平成7年度 (1995年)	平成7年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川下流	St. 8	St. 1 五松橋	H07.05.06 H07.05.08 H07.08.20 H07.08.23 H07.10.28 H07.10.30	サーバーネットによる採集(定量)6ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(定性)3ヶ所以上
		本川下流	St. 3	St. 2 鳴鹿大堰建設工事区間直下流	H07.05.06 H07.05.08 H07.08.20 H07.08.23 H07.10.28 H07.10.30	サーバーネットによる採集(定量)6ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(定性)3ヶ所以上
		湛水域内	St. 12	St. 3 鳴鹿堰堤湛水域	H07.05.06 H07.05.08 H07.08.20 H07.08.23 H07.10.28 H07.10.30	コドラート(50cm×50cm)による採集3ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(定性)3ヶ所以上
		湛水域内	St. 13	St. 4 鳴鹿堰堤湛水部上流端	H07.05.06 H07.05.08 H07.08.20 H07.08.23 H07.10.28 H07.10.30	サーバーネットによる採集(定量)6ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(定性)3ヶ所以上

表 6.1-4(3) 鳴鹿大堰周辺底生動物調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成8年度 (1996年)	平成8年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川下流	St. 8	St. 1 五松橋	H08. 04. 25 H08. 05. 03 H08. 08. 23、24 H08. 10. 25、26	サーバーネットによる採集(定量)6ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(底性)3ヶ所以上
		本川下流	St. 3	St. 2 鳴鹿大堰建設工事区間直下流	H08. 04. 25 H08. 05. 03 H08. 08. 23、24 H08. 10. 25、26	サーバーネットによる採集(定量)6ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(底性)3ヶ所以上
		湛水域内	St. 12	St. 3 鳴鹿堰堤湛水域	H08. 04. 25 H08. 05. 03 H08. 08. 23、24 H08. 10. 25、26	コドラート(50cm×50cm)による採集3ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(底性)3ヶ所以上
		湛水域内	St. 13	St. 4 鳴鹿堰堤湛水域上流端	H08. 04. 25 H08. 05. 03 H08. 08. 23、24 H08. 10. 25、26	サーバーネットによる採集(定量)6ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(底性)3ヶ所以上
平成9年度 (1997年)	平成9年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川下流	St. 8	St. 1 五松橋	H09. 08. 19 H09. 08. 20 H09. 10. 31	サーバーネットによる採集(定量)6ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(底性)3ヶ所以上
		本川下流	St. 3	St. 2 鳴鹿大堰建設工事区間直下流	H09. 08. 19 H09. 08. 20 H09. 10. 31	サーバーネットによる採集(定量)6ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(底性)3ヶ所以上
		湛水域内	St. 12	St. 3 鳴鹿堰堤湛水域	H09. 08. 19 H09. 08. 20 H09. 10. 31	コドラート(50cm×50cm)による採集3ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(底性)3ヶ所以上
		湛水域内	St. 13	St. 4 鳴鹿堰堤湛水域上流端	H09. 08. 19 H09. 08. 20 H09. 10. 31	サーバーネットによる採集(定量)6ヶ所 ハンドネット(0.1mm目)、タモ網(1mm目)による採集(底性)3ヶ所以上
平成10年度 (1998年)	平成10年度 九頭竜川水系底生動物調査報告書 ※水国：2巡目	本川下流	九九福. 2	中角橋付近	H10. 04. 28 H10. 08. 24 H10. 11. 05	サーバーネット(定量) ハンドネット(底性)
		本川下流	九九福. 3	福井大橋付近	H10. 04. 28 H10. 08. 24 H10. 11. 05	サーバーネット(定量) ハンドネット(底性)
		本川下流	九九福. 4	五松橋付近	H10. 04. 27 H10. 08. 25 H10. 11. 04	サーバーネット(定量) ハンドネット(底性)
		本川下流	九九福. 5	鳴鹿大堰建設工事区間直下流	H10. 04. 27 H10. 08. 25 H10. 11. 04	サーバーネット(定量) ハンドネット(底性)
		湛水域内	九九福. 6	鳴鹿堰堤湛水域	H10. 04. 27 H10. 08. 25 H10. 11. 04	50cm 枠コドラート ハンドネット(底性)
		湛水域内	九九福. 7	鳴鹿堰堤湛水域上流端	H10. 04. 27 H10. 08. 25 H10. 11. 04	サーバーネット(定量) ハンドネット(底性)

表 6.1-4(4) 鳴鹿大堰周辺底生動物調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成11年度 (1999年)	平成11年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	本川下流	St. 14	St. 1 中角橋付近	H11.06.01~02 H11.10.25~27	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 15	St. 2 九頭竜川距離標21km付近	H11.06.01~02 H11.10.25~27	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 16	St. 3 九頭竜川距離標24m付近	H11.06.01~02 H11.10.25~27	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 17	St. 4 九頭竜川距離標26km付近	H11.06.01~02 H11.10.25~27	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		湛水域内	St. 18	St. 5 鳴鹿橋付近	H11.06.01~02 H11.10.25~27	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川上流	St. 19	St. 6 光明寺	H11.06.01~02 H11.10.25~27	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
平成12年度 (2000年)	平成12年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	本川下流	St. 14	St. 1 中角橋付近	H12.05.22~23 H12.10.26~27	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 15	St. 2 九頭竜川距離標21km付近	H12.05.22~23 H12.10.26~27	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 16	St. 3 九頭竜川距離標24m付近	H12.05.22~23 H12.10.26~27	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 17	St. 4 九頭竜川距離標26km付近	H12.05.22~23 H12.10.26~27	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		湛水域内	St. 18	St. 5 鳴鹿橋付近	H12.05.22~23 H12.10.26~27	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		湛水域内	St. 20	St. 5-1 鳴鹿堰堤直上流右岸	H12.05.22~23 H12.10.26~27	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所
		本川上流	St. 19	St. 6 光明寺付近	H12.05.22~23 H12.10.26~27	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度

表 6.1-4(5) 鳴鹿大堰周辺底生動物調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成13年度 (2001年)	平成13年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	本川下流	St. 14	St. 1 中角橋付近	H13. 05. 07~08 H13. 10. 22、 23、29	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 15	St. 2 九頭竜川距離標21km付近	H13. 05. 07~08 H13. 10. 22、 23、29	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 16	St. 3 九頭竜川距離標24m付近	H13. 05. 07~08 H13. 10. 22、 23、29	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 17	St. 4 九頭竜川距離標26km付近	H13. 05. 07~08 H13. 10. 22、 23、29	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		湛水域内	St. 18	St. 5 鳴鹿橋付近	H13. 05. 07~08 H13. 10. 22、 23、29	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		湛水域内	St. 21	St. 5-1 鳴鹿大堰直上流	H13. 05. 07~08 H13. 10. 22、 23、29	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所
		本川上流	St. 19	St. 6 光明寺付近	H13. 05. 07~08 H13. 10. 22、 23、29	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
平成14年度 (2002年)	平成14年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	本川下流	St. 14	St. 1 中角橋付近	H14. 05. 15~16 H14. 10. 22~24	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 15	St. 2 九頭竜川距離標21km付近	H14. 05. 15~16 H14. 10. 22~24	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 16	St. 3 九頭竜川距離標24m付近	H14. 05. 15~16 H14. 10. 22~24	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 17	St. 4 九頭竜川距離標26km付近	H14. 05. 15~16 H14. 10. 22~24	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		湛水域内	St. 18	St. 5 鳴鹿橋付近	H14. 05. 15~16 H14. 10. 22~24	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		湛水域内	St. 20	St. 5-1 鳴鹿大堰直上流	H14. 05. 15~16 H14. 10. 22~24	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川上流	St. 19	St. 6 光明寺付近	H14. 05. 15~16 H14. 10. 22~24	コドラート(50cm×50cm)による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm目)による採集(定性)3ヶ所程度

表 6.1-4(6) 鳴鹿大堰周辺底生動物調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成 15 年度 (2003 年)	平成 15 年度 九頭竜川中流部水生生物調査業務報告書	本川下流	St. 14	St. 1 中角橋付近	H15. 05. 19~20 H15. 10. 23~24	コドラート (50cm×50cm) による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm 目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 15	St. 2 九頭竜川距離標 21km 付近	H15. 05. 19~20 H15. 10. 23~24	コドラート (50cm×50cm) による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm 目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 16	St. 3 九頭竜川距離標 24m 付近	H15. 05. 19~20 H15. 10. 23~24	コドラート (50cm×50cm) による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm 目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川下流	St. 17	St. 4 九頭竜川距離標 26km 付近	H15. 05. 19~20 H15. 10. 23~24	コドラート (50cm×50cm) による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm 目)による採集(定性)3ヶ所程度
		湛水域内	St. 18	St. 5 鳴鹿橋付近	H15. 05. 19~20 H15. 10. 23~24	コドラート (50cm×50cm) による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm 目)による採集(定性)3ヶ所程度
		湛水域内	St. 21	St. 5-1 鳴鹿大堰直上流	H15. 05. 19~20 H15. 10. 23~24	コドラート (50cm×50cm) による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm 目)による採集(定性)3ヶ所程度
		本川上流	St. 19	St. 6 光明寺付近	H15. 05. 19~20 H15. 10. 23~24	コドラート (50cm×50cm) による採集(定量)3ヶ所 ハンドネット(0.5mm 目)による採集(定性)3ヶ所程度
	平成 15 年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務底生動物調査報告書 ※水国 : 3 巡目	本川下流	St. 14	九九福 2 中角橋付近	H15. 05. 14~16 H15. 08. 18~23 H15. 11. 25~27	サーバーネット (50×50cm) による採集(定量)4ヶ所 タモ網(2mm)、サーバーネットによる採集(定性)6~7ヶ所
		本川下流	St. 4	九九福 3 福井大橋付近	H15. 05. 14~16 H15. 08. 18~23 H15. 11. 25~27	サーバーネット (50×50cm) による採集(定量)4ヶ所 タモ網(2mm)、サーバーネットによる採集(定性)6~7ヶ所
		本川下流	St. 8	九九福 4 五松橋付近	H15. 05. 14~16 H15. 08. 18~23 H15. 11. 25~27	サーバーネット (50×50cm) による採集(定量)4ヶ所 タモ網(2mm)、サーバーネットによる採集(定性)6~7ヶ所

定期報告書

6. 生物

表 6.1-4(7) 鳴鹿大堰周辺底生動物調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成 16 年度 (2004 年)	平成 16 年度 九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務報告書	本川下流	St. 14	St. 1 中角橋付近	H16.06.02~03 H16.10.18~19 H17.02.08	サーバーネット(50×50cm)による採集(定量)3ヶ所 タモ網(0.5mm)による採集(定性)3ヶ所
		本川下流	St. 15	St. 2 九頭竜川距離標 21km 付近	H16.06.02~03 H16.10.18~19 H17.02.08	サーバーネット(50×50cm)による採集(定量)3ヶ所 タモ網(0.5mm)による採集(定性)3ヶ所
		本川下流	St. 16	St. 3 九頭竜川距離標 24m 付近	H16.06.02~03 H16.10.18~19 H17.02.08	サーバーネット(50×50cm)による採集(定量)3ヶ所 タモ網(0.5mm)による採集(定性)3ヶ所
		本川下流	St. 17	St. 4 九頭竜川距離標 26km 付近	H16.06.02~03 H16.10.18~19 H17.02.08	サーバーネット(50×50cm)による採集(定量)3ヶ所 タモ網(0.5mm)による採集(定性)3ヶ所
		湛水域内	St. 18	St. 5 鳴鹿橋付近	H16.06.02~03 H16.10.18~19 H17.02.08	サーバーネット(50×50cm)による採集(定量)3ヶ所 タモ網(0.5mm)による採集(定性)3ヶ所
		湛水域内	St. 21	St. 5-1 鳴鹿大堰直上流	H16.06.02~03 H16.10.18~19 H17.02.08	サーバーネット(50×50cm)による採集(定量)3ヶ所 タモ網(0.5mm)による採集(定性)3ヶ所
		本川上流	St. 19	St. 6 光明寺付近	H16.06.02~03 H16.10.18~19 H17.02.08	サーバーネット(50×50cm)による採集(定量)3ヶ所 タモ網(0.5mm)による採集(定性)3ヶ所
平成 17 年度 (2005 年)	平成 17 年度 鳴鹿大堰環境調査業務報告書	湛水域内	St. 21	鳴鹿大堰直上流	H17.06.08 H17.10.17	サーバーネット(50×50cm)による採集(定量)3ヶ所 タモ網(0.5mm)による採集(定性)3ヶ所
		湛水域内	St. 18	鳴鹿橋	H17.06.08 H17.10.17	サーバーネット(50×50cm)による採集(定量)3ヶ所 タモ網(0.5mm)による採集(定性)3ヶ所
平成 18 年度 (2006 年)	平成 18 年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務底生動物調査報告書 ※水国：4 巡目	本川下流	St. 14	九九福 2 中角橋付近	H18.05.23~26 H18.08.08~11 H18.11.20~23	サーバーネット(定量) D フレームネット、サデ網、カニ籠、スコップ熊手(定性)
		本川下流	St. 4	九九福 3 福井大橋付近	H18.05.23~26 H18.08.08~11 H18.11.20~23	サーバーネット(定量) D フレームネット、サデ網、カニ籠、スコップ熊手(定性)
		本川下流	St. 8	九九福 4 五松橋付近	H18.05.23~26 H18.08.08~11 H18.11.20~23	サーバーネット(定量) D フレームネット、サデ網、カニ籠、スコップ熊手(定性)
	平成 18 年度鳴鹿大堰フォローアップ調査業務報告書	湛水域内	St. 21	鳴鹿大堰直上流	H18.05.18 H18.11.21	コドラートによる採集(定量) タモ網による採集(定性)
		湛水域内	St. 18	鳴鹿橋	H18.05.18 H18.11.21	コドラートによる採集(定量) タモ網による採集(定性)
平成 19 年度 (2007 年)	平成 19 年度鳴鹿大堰フォローアップ調査業務報告書	湛水域内	St. 21	鳴鹿大堰直上流	H19.05.24 H19.10.23	コドラートによる採集(定量) タモ網による採集(定性)
		湛水域内	St. 18	鳴鹿橋	H19.05.24 H19.10.23	コドラートによる採集(定量) タモ網による採集(定性)
平成 20 年度 (2008 年)	平成 20 年度鳴鹿大堰フォローアップ調査業務報告書	湛水域内	St. 21	鳴鹿大堰直上流	H20.05.27 H20.10.30	コドラートによる採集(定量) タモ網による採集(定性)
		湛水域内	St. 18	鳴鹿橋	H20.05.27 H20.10.30	コドラートによる採集(定量) タモ網による採集(定性)
平成 21 年度 (2009 年)	平成 21 年度鳴鹿大堰フォローアップ調査業務報告書	湛水域内	St. 21	鳴鹿大堰直上流	H21.05.27 H21.10.21	コドラート付サーバーネットによる採集(定量) タモ網等による採集(定性)
		湛水域内	St. 18	鳴鹿橋	H21.05.27 H21.10.21	コドラート付サーバーネットによる採集(定量) タモ網等による採集(定性)

表 6.1-4(8) 鳴鹿大堰周辺底生動物調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成 23 年度 (2011 年)	平成 23 年度九頭 竜川水辺現地調査 (底生動物) 他業 務 報告書 ※水国 5 巡目	本川下流	St. 14	九九福 2 中角橋付近	H23. 06. 06~07 H23. 08. 30 H23. 11. 16~17	サーバーネット (定量) タモ網、サデ網、カニ籠、スコ ップ、熊手 (定性)
		本川下流	St. 4	九九福 3 福井大橋付近	H23. 06. 06~07 H23. 08. 30 H23. 11. 16~17	サーバーネット (定量) タモ網、サデ網、カニ籠、スコ ップ、熊手 (定性)
		本川下流	St. 8	九九福 4 五松橋付近	H23. 06. 06~07 H23. 08. 30 H23. 11. 16~17	サーバーネット (定量) タモ網、サデ網、カニ籠、スコ ップ、熊手 (定性)
	鳴鹿大堰フォー アッパ調査業務 報告書	湛水域内	St. 21	鳴鹿大堰直上 流	H23. 09. 01 H23. 10. 20	コドラート付サーバーネット による採集 (定量) タモ網等による採集 (定性)
		湛水域内	St. 18	鳴鹿橋	H23. 09. 01 H23. 10. 20	コドラート付サーバーネット による採集 (定量) タモ網等による採集 (定性)
平成 28 年度 (2016 年)	福井管内河川水辺 の国勢調査他業務 報告書 ※水国 6 巡目	本川下流	St. 14	九九福 2 中角橋付近	H28. 06. 06~08 H28. 08. 22~23 H28. 08. 29~30 H28. 11. 16~18	サーバーネット (定量) D フレームネット、ジョレン、 カニカゴ (定性)
		本川下流	St. 4	九九福 3 福井大橋付近	H28. 06. 06~08 H28. 08. 22~23 H28. 08. 29~30	サーバーネット (定量) D フレームネット、ジョレン、 カニカゴ (定性)
		本川下流	St. 8	九九福 4 五松橋付近	H28. 06. 06~08 H28. 08. 22~23 H28. 08. 29~30	サーバーネット (定量) D フレームネット、ジョレン、 カニカゴ (定性)
令和 3 年度 (2021 年)	福井管内河川水辺 の国勢調査他業務 報告書 ※水国 7 巡目	本川下流	St. 14	九九福 2 中角橋付近	R3. 5. 26~29 R3. 8. 9、23~26 R3. 11. 15~18	サーバーネット (定量) D フレームネット、カニカゴ
		本川下流	St. 4	九九福 3 福井大橋付近	R3. 5. 26~29 R3. 8. 9、23~26 R3. 11. 15~18	サーバーネット (定量)、 D フレームネット、カニカゴ
		本川下流	St. 8	九九福 4 五松橋付近	R3. 5. 26~29 R3. 8. 9、23~26 R3. 11. 15~18	サーバーネット (定量)、 D フレームネット、カニカゴ
		湛水域	St. 22	九九福 5 鳴鹿橋付近	R3. 5. 26~29 R3. 8. 9、23~26 R3. 11. 15~18	サーバーネット (定量)、 D フレームネット、カニカゴ



図 6.1-3 鳴鹿大堰周辺底生動物調査位置図

3) 植物

植物調査の調査内容を表 6.1-5(1)～(4)に、調査位置を図 6.1-4 に示す。

なお、本定期報告書とりまとめ対象期間(平成 31 年度～令和 4 年度)において、鳴鹿大堰周辺での植物相調査は実施されていない。

表 6.1-5(1) 鳴鹿大堰周辺植物調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成2年度 (1990年)	九頭竜川中流域動植物等調査業務報告書	全域	—	—		植生図作成調査(植生自然度)
						群落組成調査
						毎木調査
		本川下流	St. 1	1	H02. 08. 16～18 H02. 10. 16～18	植物相調査
		本川下流	St. 2	2	H02. 08. 16～18 H02. 10. 16～18	植物相調査
		湛水域内 本川上流	St. 3	3	H02. 08. 16～18 H02. 10. 16～18	植物相調査
		本川下流	St. 4	1	H03. 03. 30, 31 H03. 04. 30 H03. 05. 01	桜並木調査
		本川下流	St. 5	2	H03. 03. 30, 31 H03. 04. 30 H03. 05. 01	桜並木調査
		本川下流	St. 6	3	H03. 03. 30, 31 H03. 04. 30 H03. 05. 01	桜並木調査
		本川下流	St. 7	4	H03. 03. 30, 31 H03. 04. 30 H03. 05. 01	桜並木調査
本川下流	St. 8	5	H03. 03. 30, 31 H03. 04. 30 H03. 05. 01	桜並木調査		
平成3年度 (1991年)	九頭竜川中流域環境調査業務報告書	本川下流	St. 1	R1	H03. 04. 30 H03. 05. 01	植物相調査
		本川下流	St. 2	R2	H03. 04. 30 H03. 05. 01	植物相調査
		湛水域内 本川上流	St. 3	R3	H03. 04. 30 H03. 05. 01	植物相調査
		本川下流	St. 4	1	H03. 07. 24, 25	桜並木調査
		本川下流	St. 5	2	H03. 07. 24, 25	桜並木調査
		本川下流	St. 6	3	H03. 07. 24, 25	桜並木調査
		本川下流	St. 7	4	H03. 07. 24, 25	桜並木調査
		本川下流	St. 8	5	H03. 07. 24, 25	桜並木調査
	平成3年度 九頭竜川中流域水生生物調査(その2) 作業報告書	全域	—	—	H03. 11. 3, 7, 10, 17 H04. 01. 15	植物相調査
					H03. 11. 3, 7, 10, 17 H04. 01. 15	植生調査(群落調査)
				H03. 11. 3, 7, 10, 17 H04. 01. 15	植生分布調査	
				H03. 11. 13～18	沈水植物調査	
平成4年度 (1992年)	平成4年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書				H04. 05. 25～27 H04. 08. 01～02	沈水植物調査
平成5年度 (1993年)	平成5年度 九頭竜川中流域植物調査業務報告書		St. 9		H05. 08. 18～21 H05. 10. 14～16	植生分布調査
			St. 9		H05. 08. 20～21 H05. 10. 14～16	植物相調査
平成6年度 (1994年)	平成6年度 九頭竜川水系植物調査報告書 ※水国：1 巡目		St. 2	福井大橋付近	H06. 05. 04～05 H06. 06. 04～05 H06. 10. 15～16	植物相調査
		全域			H06. 7. 21～10. 28	植生分布調査
		全域			H06. 09. 10, 12, 18, 19, 21～23, 26 H06. 10. 2, 3, 5, 6, 8, 10, 12, 13, 17, 23, 28	群落組成調査

表 6.1-5(2) 鳴鹿大堰周辺植物調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成11年度 (1999年)	平成11年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	全域			H11.06.09~10 H11.06.12~14 H11.06.21、26 H11.09.13、16、27、30 H11.10.11、16、25 H11.11.28	植生分布調査
		本川下流	St.10	St.1 中角橋付近	H11.06.09~10 H11.06.12~14 H11.06.21、26 H11.09.13、16、27、30 H11.10.11、16、25 H11.11.28	植物相調査
		本川下流	St.11	St.2 九頭竜川距離標21km付近	H11.06.09~10 H11.06.12~14 H11.06.21、26 H11.09.13、16、27、30 H11.10.11、16、25 H11.11.28	植物相調査
		本川下流	St.12	St.3 九頭竜川距離標24m付近	H11.06.09~10 H11.06.12~14 H11.06.21、26 H11.09.13、16、27、30 H11.10.11、16、25 H11.11.28	植物相調査
		本川下流	St.13	St.4 九頭竜川距離標26km付近	H11.06.09~10 H11.06.12~14 H11.06.21、26 H11.09.13、16、27、30 H11.10.11、16、25 H11.11.28	植物相調査
		湛水域内	St.14	St.5 鳴鹿橋付近	H11.06.09~10 H11.06.12~14 H11.06.21、26 H11.09.13、16、27、30 H11.10.11、16、25 H11.11.28	植物相調査
		本川上流	St.15	St.6 光明寺	H11.06.09~10 H11.06.12~14 H11.06.21、26 H11.09.13、16、27、30 H11.10.11、16、25 H11.11.28	植物相調査
		本川下流	St.10	St.1 中角橋付近	H11.06.09~10 H11.06.12~14 H11.06.21、26 H11.09.13、16、27、30 H11.10.11、16、25 H11.11.28	植生断面調査
		本川下流	St.11	St.2 九頭竜川距離標21km付近	H11.06.09~10 H11.06.12~14 H11.06.21、26 H11.09.13、16、27、30 H11.10.11、16、25 H11.11.28	植生断面調査
		本川下流	St.12	St.3 九頭竜川距離標24m付近	H11.06.09~10 H11.06.12~14 H11.06.21、26 H11.09.13、16、27、30 H11.10.11、16、25 H11.11.28	植生断面調査

表 6.1-5(3) 鳴鹿大堰周辺植物調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成11年度 (1999年)	平成11年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	本川下流	St. 13	St. 4 九頭竜川距離標26km付近	H11. 06. 09~10 H11. 06. 12~14 H11. 06. 21、26 H11. 09. 13、16、27、30 H11. 10. 11、16、25 H11. 11. 28	植生断面調査
		湛水域内	St. 14	St. 5 鳴鹿橋付近	H11. 06. 09~10 H11. 06. 12~14 H11. 06. 21、26 H11. 09. 13、16、27、30 H11. 10. 11、16、25 H11. 11. 28	植生断面調査
		本川上流	St. 15	St. 6 光明寺	H11. 06. 09~10 H11. 06. 12~14 H11. 06. 21、26 H11. 09. 13、16、27、30 H11. 10. 11、16、25 H11. 11. 28	植生断面調査
		本川下流	St. 10	St. 1 中角橋付近	H11. 06. 09~10 H11. 06. 12~14 H11. 06. 21、26 H11. 09. 13、16、27、30 H11. 10. 11、16、25 H11. 11. 28	コドラート調査
		本川下流	St. 11	St. 2 九頭竜川距離標21km付近	H11. 06. 09~10 H11. 06. 12~14 H11. 06. 21、26 H11. 09. 13、16、27、30 H11. 10. 11、16、25 H11. 11. 28	コドラート調査
		本川下流	St. 12	St. 3 九頭竜川距離標24m付近	H11. 06. 09~10 H11. 06. 12~14 H11. 06. 21、26 H11. 09. 13、16、27、30 H11. 10. 11、16、25 H11. 11. 28	コドラート調査
		本川下流	St. 13	St. 4 九頭竜川距離標26km付近	H11. 06. 09~10 H11. 06. 12~14 H11. 06. 21、26 H11. 09. 13、16、27、30 H11. 10. 11、16、25 H11. 11. 28	コドラート調査
		湛水域内	St. 14	St. 5 鳴鹿橋付近	H11. 06. 09~10 H11. 06. 12~14 H11. 06. 21、26 H11. 09. 13、16、27、30 H11. 10. 11、16、25 H11. 11. 28	コドラート調査
		本川上流	St. 15	St. 6 光明寺	H11. 06. 09~10 H11. 06. 12~14 H11. 06. 21、26 H11. 09. 13、16、27、30 H11. 10. 11、16、25 H11. 11. 28	コドラート調査
		平成12年度 (2000年)	平成12年度 河川水辺生物調査業務(九頭竜川水系植物調査)報告書 ※水国：2巡目	全域		
					H12. 08. 22~25 H12. 10. 16~19	群落組成調査
	九九福F3				H12. 06. 07~09 H12. 10. 16~19	植物体調査
	九九福F4				H12. 06. 07~09 H12. 10. 16~19	植物体調査
全域					H12. 10. 16~19	植生断面調査

表 6.1-5(4) 鳴鹿大堰周辺植物調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成 13 年度 (2001 年)	平成 13 年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	湛水域内	St. 22	カワヂシャ移植地	H13. 09. 21	現況調査
		湛水域内	St. 17	低水護岸土地施工場所	H13. 09. 21	目視確認
平成 16 年度 (2004 年)	平成 16 年度 九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務報告書	湛水域内 本川上流	St. 19		H16. 10. 13~14	植生図作成
					H16. 10. 13~14	群落組成調査
		本川下流	St. 1	R1	H16. 06. 17~18 H16. 06. 25~26 H16. 08. 19~20 H16. 10. 12~13	植物相調査
		本川下流	St. 2	R2	H16. 06. 17~18 H16. 06. 25~26 H16. 08. 19~20 H16. 10. 12~13	植物相調査
		本川下流	St. 16	R3	H16. 06. 17~18 H16. 06. 25~26 H16. 08. 19~20 H16. 10. 12~13	植物相調査
		湛水域内	St. 23	R4	H16. 06. 17~18 H16. 06. 25~26 H16. 08. 19~20 H16. 10. 12~13	植物相調査
		本川下流	St. 3	R5	H16. 06. 17~18 H16. 06. 25~26 H16. 08. 19~20 H16. 10. 12~13	植物相調査
		湛水域内	St. 22	カワヂシャ移植地	H16. 06. 17~18 H16. 06. 25~26 H16. 08. 19~20 H16. 10. 12~13	踏査、確認種の記録
		湛水域内	St. 18	ピオトープ	H16. 06. 17~18 H16. 06. 25~26 H16. 08. 19~20 H16. 10. 12~13	踏査、確認種の記録
		平成 17 年度 (2005 年)	平成 17 年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務報告書 ※水国 : 3 巡目	全域		
全域					H17. 09. 12~16	群落組成調査
本川下流	St. 20			九九福 F3 福井大橋付近	H17. 05. 25~27 H17. 08. 10~12 H17. 09. 12~16 H17. 10. 11~13	植物相調査
本川下流	St. 21			九九福 F4 福井大橋付近	H17. 05. 25~27 H17. 08. 10~12 H17. 09. 12~16 H17. 10. 11~13	植物相調査
本川下流	St. 20			九九福 F3 福井大橋付近	H17. 05. 25~27 H17. 08. 10~12 H17. 10. 11~13	植生断面調査
本川下流	St. 21			九九福 F4 福井大橋付近	H17. 05. 25~27 H17. 08. 10~12 H17. 10. 11~13	植生断面調査
平成 26 年度 (2014 年)	九頭竜川河川水辺現地調査(植物)他業務報告書 ※水国 4 巡目	本川下流	St. 20	九九福 F3 福井大橋付近	H26. 05. 29~30 H26. 08. 06~08 H26. 10. 07~09	植物相調査
		本川下流	St. 21	九九福 F4 福井大橋付近	H26. 05. 29~30 H26. 08. 06~08 H26. 10. 07~09	植物相調査
令和 2 年度 (2020 年)	福井管内河川水辺の国勢調査他業務	全域			R2. 10. 19~24	植生図作成調査 群落組成調査 植生断面調査

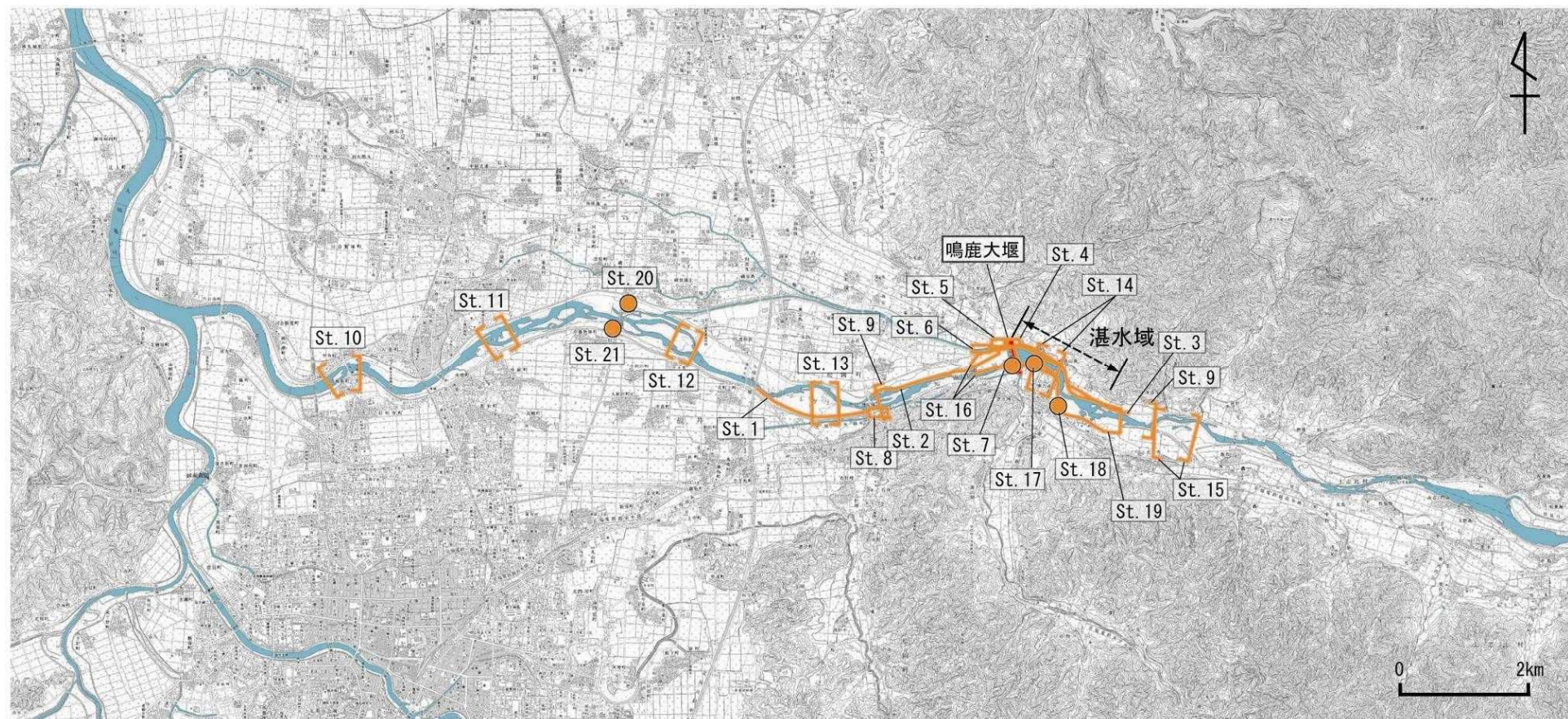


図 6.1-4 鳴鹿大堰周辺植物調査位置図

定期報告書

6. 生物

4) 鳥類

鳥類調査の調査内容を表 6.1-6(1)～(3)に、調査位置を図 6.1-5 に示す。

なお、本定期報告書とりまとめ対象期間(平成 31 年度～令和 4 年度)において、鳴鹿大堰周辺での鳥類調査は実施されていない。

表 6.1-6(1) 鳴鹿大堰周辺鳥類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成2年度 (1990年)	九頭竜川中流域動物等調査業務報告書	本川下流	St. 1	1	H02. 08. 17～18 H02. 10. 16～17 H03. 01. 10～11	ルートセンサス調査
		本川下流	St. 2	2	H02. 08. 17～18 H02. 10. 16～17 H03. 01. 10～11	ルートセンサス調査
		湛水域内 本川上流	St. 3	3	H02. 08. 17～18 H02. 10. 16～17 H03. 01. 10～11	ルートセンサス調査
		本川下流	St. 4	P1	H02. 08. 17～18 H02. 10. 16～17 H03. 01. 10～11	ポイントセンサス調査
		本川下流	St. 5	P2	H02. 08. 17～18 H02. 10. 16～17 H03. 01. 10～11	ポイントセンサス調査
		湛水域内	St. 6	P3	H02. 08. 17～18 H02. 10. 16～17 H03. 01. 10～11	ポイントセンサス調査
平成3年度 (1991年)	九頭竜川中流域環境調査業務報告書	本川下流	St. 1	R1	H03. 04. 30 H03. 05. 01 H03. 05. 27～28	ルートセンサス調査
		本川下流	St. 2	R2	H03. 04. 30 H03. 05. 01 H03. 05. 27～28	ルートセンサス調査
		湛水域内 本川上流	St. 3	R3	H03. 04. 30 H03. 05. 01 H03. 05. 27～28	ルートセンサス調査
		湛水域内	St. 4	P1	H03. 04. 30 H03. 05. 01 H03. 05. 27～28	ポイントセンサス調査
		本川下流	St. 5	P2	H03. 04. 30 H03. 05. 01 H03. 05. 27～28	ポイントセンサス調査
		湛水域内	St. 6	P3	H03. 04. 30 H03. 05. 01 H03. 05. 27～28	ポイントセンサス調査
平成5年度 (1993年)	平成5年度 九頭竜川河川水辺生物調査業務報告書(鳥類) ※水国: 1 巡目	本川下流	St. 2	福井大橋～九頭竜橋	H05. 05. 05 H05. 06. 17、20 H05. 11. 04 H06. 01. 24、28	ラインセンサス法 定点記録法
		本川上流 湛水域内 本川下流	St. 3	松岡町志比境地先～永平寺町下浄法寺地先	H05. 05. 01 H05. 06. 16 H05. 11. 03 H06. 01. 16、26	ラインセンサス法 定点記録法
平成11年度 (1999年)	平成11年度 河川水辺生物調査業務報告書(九頭竜川水系鳥類調査) ※水国: 2 巡目	本川下流	九九福2	九頭竜橋～福井大橋	H11. 05. 8 H11. 06. 28 H11. 09. 23 H11. 11. 03 H12. 01. 18	ラインセンサス法 定点記録法
		湛水域内 本川上流	九九福3	五松橋～直轄管理区間上流端	H11. 05. 6 H11. 06. 28 H11. 09. 21 H11. 11. 04 H12. 01. 19	ラインセンサス法 定点記録法

表 6.1-6(2) 鳴鹿大堰周辺鳥類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成 11 年度 (1999 年)	平成 11 年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	本川下流	St. 8	St. 1 九頭竜川距離標 15.3~19.8km	H11. 07. 01, 02 H11. 09. 25, 26, 28 H11. 10. 22~25 H12. 01. 22~24	ラインセンサス調査 定位観測調査 任意観察調査
		本川下流	St. 9	St. 1 九頭竜川距離標 23.8~27.2km	H11. 07. 01, 02 H11. 09. 25, 26, 28 H11. 10. 22~25 H12. 01. 22~24	ラインセンサス調査 定位観測調査 任意観察調査
		本川上流	St. 10	St. 1 九頭竜川距離標 31.2~32.8km	H11. 07. 01, 02 H11. 09. 25, 26, 28 H11. 10. 22~25 H12. 01. 22~24	ラインセンサス調査 定位観測調査 任意観察調査
平成 16 年度 (2004 年)	平成 16 年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務報告書 鳥類 ※水国 : 3 巡目	本川下流	St. 11	九九福 2 九頭竜橋 ~ 福井大橋	(鳥類分布状況調査) H16. 05. 9, 11, 12, 14, 15 H16. 06. 18~21 H16. 09. 3, 4, 6 H16. 10. 12, 16, 18, 22 H16. 12. 1~3, 6, 7, 9, 10 (鳥類集団分布地調査) H16. 06. 09, 10 H16. 10. 06, 10, 18 H16. 11. 11 H16. 12. 01 H17. 01. 09, 18	ラインセンサス法 定点記録法
		本川下流	St. 12	九九福 3 九頭竜川橋 ~ 五松橋	(鳥類分布状況調査) H16. 05. 9, 11, 12, 14, 15 H16. 06. 18~21 H16. 09. 3, 4, 6 H16. 10. 12, 16, 18, 22 H16. 12. 1~3, 6, 7, 9, 10 (鳥類集団分布地調査) H16. 06. 09, 10 H16. 10. 06, 10, 18 H16. 11. 11 H16. 12. 01 H17. 01. 09, 18	ラインセンサス法 定点記録法
		湛水域内 本川上流	St. 13	九九福 4 五松橋 ~ 直轄管理区間上流端	(鳥類分布状況調査) H16. 05. 9, 11, 12, 14, 15 H16. 06. 18~21 H16. 09. 3, 4, 6 H16. 10. 12, 16, 18, 22 H16. 12. 1~3, 6, 7, 9, 10 (鳥類集団分布地調査) H16. 06. 09, 10 H16. 10. 06, 10, 18 H16. 11. 11 H16. 12. 01 H17. 01. 09, 18	ラインセンサス法 定点記録法

表 6.1-6(3) 鳴鹿大堰周辺鳥類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成 25 年度 (2013 年)	九頭竜川河川水辺 現地調査(鳥類) 他業務報告書 ※水国：4 巡目	本川下流	旧 St. 11	旧九九福 2 九頭竜橋～福 井大橋 九九福 20L ～23L 九九福 20R ～23R	(鳥類分布状況調査) H25. 05. 15～17 H25. 06. 03～05 H25. 10. 07～09 H25. 12. 17～19 (鳥類集団分布地調査) H25. 06. 05 H25. 10. 07～08 H25. 12. 17～19	スポットセンサス法 集団分布地調査 移動中等
		本川下流	旧 St. 12	旧九九福 3 九頭竜川橋～ 五松橋 九九福 26L ～27L 九九福 26R ～27R	(鳥類分布状況調査) H25. 05. 15～17 H25. 06. 03～05 H25. 10. 07～09 H25. 12. 17～19 (鳥類集団分布地調査) H25. 06. 05 H25. 10. 07～08 H25. 12. 17～19	スポットセンサス法 集団分布地調査 移動中等
		湛水域内 本川上流	旧 St. 13	旧九九福 4 五松橋～直轄 管理区間上流 端 九九福 28L ～31L 九九福 28R ～31R	(鳥類分布状況調査) H25. 05. 15～17 H25. 06. 03～05 H25. 10. 07～09 H25. 12. 17～19 (鳥類集団分布地調査) H25. 06. 05 H25. 10. 07～08 H25. 12. 17～19	スポットセンサス法 集団分布地調査 移動中等

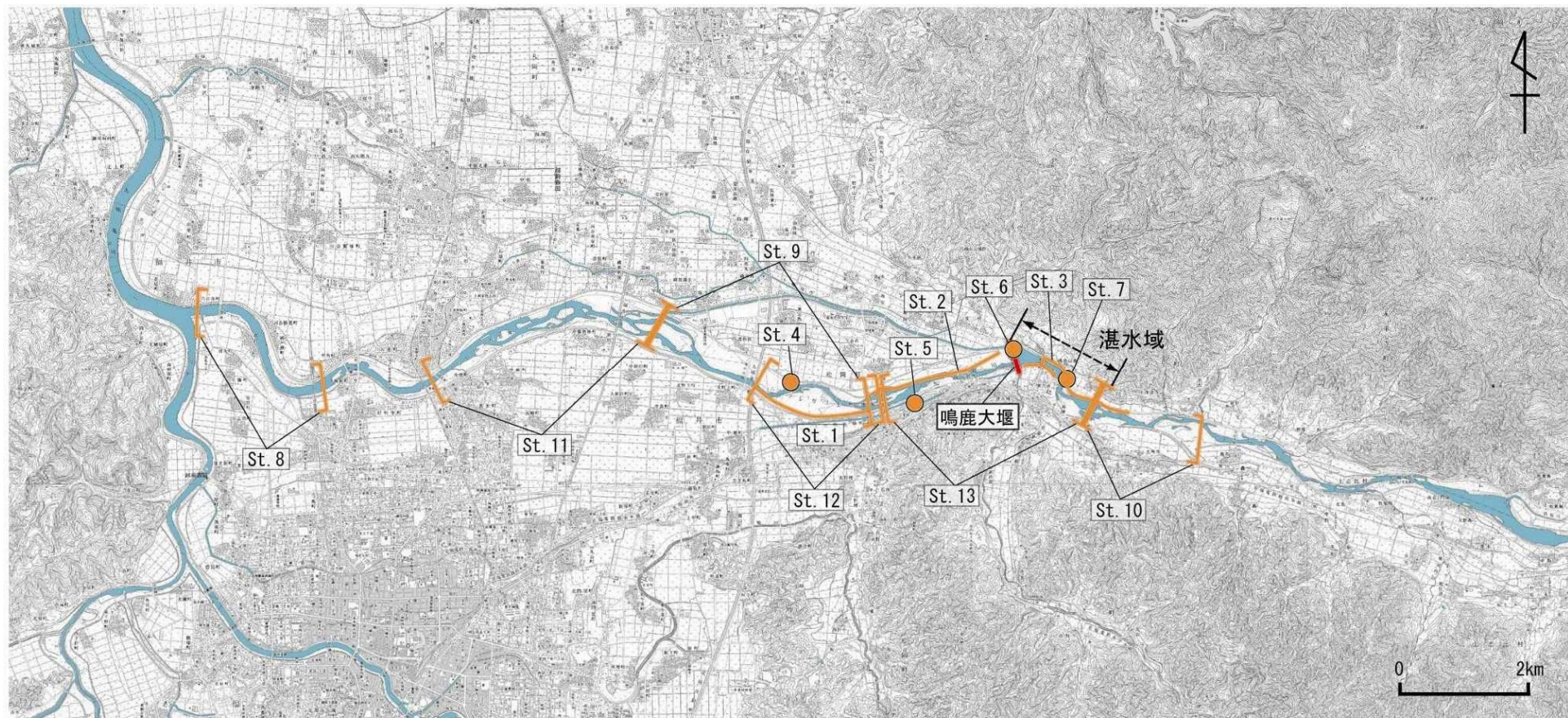


図 6.1-5 鳴鹿大堰周辺鳥類調査位置図

定期報告書

6. 生物

5) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類・爬虫類・哺乳類調査の調査内容を表 6.1-7(1)～(3)、表 6.1-8(1)～(3)に、調査位置を図 6.1-6 に示す。

表 6.1-7(1) 鳴鹿大堰周辺両生類・爬虫類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成2年度 (1990年)	九頭竜川中流域動植物等調査業務報告書	本川下流	St.1	1	H02.08.16～19 H02.10.16～18	ルート踏査調査
		本川下流	St.2	2	H02.08.16～19 H02.10.16～18	ルート踏査調査
		湛水域内 本川上流	St.3	3	H02.08.16～19 H02.10.16～18	ルート踏査調査
平成3年度 (1991年)	平成3年度 九頭竜川水系小動物調査報告書 (本編) ※水国：1巡目	本川下流	s t . ☆1	福井大橋付近	H03.7.26、29、30 H03.08.01 H03.10.5、6	目撃法 鳴き声による確認
		九頭竜川中流域環境調査業務報告書	本川下流	St.1	R1	H03.05.27～28
	九頭竜川中流域環境調査業務報告書	本川下流	St.2	R2	H03.05.27～28	ルート踏査調査
		湛水域内 本川上流	St.3	R3	H03.05.27～28	ルート踏査調査
平成8年度 (1996年)	平成8年度 九頭竜川水系両生類・爬虫類・哺乳類調査報告書 ※水国：2巡目	本川下流	St.3	福井大橋周辺	H08.06.05 H08.07.18 H08.08.30 H08.10.12、15～18	捕獲確認、目撃法、 鳴き声(カエル類)、 脱皮殻(ヘビ類)
		本川下流	St.4	五松橋周辺	H08.06.06 H08.07.20 H08.08.30 H08.10.15～16	捕獲確認、目撃法、 鳴き声(カエル類)、 脱皮殻(ヘビ類)
平成13年度 (2001年)	平成13年度 河川水辺生物調査業務(九頭竜川水系両生類・爬虫類・哺乳類調査)報告書 ※水国：3巡目	本川下流	St.7	九九福3 福井大橋周辺	H13.05.28～06.01 H13.07.16～19 H13.08.01～04 H13.09.20～23 H13.10.25～28	両生類：捕獲確認、 目撃法、鳴き声による確認 爬虫類：捕獲確認、 目撃法、脱皮殻などによる確認、 トラップ法(カニ筆)
		本川下流	St.8	九九福4 五松橋周辺	H13.05.28～06.01 H13.07.16～19 H13.08.01～04 H13.09.20～23 H13.10.25～28	両生類：捕獲確認、 目撃法、鳴き声による確認 爬虫類：捕獲確認、 目撃法、脱皮殻などによる確認、 トラップ法(カニ筆)

表 6.1-7(2) 鳴鹿大堰周辺両生類・爬虫類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成16年度 (2004年)	平成16年度 九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務報告書	本川下流	St. 1	R1	H16. 06. 23~25, 29 H16. 08. 12~14 H16. 10. 07~08 H16. 11. 05~06 H16. 02. 06~08	目撃法、フィールドサイン法、鳴き声確認法
		本川下流	St. 2	R2	H16. 06. 23~25, 29 H16. 08. 12~14 H16. 10. 07~08 H16. 11. 05~06 H16. 02. 06~08	目撃法、フィールドサイン法、鳴き声確認法
		本川下流	St. 9	R3	H16. 06. 23~25, 29 H16. 08. 12~14 H16. 10. 07~08 H16. 11. 05~06 H16. 02. 06~08	目撃法、フィールドサイン法、鳴き声確認法
		本川下流	St. 10	R4	H16. 06. 23~25, 29 H16. 08. 12~14 H16. 10. 07~08 H16. 11. 05~06 H16. 02. 06~08	目撃法、フィールドサイン法、鳴き声確認法
		湛水域内 本川上流	St. 3	R5	H16. 06. 23~25, 29 H16. 08. 12~14 H16. 10. 07~08 H16. 11. 05~06 H16. 02. 06~08	目撃法、フィールドサイン法、鳴き声確認法
		湛水域内	St. 11	ビオトープ	H16. 06. 23~25, 29 H16. 08. 12~14 H16. 10. 07~08 H16. 11. 05~06 H16. 02. 06~08	目撃法、フィールドサイン法、鳴き声確認法
		本川下流	St. 4	M1	H16. 06. 23~25, 29 H16. 08. 12~14 H16. 10. 07~08 H16. 11. 05~06 H16. 02. 06~08	トラップ法
		本川下流	St. 5	M2	H16. 06. 23~25, 29 H16. 08. 12~14 H16. 10. 07~08 H16. 11. 05~06 H16. 02. 06~08	トラップ法
		本川下流	St. 12	M3-1	H16. 06. 23~25, 29 H16. 08. 12~14 H16. 10. 07~08 H16. 11. 05~06 H16. 02. 06~08	トラップ法
		本川下流	St. 13	M3-2	H16. 06. 23~25, 29 H16. 08. 12~14 H16. 10. 07~08 H16. 11. 05~06 H16. 02. 06~08	トラップ法
		湛水域内	St. 14	M4-1	H16. 06. 23~25, 29 H16. 08. 12~14 H16. 10. 07~08 H16. 11. 05~06 H16. 02. 06~08	トラップ法
		湛水域内	St. 15	M4-2	H16. 06. 23~25, 29 H16. 08. 12~14 H16. 10. 07~08 H16. 11. 05~06 H16. 02. 06~08	トラップ法
		湛水域内	St. 6	M5	H16. 06. 23~25, 29 H16. 08. 12~14 H16. 10. 07~08 H16. 11. 05~06 H16. 02. 06~08	トラップ法

表 6.1-7(3) 鳴鹿大堰周辺両生類・爬虫類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成21年度 (2009年)	平成21年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務(両生類・爬虫類・哺乳類)報告書 ※水国：4巡目	本川下流	St. 7	九九福3 福井大橋 付近	H21.05.25~29 H21.07.06~10 H21.09.28 ~ 10.02	目撃法、フィールドサイン法、鳴き声確認法、捕獲法
		湛水域内	St. 16	九九福4 鳴鹿橋付 近	H21.05.25~29 H21.07.06~10 H21.09.28~10.02	目撃法、フィールドサイン法、鳴き声確認法、捕獲法
令和元年度 (2019年)	福井管内河川水辺の国勢調査他業務報告書	本川下流	St. 7	九九福3 福井大橋 付近	R1.5.25~28 R1.7.7~12 R1.10.14~19 R2.1.13~18	目撃法、捕獲法、フィールドサイン法、トラップ法、マニュアル外

表 6.1-8(1) 鳴鹿大堰周辺哺乳類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成2年度 (1990年)	九頭竜川中流域動植物等調査業務報告書	本川下流	St. 1	R1	H02. 08. 16~19 H02. 10. 16~18 H03. 01. 10~11	フィールドサイン調査
		本川下流	St. 2	R2	H02. 08. 16~19 H02. 10. 16~18 H03. 01. 10~11	フィールドサイン調査
		湛水域内 本川上流	St. 3	R3	H02. 08. 16~19 H02. 10. 16~18 H03. 01. 10~11	フィールドサイン調査
		本川下流	St. 4	M1	H02. 08. 16~19 H02. 10. 16~18 H03. 01. 10~11	マウストラップ調査
		本川下流	St. 5	M2	H02. 08. 16~19 H02. 10. 16~18 H03. 01. 10~11	マウストラップ調査
		湛水域内	St. 6	M3	H02. 08. 16~19 H02. 10. 16~18 H03. 01. 10~11	マウストラップ調査
平成3年度 (1991年)	平成3年度 九頭竜川水系小動物調査報告書(本編)	本川下流	s t . ☆1	福井大橋付近	H03. 08. 03~5 H03. 11. 11~13 H04. 01. 20~22	目撃法 フィールドサイン法 トラップ法
	※水国：1巡目					
	九頭竜川中流域環境調査業務報告書	本川下流	St. 1	R1	H03. 05. 27~28	フィールドサイン調査
		本川下流	St. 2	R2	H03. 05. 27~28	フィールドサイン調査
		湛水域内 本川上流	St. 3	R3	H03. 05. 27~28	フィールドサイン調査
		本川下流	St. 4	M1	H03. 05. 27~28	マウストラップ調査
		本川下流	St. 5	M2	H03. 05. 27~28	マウストラップ調査
湛水域内	St. 6	M3	H03. 05. 27~28	マウストラップ調査		
平成8年度 (1996年)	平成8年度 九頭竜川水系両生類・爬虫類・哺乳類調査報告書	本川下流	St. 3	福井大橋周辺	H08. 05. 15 H08. 07. 16~20、23 H08. 10. 09~12、15 H09. 02. 13	目撃法、フィールドサイン法、トラップ法、夜間調査法
	※水国：2巡目	本川下流	St. 4	五松橋周辺	H08. 05. 17 H08. 07. 17~21、23 H08. 10. 09~12、15 H09. 02. 13	目撃法、フィールドサイン法、トラップ法、夜間調査法
平成13年度 (2001年)	平成13年度 河川水辺生物調査業務(九頭竜川水系両生類・爬虫類・哺乳類調査)報告書	本川下流	St. 7	九九福 3 福井大橋周辺	H13. 05. 28~06. 01 H13. 07. 16~19 H13. 08. 01~04 H13. 09. 20~23 H13. 10. 25~28 H14. 01. 23~26	目撃法、フィールドサイン法、トラップ法、無人自動撮影装置
	※水国：3巡目	本川下流	St. 8	九九福 4 五松橋周辺	H13. 05. 28~06. 01 H13. 07. 16~19 H13. 08. 01~04 H13. 09. 20~23 H13. 10. 25~28 H14. 01. 23~26	目撃法、フィールドサイン法、トラップ法、無人自動撮影装置

表 6.1-8(2) 鳴鹿大堰周辺哺乳類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成16年度 (2004年)	平成16年度 九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務報告書	本川下流	St. 1	R1	H16. 06. 23～25, 29 H16. 08. 12～14 H16. 10. 07～08 H16. 11. 05～06 H16. 02. 06～08	目撃法、フィールドサイン法、鳴き声確認法
		本川下流	St. 2	R2	H16. 06. 23～25, 29 H16. 08. 12～14 H16. 10. 07～08 H16. 11. 05～06 H16. 02. 06～08	目撃法、フィールドサイン法、鳴き声確認法
		本川下流	St. 9	R3	H16. 06. 23～25, 29 H16. 08. 12～14 H16. 10. 07～08 H16. 11. 05～06 H16. 02. 06～08	目撃法、フィールドサイン法、鳴き声確認法
		本川下流	St. 10	R4	H16. 06. 23～25, 29 H16. 08. 12～14 H16. 10. 07～08 H16. 11. 05～06 H16. 02. 06～08	目撃法、フィールドサイン法、鳴き声確認法
		湛水域内 本川上流	St. 3	R5	H16. 06. 23～25, 29 H16. 08. 12～14 H16. 10. 07～08 H16. 11. 05～06 H16. 02. 06～08	目撃法、フィールドサイン法、鳴き声確認法
		湛水域内	St. 11	ビオトープ	H16. 06. 23～25, 29 H16. 08. 12～14 H16. 10. 07～08 H16. 11. 05～06 H16. 02. 06～08	目撃法、フィールドサイン法、鳴き声確認法
		本川下流	St. 8	M1	H16. 06. 23～25, 29 H16. 08. 12～14 H16. 10. 07～08 H16. 11. 05～06 H16. 02. 06～08	マウストラップ
		本川下流	St. 5	M2	H16. 06. 23～25, 29 H16. 08. 12～14 H16. 10. 07～08 H16. 11. 05～06 H16. 02. 06～08	マウストラップ

表 6.1-8(3) 鳴鹿大堰周辺哺乳類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成16年度(2004年)	平成16年度 九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務報告書	本川下流	St.12	M3-1	H16.06.23~25, 29 H16.08.12~14 H16.10.07~08 H16.11.05~06 H16.02.06~08	マウストラップ
		本川下流	St.13	M3-2	H16.06.23~25, 29 H16.08.12~14 H16.10.07~08 H16.11.05~06 H16.02.06~08	マウストラップ
		湛水域内	St.14	M4-1	H16.06.23~25, 29 H16.08.12~14 H16.10.07~08 H16.11.05~06 H16.02.06~08	マウストラップ
		湛水域内	St.15	M4-2	H16.06.23~25, 29 H16.08.12~14 H16.10.07~08 H16.11.05~06 H16.02.06~08	マウストラップ
		湛水域内	St.6	M5	H16.06.23~25, 29 H16.08.12~14 H16.10.07~08 H16.11.05~06 H16.02.06~08	マウストラップ
平成21年度(2009年)	平成21年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務(両生類・爬虫類・哺乳類)報告書 ※水国:4巡目	本川下流	St.7	九九福3 福井大橋付近	H21.05.25~29 H21.07.06~10 H21.09.28~10.02 H22.01.05~08	目撃法、フィールドサイン法、トラップ法、無人撮影法、バットディテクター
		湛水域内	St.16	九九福4 鳴鹿橋付近	H21.05.25~29 H21.07.06~10 H21.09.28~10.02 H22.01.05~08	目撃法、フィールドサイン法、トラップ法、無人撮影法、バットディテクター
令和元年度(2019年)	福井管内河川水辺の国勢調査他業務報告書 ※水国:5巡目	本川下流	St.7	九九福3 福井大橋付近	R1.5.25~28 R1.7.7~12 R1.10.14~19 R2.1.13~18	目撃法、捕獲法、フィールドサイン法、トラップ法、無人撮影法、バットディテクター



图 6.1-6 鳴鹿大堰周辺両生類・爬虫類・哺乳類調査位置図

6) 陸上昆虫類等

陸上昆虫類等調査の調査内容を表 6.1-9(1)～(3)に、調査位置を図 6.1-7 に示す。

表 6.1-9(1) 鳴鹿大堰周辺陸上昆虫類等調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成2年度 (1990年)	九頭竜川中流域動植物等調査業務報告書	本川下流	St. 1	1	H02. 08. 16～19 H02. 10. 16～18	任意調査 スィーピング及ビーティング調査
		本川下流	St. 2	2	H02. 08. 16～19 H02. 10. 16～18	任意調査 スィーピング及ビーティング調査
		湛水域内 本川上流	St. 3	3	H02. 08. 16～19 H02. 10. 16～18	任意調査 スィーピング及ビーティング調査
		本川下流	St. 4	B1	H02. 08. 16～19 H02. 10. 16～18	ベイトトラップ調査
		本川下流	St. 5	B2	H02. 08. 16～19 H02. 10. 16～18	ベイトトラップ調査 ライトトラップ調査
		湛水域内	St. 6	B3	H02. 08. 16～19 H02. 10. 16～18	ベイトトラップ調査
平成3年度 (1991年)	九頭竜川中流域環境調査業務報告書	本川下流	St. 1	R1	H03. 05. 27～28	任意調査 スィーピング及ビーティング調査
		本川下流	St. 2	R2	H03. 05. 27～28	任意調査 スィーピング及ビーティング調査
		湛水域内 本川上流	St. 3	R3	H03. 05. 27～28	任意調査 スィーピング及ビーティング調査
		本川下流	St. 4	B1	H03. 05. 27～28	ベイトトラップ調査
		本川下流	St. 5	B2	H03. 05. 27～28	ベイトトラップ調査
		湛水域内	St. 6	B3	H03. 05. 27～28	ベイトトラップ調査
		本川下流	St. 7	L1	H03. 05. 27～28	ライトトラップ調査
					—	H03. 06. 24
平成4年度 (1992年)	平成4年度 九頭竜川水系陸上昆虫類等調査報告書 ※水国：1巡目	本川下流	St. 1	福井大橋付近	H04. 05. 07～13 H04. 07. 01～09 H04. 09. 08～11	任意採取法 スウィーピング法 ビーティング法 ベイトトラップ法 ライトトラップ法
平成9年度 (1997年)	平成9年度 九頭竜川水系陸上昆虫類等調査報告書 ※水国：2巡目	本川下流	九 九 福 3	福井大橋付近	H09. 05. 01、23、24、28、29 H09. 06. 03 H09. 07. 18、22～24 H09. 08. 17 H09. 09. 11、19～21、29 H09. 10. 02、03、06、07、18	任意採取法 スウィーピング法 ビーティング法 ベイトトラップ法 ライトトラップ法(カーテン法、ボックス法)
		本川下流	九 九 福 4	五松橋付近	H09. 05. 06、22～24、29 H09. 06. 05 H09. 07. 19、22、23、25 H09. 09. 10、19、20、30 H09. 10. 02、03、06、07	任意採取法 スウィーピング法 ビーティング法 ベイトトラップ法 ライトトラップ法(カーテン法、ボックス法)

表 6.1-9(2) 鳴鹿大堰周辺陸上昆虫類等調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成14年度 (2002)	平成14年度 河川水辺生物調査業務(九頭竜川水系陸上昆虫類等調査)報告書 ※水国:3巡目	本川下流	St.8	九九福3 福井大橋付近	H14.05.15~06.07 H14.07.08~08.27 H14.09.01~10.02	任意採取法 スウィーピング法 ビーティング法 ベイトトラップ法 ライトトラップ法 (カーテン法、ボックス法)
		本川下流	St.9	九九福4 五松橋付近	H14.05.15~06.07 H14.07.08~08.27 H14.09.01~10.02	任意採取法 スウィーピング法 ビーティング法 ベイトトラップ法 ライトトラップ法 (カーテン法、ボックス法)
平成16年度 (2004年)	平成16年度 九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務報告書	本川下流	St.1	R1	H16.06.08~30 H16.08.10~12 H16.10.04~06	任意採集法
		本川下流	St.2	R2	H16.06.08~30 H16.08.10~12 H16.10.04~06	任意採集法
		本川下流	St.10	R3	H16.06.08~30 H16.08.10~12 H16.10.04~06	任意採集法
		湛水域内	St.11	R4	H16.06.08~30 H16.08.10~12 H16.10.04~06	任意採集法
		湛水域内 本川上流	St.3	R5	H16.06.08~30 H16.08.10~12 H16.10.04~06	任意採集法
		本川下流	St.4	L1、B1	H16.06.08~30 H16.08.10~12 H16.10.04~06	ライトトラップ法 ベイトトラップ法
		本川下流	St.5	L2、B2	H16.06.08~30 H16.08.10~12 H16.10.04~06	ライトトラップ法 ベイトトラップ法
		本川下流	St.12	B3	H16.06.08~30 H16.08.10~12 H16.10.04~06	ベイトトラップ法
		湛水域内	St.13	B4	H16.06.08~30 H16.08.10~12 H16.10.04~06	ベイトトラップ法
		湛水域内	St.6	L5、B5	H16.06.08~30 H16.08.10~12 H16.10.04~06	ライトトラップ法 ベイトトラップ法
		湛水域内	St.14	ビオトープ	H16.06.08~30 H16.08.10~12 H16.10.04~06	任意採集法
		平成20年度 (2008年)	平成20年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務(陸上昆虫類等調査)報告書 ※水国:4巡目	本川下流	St.8	九九福3 福井大橋付近
本川下流	St.9			九九福4 五松橋付近	H20.04.25~05.17 H20.07.14~08.20 H20.09.09~10.10	目撃法 その他(ベイトトラップ法)
湛水域	St.13			九九福5 鳴鹿橋付近	H20.04.25~05.17 H20.07.14~08.20 H20.09.09~10.10	

表 6.1-9(3) 鳴鹿大堰周辺陸上昆虫類等調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成 31 年度 (2018 年)	福井管内河川水辺の国勢 調査他業務 報告書 ※水国：5 巡目	本川下流	St. 8	九九福 3 福井大橋付近	H31. 5. 8～9、11 H31. 7. 31～8. 1 H31. 10. 15～16	任意調査法 目撃法 ピットフォールトラ ップ法 ボックスライトトラ ップ法
		本川下流	St. 9	九九福 4 五松橋付近	H31. 5. 8～9、11 H31. 7. 31～8. 1 H31. 10. 15～16、19	任意調査法 目撃法 ピットフォールトラ ップ法 ボックスライトトラ ップ法
		湛水域	St. 13	九九福 5 鳴鹿橋付近	H31. 5. 8～11、17～18 H31. 7. 31～8. 1 H31. 10. 15～16	任意調査法 目撃法 ピットフォールトラ ップ法 ボックスライトトラ ップ法

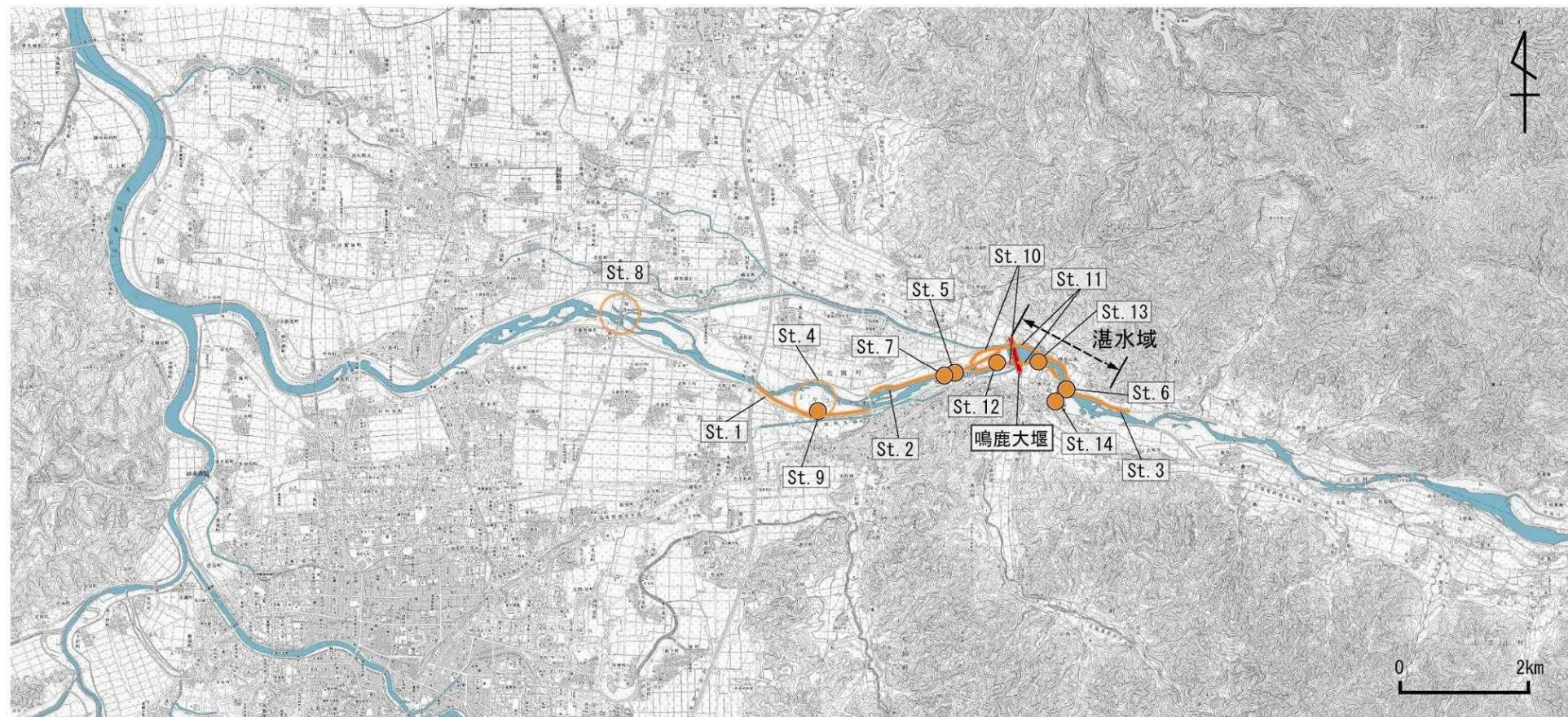


图 6.1-7 鳴鹿大堰周辺陸上昆虫類等調査位置図

7) 付着藻類

付着藻類調査の調査内容を表 6.1-10(1)～(6)に、調査位置を図 6.1-8 に示す。

なお、鳴鹿大堰周辺における付着藻類調査は、平成 23 年度以降調査は行われていない。

表 6.1-10(1) 鳴鹿大堰周辺付着藻類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成元年度 (1989年)	平成元年度 九頭竜川 中流域水生生物調査作 業報告書	本川上流	St. 1	No. 1 坂東島	H01.11.11	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		本川上流	St. 2	No. 2 浄法寺	H01.11.11	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		本川下流	St. 3	No. 3 志比塚	H01.11.11	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		本川下流	St. 4	No. 4 福井大橋	H01.11.11	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		本川下流	St. 5	No. 5 天池橋	H01.11.11	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		支川	St. 6	No. 6 永平寺川	H01.11.11	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
平成2年度 (1990年)	平成2年度 九頭竜川 中流域水生生物調査作 業報告書	本川上流	St. 1	No. 1 坂東島	H02.05.12 H02.09.14	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		本川上流	St. 2	No. 2 浄法寺	H02.05.12 H02.09.14	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		本川下流	St. 3	No. 3 志比塚	H02.05.12 H02.09.14	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		本川下流	St. 4	No. 4 福井大橋	H02.05.12 H02.09.14	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		本川下流	St. 5	No. 5 天池橋	H02.05.12 H02.09.14	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		支川	St. 6	No. 6 永平寺川	H02.05.12 H02.09.14	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
平成3年度 (1991年)	平成3年度 九頭竜川 中流域水生生物調査作 業報告書	湛水域内	St. 7	No. 1 下浄法寺	H03.05.13 H03.08.05 H03.09.04 H03.11.01 H04.02.01	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		本川下流	St. 3	No. 2 鳴鹿堰堤下流	H03.05.13 H03.08.05 H03.09.04 H03.11.01 H04.02.01	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		本川下流	St. 8	No. 3 五松橋下流	H03.05.13 H03.08.05 H03.09.04 H03.11.01 H04.02.01	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		支川	St. 9	No. 4 永平寺川	H03.05.13 H03.08.05 H03.09.04 H03.11.01 H04.02.01	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
	平成3年度 九頭竜川 中流域水生生物調査 (その2) 作業報告書	湛水域内	St. 10	鳴鹿大橋上流	H03.11.13	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		湛水域内	St. 11	鳴鹿大橋下流	H03.11.13	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
平成4年度 (1992年)	平成4年度 九頭竜川 中流域水生生物調査作 業報告書	本川上流	St. 7	No. 1 下浄法寺	H04.05.22 H04.08.04 H04.11.04	
		本川下流	St. 3	No. 2 鳴鹿堰堤下流	H04.05.22 H04.08.04 H04.11.04	
		本川下流	St. 8	No. 3 五松橋	H04.05.22 H04.08.04 H04.11.04	
		湛水域内	St. 10	鳴鹿大橋上流	コドラート (25cm ²) 3ヶ所	コドラート (25cm ²) 3ヶ所
		湛水域内	St. 11	鳴鹿大橋下流	H04.05.29 H04.08.05	コドラート (25cm ²) 3ヶ所

表 6.1-10(2) 鳴鹿大堰周辺付着藻類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成5年度 (1993年)	平成5年度 九頭竜川河川水辺生物調査業務報告書(付着藻類)	湛水域内	St.1	鳴鹿堰湛水上流端	H05.04.22 H05.08.22 H05.11.20	コドラート(20cm ²)
		湛水域内	St.2	鳴鹿堰湛水域	H05.04.22 H05.08.22 H05.11.04	コドラート(20cm ²)
		本川下流	St.3	鳴鹿堰直下流	H05.04.22 H05.08.22 H05.11.20	コドラート(20cm ²)
		本川下流	St.4	五松橋付近	H05.04.22 H05.08.22 H05.11.20	コドラート(20cm ²)
平成6年度 (1994年)	平成6年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川下流	St.8	St.1 五松橋	H06.08.20 H06.08.23 H06.10.15 H06.10.17	コドラート(25cm ²)3ヶ所
		本川下流	St.3	St.2 鳴鹿大堰建設工事区間直下流	H06.08.20 H06.08.23 H06.10.15 H06.10.17	コドラート(25cm ²)3ヶ所
		湛水域内	St.12	St.3 鳴鹿堰堤湛水域	H06.08.20 H06.08.23 H06.10.15 H06.10.17	コドラート(25cm ²)3ヶ所
		湛水域内	St.13	St.4 鳴鹿堰堤湛水部上流端	H06.08.20 H06.08.23 H06.10.15 H06.10.17	コドラート(25cm ²)3ヶ所
平成7年度 (1995年)	平成7年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川下流	St.8	St.1 五松橋	H07.05.06 H07.08.20 H07.10.28	コドラート(25cm ²)3ヶ所
		本川下流	St.3	St.2 鳴鹿大堰建設工事区間直下流	H07.05.06 H07.08.20 H07.10.28	コドラート(25cm ²)3ヶ所
		湛水域内	St.12	St.3 鳴鹿堰堤湛水域	H07.05.06 H07.08.20 H07.10.28	コドラート(25cm ²)3ヶ所
		湛水域内	St.13	St.4 鳴鹿堰堤湛水部上流端	H07.05.06 H07.08.20 H07.10.28	コドラート(25cm ²)3ヶ所
平成8年度 (1996年)	平成8年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川下流	St.8	St.1 五松橋	H08.05.03 H08.08.24 H08.10.26	コドラート(25cm ²)3ヶ所
		本川下流	St.3	St.2 鳴鹿大堰建設工事区間直下流	H08.05.03 H08.08.24 H08.10.26	コドラート(25cm ²)3ヶ所
		湛水域内	St.12	St.3 鳴鹿堰堤湛水域	H08.05.03 H08.08.24 H08.10.26	コドラート(25cm ²)3ヶ所
		湛水域内	St.13	St.4 鳴鹿堰堤湛水部上流端	H08.05.03 H08.08.24 H08.10.26	コドラート(25cm ²)3ヶ所
平成9年度 (1997年)	平成9年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	本川下流	St.8	St.1 五松橋	H09.08.20 H09.11.01	コドラート(25cm ²)による採集(定量)3ヶ所 ピンセットによる採集(定性)
		本川下流	St.3	St.2 鳴鹿大堰建設工事区間直下流	H09.08.20 H09.11.01	コドラート(25cm ²)による採集(定量)3ヶ所 ピンセットによる採集(定性)

表 6.1-10(3) 鳴鹿大堰周辺付着藻類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成9年度 (1997年)	平成9年度 九頭竜川 中流域水生生物調査作 業報告書	湛水域内	St.12	St.3 鳴鹿堰堤 湛水域	H09.08.20 H09.11.01	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 ピンセットによる採集 (定性)
		湛水域内	St.13	St.4 鳴鹿堰堤 湛水域上流端	H09.08.20 H09.11.01	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 ピンセットによる採集 (定性)
平成10年度 (1998年)	平成10年度 河川水辺 生物調査業務報告書 (付着藻類およびアラ レガコ)	本川下流	St.1	五松橋付近	H10.5.9 H10.8.19 H10.10.31	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 ピンセットによる採集 (定性)
		本川下流	St.2	鳴鹿大堰建設 工事区間直下 流	H10.5.9 H10.8.19 H10.10.31	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 ピンセットによる採集 (定性)
		湛水域内	St.3	鳴鹿堰堤湛水 域	H10.5.9 H10.8.19 H10.10.31	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 ピンセットによる採集 (定性)
		湛水域内	St.4	鳴鹿堰堤湛水 域上流端	H10.5.9 H10.8.19 H10.10.31	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 ピンセットによる採集 (定性)
平成11年度 (1999年)	平成11年度 九頭竜 川中流域水生生物調査 業務報告書	本川下流	St.14	St.1 中角橋付 近	H11.06.04 H11.10.30	コドラート (25cm) による採集 (定量) 2ヶ所 ピンセットによる採集 (定性)
		本川下流	St.15	St.2 九頭竜川 距離標 21km 付 近	H11.06.04 H11.10.30	コドラート (25cm) による採集 (定量) 2ヶ所 ピンセットによる採集 (定性)
		本川下流	St.16	St.3 九頭竜川 距離標 24m 付 近	H11.06.04 H11.10.30	コドラート (25cm) による採集 (定量) 2ヶ所 ピンセットによる採集 (定性)
		本川下流	St.17	St.4 九頭竜川 距離標 26km 付 近	H11.06.04 H11.10.30	コドラート (25cm) による採集 (定量) 2ヶ所 ピンセットによる採集 (定性)
		湛水域内	St.18	St.5 鳴鹿橋付 近	H11.06.04 H11.10.30	コドラート (25cm) による採集 (定量) 2ヶ所 ピンセットによる採集 (定性)
		本川上流	St.19	St.6 光明寺	H11.06.04 H11.10.30	コドラート (25cm) による採集 (定量) 2ヶ所 ピンセットによる採集 (定性)
平成12年度 (2000年)	平成12年度 九頭竜 川中流域水生生物調査 業務報告書	本川下流	St.14	St.1 中角橋付 近	H12.05.25 H12.10.26 ~27	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 3ヶ所程度で採集 (定性)
		本川下流	St.15	St.2 九頭竜川 距離標 21km 付 近	H12.05.25 H12.10.26 ~27	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 3ヶ所程度で採集 (定性)
		本川下流	St.16	St.3 九頭竜川 距離標 24m 付 近	H12.05.25 H12.10.26 ~27	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 3ヶ所程度で採集 (定性)
		本川下流	St.17	St.4 九頭竜川 距離標 26km 付 近	H12.05.25 H12.10.26 ~27	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 3ヶ所程度で採集 (定性)
		湛水域内	St.18	St.5 鳴鹿橋付 近	H12.05.25 H12.10.26 ~27	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 3ヶ所程度で採集 (定性)
		湛水域内	St.20	St.5-1 鳴鹿堰 堤直上流右岸	H12.05.25 H12.10.26 ~27	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所
		本川上流	St.19	St.6 光明寺付 近	H12.05.25 H12.10.26 ~27	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 3ヶ所程度で採集 (定性)

表 6.1-10(4) 鳴鹿大堰周辺付着藻類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成13年度 (2001年)	平成13年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	本川下流	St.14	St.1 中角橋付近	H13.05.10 H13.10.29	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		本川下流	St.15	St.2 九頭竜川距離標21km付近	H13.05.10 H13.10.29	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		本川下流	St.16	St.3 九頭竜川距離標24m付近	H13.05.10 H13.10.29	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		本川下流	St.17	St.4 九頭竜川距離標26km付近	H13.05.10 H13.10.29	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		湛水域内	St.18	St.5 鳴鹿橋付近	H13.05.10 H13.10.29	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		湛水域内	St.21	St.5-1 鳴鹿大堰直上流	H13.05.10 H13.10.29	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所
		本川上流	St.19	St.6 光明寺付近	H13.05.10 H13.10.29	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
平成14年度 (2002年)	平成14年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	本川下流	St.14	St.1 中角橋付近	H14.05.17 H14.10.24	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		本川下流	St.15	St.2 九頭竜川距離標21km付近	H14.05.17 H14.10.24	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		本川下流	St.16	St.3 九頭竜川距離標24m付近	H14.05.17 H14.10.24	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		本川下流	St.17	St.4 九頭竜川距離標26km付近	H14.05.17 H14.10.24	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		湛水域内	St.18	St.5 鳴鹿橋付近	H14.05.17 H14.10.24	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		湛水域内	St.21	St.5-1 鳴鹿大堰直上流	H14.05.17 H14.10.24	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		本川上流	St.19	St.6 光明寺付近	H14.05.17 H14.10.24	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
平成15年度 (2003年)	平成15年度 九頭竜川中流部水生生物調査業務報告書	本川下流	St.14	St.1 中角橋付近	H15.05.22 H15.10.22	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		本川下流	St.15	St.2 九頭竜川距離標21km付近	H15.05.22 H15.10.22	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		本川下流	St.16	St.3 九頭竜川距離標24m付近	H15.05.22 H15.10.22	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		本川下流	St.17	St.4 九頭竜川距離標26km付近	H15.05.22 H15.10.22	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		湛水域内	St.18	St.5 鳴鹿橋付近	H15.05.22 H15.10.22	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		湛水域内	St.21	St.5-1 鳴鹿大堰直上流	H15.05.22 H15.10.22	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)
		本川上流	St.19	St.6 光明寺付近	H15.05.22 H15.10.22	コドラート(25cm)による採集(定量)3ヶ所 3ヶ所程度で採集(定性)

表 6.1-10(5) 鳴鹿大堰周辺付着藻類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成16年度 (2004年)	平成16年度 九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務報告書	本川下流	St.14	St.1 中角橋付近	H16.06.04 H16.10.20	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 3ヶ所程度で採集 (定性)
		本川下流	St.15	St.2 九頭竜川 距離標 21km 付近	H16.06.04 H16.10.20	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 3ヶ所程度で採集 (定性)
		本川下流	St.16	St.3 九頭竜川 距離標 24m 付近	H16.06.04 H16.10.20	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 3ヶ所程度で採集 (定性)
		本川下流	St.17	St.4 九頭竜川 距離標 26km 付近	H16.06.04 H16.10.20	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 3ヶ所程度で採集 (定性)
		湛水域内	St.18	St.5 鳴鹿橋 付近	H16.06.04 H16.10.20	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 3ヶ所程度で採集 (定性)
		湛水域内	St.21	St.5-1 鳴鹿大堰直上流	H16.06.04 H16.10.20	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 3ヶ所程度で採集 (定性)
		本川上流	St.19	St.6 光明寺 付近	H16.06.04 H16.10.20	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 3ヶ所程度で採集 (定性)
平成17年度 (2005年)	平成17年度 鳴鹿大堰環境調査業務報告書	湛水域内	St.21	鳴鹿大堰直上流	H17.06.08 H17.10.17	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 ピンセット等による採集 (定性)
		湛水域内	St.18	鳴鹿橋	H17.06.08 H17.10.17	コドラート (25cm) による採集 (定量) 3ヶ所 ピンセット等による採集 (定性)
平成18年度 (2006年)	平成18年度鳴鹿大堰フォローアップ調査業務報告書	湛水域内	St.21	鳴鹿大堰直上流	H18.5.18 H18.11.21	コドラート (25cm) による採集 (定量) ピンセット等による採集 (定性)
		湛水域内	St.18	鳴鹿橋	H18.5.18 H18.11.21	コドラート (25cm) による採集 (定量) ピンセット等による採集 (定性)
平成19年度 (2007年)	平成19年度鳴鹿大堰フォローアップ調査業務報告書	湛水域内	St.21	鳴鹿大堰直上流	H19.5.24 H19.10.23	コドラート (25cm) による採集 (定量) ピンセット等による採集 (定性)
		湛水域内	St.18	鳴鹿橋	H19.5.24 H19.10.23	コドラート (25cm) による採集 (定量) ピンセット等による採集 (定性)
平成20年度 (2008年)	平成20年度鳴鹿大堰フォローアップ調査業務報告書	湛水域内	St.21	鳴鹿大堰直上流	H20.5.27 H20.10.30	コドラート (25cm) による採集 (定量) ピンセット等による採集 (定性)
		湛水域内	St.18	鳴鹿橋	H20.5.27 H20.10.30	コドラート (25cm) による採集 (定量) ピンセット等による採集 (定性)

表 6.1-10(6) 鳴鹿大堰周辺付着藻類調査内容一覧

調査年度	調査件名	調査範囲	調査地点	報告書調査地点番号	調査時期	調査方法
平成21年度 (2009年)	平成21年度鳴鹿大堰フォローアップ調査業務報告書	湛水域内	St. 21	鳴鹿大堰直上流	H21. 05. 27 H21. 10. 21	コドラート (25cm) による採集 (定量) ピンセット等による採集 (定性)
		湛水域内	St. 18	鳴鹿橋	H21. 05. 27 H21. 10. 21	コドラート (25cm) による採集 (定量) ピンセット等による採集 (定性)
平成23年度 (2011年)	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	湛水域内	St. 21	鳴鹿大堰直上流	H23. 09. 01 H23. 10. 20	コドラート (25cm) による採集 (定量) ピンセット等による採集 (定性)
		湛水域内	St. 18	鳴鹿橋	H23. 09. 01 H23. 10. 20	コドラート (25cm) による採集 (定量) ピンセット等による採集 (定性)



図 6.1-8 鳴鹿大堰周辺付着藻類調査位置図

6.2 鳴鹿大堰周辺の環境の把握

6.2.1 九頭竜川水系の概要

九頭竜川は、その源を福井県と岐阜県の県境の油坂峠（標高 717m）に発し、石徹白川、打波川等の支川を合わせ、大野盆地に入り真名川等の支川を合わせ、福井平野（越前平野）に出て福井市街地を貫流し日野川と合流、その後は流れを北に変え日本海に注ぐ、幹川流路延長 116km、流域面積 2,930km² の一級河川である。

その流域は、福井、岐阜の両県にまたがり、福井市をはじめ 8 市 4 町からなり、流域の土地利用は山地等が約 81%、水田や畑地等の農地が約 13%、宅地等の市街地が約 6% となっている。

流域内には福井県の県庁所在地であり流域内人口の約 4 割が集中する福井市があり、沿川には、北陸自動車道、JR 北陸本線、国道 8 号、157 号、158 号等の基幹交通施設に加え、中部縦貫自動車道が整備中であり、京阪神や中部地方と北陸地方を結ぶ交通の要衝となるなど、この地域における社会・経済・文化の基盤を成すとともに、九頭竜川の豊かな自然環境に恵まれていることから、本水系の治水・利水・環境についての意義は極めて大きい。



図 6.2-1 九頭竜川水系の概要

6.2.2 鳴鹿大堰周辺の自然環境の特徴

(1) 植生の状況

九頭竜川と日野川の合流点から鳴鹿大堰までの大部分を水田耕作地が占めており、中流域は鳴鹿大堰より上流部で開放水面の割合が高い。また、グラウンド等の利用地、ヤナギ林やその他低木林等の割合が高い。九頭竜川沿いに水田が分布し、周囲の山地にコナラ群落、アカマツ群落、スギ・ヒノキ・サワラ植林等が混在しており、標高が高くなるとブナ-ミズナラ群落、クリ-ミズナラ群落が目立ってくる。

また九頭竜川の高水敷はつる植物のクズが目立っていた。オギなどの河川環境に特有な植物のほか、オオスズメノカタビラ、セイタカアワダチソウなどの帰化植物が広く分布していた。

低水敷は、攪乱をうけるため良好な河原環境が維持されており、カワラヨモギやカワラハハコなど礫河原を代表する種が成育している。また、ヨシクラス及び自然裸地も多く確認されている。

(2) 重要種の確認状況

鳴鹿大堰周辺における調査により、重要種として、魚類のスナヤツメ類、ヤリタナゴ、カマキリ（アラレガコ）、カジカ中卵型、底生動物のモノアラガイ、コオナガミズスマシ、植物のホソバイヌタデ、ノダイオウ、フジバカマ、両生類のアカハライモリ、トノサマガエル、爬虫類のニホンイシガメ、鳥類のオオタカ、コアジサシ、陸上昆虫類等のモートンイトトンボ等を確認した。

(3) 国外外来種の確認状況

鳴鹿大堰周辺における調査により、国外外来種として、魚類のブルーギル、オオクチバス（ブラックバス）、タイリクバラタナゴ、底生動物のタイワンシジミ、フロリダマミズヨコエビ、植物のアレチウリ、オオキンケイギク、セイタカアワダチソウ、鳥類のカワラバト（ドバト）等を確認した。

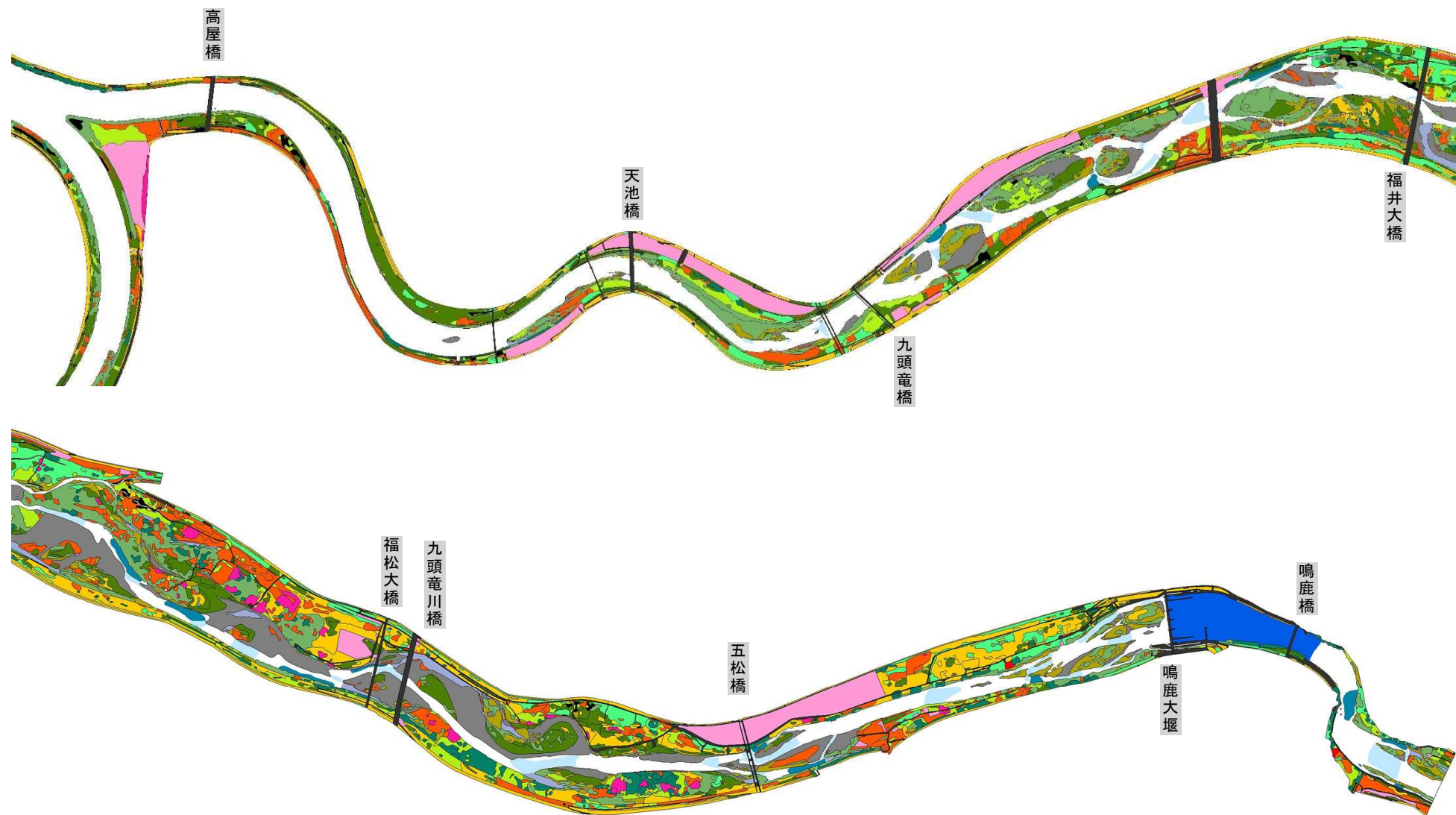


図 6.2-2 鳴鹿大堰周辺植生図(令和2年(2020年)度)

表 6.2-1 鳴鹿大堰周辺植生図凡例(令和2年(2020年)度)

色見本	基本分類	群落名	群落表示コード
沈水植物群落		ホザキノフサモ群落	013
		エビモ群落	014
一年生草本群落		ミノソバ群落	058
		ヤナギタデ群落	059
		オオイスダデーオオクサキビ群落	0510
		オオオナモミ群落	0512
		メシバアーエノコログサ群落	0514
		ヒメムカシヨモギーオオアレチノギク群落	0515
		オオバタクサ群落	0516
		オヒシバアーアキメシバ群集	0523
		アレチウリ群落	0524
		カナムグラ群落	0525
		ソルマメ群落	0526
		カワラヨモギーカワラハハコ群落	063
		ヨモギーメドハギ群落	064
		イタドリ群落	065
カラムシ群落	066		
多年生草本群落		アレチハナガサ群落	067
		セイタカアワダチソウ群落	068
		ヤブガラシ群落	0610
		カゼクサーオオハコ群集	0614
		キダチコンギク群落	0624
		オオキンケイギク群落	06501
		ヨシ群落	071
		セイタカヨシ群落	073
		ツルヨシ群落	081
		オギ群落	091
		ウキヤガラーマコモ群集	101
サンカクイーコガマ群集	102		
単子葉草本群落	ヨシ群落	ヒメガマ群落	104
		ミクリ群落	107
		セリークサヨシ群集	1010
		ヤマアワ群落	1022
		メリケンカルカヤ群落	1029
		シマスズメヒユ群落	1032
		オニウシノケグサ群落	1037
		シナダレスズメガヤ群落	1038
		シバ群落	1039
		ススキ群落	1041
		チガヤ群落	1042
		ネコヤナギ群集	112
		タチヤナギ群集	125
		タチヤナギ群集(低木林)	126
ジャヤナギーアカメヤナギ群集	127		
ジャヤナギーアカメヤナギ群集(低木林)	128		
ヨゴメヤナギ群集	1211		
カワヤナギ群落	1217		
カワヤナギ群落(低木林)	1218		
ヤナギ低木林		アキグミ群落	135
		イタチハギ群落	137
		ネザサ群落	1313
		クズ群落	1315
		ノイバラ群落	1316
		クリオザサ群落	1328
		フジ群落	1329
		ケヤキ群落	149
		クヌギ群落	1417
ハンキ群落	1421		
ヤナギ高木林		スルデーアカメガシワ群落	1429
		スルデーアカメガシワ群落(低木林)	1430
		ヤマグワ群落	1431
		ヤマグワ群落(低木林)	1432
		オニグルミ群落	1433
		オニグルミ群落(低木林)	1434
		ムクノキーエノキ群集	1435
		タブノキ群落	1610
常緑広葉樹林		マダケ植林	182
		ハチク植林	186
		スギ・ヒノキ植林	191
植林地(竹林)		シンジュ群落	208
		ハリエンジュ群落	209
		植栽樹林群	2010
		キリ植林	2015
植林地(スギ・ヒノキ)		畑	222
		畑地(畑地雑草群落)	222
植林地(その他)		水田	23
		人工草地	24
畑		公園・グラウンド	251
		人工裸地	253
		構造物	261
水田		コンクリート構造物	262
		道路	263
		自然裸地	27
人工草地		開放水面	28

(2) 底生動物

鳴鹿大堰周辺における底生動物の確認種数を表 6.2-3 に示す。

鳴鹿大堰周辺では、平成元年度～21 年度及び 23 年度、28 年度、令和 3 年度に調査に実施しており、13～308 種の底生動物を確認した。

流れのある環境では、カゲロウ目を最も多く確認しており、次いでトビケラ目、ハエ目やコウチュウ目等を多く確認した。

表 6.2-3 鳴鹿大堰周辺における底生動物の確認種数

No.	門和名	綱和名	目和名	確認種数																							
				H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H23	H28	R3
1	海綿動物	普通海綿	ザラカイメン																								2
2	扁形動物	渦虫	三岐腸		1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	3	
3	紐形動物	有針	ハリヒモムシ																					1		1	
4	軟体動物	腹足	盤足									1	1	1	1	1	1		1			1	2	2	2	2	
5			基眼					1	1		2		1	2	1	2	2	4	4	3	2	3	1	4	3	8	
6			マイマイ																								
7		二枚貝	イシガイ																						1		
8			マルスダレガイ			1	1	1	1		1	1		1	1	1	1		1		1			1	2	2	
9	環形動物	ミミズ	ナガミミズ																							1	
10			オヨギミミズ														1						1	1	1	2	
11			イトミミズ	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	2	1	1	3	10	5	23	23	
12			ツリミミズ																							2	
13		ヒル	吻蛭								1		1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	4	4	1	6	
14			無吻蛭			2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	2	1	1	2	2	2	2	
15	節足動物	顎脚	チョウ																					1			
16		軟甲	ヨコエビ										1	1		1	1	3	1	1	1	1	2	3	2	4	
17			ワラジムシ				2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	
18			エビ									1		4	3	4	5	5	7		7	2	2	1	5	9	
19		昆虫	カゲロウ(蜉蝣)	6	11	20	19	19	10	21	16	13	22	27	31	27	24	30	40	9	34	9	10	8	41	40	46
20			トンボ(蜻蛉)							1		1	1	6	6	10	9	8	19	2	22	3	6	4	13	15	20
21			カワゲラ(セキ翅)	1	2	2	3	1	1	4	5	2	6	6	7	7	3	2	5	1	5			1	7	7	13
22			カメムシ(半翅)														1	3		5		1		5	3	17	
23			ヘビトンボ						1		1	1		1	1	1	1			2			1	2	2	3	
24			トビケラ(毛翅)	4	8	15	11	11	8	12	10	10	15	11	17	14	10	13	17	2	12	2	4	7	23	21	37
25			チョウ(鱗翅)																		1						
26			ハエ(双翅)		3	3	2	2	2	3	3	2	2	4	5	4	4	4	8	3	5	2	2	12	34	29	65
27			コウチュウ(鞘翅)	1	2	5	3	2	2	2	2	1	3	8	6	5	7	7	12	2	8	3	4	7	10	12	38
合計	6	10	27	13	27	50	44	41	29	50	43	37	56	74	87	81	75	81	133	29	115	31	40	58	173	156	308

(3) 植物

鳴鹿大堰周辺における植物調査の結果、884種の維管束植物（シダ植物以上の高等植物）を確認した。各調査年における分類階級別の確認種数を表 6.2-4 に示す。

鳴鹿大堰周辺における平成2～3（1990～1991）年度調査では467種、平成3（1991）年度調査では186種、平成5（1993）年度調査では485種、平成6（1994）年度調査では447種、平成12（2000）年度調査では368種、平成16（2004）年度調査では464種、平成17（2005）年度調査では366種、平成26（2014）年度調査では402種を確認した。

表 6.2-4 鳴鹿大堰周辺における陸上植物確認種数

門・亜門・綱・亜綱		H2・3 (1990・ 1991)	H3 (1991)	H5 (1993)	H6 (1994)	H12 (2000)	H16 (2004)	H17 (2005)	H26 (2014)	
シダ植物		28	5	19	11	15	26	13	20	
種 子 植 物	裸子植物	5	1	2	0	1	2	0	0	
	被子植物	双子葉植物	223	84	230	185	153	200	151	176
		離弁花類 合弁花類	114	45	108	114	92	104	94	96
	単子葉植物	97	51	126	137	107	132	108	110	
合計		467	186	485	447	368	464	366	402	

※H16は、河川水辺の国勢調査ではないが、鳴鹿大堰を含む周辺区域で植物相調査を行った調査結果を用いている。

※R3の河川環境基図作成調査では、植物相調査は実施していない。

【出典：H2・3、H5：モニタリング調査】

【出典：H6・H12・H17・H26 河川水辺の国勢調査成果】

【出典：「平成16年度九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務成果」】

(4) 鳥類

鳴鹿大堰周辺における鳥類の確認種を表 6.2-5(1)、(2)に示す。

鳴鹿大堰周辺では平成2・3年度、平成5年度、平成11年度、平成16年度、平成25年度に調査を実施しており、合計16目40科115種の鳥類を確認した。調査年度別では、平成5年度で91種、平成11年度で89種、平成16年で74種、平成25年で70種を確認した。

平成25年度調査では、ヒヨドリ、ハシボソガラス、カワラヒワ、スズメ等が多く確認され、マガモ、カルガモ等のカモ科の水辺に生息する種も多く確認された。コチドリ、イカルチドリ等の砂礫地を利用する鳥類が河川敷の砂礫地で確認された。

表 6.2-5(1) 鳴鹿大堰周辺における鳥類の確認種数

No.	目名	科名	種名	調査年度					
				H5	H11	H16	H25		
1	キジ目	キジ科	ウズラ	○					
2			キジ	○	○	○	○		
3	カモ目	カモ科	オシドリ	○	○	○	○		
4			オカヨシガモ	○					
5			ヒドリガモ	○	○	○	○		
6			マガモ	○	○	○	○		
7			カルガモ	○	○	○	○		
8			オナガガモ		○	○			
9			コガモ	○	○	○	○		
10			ホシハジロ	○					
11			キンクロハジロ				○		
12			ホオジロガモ		○				
13			ミコアイサ	○	○	○			
14			カワアイサ	○	○	○	○		
15			カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	○	○	○	○
16					カンムリカイツブリ	○	○	○	○
17	ハト目	ハト科	カワラバト(ドバト)	○	○		○		
18			キジバト	○	○	○	○		
19	カツオドリ目	ウ科	カワウ	○	○	○	○		
20	ペリカン目	サギ科	ゴイサギ	○	○	○			
21			ササゴイ	○	○	○			
22			アマサギ	○	○	○			
23			アオサギ	○	○	○	○		
24			ダイサギ	○	○	○	○		
25			チュウサギ	○	○	○			
26			コサギ	○	○	○			
27			ツル目	クイナ科	オオバン				○
28	カッコウ目	カッコウ科	ツツドリ			○	○		
29			カッコウ	○	○	○	○		

表 6.2-5(2) 鳴鹿大堰周辺における鳥類の確認種数

No.	目名	科名	種名	調査年度			
				H5	H11	H16	H25
30	アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ	○	○	○	
31	チドリ目	チドリ科	タゲリ	○			
32			ケリ	○	○	○	○
33			イカルチドリ	○	○	○	○
34			コチドリ	○	○	○	○
35			シロチドリ		○		
36		シギ科	タシギ	○	○		
37			チュウシャクシギ	○			
38			アオアシシギ	○	○		
39			クサシギ	○	○		○
40			タカブシギ	○			
41			キアシシギ	○	○	○	○
42			イソシギ	○	○	○	○
43		カモメ科	ユリカモメ	○	○		
44			カモメ	○	○	○	
45	セグロカモメ		○				
46	コアジサシ		○	○			
47	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	○	○	○	○
48		タカ科	ハチクマ		○	○	
49			トビ	○	○	○	○
50			ハイタカ	○	○		
51			オオタカ	○	○		○
52			サシバ		○		
53			ノスリ	○	○	○	○
54	タカ目	タカ科	クマタカ				○
55	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ	○	○	○	○
56			ヤマセミ	○	○		
57	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	○	○	○	○
58			アカゲラ		○	○	
59			アオゲラ	○	○	○	
60	ハヤブサ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	○	○	○	○
61			コチョウゲンボウ	○			
62			チゴハヤブサ	○			
63			ハヤブサ		○	○	○

表 6.2-5(3) 鳴鹿大堰周辺における鳥類の確認種数

No.	目名	科名	種名	調査年度			
				H5	H11	H16	H25
64	スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ	○	○		
65		モズ科	モズ	○	○	○	○
66		カラス科	カケス	○			
67			オナガ	○	○	○	○
68			ハシボソガラス	○	○	○	○
69			ハシブトガラス	○	○	○	○
70			ツリスガラ科	ツリスガラ	○		
71		シジュウカラ科	ヤマガラ	○	○		○
72			ヒガラ	○			
73			シジュウカラ	○	○	○	○
74		ヒバリ科	ヒバリ	○	○	○	○
75		ツバメ科	ショウドウツバメ		○		
76			ツバメ	○	○	○	○
77			コシアカツバメ	○	○	○	○
78			イワツバメ	○	○	○	○
79	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	○	○	○	○	
80	ウグイス科	ウグイス	○	○	○	○	
81	エナガ科	エナガ	○	○	○	○	
82	ムシクイ科	メボソムシクイ			○		
83		センダイムシクイ			○		
84	メジロ科	メジロ	○			○	
85	ヨシキリ科	オオヨシキリ	○	○	○	○	
86		コヨシキリ	○	○		○	
87	セッカ科	セッカ				○	
88	レンジャク科	ヒレンジャク			○		
89	ムクドリ科	ムクドリ	○	○	○	○	
90		コムクドリ	○	○	○	○	
91	カワガラス科	カワガラス	○	○	○		
92	ヒタキ科	ツグミ	○	○	○	○	
93		ジョウビタキ	○	○	○	○	
94		ノビタキ			○	○	
95		イソヒヨドリ	○	○	○	○	
96		コサメビタキ		○			
97		オオルリ	○				
98		スズメ科	スズメ	○	○	○	○
99	セキレイ科	キセキレイ	○	○	○	○	
100		ハクセキレイ	○	○	○	○	
101		セグロセキレイ	○	○	○	○	
102		タヒバリ	○		○		
103	アトリ科	アトリ		○		○	
104		カワラヒワ	○	○	○	○	
105		ベニマシコ	○		○	○	
106		シメ		○	○	○	
107		イカル	○	○	○	○	
108	ホオジロ科	ホオジロ	○	○	○	○	
109		ホオアカ		○			
110		カシラダカ	○	○	○	○	
111		ミヤマホオジロ	○	○			
112		ノジコ		○			
113		アオジ	○	○	○	○	
114		シベリアジュリン				○	
115	オオジュリン			○	○		
合計	16目	40科	115種	91種	89種	74種	70種

※H25度は調査方法・調査箇所が変更されたため、スポットセンサス法の20～31kにおける調査結果をまとめた。

【出典：河川水辺の国勢調査】

(5) 両生類、爬虫類、哺乳類

鳴鹿大堰周辺における両生類、爬虫類、哺乳類の確認状況を表 6.2-6、表 6.2-7、表 6.2-8 に示す。

鳴鹿大堰周辺では平成 2・3 年度、平成 16 年度、平成 21 年度、令和 2 年度に調査を実施しており、両生類 2 目 5 科 7 種、爬虫類 2 目 7 科 9 種、哺乳類 5 目 7 科 14 種の生息を確認した。

表 6.2-6 鳴鹿大堰周辺における両生類の確認種数

No.	目名	科名	種名	調査年度			
				H2・3	H16	H21	R2
1	無尾目	アマガエル科	ニホンアマガエル	○			
2		アカガエル科	トノサマガエル	○	○	○	○
3			ツチガエル	○	○	○	
4		ヌマガエル科	ヌマガエル		○		○
5		アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	○			
6			カジカガエル	○		○	
7	有尾目	イモリ科	アカハライモリ		○		
合計	2目	5科	7種	5	4	4	2

表 6.2-7 鳴鹿大堰周辺における爬虫類の確認種数

No.	目名	科名	種名	調査年度			
				H2・3	H16	H21	R2
1	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	○	○	○	○
2		ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ				○
3		スッポン科	ニホンスッポン				○
			カメ目			○	
4	有鱗目	トカゲ科	トカゲ科	○		○	
5		カナヘビ科	ニホンカナヘビ	○	○	○	○
6		ナミヘビ科	シマヘビ	○	○	○	○
7			アオダイショウ	○	○	○	
8			ヤマカガシ	○	○		
9		クサリヘビ科	ニホンマムシ	○		○	
			有鱗目			○	
合計	2目	7科	9種	7	5	6	5

表 6.2-8 鳴鹿大堰周辺における哺乳類の確認種数

No.	目名	科名	種名	調査年度						
				H2・3	H16	H21	R2			
1	モグラ目（食虫目）	モグラ科	コウベモグラ	○						
			モグラ属				○			
			モグラ科		○	○				
2	コウモリ目（翼手目）	ヒナコウモリ科	ヒナコウモリ科		○	○	○			
3	ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	○	○	○	○			
4	ネズミ目（齧歯目）	ネズミ科	ハタネズミ				○			
			アカネズミ	○	○	○	○			
			ヒメネズミ		○					
			カヤネズミ		○	○	○			
			ドブネズミ			○				
			ネズミ科	○	○					
			9	ネコ目（食肉目）	イヌ科	タヌキ		○	○	○
			キツネ				○	○	○	
イタチ科	テン		○							
	シベリアイタチ					○				
			ニホンイタチ					○		
			イタチ属		○			○		
			イタチ科			○	○			
14		ジャコウネコ科	ハクビシン			○				
合計	5目	7科	14種	4	10	9	10			

※平成2・3年度及び平成16年度は九頭竜川橋～鳴鹿橋上流の範囲で、H21年度は鳴鹿橋周辺の範囲で、令和2年度では福井大橋付近での調査結果をとりまとめた。

※H16は、河川水辺の国勢調査ではないが、鳴鹿大堰を含む周辺区域で両生類・爬虫類・哺乳類調査を行った調査結果を用いている。なお、H8、H13実施の河川水辺の国勢調査では、鳴鹿大堰を含む周辺区域で調査を実施していない。

【出典：H3・H21・R2 河川水辺の国勢調査成果】

【出典：「平成16年度九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務成果」】

※調査範囲：H2・3：距離標25.5km付近～31km付近、H16：距離標25.6km～31.8km、H21：距離標30.0km～31.0km、R2：距離標22.5km～23.5km付近

(6) 陸上昆虫類等

鳴鹿大堰周辺における陸上昆虫類等の確認種数を表 6.2-9 に示す。

平成 2・3 (1990・1991) 年度調査では 370 種、平成 16 年度は 1,133 種、平成 20 年度は 348 種、平成 30 年度は 367 種の陸上昆虫類を確認した。4 回の調査をあわせると、鳴鹿大堰周辺では、合計 2,161 種の陸上昆虫類等の生息を確認した。

表 6.2-9 鳴鹿大堰周辺における陸上昆虫類等の確認種数

No	目名	九頭竜川橋～鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近	
		H2・H3	H16	H20	H30
1	アミメカゲロウ目 (脈翅目)	1	3		
2	カゲロウ目 (蜉蝣目)	9	6	1	5
3	カマキリ目 (螳螂目)	3		5	3
4	カメムシ目 (半翅目)	54	161	57	51
5	カワゲラ目 (セキ翅目)	1			3
6	クモ目		101	31	46
7	コウチュウ目 (鞘翅目)	126	426	105	100
8	ゴキブリ目 (網翅目)		1		
9	シリアゲムシ目 (長翅目)	1	1	1	
10	チョウ目 (鱗翅目)	57	244	45	55
11	トビケラ目 (毛翅目)	8	5	1	13
12	トンボ目 (蜻蛉目)	9	16	18	10
13	ハエ目 (双翅目)	30	43	11	21
14	ハサミムシ目 (革翅目)	1	6	1	2
15	ハチ目 (膜翅目)	39	71	48	32
16	バッタ目 (直翅目)	30	48	23	25
17	ヘビトンボ目		1	1	1
18	ラクダムシ目	1			
確認種数		370	1,133	348	367

※平成 2・3 年度及び平成 16 年度は九頭竜川橋～鳴鹿橋上流の範囲で、平成 20 年度は鳴鹿橋周辺の範囲で、平成 30 年度は福井大橋～鳴鹿橋周辺での調査結果をとりまとめた。

※平成 16 年度は、河川水辺の国勢調査ではないが、鳴鹿大堰を含む周辺区域で陸上昆虫類調査を行った調査結果を用いている。なお、平成 4、9、14 年度実施の河川水辺の国勢調査では、鳴鹿大堰を含む周辺区域で調査を実施していない

【出典：H3・H20・H30 河川水辺の国勢調査成果】

【出典：平成 16 年度九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務成果】

6.3 生物の生息・生育状況の変化の検証

生物の分類群毎に鳴鹿大堰の改築及び魚道の改良による影響・効果を把握するために必要と考えられる分析対象種を抽出し、それら分析対象種が影響・効果を受けると考えられる場所（本川上流、湛水域内・湛水域（陸域）、本川下流）毎に環境の状況と生物の生息・生育状況を経年的に比較し、変化の状況を把握し、堰による影響の検証を行った。

生物種が堰の影響・効果を受けると考えられる場所の対象範囲及び設定根拠を表 6.3-1 および図 6.3-1 に示す。

表 6.3-1 生物種が堰の影響・効果を受けると考えられる場所の対象範囲及び設定根拠

場所	検証の対象範囲	設定根拠
本川上流	湛水域上流端より上流の九頭竜川（浄法寺橋付近まで）	堰による湛水の影響を受けない範囲であり、水生生物調査の地点が設定されており、検証が可能である。
湛水域内 湛水域（陸域）	堰による湛水域及びその周辺の陸域（鳴鹿大堰堰堤から堰湛水域上流端（約 31.1km 地点付近）まで）	湛水域として直接冠水する範囲及びその周辺の河川区域内である。
本川下流	堰より下流の九頭竜川（日野川合流点付近まで）	各生物調査の地点が設定されており、検証が可能である。

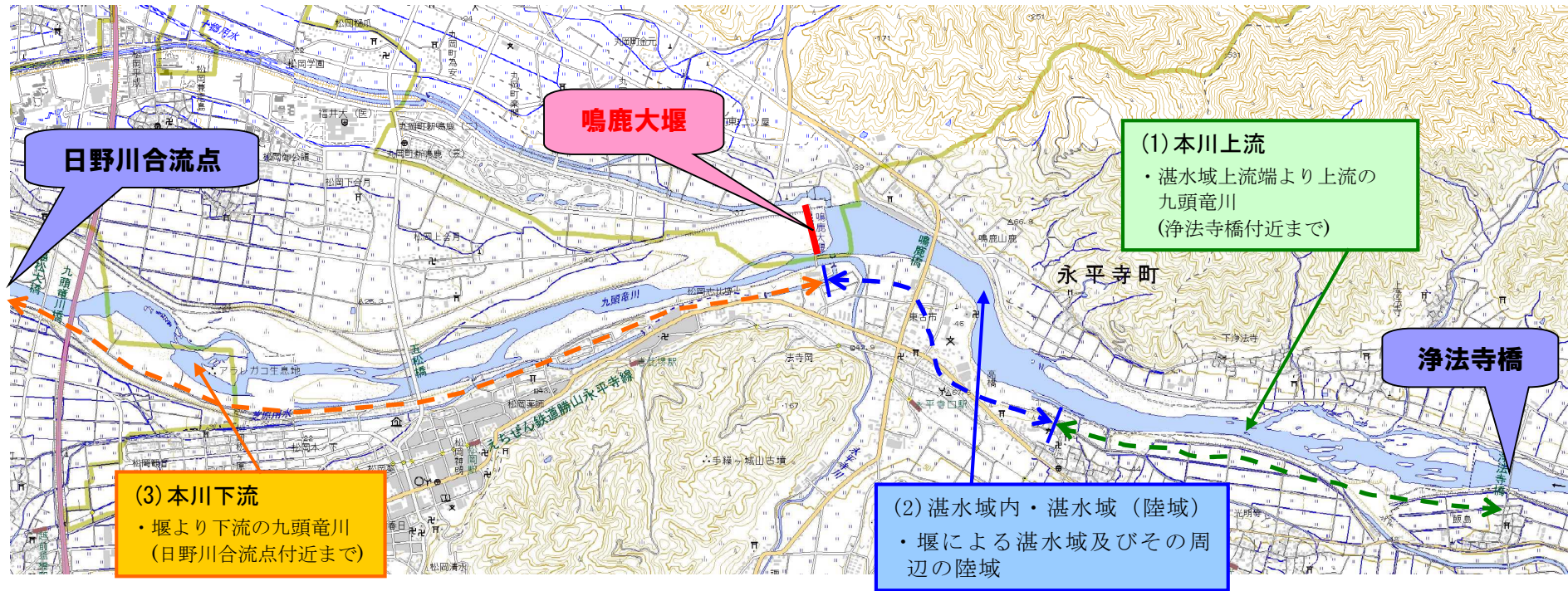


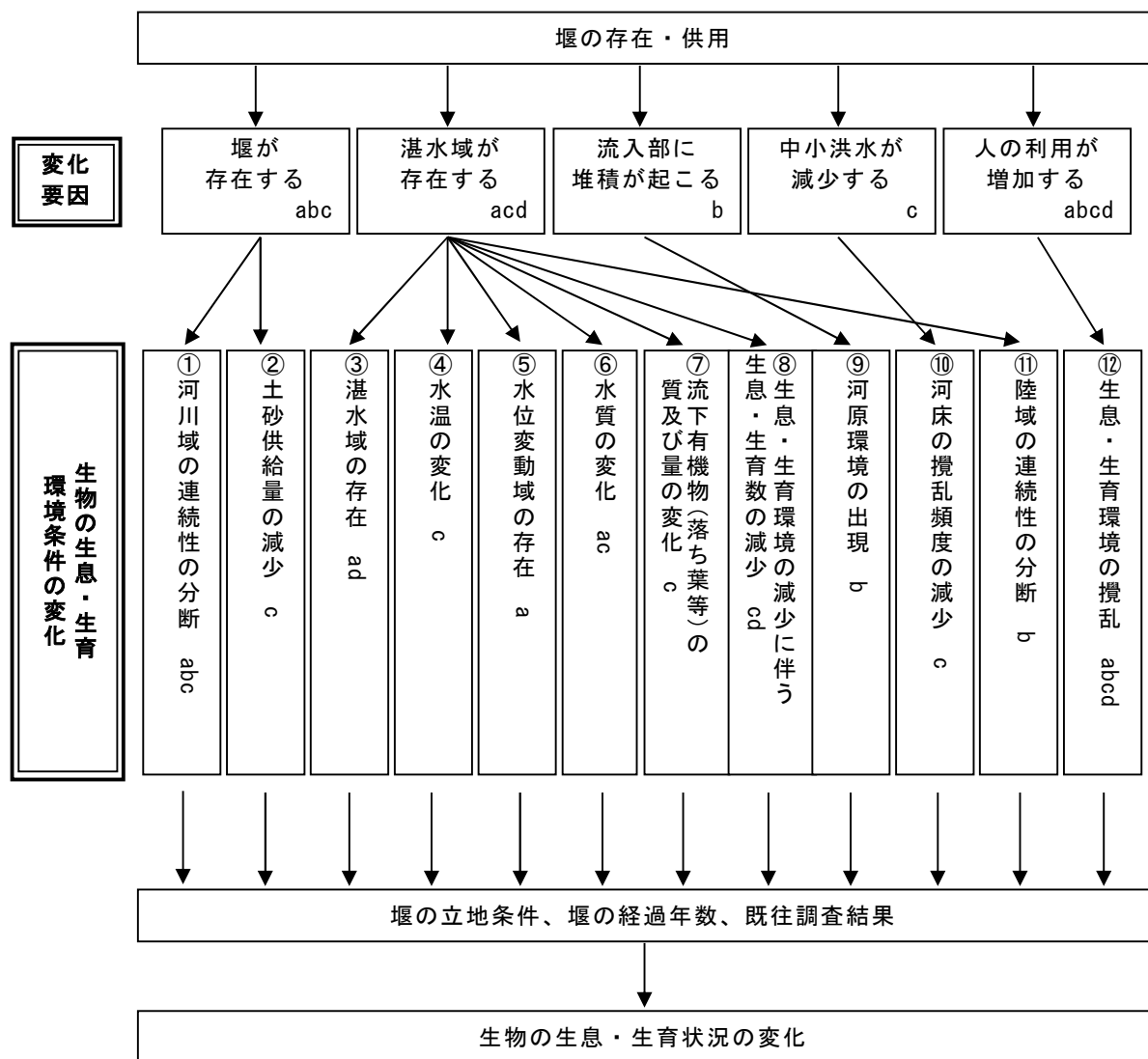
図 6.3-1 鳴鹿大堰における生物の生息・生育状況の変化の検証の対象範囲

6.3.1 生物相の変化の把握

(1) 想定される環境条件及び生物の変化

鳴鹿大堰の存在・供用により、堰周辺（本川上流、湛水域内・湛水域（陸域）、本川下流）において環境の変化が起こり、そこに生息する様々な生物の生息・生育に影響を与えているものと想定される。

そのため、鳴鹿大堰における影響要因及び生物の生息・生育環境条件の変化を図6.3-2のように想定するとともに、鳴鹿大堰の特性（立地条件、経過年数）や既往調査結果等と踏まえて、堰管理・運用と関連して影響を及ぼす恐れのある生物の生息・生育状況の変化について検証を実施した。



a: 湛水域内、b: 本川上流、c: 本川下流、d: 湛水域（陸域）

図 6.3-2 鳴鹿大堰で想定される環境への影響要因と生物の生息・生育環境の変化

(2) 環境条件の変化の把握

環境条件の変化については、「1. 事業の概要」、「4. 堆砂」、「5. 水質」、「7. 堰と周辺地域との関わり」に示す。

(3) 鳴鹿大堰の特性の把握

鳴鹿大堰の特性については、「1. 事業の概要」に示す。

(4) 分析項目の選定

鳴鹿大堰の存在・供用に伴う環境条件の変化、鳴鹿大堰の特性（立地条件、経過年数）及び既往定期報告書等から生物相の変化を踏まえ、堰管理・運用と関連して影響を及ぼす恐れのある生物群の分析項目を抽出した。

分析項目の選定結果を表 6.3-2 に、生物の生息・生育状況の変化を把握する際の視点を表 6.3-3 に示す。

表 6.3-2 分析項目の選定結果

項目		特性条件	対象範囲	選定理由
魚類	回遊性魚類	立地条件 既往結果	本川上流 湛水域内	・堰の存在により河川の連続性が阻害される可能性があるため。
	止水性魚類	既往結果	湛水域内	・オオクチバス等の国外外来種が確認されており、国外外来種の捕食による在来種の減少が懸念されるため。
底生動物	主要構成種 の変化	既往結果	本川上流 湛水域内 本川下流	・堰の存在により、土砂供給量の変化、流況の安定化等の環境変化が発生し、それに伴い、堰上下流に生息する底生動物の生息状況が変化する可能性があるため。
付着藻類	主要構成種 の変化	既往結果	湛水域内	・湛水域の存在により、河床に浮泥物や細粒土砂が堆積し、付着藻類が剥離・更新されにくくなり、生育環境が変化する可能性があるため。
植物	植生面積 の変化	立地条件 経過年数	湛水域(陸域) 本川下流	・堰供用後約20年経過しているが、湛水域や水位変動域の存在、下流への土砂供給量の変化、流況の安定化等の環境の変化に伴い、植生群落が変化する可能性があるため。
	植物の生育状況 の変化	立地条件 経過年数	湛水域(陸域) 本川下流	・堰供用後約20年経過しているが、湛水域や水位変動域の存在、下流への土砂供給量の変化、流況の安定化等の環境の変化に伴い、植物相が変化する可能性があるため。
鳥類	湛水域を 利用する水鳥	立地条件	湛水域内	・湛水域の存在により、カワウ等の水鳥の利用が増加する可能性があるため。
	湛水域周辺 の鳥類	経過年数	湛水域(陸域)	・堰供用後約20年経過しているが、湛水域の存在により水辺を利用する鳥類が増加する等の生息状況が変化する可能性があるため。
両生類 爬虫類 哺乳類	確認種の変化	経過年数	湛水域(陸域)	・堰供用後約20年経過しているが、湛水域の存在により流水環境に依存する種が減少する等の生息状況が変化する可能性があるため。
陸上昆虫 類等	確認種の変化	経過年数	湛水域(陸域)	・堰供用後約20年経過しているが、湛水域の存在により止水性の昆虫が増加する等の生息状況が変化する可能性があるため。

表 6.3-3 生物の生息・生育状況の変化を把握する際の視点

	想定した生物の生息・生育環境条件の変化	①河川域の連続性の分断 ②土砂供給量の減少 ③湛水域の存在 ④水温の変化 ⑤水位変動域の存在 ⑥水質の変化 ⑦流下有機物（落ち葉等）の質及び量の変化 ⑧生息・生育環境の減少に伴う生息数の減少 ⑨河原環境の出現 ⑩河床の攪乱頻度の減少 ⑪陸域の連続性の分断 ⑫生息・生育環境の攪乱
生物の生息・生育状況の変化	魚類	①③河川の連続性の分断、湛水域の存在により、回遊性魚類が陸封化していないか。
		③湛水域の存在により、止水性魚類（コイ、フナ類）が生息しているか。
	底生動物	③④湛水域の存在、水温の変化により、底生動物相がどのように変化しているか。
	付着藻類	③④湛水域の存在、水温の変化により、付着藻類相がどのように変化しているのか。
	植物	②⑤⑨⑩土砂供給量の変化、水位変動域の存在、河原環境の出現、河床の攪乱頻度の減少等により鳴鹿大堰周辺の植物群落がどのように変化しているか。
		②⑤⑨⑩土砂供給量の変化、水位変動域の存在、河原環境の出現、河床の攪乱頻度の減少等により鳴鹿大堰周辺の植物相がどのように変化しているか。
	鳥類	③湛水域を水鳥がどのくらい利用しているか。
	③⑧湛水域の存在、陸域の生息・生育環境の減少により、鳥類相がどのように変化しているか。	
両生類 爬虫類 哺乳類	⑧⑪生息・生育環境の減少、連続性の分断により、両生類・爬虫類・哺乳類相がどのように変化しているか？	
陸上昆虫類等	⑧⑪生息・生育環境の減少、連続性の分断により、陸上昆虫類等がどのように変化しているか？	

(5) 生物の生息・生育状況の変化の把握

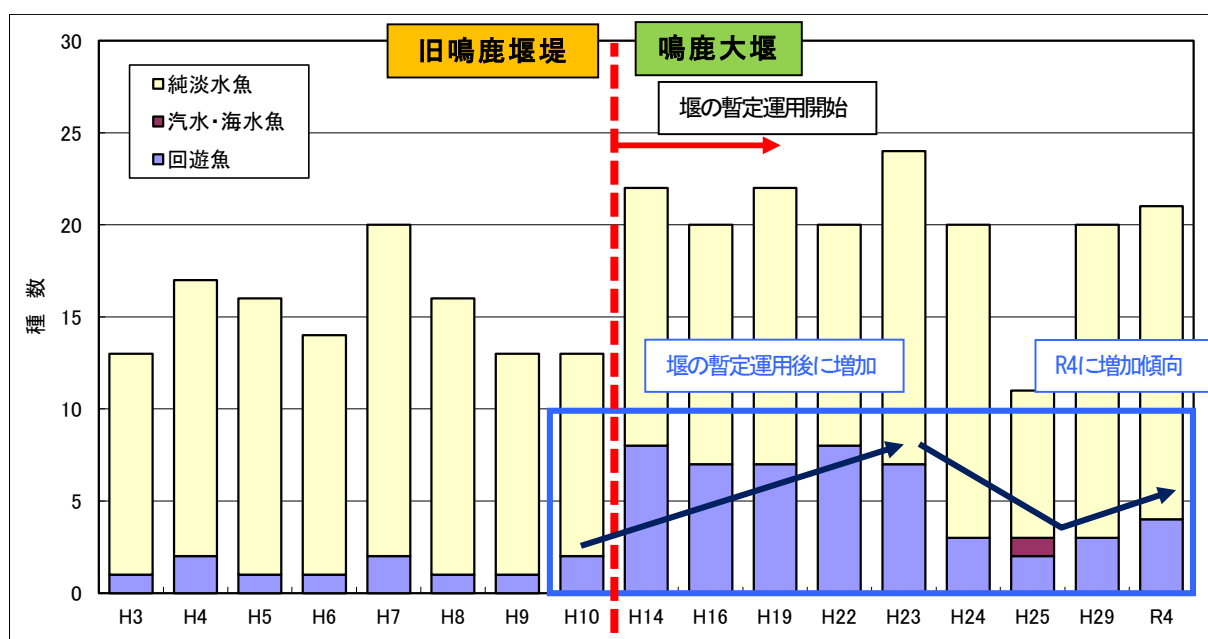
生物の生息・生育状況について時系列に沿った整理を行い、生物の変化を把握した。

1) 魚類

a) 回遊性魚類

回遊性魚類と純淡水魚の割合の経年変化を図 6.3-3 に示す。

本川上流と湛水域内において調査を実施した結果、堰暫定運用後に、回遊魚の確認種数が増加した。平成 24 年度以降、湛水域内では減少にあったが、令和 4 年度には確認種数の増加傾向がみられた。



※湛水域の平成 13 年度と平成 15 年度は目視調査のみ実施のため、除外する。

※湛水域の調査は、平成 11～12 年度、平成 17～18 年度、平成 20～21 年度、平成 26～28 年度、平成 30～令和 3 年度は未実施である。

図 6.3-3 魚類の確認状況(湛水域内)

定期報告書

6. 生物

b) 止水性魚類

湛水域内での調査では、タイリクバラタナゴ、ギンブナ等の止水性の魚類を確認している。現地調査において確認した種のうち、止水性魚類の確認状況を表 6.3-4 に示す。

堰暫定運用前後で比較すると、堰暫定運用前に確認されていたスゴモロコ、ホンモロコは堰暫定運用後には確認していない。

また、堰暫定運用後の調査において、止水性魚類のタイリクバラタナゴ、ヌマムツ、ブルーギル、オオクチバスを新たに確認した。ただし、平成 19 年度調査以降、特定外来生物であるブルーギル、オオクチバスともに湛水域内での確認はされなかった。

湛水域内での外来種の確認個体数は少ない状況である。

表 6.3-4 湛水域内において確認した止水性魚類の確認状況

			旧鳴鹿堰堤		鳴鹿大堰							
			堰の暫定運用開始									
No.	科名	種名	湛水域調査での確認種									
			H3~H10	H14	H16	H19	H23	H24	H25	H29	R4	
1	コイ科	ギンブナ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-		フナ属	▲				▲	▲		▲	▲	
2		タイリクバラタナゴ					●	●		●	●	
3		ヌマムツ					●					
4		モツゴ	●	●	●	●		●		●	●	
5		ホンモロコ	●									
6		スゴモロコ	●									
7	サンフィッシュ科	ブルーギル				●						
8		オオクチバス				●						
種数合計			4	2	2	4	3	3	1	3	3	
			8									

注) ●: 確認種 赤字: 国外外来種(ブルーギル、オオクチバスは特定外来生物) 青字: 国内移入種
▲: 現地調査で種まで同定出来なかった種。種数の合計には含めない。

2) 底生動物

a) 主要構成種の変化

鳴鹿大堰における調査により確認した底生動物の主要構成種の種数の経年変化を図 6.3-4(1)～(3)に示す。

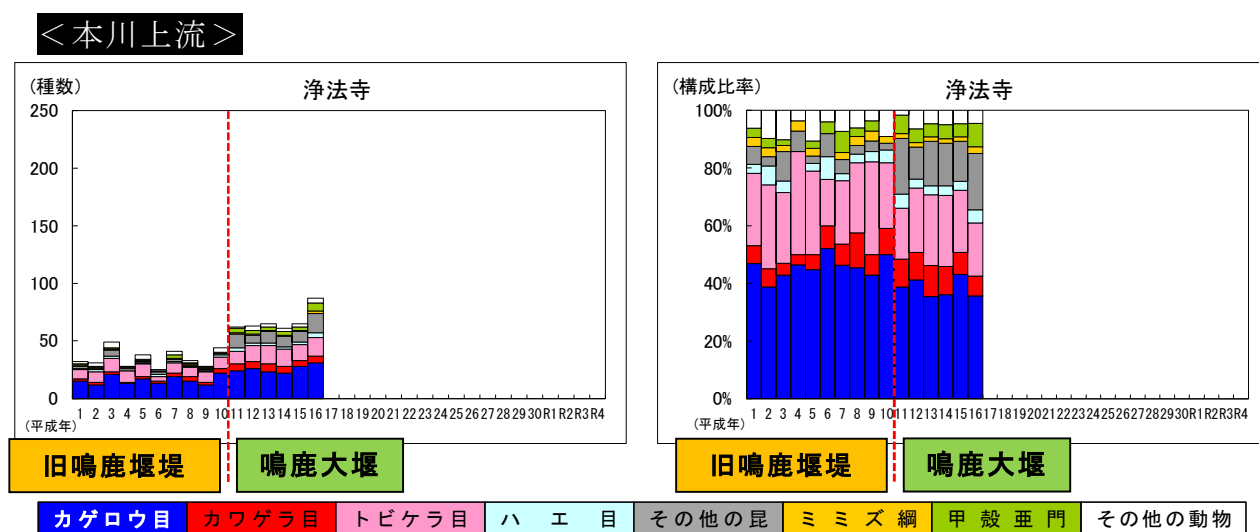
本川上流における底生動物の確認種数については、堰暫定運用前より運用後に多くの種数が確認された。なお、種組成については、堰暫定運用前後の調査ともに、カゲロウ目、トビケラ目が中心となっており、主要構成種には大きな変化がみられない。

湛水域内における底生動物の確認種数については、令和 4 年度に確認種数が大きく増加した。これは、ハエ目の大部分を占めるユスリカ科の形態に関する知見が集積され、種の同定が行えるようになったためと考えられる。

堰暫定運用前後での種組成をみると、堰暫定運用前に多く確認していたカゲロウ目やトビケラ目の比率が堰暫定運用後には低くなり、ハエ目、ミミズ綱等の比率が高くなっている。カゲロウ目については、平成 23 年度と令和 4 年度で大きな変化は見られていないことから、カゲロウ目の生息環境に変化はないと考えられた。変化の原因は、堰改築により湛水域面積が増加し、緩流域を選好する種が増加したためと考えられる。

本川下流における底生動物の確認種数については、堰暫定運用前後で調査を行っている地点（中角、福井大橋、五松橋）において、底生動物の確認種数は増加した。また、種組成については、堰暫定運用前後の調査において、カゲロウ目、トビケラ目が中心となっており、主要構成種には変化がみられないが、令和 4 年度ではカゲロウ目の割合が若干減少した。

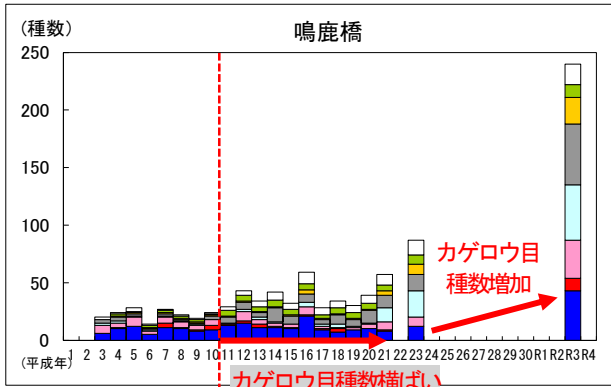
以上より、底生動物の主要構成種について、本川上流と本川下流では大きな変化がみられていない。一方、湛水域では堰の改築後に、緩流域を好むハエ目（ユスリカ科等）、ミミズ綱が増加しており、堰改築による湛水域面積の増加の影響と考えられる。



注) 本川上流の調査は、平成元～2 年度と平成 11～16 年度は浄法寺、平成 3～10 年度は下浄法寺で実施した。平成 17 年度以降、本川上流で底生動物調査は実施していない。

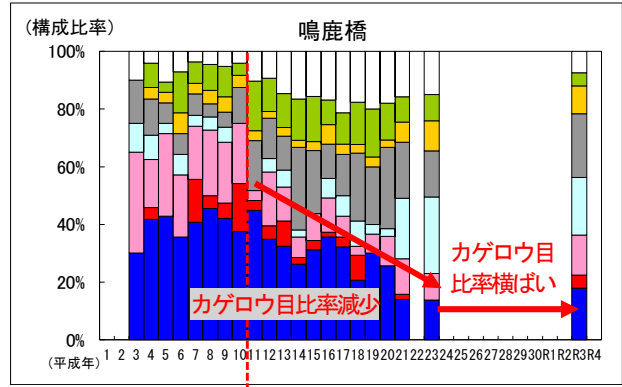
図 6.3-4(1) 底生動物の分類群別種類数の経年変化(本川上流(浄法寺))

< 湛水域内 >



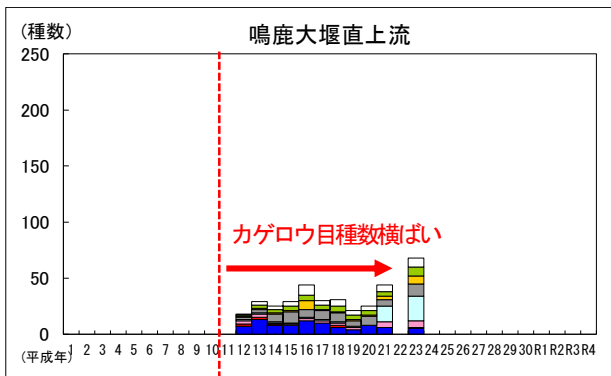
旧鳴鹿堰堤

鳴鹿大堰



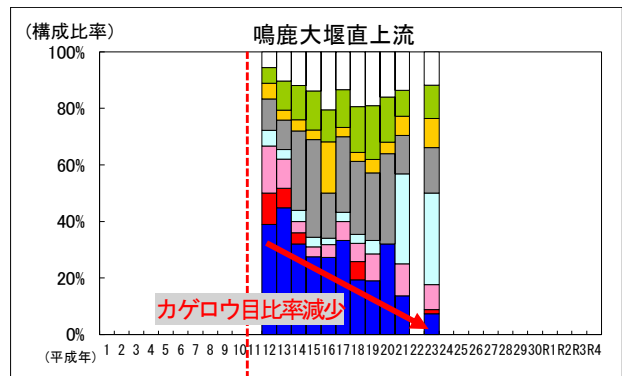
旧鳴鹿堰堤

鳴鹿大堰



旧鳴鹿堰堤

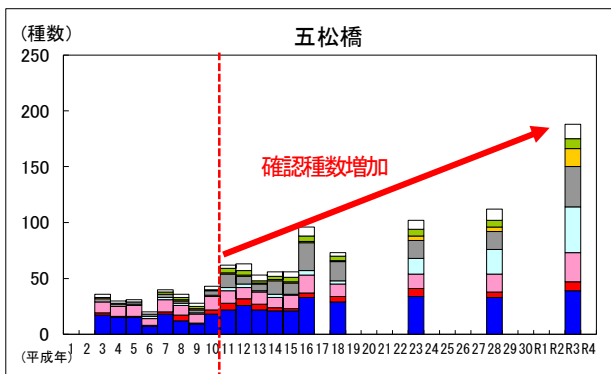
鳴鹿大堰



旧鳴鹿堰堤

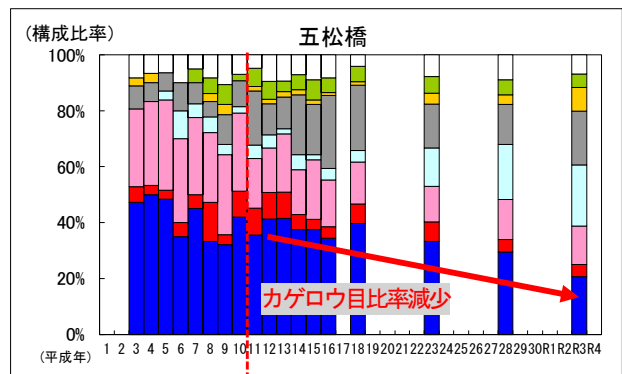
鳴鹿大堰

< 本川下流 >



旧鳴鹿堰堤

鳴鹿大堰



旧鳴鹿堰堤

鳴鹿大堰

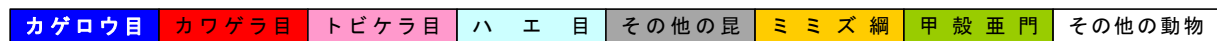


図 6.3-4(2) 底生動物の分類群別種類数、構成比率の経年変化
(上から湛水域内(鳴鹿橋、鳴鹿大堰直上流)、本川下流(五松橋))

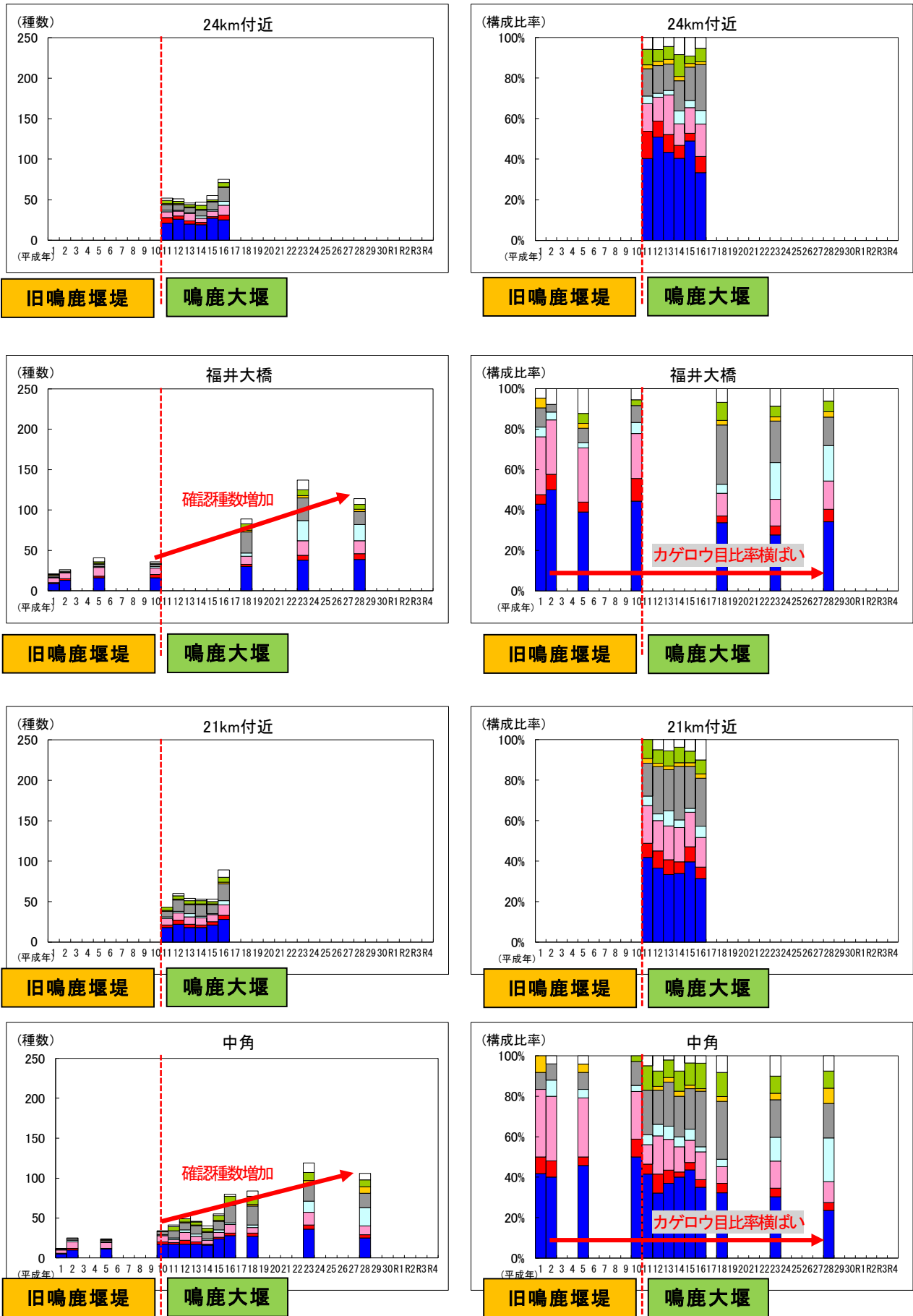


図 6.3-4(3) 底生動物の分類群別種類数、構成比率の経年変化
(上から本川下流(24km 付近、福井大橋、21km 付近、中角))

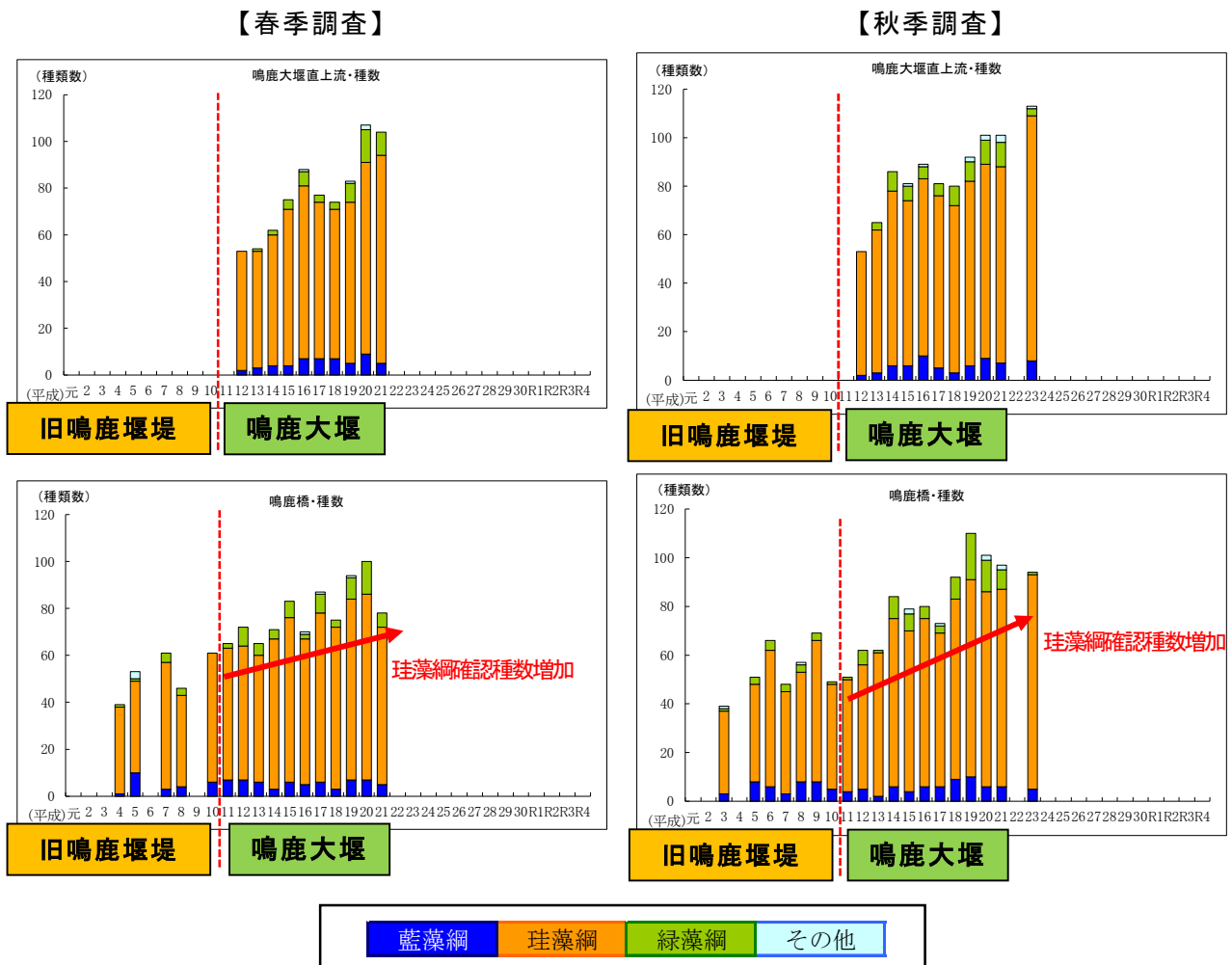
6. 生物

3) 付着藻類

a) 主要構成種の変化

鳴鹿大堰における調査により確認した付着藻類の主要構成種の種数の経年変化を図 6.3-5 に示す。

なお、平成 24 年度以降、鳴鹿大堰周辺における付着藻類調査は実施されていない。分類群別の確認種類数をみると、堰暫定運用後に珪藻綱を運用前より多く確認している。また、堰暫定運用後に緑藻類の種類数がやや増加する傾向を確認した。



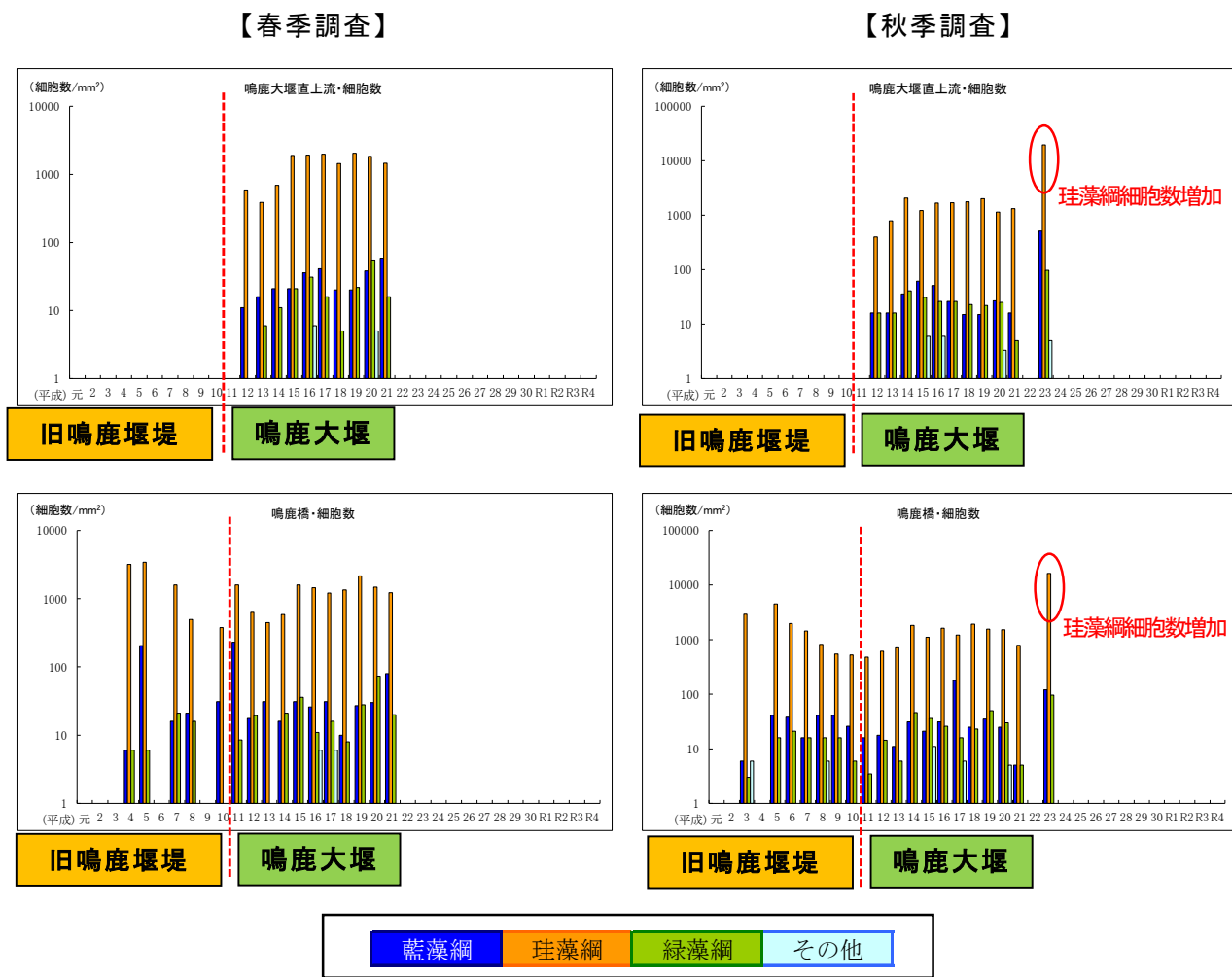
※平成 23 年度調査では春季は未実施

図 6.3-5 付着藻類の分類群別種類数の経年変化

(上図：湛水域内(鳴鹿大堰直上流)、下図：湛水域内(鳴鹿橋))

次に、現地調査において確認した付着藻類について、分類群別細胞数の経年変化を図 6.3-6 に示す。

堰暫定運用前と堰暫定運用後を比較すると、調査年度により多少のばらつきはみられるものの、珪藻綱、藍藻綱、緑藻綱ともに、平成 21 年度まで細胞数に大きな変化はみられないが、平成 23 年度調査において、秋季の珪藻綱の細胞数が増加した。



※平成 23 年度調査では春季は未実施

図 6.3-6 付着藻類の分類群別細胞数の経年変化

(上図：湛水域内(鳴鹿大堰直上流)、下図：湛水域内(鳴鹿橋))

以上より、鳴鹿大堰暫定運用後に、緩流域を好む緑藻類が増加しており、改築による湛水域の水深の増大の影響と考えられる。また、平成 23 年度の秋季に珪藻綱の細胞数が増加したことが堰の運用の影響によるものなのかは不明である。

6. 生物

4) 植物

a) 植生面積の変化

堰の改築により、人の利用等も増加すると考えられることから、湛水域周辺の植生が変化する可能性がある。そこで、湛水域周辺における主な植生面積の調査結果を整理した。

平成 17 年（2005 年）度と平成 22 年（2010 年）度、平成 27 年（2015 年）度、令和 2 年（2022 年）度の調査結果について、植生図の群落区分を基に沈水植物、一年生草本、多年生草本、単子葉草本、ヤナギ林、木本、土地利用、自然裸地および開放水面の 9 区分に分け、1km ピッチごとに植生面積を集計し植生縦断分布図を作成した。

湛水域周辺においては、開放水面以外の区域では、人工構造物や人工草地等の土地利用が大半を占めているが、ツルヨシ等に代表される単子葉草本やタチヤナギやカワヤナギに代表されるヤナギ林が増加傾向にある。これは、出水等による河道の攪乱が起き、先駆植物としてツルヨシ等の生育面積が増加していると考えられる。

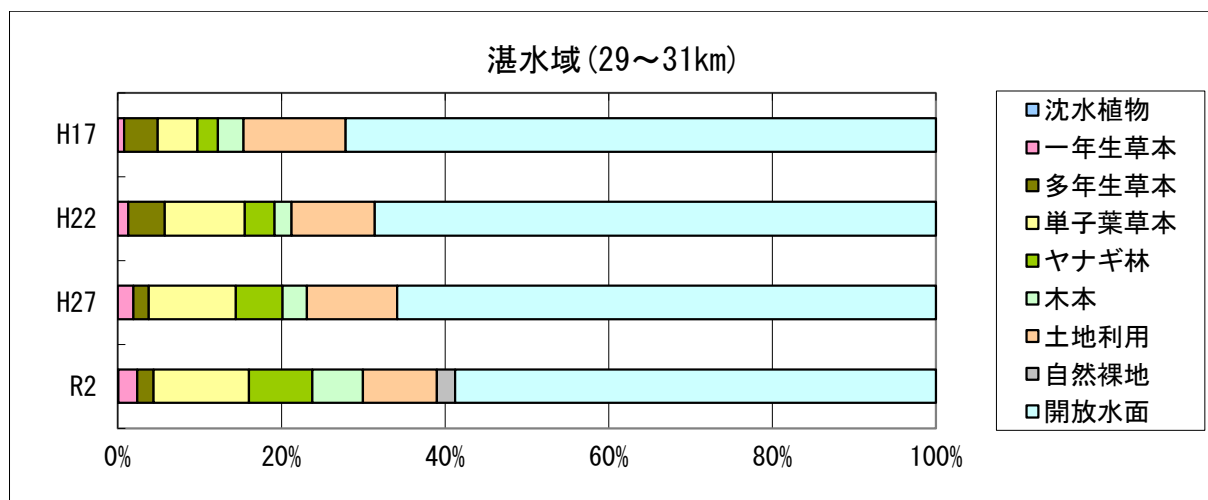


図 6.3-7 堰湛水域周辺における植生面積の調査結果

※湛水域周辺（29～31km）の植生について集計を行った。
 ※「土地利用」は人工構造物、人工草地、田、畑等を示す。

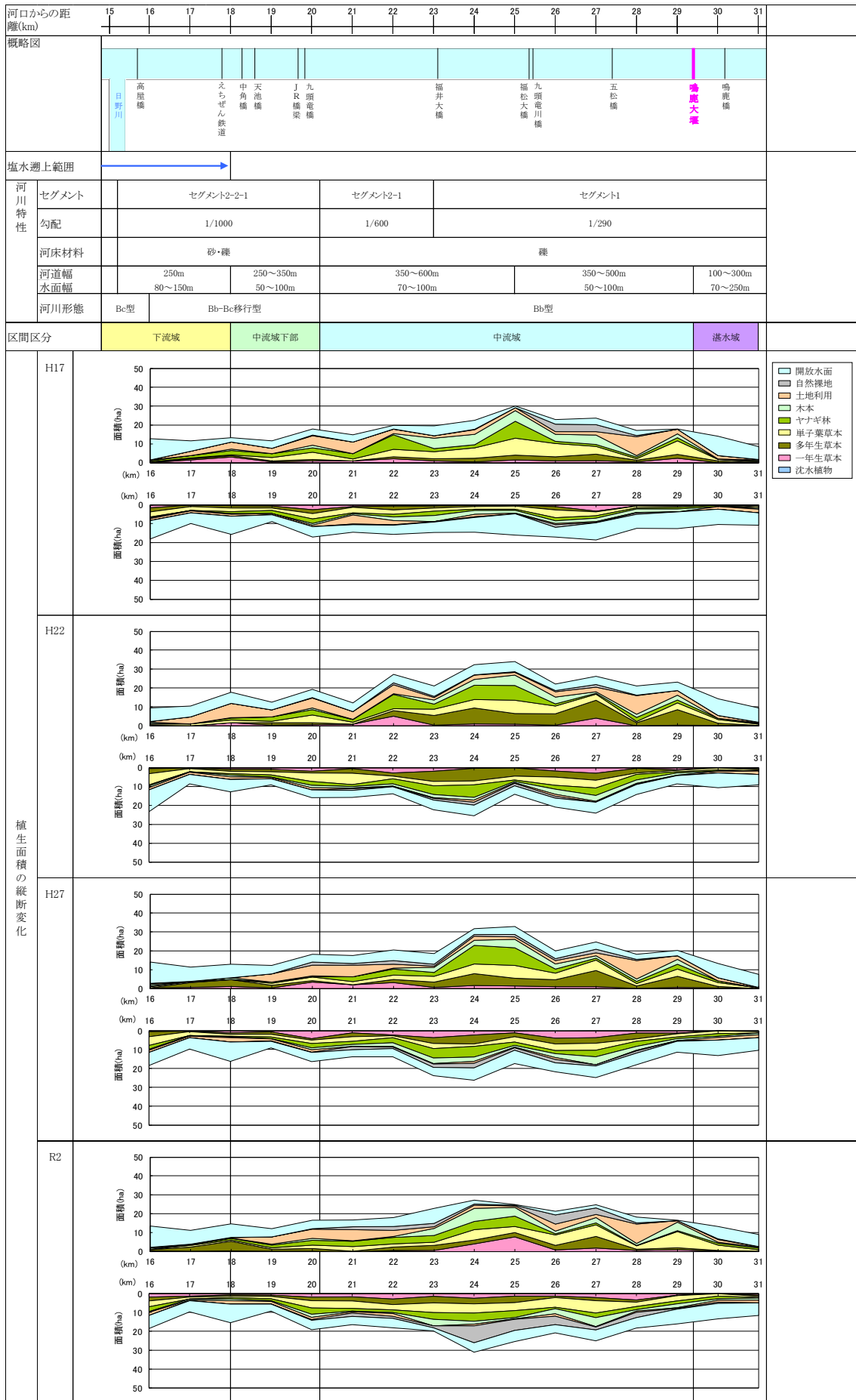


図 6.3-8 鳴鹿大堰周辺における植生面積の調査結果

b) 植物の生育状況の変化

本川下流における河道の状況を把握するため、本格運用後（平成 17 年度、平成 22 年度、平成 27 年度、令和 2 年度）の植生図を整理した（図 6.3-9(1)～(4) 参照）。

鳴鹿大堰（堰堤）直下流についてみると、本格運用後は鳴鹿大堰直下流に暫定運用中とは大きさが異なる中州が確認され、中州は自然裸地、ツルヨシ群集、カワヤナギ群集が発達している。

九頭竜川橋～五松橋付近についてみると、本格運用後、自然裸地に一年生草本群落が入り込んだ後（平成 22 年度）、一年生草本群落が多年生草本群落に遷移しつつあり（平成 27 年度）、礫河原の安定化が示唆されたが、令和 2 年度では自然裸地（礫河原）面積が増加した。

これらの中州や草本群落は出水のたびに位置や大きさを変え、攪乱を受けながら存在していくため、令和 2 年度では出水による適度な攪乱が発生し、先駆植物であるツルヨシ群集やカワヤナギ群集が生育していると考えられた。

以上より、堰の運用後において下流域に中州や多年生草本群落の侵入を確認しているが、その後適度な出水による攪乱が発生しており、河畔植生は良い状態で維持されている。しかしながら、今後攪乱頻度が減少し、河床の安定化が進んだ場合、中州が乾燥して樹林化、陸地化が進む可能性も考えられることから、その変化について定期的に確認する。

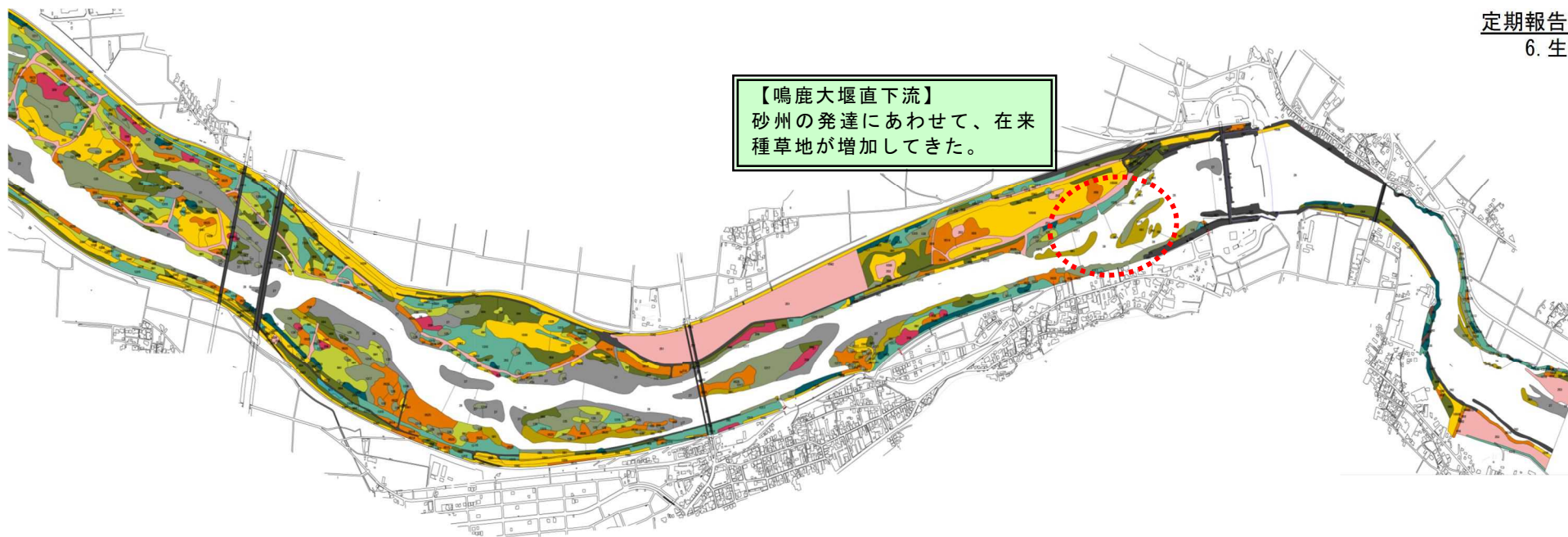


図 6.3-9(1) 陸域における植生図(平成 17 年度調査結果)

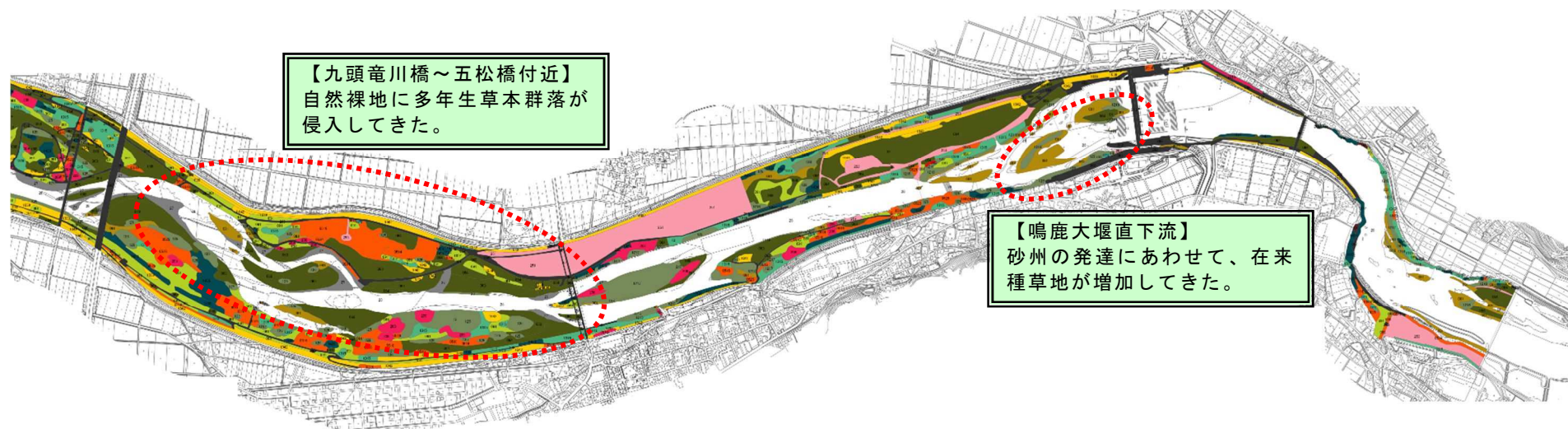


図 6.3-9(2) 陸域における植生図(平成 22 年度調査結果)

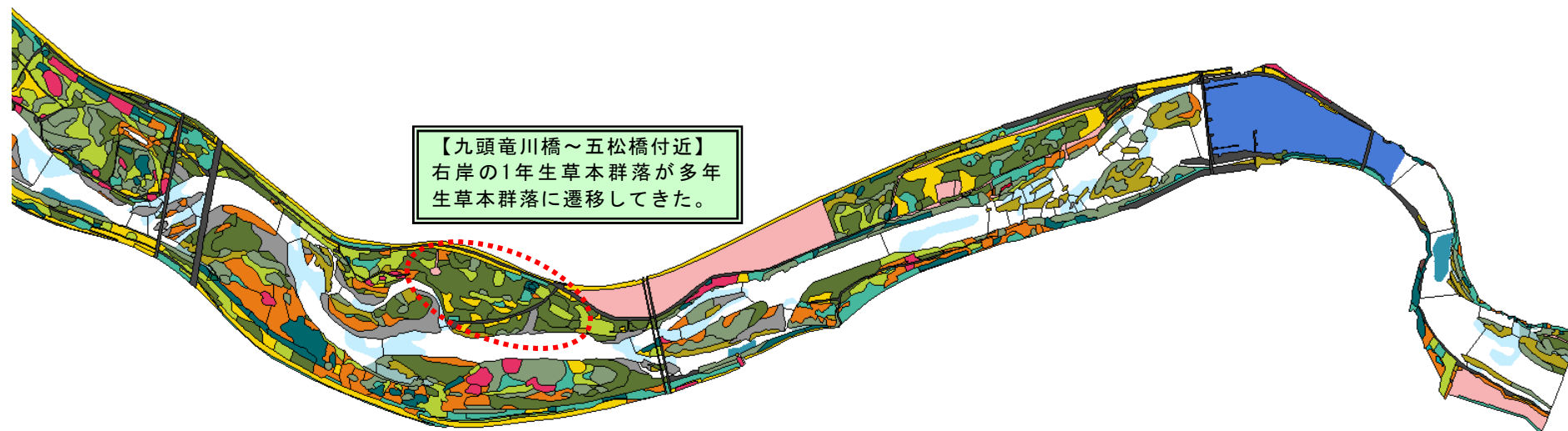


図 6.3-9(3) 陸域における植生図(平成27年度調査結果)

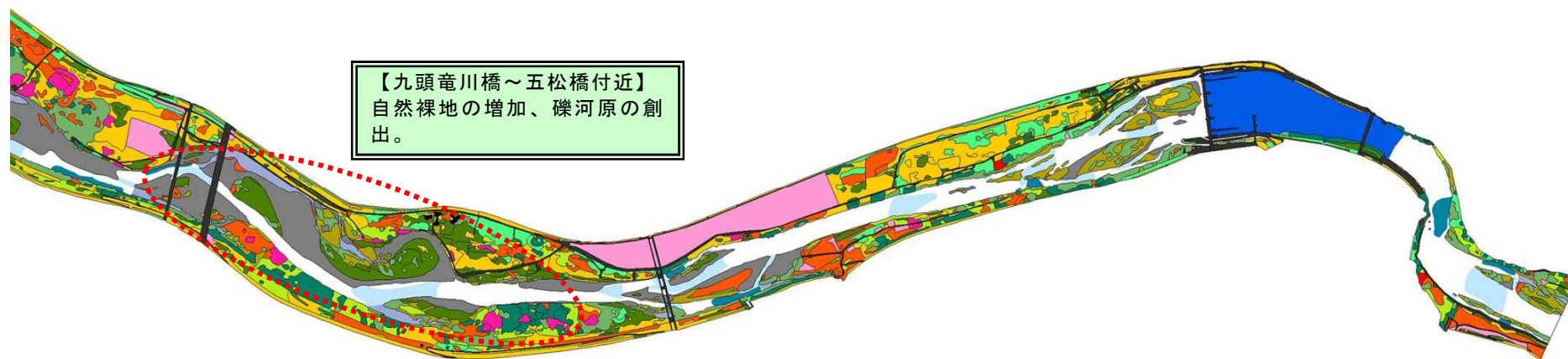


図 6.3-9(4) 陸域における植生図(令和2年度調査結果)

● 植生図凡例

色見本	基本分類	群落名	群落表示コード		
沈水植物群落		ホザキノフサモ群落	013		
		エビモ群落	014		
一年生草本群落		ミゾソバ群落	058		
		ヤナギタデ群落	059		
		オオイスタデーオオクサキビ群落	0510		
		オオオナモミ群落	0512		
		メヒシパーエノコログサ群落	0514		
		ヒメムカシヨモギーオオアレチノギク群落	0515		
		オオブタクサ群落	0516		
		オヒシパーアキメシバ群集	0523		
		アレチウリ群落	0524		
		カナムグラ群落	0525		
		ツルマメ群落	0526		
		多年生草本群落		カワラヨモギーカワラハハコ群落	063
				ヨモギーメドハギ群落	064
イタドリ群落	065				
カラムシ群落	066				
アレチハナガサ群落	067				
セイタカアワダチソウ群落	068				
ヤブガラシ群落	0610				
カゼクサーオオハコ群集	0614				
キダチコンギク群落	0624				
オオキンケイギク群落	06501				
単子葉草本群落	ヨシ群落			ヨシ群落	071
				セイタカヨシ群落	073
単子葉草本群落	ツルヨシ群落			ツルヨシ群集	081
単子葉草本群落	オギ群落	オギ群落	091		
単子葉草本群落	その他の単子葉草本群落	ウキヤガラーマコモ群集	101		
		サンカクイーコガマ群集	102		
		ヒメガマ群落	104		
		ミクリ群落	107		
		セリークサヨシ群集	1010		
		ヤマアワ群落	1022		
		メリケンカルカヤ群落	1029		
		シマスズメヒユ群落	1032		
		オニウシノケグサ群落	1037		
		シナダレスズメガヤ群落	1038		
		シバ群落	1039		
		ススキ群落	1041		
		チガヤ群落	1042		
ヤナギ低木林		ネコヤナギ群集	112		
ヤナギ高木林		タチヤナギ群集	125		
		タチヤナギ群集(低木林)	126		
		ジャヤナギーアカメヤナギ群集	127		
		ジャヤナギーアカメヤナギ群集(低木林)	128		
		コゴメヤナギ群集	1211		
		カワヤナギ群落	1217		
		カワヤナギ群落(低木林)	1218		
		その他低木林		アキグミ群落	135
		イタチハギ群落	137		
		ネザサ群落	1313		
		クズ群落	1315		
		ノイバラ群落	1316		
		クリオザサ群落	1328		
		フジ群落	1329		
		落葉広葉樹林		ケヤキ群落	149
				クスギ群落	1417
ハンノキ群落	1421				
スルデーアカメガシワ群落	1429				
スルデーアカメガシワ群落(低木林)	1430				
ヤマグワ群落	1431				
ヤマグワ群落(低木林)	1432				
オニグルミ群落	1433				
オニグルミ群落(低木林)	1434				
ムクノキーエノキ群集	1435				
常緑広葉樹林		タブノキ群落	1610		
植林地(竹林)		マダケ植林	182		
		ハチク植林	186		
植林地(スギ・ヒノキ)		スギ・ヒノキ植林	191		
植林地(その他)		シンジュ群落	208		
		ハリエンジュ群落	209		
		植栽樹林群	2010		
		キリ植林	2015		
畑		畑地(畑地雑草群落)	222		
水田		水田	23		
人工草地		人工草地	24		
グラウンドなど		公園・グラウンド	251		
		人工裸地	253		
人工構造物		構造物	261		
		コンクリート構造物	262		
		道路	263		
自然裸地		自然裸地	27		
開放水面		開放水面	28		

図 6.3-10 陸域における植生図(凡例)

5) 鳥類

a) 湛水域を利用する水鳥

堰によって形成されている湛水域をどのような鳥類が利用しているかを把握するため、湛水域の水面を利用すると考えられるカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、カモ類（マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ）、ミコアイサ、カワアイサについての確認状況を整理した。

堰の上下流を対象に調査を実施した平成 5 年（1993 年）度～平成 16 年（2004 年）度の調査（九九福 4（五松橋～直轄管理区間上流端））及び平成 25 年度の 28～31k 範囲（スポットセンサス法 28R～31R、28L～31L の計 8 スポット、集団分布地調査）において越冬期に確認されたカイツブリ類、カワウ、カモ類、アイサ類の個体数を取りまとめた。その結果、これらの水鳥は増加する傾向にあり、特に平成 16 年（2004 年）度には、カワウや水面で採餌するマガモ、カルガモなどのカモ類を多数確認した（図 6.3-11 参照）。一方、調査方法がスポットセンサス法に変更された平成 25 年（2013 年）度の個体数は、平成 16 年度より減少した。集団分布地は堰周辺では確認されておらず、日常的な巡視でも確認数は少ない。アドバイザーヒアリングでも減少の原因は不明である。

平成 5 年（1993 年）、平成 11 年（1999 年）の調査時には堰の改築工事の影響により確認数が少なかったものが、管理開始の平成 16 年（2004 年）に戻ってきた可能性が考えられるが、平成 25 年度の減少理由は調査方法の変更等が考えられるものの不明である。

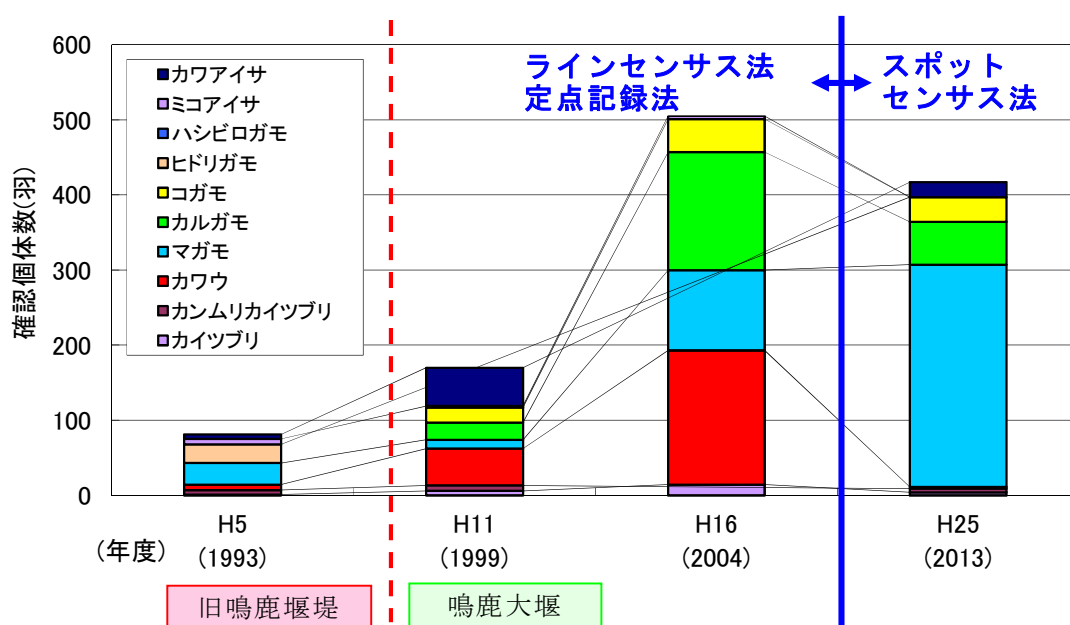


図 6.3-11 湛水域内で確認した水鳥

※平成5年は取水施設の改築、平成11年は旧堰の撤去が行われており、工事の影響で確認数が少ない可能性も考えられる。



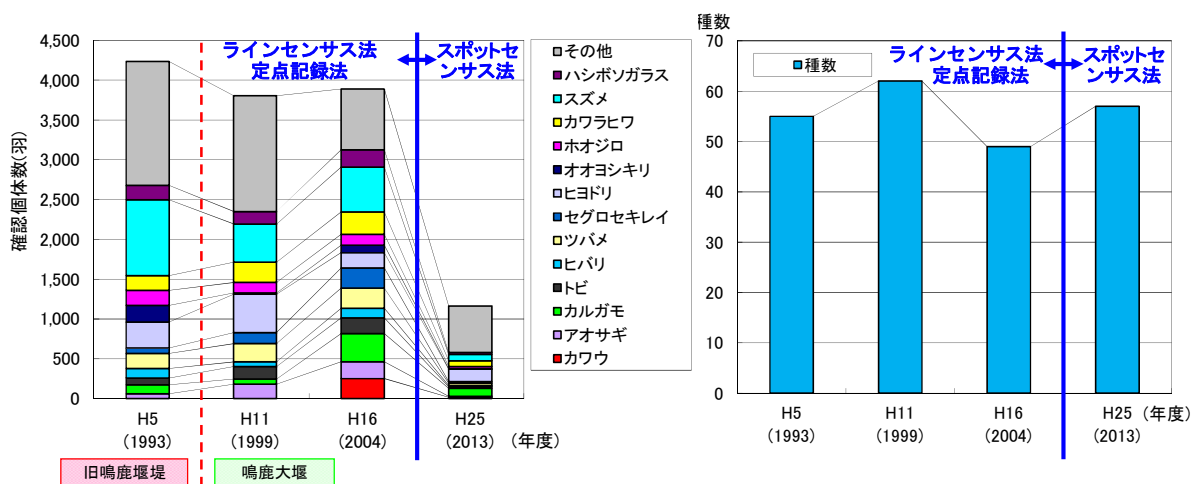
b) 湛水域周辺の鳥類

湛水域周辺をどのような鳥類が利用しているかどうかを把握するため、湛水域沿いの河川敷において確認した鳥類の状況を整理した。

平成5年（1993年）度～平成16年（2004年）度の調査における、湛水域沿い（九九福4（五松橋～直轄管理区間上流端））のラインセンサス法による確認個体数及び平成25年（2013年）度のスポットセンサス法（28～31km）による確認個体数をとりまとめた。その結果、水辺に生息するアオサギ、セグロセキレイ、人家周辺に生息するスズメ、開けた草地などを好むヒバリなどを多数確認した（図6.3-12参照）。

なお、平成16年（2004年）度までカワウが増加している傾向がみられるが、平成25年（2013年）度の確認個体数は少なかった。平成25年度調査では、集団分布地は堰周辺では確認されておらず、日常的な巡視でも確認個体数は少ない。アドバイザーヒアリングでも減少の原因は不明である。

平成25年度の鳥類調査結果では、カワウ確認個体数が大きく減少しているが、鳥類全体の確認種数には大きな違いがなく、個体数のみ減少しており、減少した理由は不明である。



※H25 度データは、河川敷と水面を区別することが出来ないため、28～31k の範囲のスポットセンサス法、移動中等に確認された個体数を用いた。

※H25 度データのうち集団分布地調査結果は、水面で確認された可能性が高いことから対象外とした。

図 6.3-12 湛水域周辺で確認した鳥類

定期報告書

6. 生物

6) 両生類・爬虫類・哺乳類

a) 湛水域周辺における確認状況の変化

湛水域周辺の両生類・爬虫類・哺乳類の確認状況について、堰の改築前後を比較すると、哺乳類でやや確認種数が増加したが、概ね、堰の改築の前後で同等の結果が得られていることから、平成 21 年度調査の段階では、両生類・爬虫類・哺乳類相の大きな変化はみられない（表 6.3-5～表 6.3-7 参照）。

表 6.3-5 鳴鹿大堰周辺における両生類の確認状況

No.	目名	科名	種名	調査年度			
				H2・3	H16	H21	R2
1	有尾目	イモリ科	イモリ科	○			
2	無尾目	アマガエル科	ニホンアマガエル	○	○	○	○
3		アカガエル科	トノサマガエル	○	○	○	
4			ツチガエル		○		○
5		ヌマガエル科	ヌマガエル	○			
6		アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	○		○	
7			カジカガエル		○		
合計		2目	5科	7種	5	4	4

表 6.3-6 鳴鹿大堰周辺における爬虫類の確認種数

No.	目名	科名	種名	調査年度			
				H2・3	H16	H21	R2
1	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	○	○	○	○
2		ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ				○
3		スッポン科	ニホンスッポン				○
			カメ目			○	
4	有鱗目	トカゲ科	トカゲ科	○		○	
5		カナヘビ科	ニホンカナヘビ	○	○	○	○
6		ナミヘビ科	シマヘビ	○	○	○	○
7			アオダイショウ	○	○	○	
8			ヤマカガシ	○	○		
9		クサリヘビ科	ニホンマムシ	○		○	
				有鱗目			○
合計	2目	7科	9種	7	5	8	5

表 6.3-7 鳴鹿大堰周辺における哺乳類の確認種数

No.	目名	科名	種名	調査年度			
				H2・3	H16	H21	R2
1	モグラ目（食虫目）	モグラ科	コウベモグラ	○			
			モグラ属				○
			モグラ科		○	○	
2	コウモリ目（翼手目）	ヒナコウモリ科	ヒナコウモリ科		○	○	○
3	ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	○	○	○	○
4	ネズミ目（齧歯目）	ネズミ科	ハタネズミ				○
5			アカネズミ	○	○	○	○
6			ヒメネズミ		○		
7			カヤネズミ		○	○	○
8			ドブネズミ			○	
			ネズミ科	○	○		
9	ネコ目（食肉目）	イヌ科	タヌキ		○	○	○
10			キツネ		○	○	○
11		イタチ科	テン		○		
12			シベリアイタチ				○
13			ニホンイタチ				○
			イタチ属	○			○
			イタチ科		○	○	
14		ジャコウネコ科	ハクビシン		○		
合計	5目	7科	14種	4	10	9	10

※H2・3年度及びH16年度は九頭竜川橋～鳴鹿橋上流の範囲で、H21年度は鳴鹿橋周辺での調査結果をとりまとめた

※H16は、河川水辺の国勢調査ではないが、鳴鹿大堰を含む周辺区域で両生類・爬虫類・哺乳類調査を行った調査結果を用いている。なお、H8、H13実施の河川水辺の国勢調査では、鳴鹿大堰を含む周辺区域で調査を実施していない

【出典：H3・H21 河川水辺の国勢調査成果】

【出典：「平成16年度九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務成果」】

※調査範囲：H2・3：距離標 25.5km 付近～31km 付近、H16：距離標 25.6km～31.8km、H21：距離標 30.0km～31.0km、R2：距離標 22.5km 付近～23.5km 付近

※H16は、河川水辺の国勢調査ではないが、鳴鹿大堰を含む周辺区域で両生類・爬虫類・哺乳類調査を行った調査結果を用いている。なお、H8、H13実施の河川水辺の国勢調査では、鳴鹿大堰を含む周辺区域で調査を実施していない

【出典：H3・H21・R2 河川水辺の国勢調査成果】

【出典：「平成16年度九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務成果」】

6. 生物

7) 陸上昆虫類等

a) 湛水域周辺における確認状況の変化

湛水域周辺の陸上昆虫類等の確認状況について、堰改築の前後を比較すると、目別の確認種数の割合は同程度であることから、平成30年度調査の段階では、陸上昆虫類相の大きな変化はみられない（表 6.3-8 参照）。

表 6.3-8 鳴鹿大堰周辺における陸上昆虫類等の確認状況

No	目名	九頭竜川橋～鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近	
		H2・H3	H16	H20	H30
1	アミメカゲロウ目（脈翅）	1	3		
2	カゲロウ目（蜉蝣目）	9	6	1	5
3	カマキリ目（螳螂目）	3		5	3
4	カメムシ目（半翅目）	54	161	57	51
5	カワゲラ目（セキ翅目）	1			3
6	クモ目		101	31	46
7	コウチュウ目（鞘翅目）	126	426	105	100
8	ゴキブリ目（網翅目）		1		
9	シリアゲムシ目（長翅目）	1	1	1	
10	チョウ目（鱗翅目）	57	244	45	55
11	トビケラ目（毛翅目）	8	5	1	13
12	トンボ目（蜻蛉目）	9	16	18	10
13	ハエ目（双翅目）	30	43	11	21
14	ハサミムシ目（革翅目）	1	6	1	2
15	ハチ目（膜翅目）	39	71	48	32
16	バッタ目（直翅目）	30	48	23	25
17	ヘビトンボ目		1	1	1
18	ラクダムシ目	1			
確認種数		370	1133	348	367

※調査結果のうち、H2・3年度及びH16年度は九頭竜川橋～鳴鹿橋上流の範囲、H20年度及びH30年度は鳴鹿橋周辺での調査結果を抽出し、とりまとめている。

※H16は、河川水辺の国勢調査ではないが、鳴鹿大堰を含む周辺区域で陸上昆虫類調査を行った調査結果を用いている。

※H4、H9、H14実施の河川水辺の国勢調査では、鳴鹿大堰を含む周辺区域で調査を実施していない。

【出典：H3・H20・H30 河川水辺の国勢調査成果】

【出典：平成16年度九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務成果】

6.3.2 生態系等の変化の把握

生物の生息・生育の基盤となるハビタットと生息・生育する生物を表 6.3-9(1)、(2)に示す。

水域および陸域では、堰の建設・運用開始後で同様なハビタットが周辺に存在しており、大きな変化はみられないため、鳴鹿大堰周辺の環境は安定していると考えられる。

動植物が各ハビタットを継続して利用している状況が確認されている。下流河川との連続性は堰左右岸に存在する魚道により下流河川との連続性は確保されており、サクラマス、アユ、ウグイ等の回遊性魚類が継続して堰上流部でも確認されている。

表 6.3-9(1) ハビタットの整理（水域）

ハビタット		生息・生育基盤とハビタットの特徴	主な分布	ハビタットを代表する生物	想定される生物の主な利用状況
本川上流	早瀬	早い流速・石礫からなる河床。	31.0k 付近	【魚類】 アユ、アブラハヤ等 【底生動物】 ケスジドロムシ等 【鳥類】 ホオジロガモ等	魚類や底生動物等の生息場、水辺を好む鳥類の採餌場。
	平瀬	やや早い流速・礫からなる河床。	本川上流域の多くを占める	【魚類】 アユ、アブラハヤ等 【鳥類】 イソシギ、カワアイサ等	
	淵	非常に緩やかな流れ。	30.6k 付近	【魚類】 アユ、ウグイ等 【底生動物】 モノアラガイ等	魚類等の生息場・休息場。
	ワンド	本川と繋がっているが、水制等に囲まれて池のようになっている場所。	31.0k～31.2k の右岸	【魚類】 アユ、ウグイ等 【鳥類】 カワアイサ等	魚類等の生息場・休息場・産卵場。
湛水域内	鳴鹿大堰により通常の流れがせき止められ、湛水している区間。	鳴鹿大堰直上～鳴鹿橋付近	【魚類】 サクラマス、アユ等 【鳥類】 カモ類等	魚類の生息場、避難場所、水辺を好む鳥類の採餌場。	
本川下流	早瀬	早い流速・石礫からなる河床。	五松橋付近等、下流河川に点在する	【魚類】 サクラマス、カジカ中卵型等 【鳥類】 コチドリ、カモ類等	魚類や底生動物等の生息場、水辺を好む鳥類の採餌場。
	平瀬	やや早い流速・礫からなる河床。	本川下流域の多くを占める	【魚類】 サクラマス、サケ等 【底生動物】 モノアラガイ等 【鳥類】 イカルチドリ等	
	淵	非常に緩やかな流れ。	福井大橋付近等下流河川に点在する	【魚類】 コイ類等	魚類等の生息場・休息場。
	ワンド	本川と繋がっているが、水制等に囲まれて池のようになっている場所。	中角橋付近等下流河川に点在する	【魚類】 キタノメダカ、ドジョウ等	魚類等の生息場・休息場・産卵場。

表 6.3-9(2) ハビタットの整理(陸域)

ハビタット		ハビタットの特徴 主な植生	生息・生育基盤と ハビタットの特徴	ハビタットを 代表する生物	生物の主な 利用状況
本川 上流	水際植物 群落	ツルヨシ群集等	両護岸水際や、中州の 砂礫河原上に成立する	【鳥類】 カワアイサ、コチ ドリ等 【陸上昆虫類等】 ミヤマアカネ等	鳥類の採餌場、休息場、小 動物の生息場。水際部では 魚類の産卵場・稚魚の成育 場として利用される。
	河畔地草地 (低茎草本 群落)	カワヤナギ群落、 ヨモギーメドハギ 群落等	両護岸や、中州の砂礫 河原上に成立する	【植物】 アレチウリ等 【鳥類】 カワアイサ等	鳥類の採餌場、休息場、カ モ類の営巣場、小動物の生 息場、草地環境を好む昆虫 類の生息場として利用され る。
	河畔地草地 (高茎草本 群落)	クズ群落等	両護岸の低水敷に成立 する	【植物】 アレチウリ等 【鳥類】 ノスリ、カワアイ サ等	鳥類の採餌場、休息場、ホ オジロ等の営巣場、小動物 の生息場、草地環境を好む 昆虫類の生息場として利用 される。
湛 水域	水際植物 群落	ウキヤガラーマコ モ群落等	両護岸の水際に成立す る	【鳥類】 カモ類、ヤマセミ 等	鳥類の採餌場、休息場、小 動物の生息場。水際部では 魚類の産卵場・稚魚の成育 場として利用される。
	河畔地草地 (低茎草本 群落)	チガヤ群落、ヨモ ギーメドハギ群 落、ツルヨシ群集 等	両護岸の低水敷に成立 する	【陸上昆虫類等】 ミヤマアカネ、ヤ マトアシナガバ チ等	鳥類の採餌場、休息場、カ モ類の営巣場、小動物の生 息場、草地環境を好む昆虫 類の生息場として利用され る。
	河畔地 (高木群落)	ハンノキ群落、ク ズ等	両護岸の河岸、やや比 高の高い場所に成立す る	【鳥類】 ミサゴ、チョウゲ ンボウ等	鳥類の採餌場、休息場、ホ オジロ等の営巣場、小動物 の生息場、草地環境を好む 昆虫類の生息場として利用 される。
本川 下流	水際植物 群落	ツルヨシ群集、カ ワラヨモギーカワ ラハハコ群落等	両護岸水際や、中州の 砂礫河原上に成立する	【植物】 タコノアシ、オオ キンケイギク等 【鳥類】 ミサゴ、コチドリ 等 【爬虫類】 ニホンイシガメ 等	鳥類の採餌場、休息場、小 動物の生息場。水際部では 魚類の産卵場・稚魚の成育 場として利用される。
	河畔地草地 (低茎草本 群落)	ススキ群落、オギ 群落	両護岸や、中州の砂礫 河原上に成立する	【植物】 フジバカマ、オオ キンケイギク等 【鳥類】 ミサゴ、イカルチ ドリ等	鳥類の採餌場、休息場、カ モ類の営巣場、小動物の生 息場、草地環境を好む昆虫 類の生息場として利用され る。
	河畔地草地 (高茎草本 群落)	クズ、オニグルミ 群落等	両護岸の低水敷に成立 する	【植物】 オオキンケイギ ク、アレチウリ等 【鳥類】 コチドリ、コシア カツバメ等 【陸上昆虫類等】 ミヤマアカネ等	鳥類の採餌場、休息場、ホ オジロ等の営巣場、小動物 の生息場、草地環境を好む 昆虫類の生息場として利用 される。

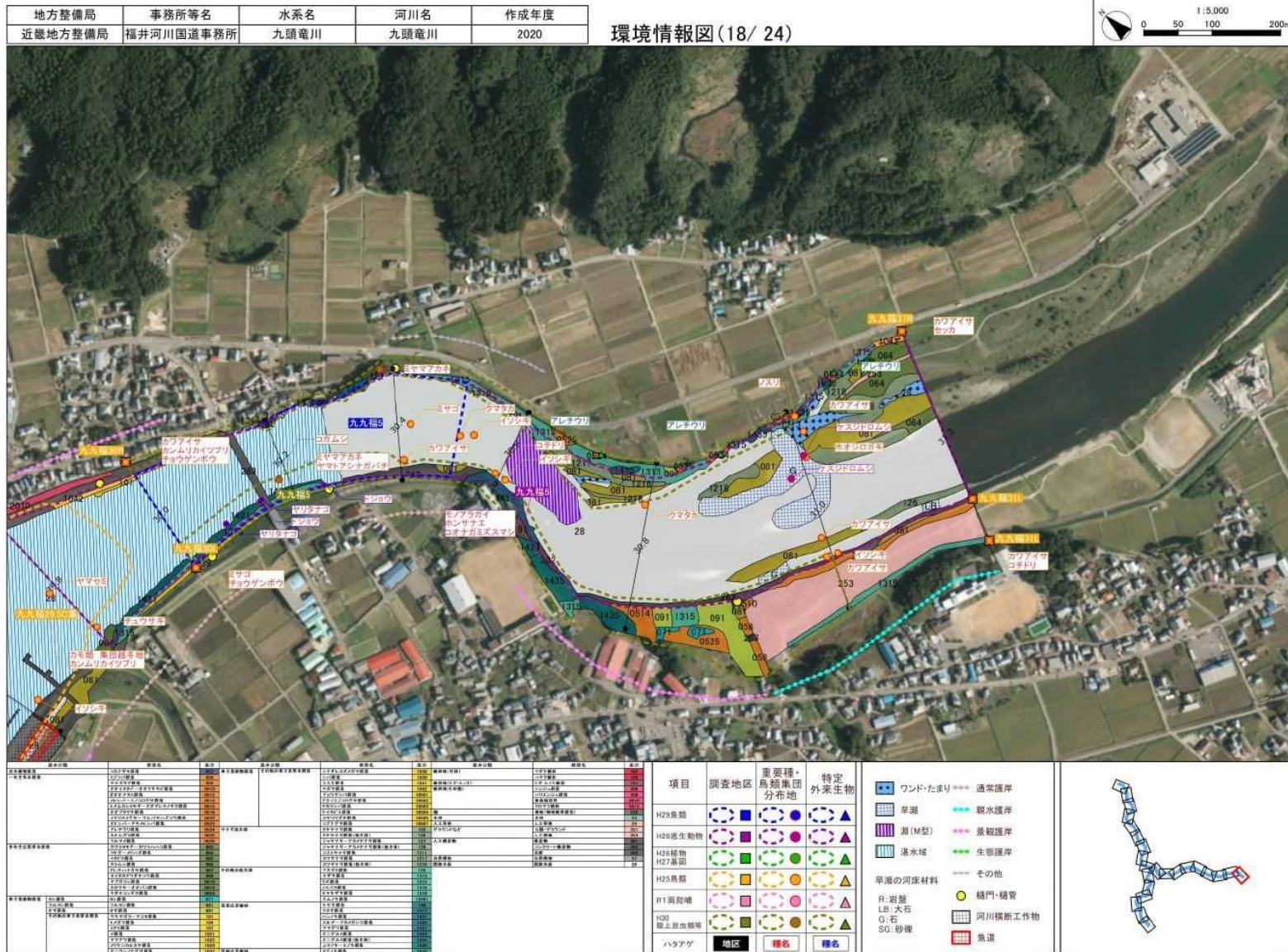


図 6.3-13(1) 本川湛水域～上流域のハビタット位置図

引用：福井管内河川水辺の国勢調査他業務 報告書（令和3年3月）

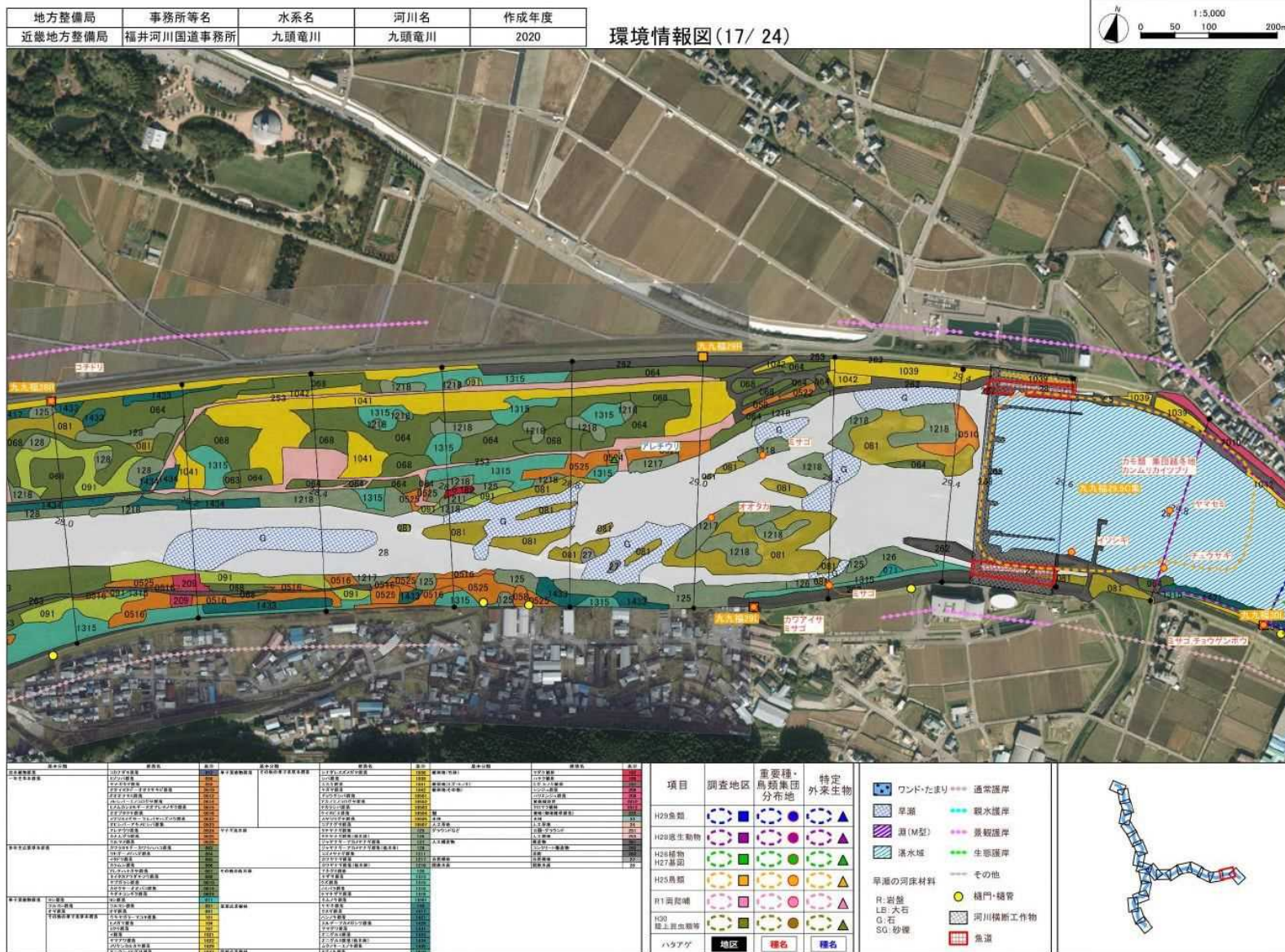


図 6.3-13(2) 本川下流域～湛水域のハビタット位置図

引用：福井管内河川水辺の国勢調査他業務 報告書（令和3年3月）

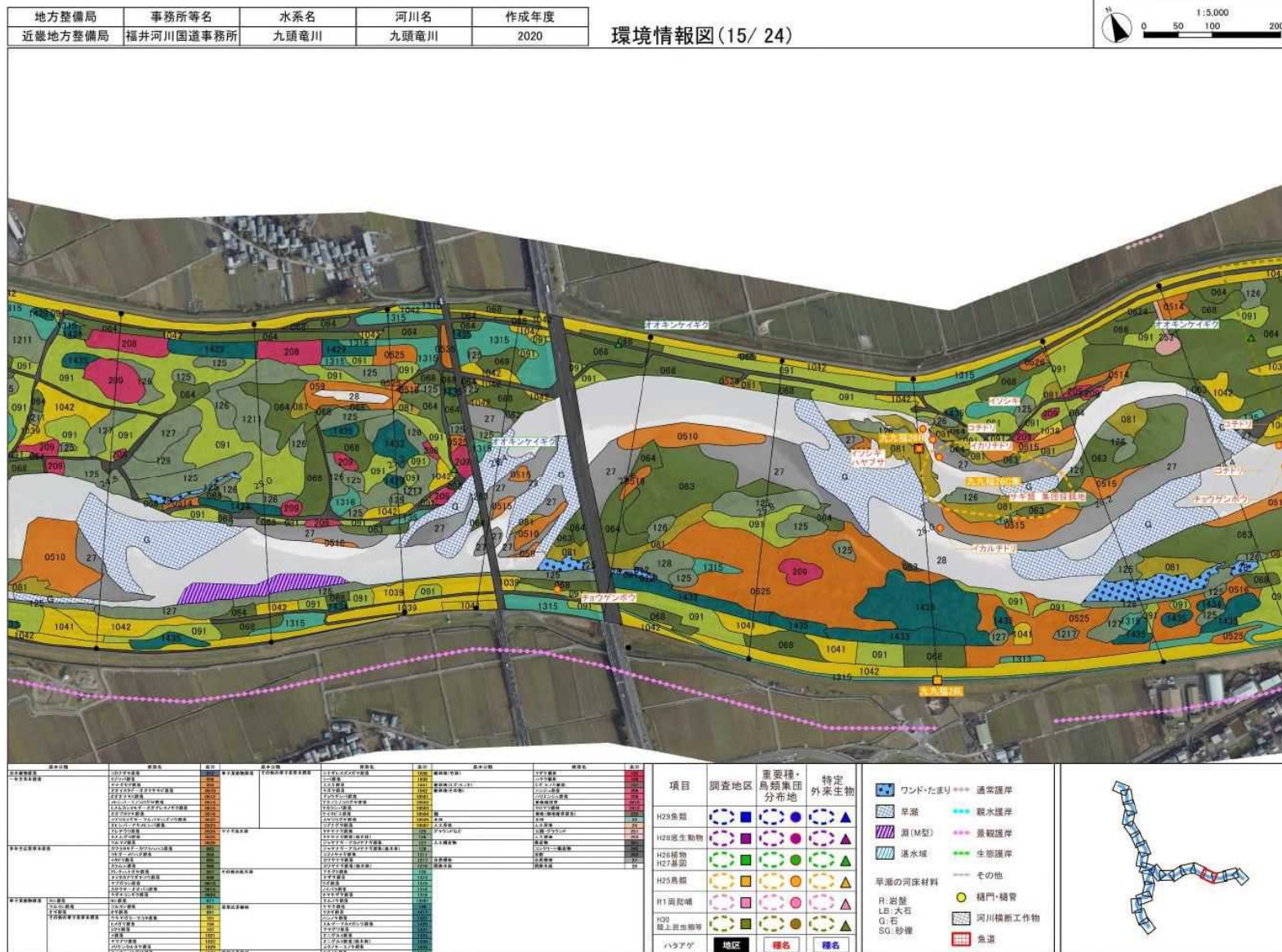


図 6.3-13(4) 本川下流域のハビタット位置図

引用：福井管内河川水辺の国勢調査他業務 報告書（令和3年3月）



図 6.3-13(5)本川下流域のハビタット位置図

引用：福井管内河川水辺の国勢調査他業務 報告書（令和3年3月）

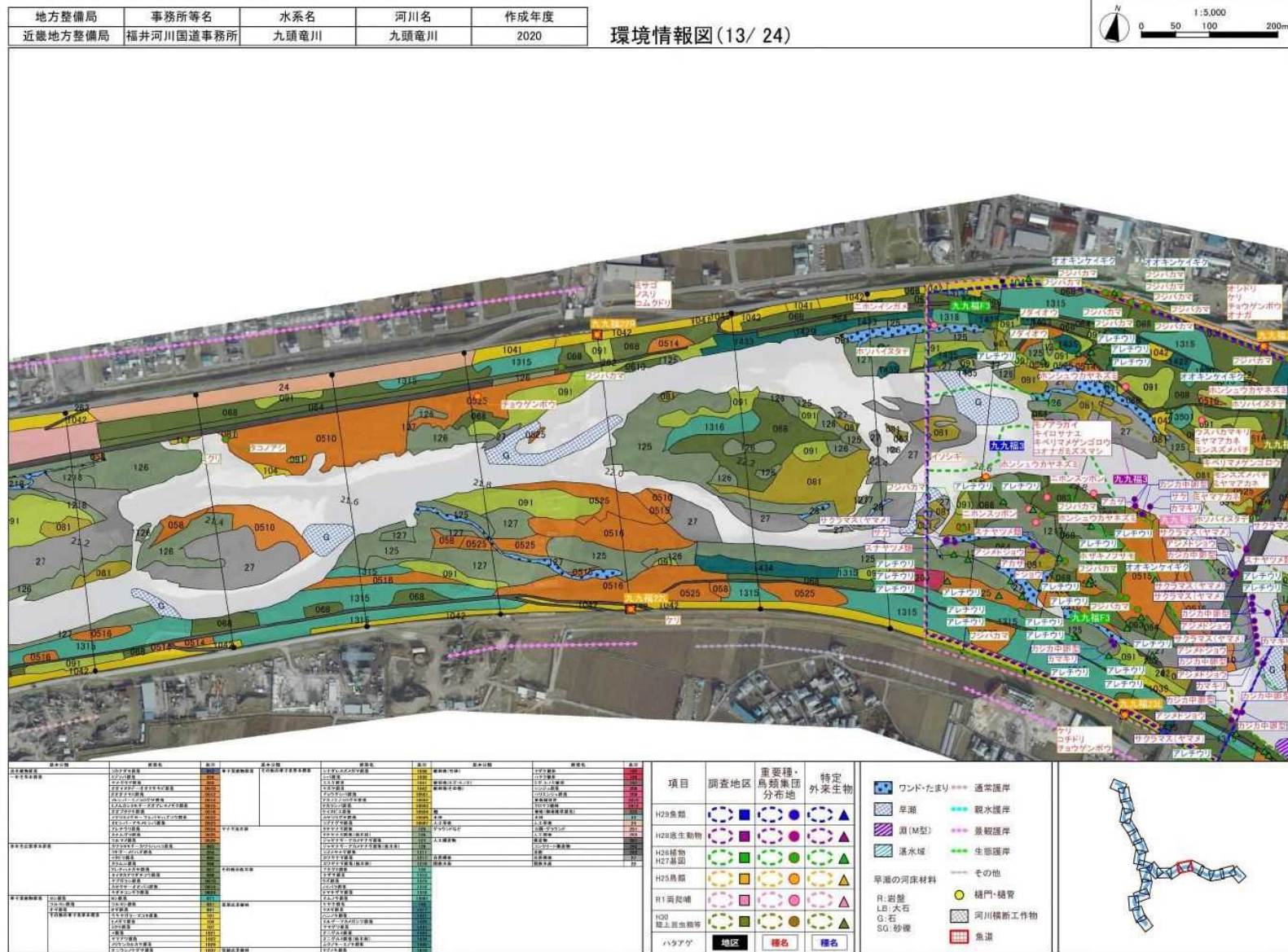


図 6.3-13(6)本川下流域のハビタット位置図

引用：福井管内河川水辺の国勢調査他業務 報告書（令和3年3月）

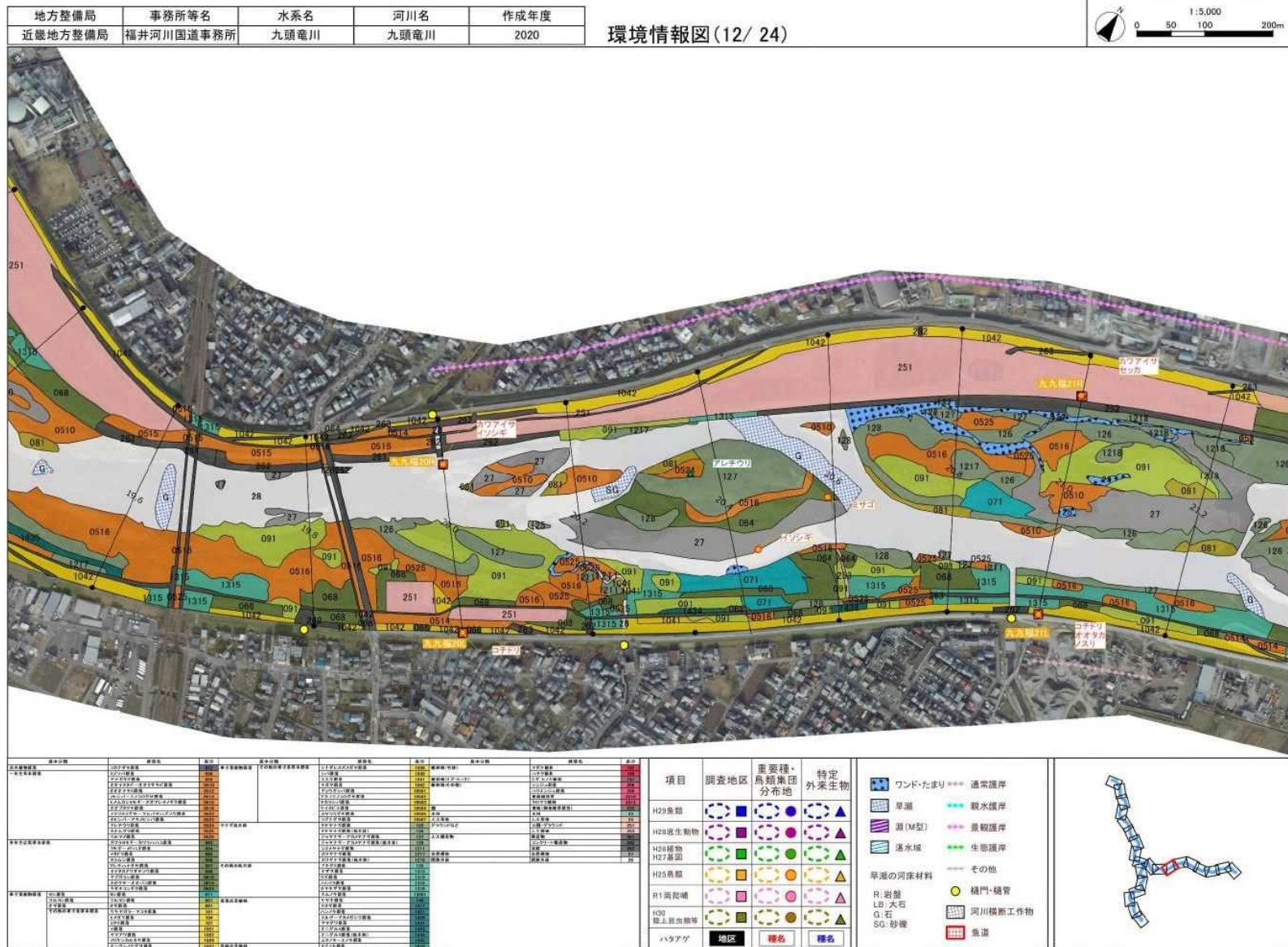


図 6.3-13(7)本川下流域のハビタット位置図

引用：福井管内河川水辺の国勢調査他業務 報告書（令和3年3月）

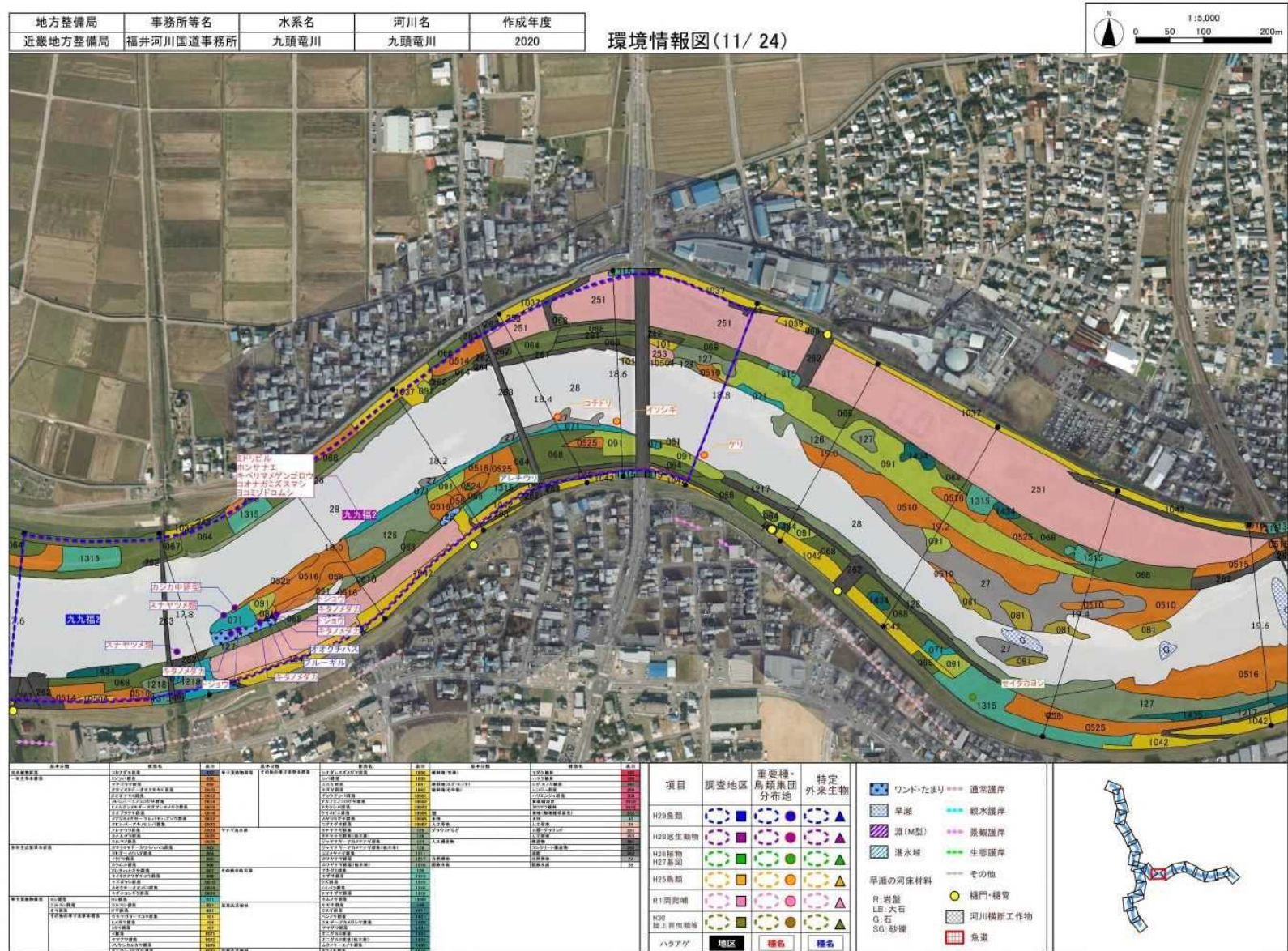


図 6.3-13(8)本川下流域のハビタット位置図

引用：福井管内河川水辺の国勢調査他業務 報告書（令和3年3月）

6.3.3 重要種の生息・生育状況の変化の検証

(1) 基本情報の整理

各生物項目の重要種について、これまでの調査結果から確認種を整理した。なお、調査手法等を極力揃えるために、「河川水辺の国勢調査」について整理した。

1) 魚類

カマキリ（アラレガコ）、アジメドジョウ、キタノメダカ等の18種が確認されている（表 6.3-10、図 6.3-14 参照）。シマヒレヨシノボリは令和4年度に本川下流で1個体、ジュズカケハゼは令和4年度に湛水域で1個体、それぞれ初確認された。

確認された重要種のうち、種の確認状況や生態特性から、堰の運用による影響の有無を検討した結果、サクラマスとカマキリ（アラレガコ）については、堰の存在・供用により、河川の連続性が分断され、生息環境が変化する可能性があると考えられる。

表 6.3-10 魚類重要種

No.	科名	種名	選定基準				本川下流								湛水域					
			文化財 保護法	種の 保存法	環境省 RL2020	福井県 RDB2016	H5	H10	H15	H19	H24	H29	R4	H5	H10	H19	H24	H29	R4	
1	ヤツメウナギ科	スナヤツメ類			VU	VU		4	1	4	16	37		2						
2		カワヤツメ			VU	VU	1				4									
3	コイ科	ナガブナ			DD									1						
4		ヤリタナゴ			NT	DD	15		1			2	3	5				3		
5	ドジョウ科	ドジョウ			NT	DD	3	6	1			13	2	1		2	11			
6		スジシマドジョウ種群				DD	-													
7		アジメドジョウ			VU	VU		1	1	11	7	23		12						
8	アカザ科	アカザ			VU	VU		1	1	12	11	4	1	8		1				
9	キュウリウオ科	ワカサギ				VU			1											
10	サケ科	サケ				NT	1	2	3		1	2			1					
11		サクラマス				VU	1				2	1								
12		サクラマス（ヤマメ）			NT		28	19		2	31	53	4	6		1				
13	メダカ科	キタノメダカ			VU				6	18	23	11								
14	カジカ科	カマキリ	天 (地域限定)				1	2	2	5	14	2								
15		カジカ中卵型			EN	VU	88	78	23	7	17	2								
16	ハゼ科	シマヒレヨシノボリ			NT													1		
17		シマウキゴリ				DD	7	1												
18		ジュズカケハゼ			NT										1					
種数合計							9	9	8	10	9	11	1	5	6	1	3	2	1	

注) 種名および配列等は、原則として「令和4年度版河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省, 令和4年)に準拠した。

重要種の選定根拠は以下のとおりである。

- ① : 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号 改正: 令和2年法律第41号)により天然記念物に指定されている種 天: 天然記念物 特別: 特別天然記念物 ※地域限定含む
- ② : 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月) 希: 国内希少野生動植物種
- ③ : 「環境省レッドリスト2020」(令和2年, 環境省)
EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR: 絶滅危惧ⅠA類 EN: 絶滅危惧ⅠB類 VU: 絶滅危惧Ⅱ類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 絶滅のおそれのある地域個体群
- ④ : 「改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物(福井県, 平成28年)
EX: 県域絶滅, CR+EN: 県域絶滅危惧Ⅰ類, VU: 県域絶滅危惧Ⅱ類, NT: 県域絶滅危惧, DD: 要注目, LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

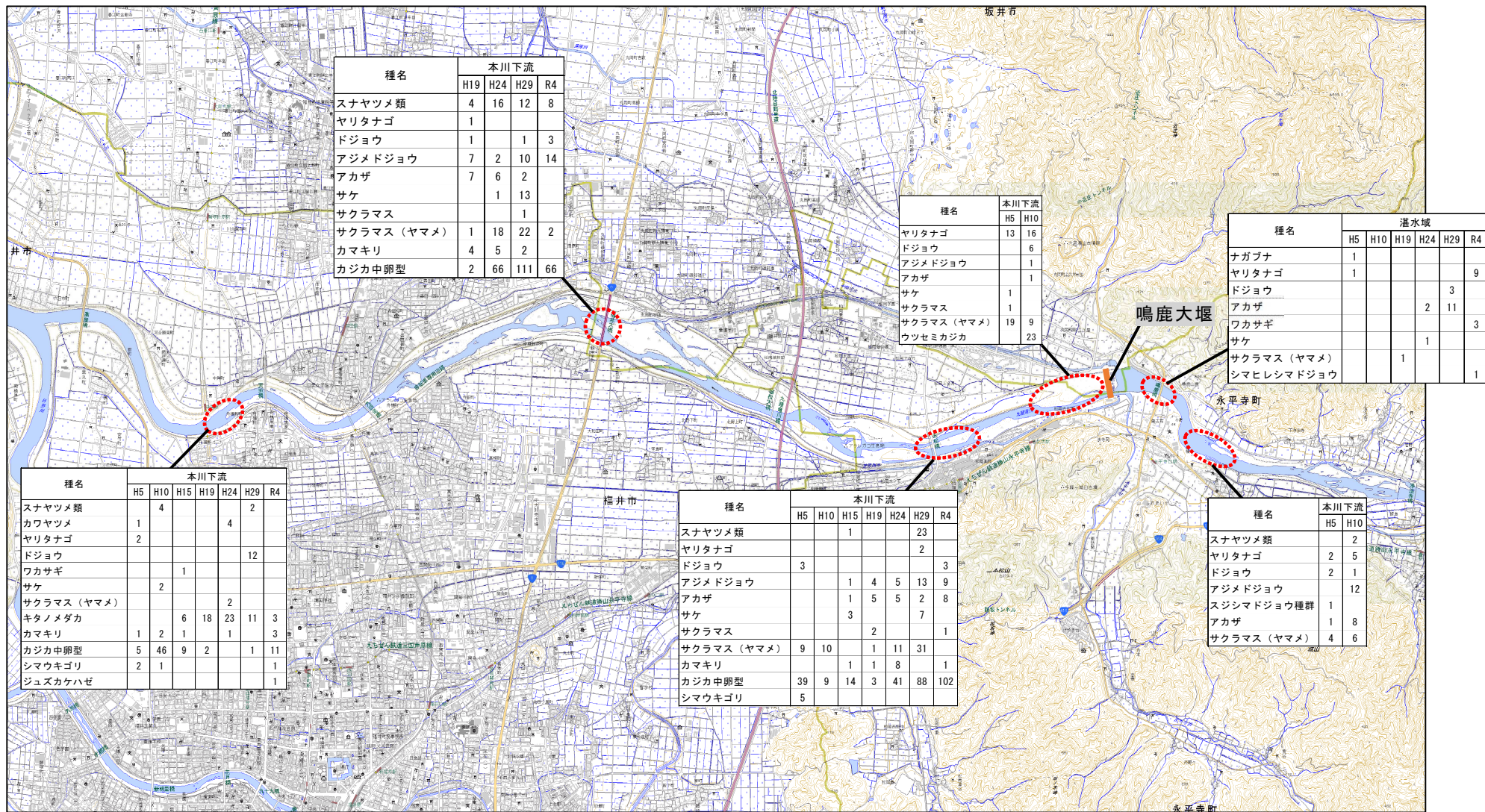


図 6.3-14 魚類重要種確認位置図

2) 底生動物

モノアラガイ、キイロサナエ、キベリマメゲンゴロウ、コガムシ等の19種が確認されている（表 6.3-11、図 6.3-15 参照）。

確認された重要種のうち、種の確認状況や生態特性から、堰の運用による影響の有無を検討した結果、堰の存在・供用により、生息環境が変化する可能性がある種はないと考えられる。

表 6.3-11 底生動物重要種

No.	目名	科名	種名	選定基準				本川下流							湛水域						
				文化財 保護法	種の 保存法	環境省 RL2020	福井県 RDB2016	H5	H10	H15	H18	H23	H28	R3	H5	H10	H28	R3			
1	汎有肺目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ			DD	DD									+				5	
2			モノアラガイ			NT	NT	6						19			19	4	8	1	
3			オカモノアラガイ科	ナガオカモノアラガイ			NT	CR+EN				3									
4			ヒラマキガイ科	ヒメヒラマキミズマイマイ			EN										2				
5	トンボ目	ヒラタビル科	ミドリビル			DD							1	2						1	
6			イトトンボ科	ホソミイトトンボ				NT					1								
7			サナエトンボ科	キイロサナエ			NT	NT	2					3	1						
8				ホンサナエ			NT	DD							1					1	
9	カメムシ目	トンボ科	ミヤマアカネ													2					
10		カタビロアメンボ科	オヨギカタビロアメンボ			NT										8					
11		ナベフタムシ科	ナベフタムシ				DD														
12	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	キボシケシゲンゴロウ			DD	DD													1	
13			キベリマメゲンゴロウ			NT	DD	28	7	4+	9	16	8+	28+						18+	
14		ミズスマシ科	コオナガミズスマシ			VU	DD	9		15		1	22	1						2	
15			クビボソコガシラミズムシ			DD	NT							1						+	
16		ガムシ科	コガムシ			DD	NT							1							
17			ガムシ			NT	NT							1							
18		ヒメドロムシ科	ヨコモゾドロムシ			VU	NT							3	16+						4
19	ケスジドロムシ				VU								1						2	2	

注) 種名および配列等は、原則として「令和4年度版河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省, 令和4年)に準拠した。

重要種の選定根拠は以下のとおりである。

- ⑤ : 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号 改正: 令和2年法律第41号)により天然記念物に指定されている種 天: 天然記念物 特別: 特別天然記念物 ※地域限定含む
- ⑥ : 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月) 希: 国内希少野生動植物種
- ⑦ : 「環境省レッドリスト2020」(令和2年, 環境省)
EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類 VU: 絶滅危惧 II 類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑧ : 「改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物(福井県, 平成28年)
EX: 県域絶滅、CR+EN: 県域絶滅危惧 I 類、VU: 県域絶滅危惧 II 類、NT: 県域絶滅危惧、DD: 要注目、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

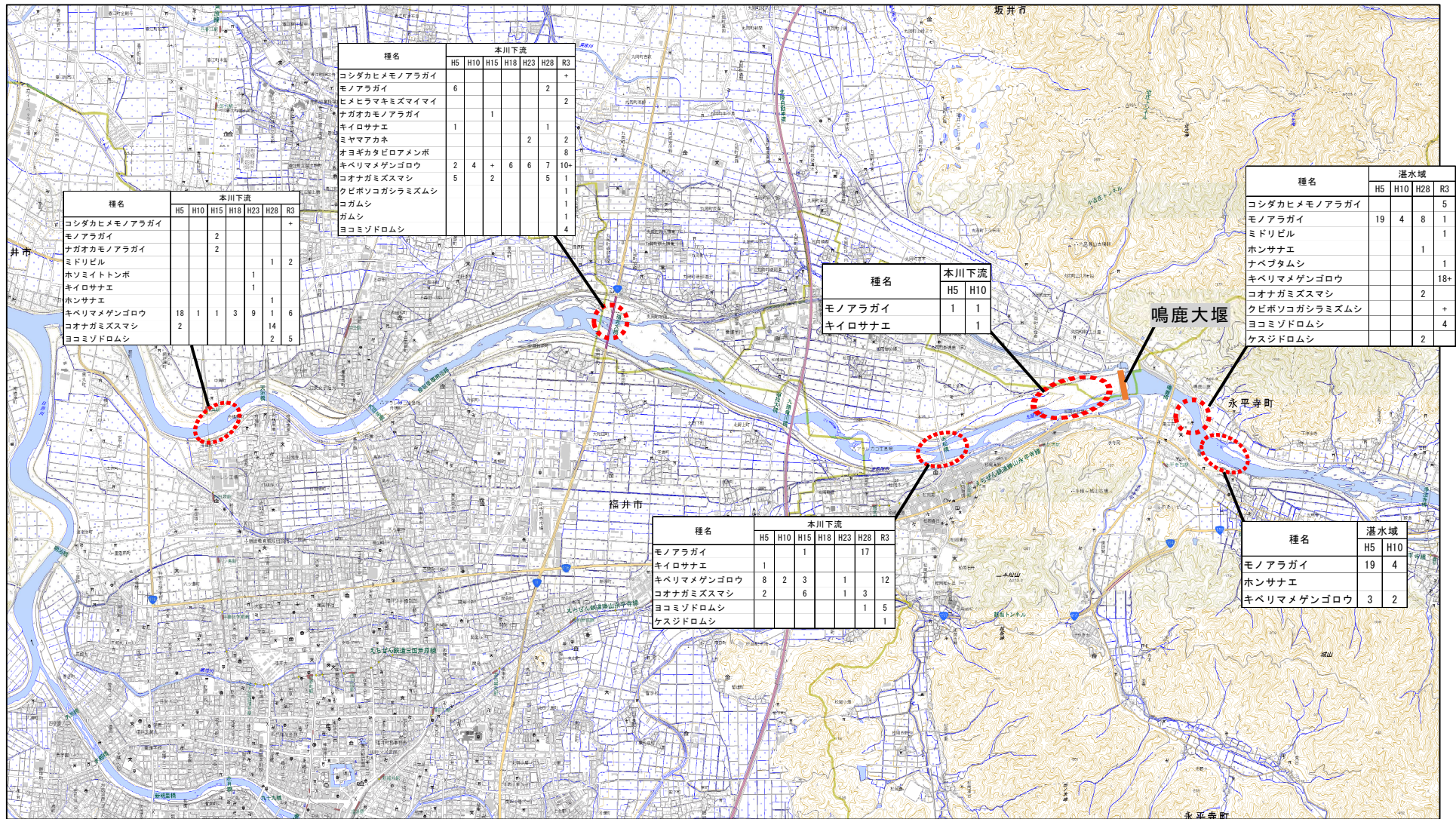


図 6.3-15 底生動物重要種確認位置図

3) 植物

ノダイオウ、カワヂシャ、フジバカマ、ミクリ等の14種が確認されている(表 6.3-12、図 6.3-16 参照)。

確認された重要種のうち、種の確認状況や生態特性から、堰の運用による影響の有無を検討した結果、堰の存在・供用により、生息環境が変化する可能性がある種はないと考えられる。

表 6.3-12 植物重要種

No.	科和名	種和名	選定基準				本川下流			
			文化財 保護法	種の 保存法	環境省 RL'18	福井県 RDB	H6	H12	H17	H26
1	タデ科	ホソバイスタデ			NT	Ⅱ類				●
2		ノダイオウ			VU	Ⅱ類		●		●
3		バイカモ				準絶				●
4	バラ科	コゴメウツギ				Ⅱ類		●		
5	アリノトウグサ科	ホザキノフサモ				要注	●	●		●
6	ゴマノハグサ科	カワヂシャ			NT	Ⅱ類	●	●		●
7	キク科	フジバカマ			NT	Ⅰ類	●	●	●	●
8		コオニタビラコ				Ⅰ類	●			
9	ヒルムシロ科	ササバモ				準絶		●		
10	イネ科	トキワスキ				Ⅱ類	●			
11		セイタカヨシ				要注		●		
12	ミクリ科	ミクリ			NT	Ⅱ類		●		●
13	カヤツリグサ科	シオクグ				準絶		●		
14		シロガヤツリ				準絶	●			
合計			0	0	5	14	6	9	1	7

種名、学名の表記、並び順は、基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト〔平成29年度生物リスト〕」(2017年10月、国土交通省)に準拠した。

重要種の選定根拠は以下のとおりである。

「文化財保護法(昭和25年法律第214号)」により天然記念物に指定されている種 天:天然記念物 特別:特別天然記念物 ※地域限定を含む
「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年法律第75号)」で指定されている種 希:国内希少野生動植物種

「報道発表資料 環境省レッドリスト2018の公表について(環境省,2018年5月)」に記載されている種

CR: 絶滅危惧ⅠA類(ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの)

EN: 絶滅危惧ⅠB類(ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの)

VU: 絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険が増大している種)

NT: 準絶滅危惧(現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種)

DD: 評価するだけの情報が不足している種

LP: 絶滅のおそれのある地域個体群(地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの)

「改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物(福井県 平成28年)」掲載種

Ⅰ類: 県域絶滅危惧Ⅰ類(絶滅の危機に瀕している種。)

Ⅱ類: 県域絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険が増大している種。)

準絶: 県域準絶滅危惧(存続基盤が脆弱な種。)

要注: 要注目(評価するだけの情報が不足している種。)

地域: 絶滅のおそれのある地域個体群

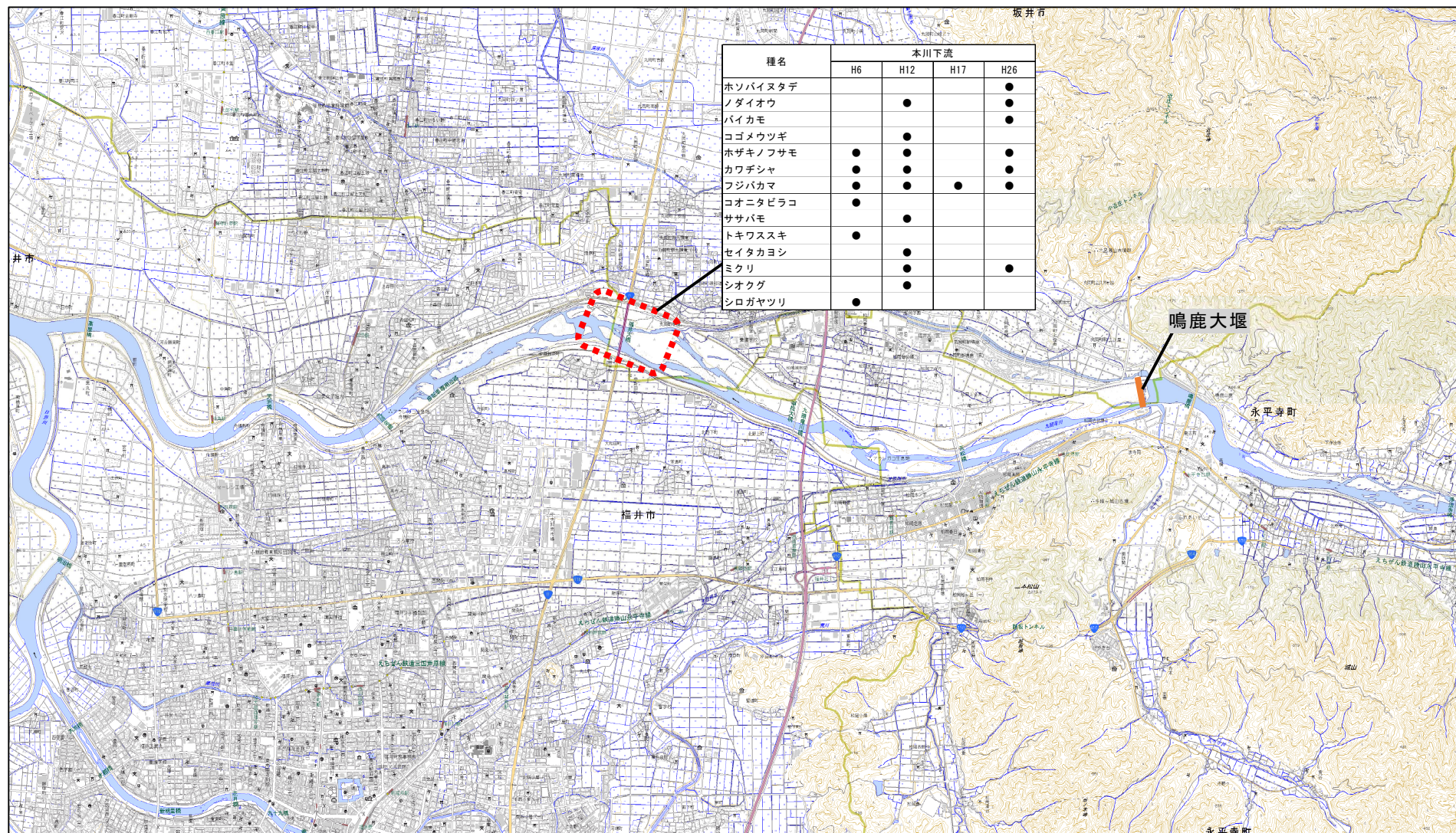


図 6.3-16 植物重要種確認位置図

4) 鳥類

オオタカ、クマタカ、サシバ、コアジサシ、ヤマセミ等の 20 種が確認されている (表 6.3-13、図 6.3-17 参照)。

確認された重要種のうち、種の確認状況や生態特性から、堰の運用による影響の有無を検討した結果、堰の存在・供用により、生息環境が変化する可能性がある種はないと考えられる。

表 6.3-13 鳥類重要種

No.	目名	科名	種名	選定基準				調査年度			
				国天	種の保存法	環境省 RL2020	ふくい RDB2016	H5	H11	H16	H25
1	カモ目	カモ科	オシドリ			DD	VU	11		2	
2			カワアイサ				DD	8	59	81	
3	ペリカン目	サギ科	ササゴイ				VU		1		
4	チドリ目	チドリ科	チュウサギ			NT	NT		3		
5			イカルチドリ				NT	80	19	16	
6		コチドリ				DD	3	3	37		
7		シギ科	イソシギ				DD	59	37	67	
8		カモメ科	コアジサシ			VU	CR+EN	39			
9	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ			NT	NT		1	2	
10		タカ科	ハチクマ			NT	VU			1	
11			ハイタカ			NT	LP	1			
12			オオタカ			NT	CR+EN		1		1
13			サシバ			VU	NT		1		
14			ノスリ				LP				1
15	タカ目	タカ科	クマタカ		国内希	EN	CR+EN				2
16		カワセミ科	ヤマセミ				CR+EN	3			1
17	ハヤブサ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ				DD		1		
18	スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ			VU	DD		1		
19		ムクドリ科	コムクドリ				NT	4	1		
20		ホオジロ科	ノジコ			NT	VU		4		
合計	7目	13科	20種	0	1	11	20	9	13	8	3

注) 種名および配列等は、原則として「令和 4 年度版河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省, 令和 4 年)に準拠した。

重要種の選定根拠は以下のとおりである。

⑨ : 「文化財保護法」(昭和 25 年法律第 214 号 改正: 令和 2 年法律第 41 号)により天然記念物に指定されている種 天: 天然記念物 特別: 特別天然記念物 ※地域限定含む

⑩ : 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 6 月) 希: 国内希少野生動物種

⑪ : 「環境省レッドリスト 2020」(令和 2 年, 環境省)

EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類 VU: 絶滅危惧 II 類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

⑫ : 「改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物(福井県, 平成 28 年)

EX: 県域絶滅、CR+EN: 県域絶滅危惧 I 類、VU: 県域絶滅危惧 II 類、NT: 県域絶滅危惧、DD: 要注目、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

※H5 年度: 本川上流・湛水域内・本川下流の St. 3(松岡町志比境～永平寺町下浄法寺) 確認種

※H11 年度: 本川上流・湛水域内の九九福 3(五松橋～直轄区間上流端) 確認種。H16 年度と同じ箇所だが地点番号が異なる。

※H16 年度: 本川上流・湛水域内の九九福 4(五松橋～直轄区間上流端) 確認種。H11 年度と同じ箇所だが地点番号が異なる。

※H25 年度: 本川上流・湛水域内・本川下流の 28～31k スポットセンサス調査及びその区間の移動中等の確認種

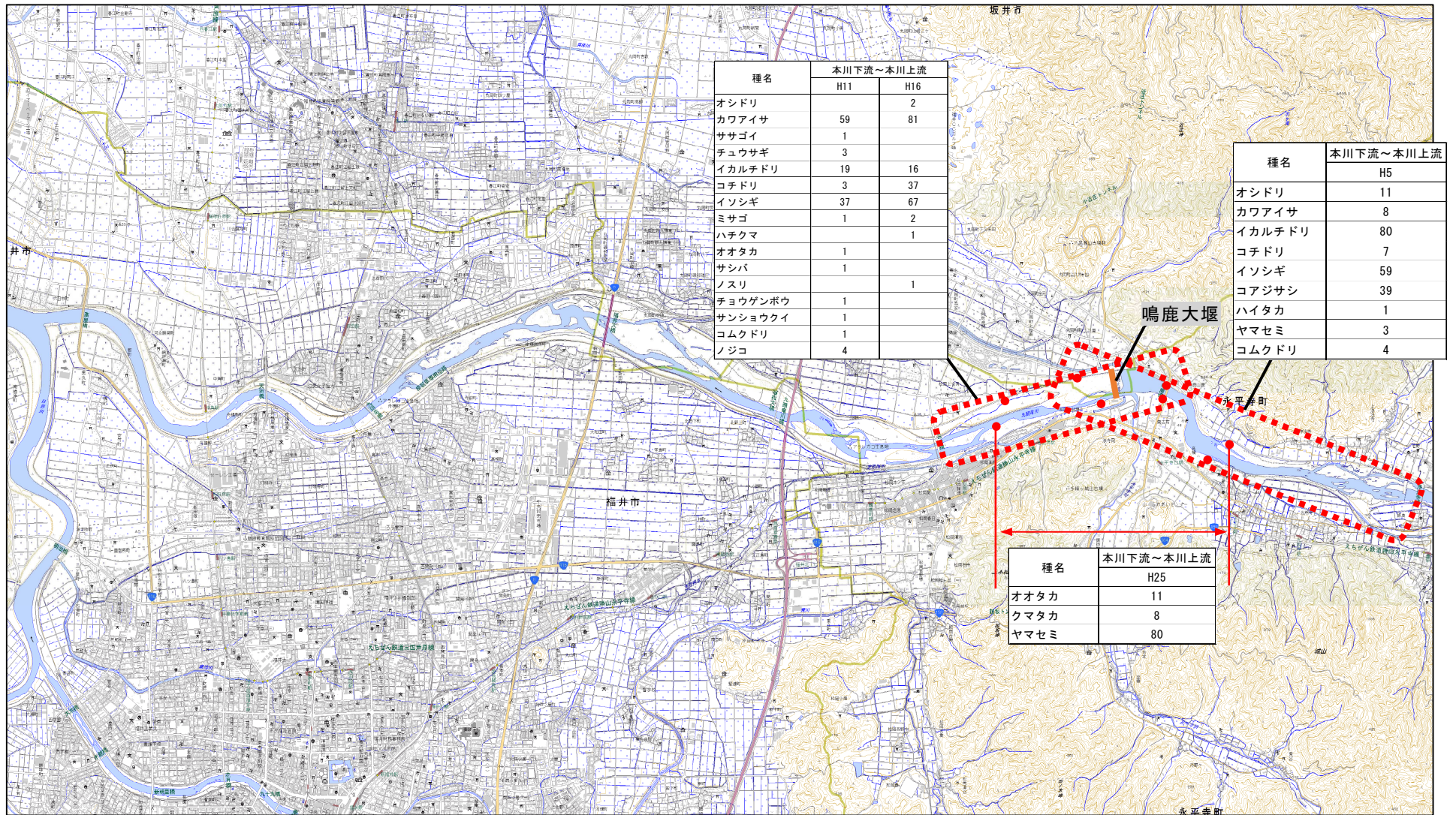


図 6.3-17 鳥類重要種確認位置図

5) 両生類・爬虫類・哺乳類

アカハライモリ、ニホンイシガメの2種が確認されている（表 6.3-14、図 6.3-18 参照）。

確認された重要種のうち、種の確認状況や生態特性から、堰の運用による影響の有無を検討した結果、堰の存在・供用により、生息環境が変化する可能性がある種はいないと考えられる。

表 6.3-14 両生類・爬虫類・哺乳類重要種

No.	目名	科名	種名	選定基準				調査年度
				国天	種の保存法	環境省 RL2020	ふくい RDB2016	
1	有尾目	イモリ科	アカハライモリ			NT	DD	2
2	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ			NT	NT	18
合計	2目	2科	2種	0	0	2	2	2

注) 種名および配列等は、原則として「令和4年度版河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省, 令和4年)に準拠した。

重要種の選定根拠は以下のとおりである。

① : 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号 改正: 令和2年法律第41号)により天然記念物に指定されている種 天: 天然記念物 特別: 特別天然記念物 ※地域限定含む

② : 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月) 希: 国内希少野生動植物種

③ : 「環境省レッドリスト2020」(令和2年, 環境省)

EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類 VU: 絶滅危惧 II 類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

④ : 「改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物(福井県, 平成28年)

EX: 県域絶滅、CR+EN: 県域絶滅危惧 I 類、VU: 県域絶滅危惧 II 類、NT: 県域絶滅危惧、DD: 要注目、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

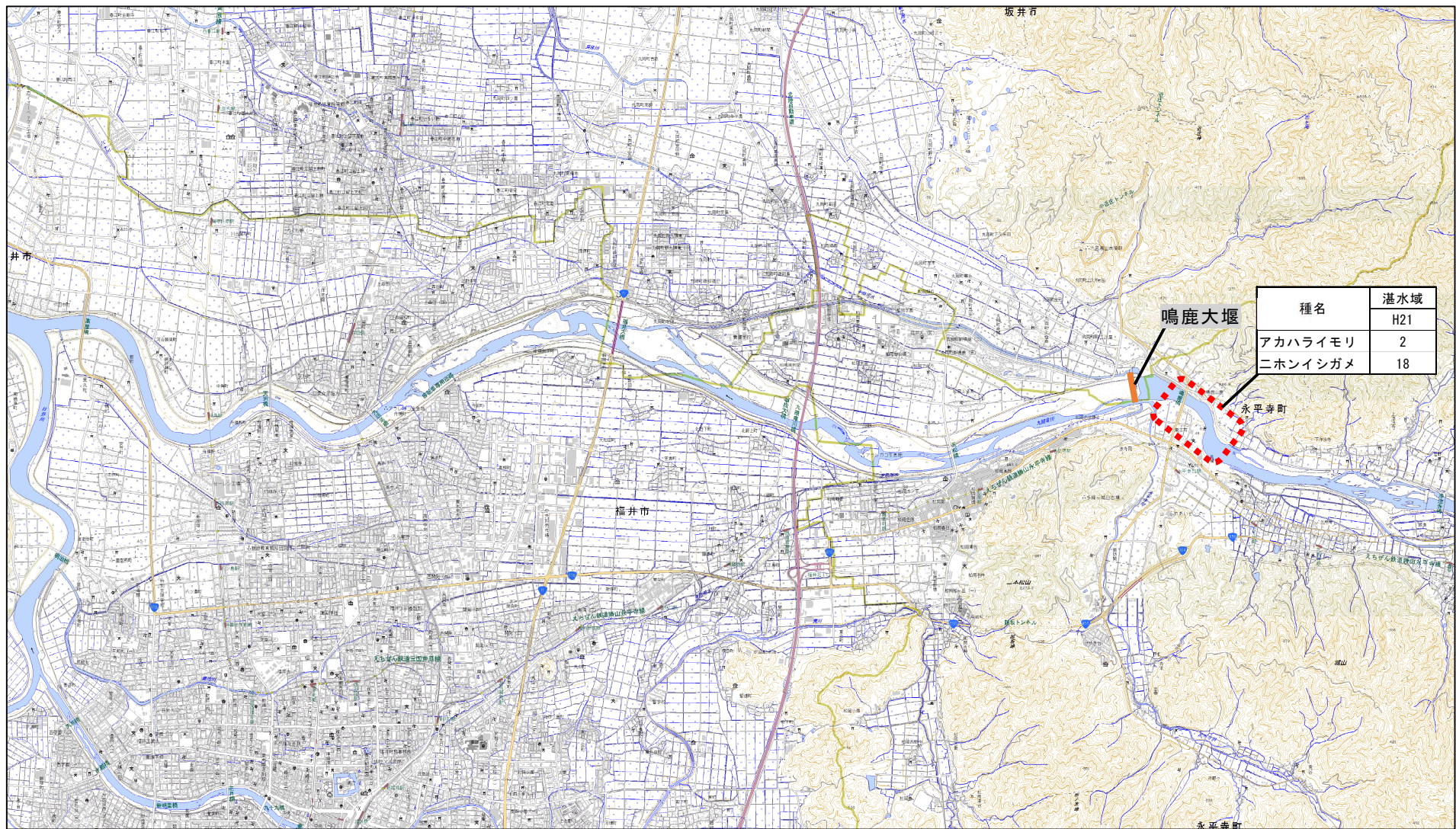


図 6.3-18 両生類・爬虫類・哺乳類重要種確認位置図

6) 陸上昆虫類等

モートンイトトンボ、ミヤマアカネ、コガムシ等 5 種が確認されている(表 6.3-15、
図 6.3-19 参照)。

確認された重要種のうち、種の確認状況や生態特性から、堰の運用による影響の有
無を検討した結果、堰の存在・供用により、生息環境が変化する可能性がある種はい
ないと考えられる。

表 6.3-15 陸上昆虫類等重要種

No.	目名	科名	種名	重要種選定基準				鳴鹿橋付近 (湛水域周辺)	
				①	②	③	④	H20	H30
1	トンボ目(蜻蛉目)	イトトンボ科	モートンイトトンボ			NT	NT	●	
2		トンボ科	ミヤマアカネ				DD	●	●
3	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	コガムシ			DD	NT		●
4	ハチ目(膜翅目)	スズメバチ科	ヤマトアシナガバチ			DD			●
5		ミツバチ科	クロマルハナバチ			NT	DD	●	
3目5科5種				0種	0種	4種	4種	3種	3種

注) 種名および配列等は、原則として「令和 4 年度版河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省, 令和 4 年)に準拠した。

重要種の選定根拠は以下のとおりである。

⑤ : 「文化財保護法」(昭和 25 年法律第 214 号 改正: 令和 2 年法律第 41 号)により天然記念物に指定されている種 天: 天然記念物 特別: 特別天然記念物 ※地域限定含む

⑥ : 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 6 月) 希: 国内希少野生動物種

⑦ : 「環境省レッドリスト 2020」(令和 2 年, 環境省)

EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類 VU: 絶滅危惧 II 類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

⑧ : 「改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物(福井県、平成 28 年)

EX: 県域絶滅、CR+EN: 県域絶滅危惧 I 類、VU: 県域絶滅危惧 II 類、NT: 県域絶滅危惧、DD: 要注目、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

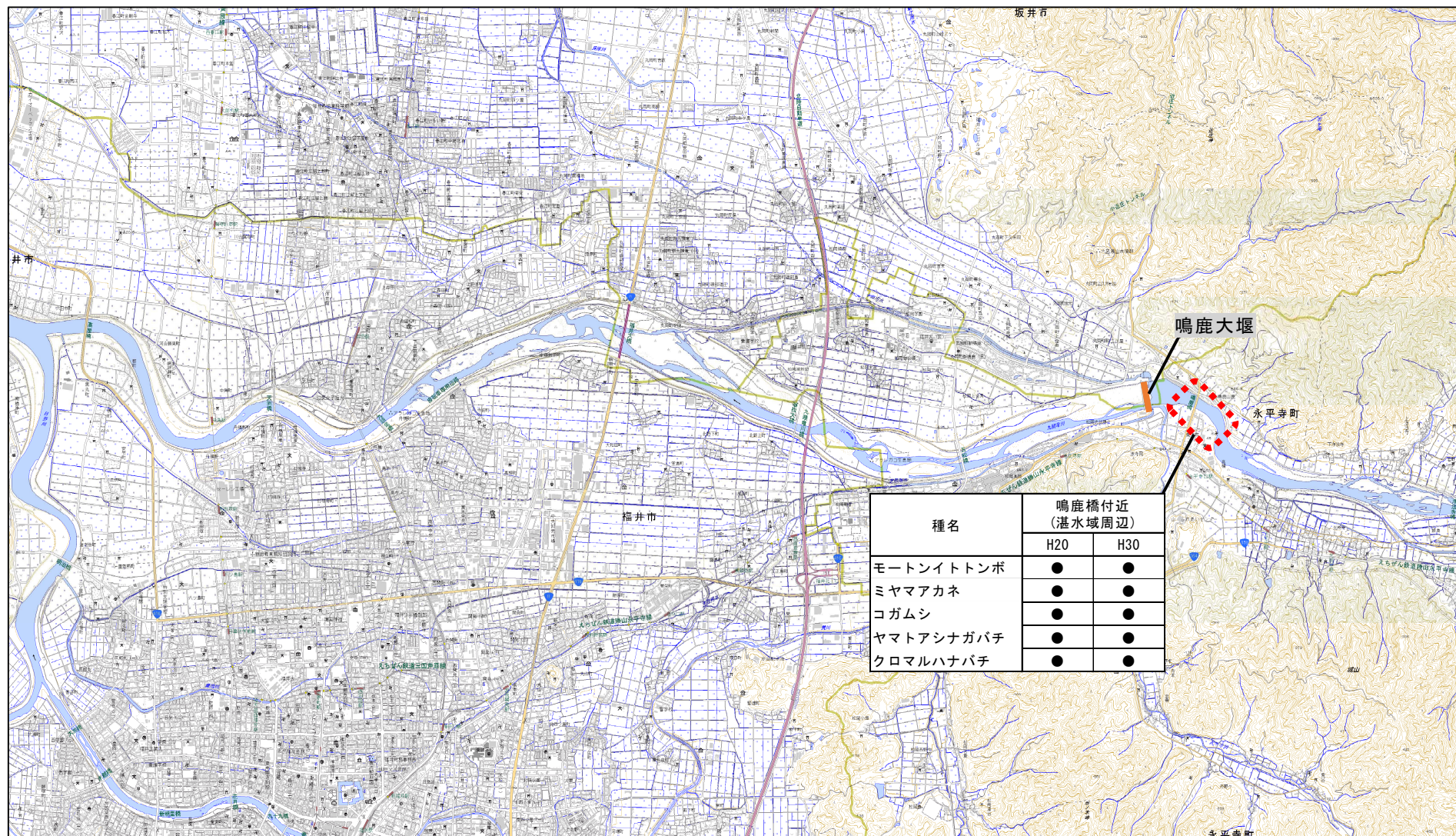


図 6.3-19 陸上昆虫類等重要種確認位置図

(2) 現況での課題および保全対策の必要性

重要種と鳴鹿大堰との関連性について、堰運用・管理に伴う重要種への影響要因を分析し、重要種毎に分布位置、生態的特性から影響の有無を現状分析した。

重要種のうち、堰運用・管理に伴って影響を及ぼす恐れのある種は、魚類のサクラマスとカマキリ（アラレガコ）である。

このことから、堰の運用による影響を受ける種として抽出したサクラマスとカマキリ（アラレガコ）について、堰運用・管理に伴う影響の有無や程度を分析評価した。

その結果、現時点での保全対策は必要ないと判断した。

今後は、河川水辺の国勢調査により、魚類相の生息状況を把握する。

表 6.3-16(1) 重要種に関する現状での課題の整理

種名		堰による影響の検証
サクラマス	生態特性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼魚期の1~2年を河川で過ごし、海に下って回遊し、産卵時に川を遡上する魚。冷水域に生息する。 ・ 河川では河畔林からの落下昆虫や流下する水生昆虫を主な餌とするが、底性生物やプランクトンも餌とする。海洋では、顕著な魚食性を示しイカナゴやイワシなどの小魚やプランクトンを捕食する。 ・ 産卵時期は9月から10月頃で、産卵床は湧水性の河床ではなく水通しの良い砂礫質の河床に形成され、粘着性の無い卵を産む。
	影響要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堰の存在・供用により河川の連続性が分断され、上流まで遡上することが不可能になる。
	確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成5年度と平成19年度、平成29年度に本川下流で確認されている。 ・ 湛水域では確認されていない。
	生息環境や他生物の関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・ サクラマス以前のヤマメの生息が本川下流・湛水域内で確認されている。 ・ 鳴鹿大堰の直下に謂集する個体が確認されている。
	分析結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本川下流では確認されている一方で湛水域では確認されていないことと、堰直下に謂集する個体も確認されていることから、堰が遡上を阻害している可能性が示唆された。 ・ 一方、魚道遡上調査では、遡上していることが確認されている。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遡上状況の改善
	保全対策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魚道の改修により魚類の生息環境の分断について改善されているため、保全対策は必要ない。

表 6.3-16(2) 重要種に関する現状での課題の整理

種名		堰による影響の検証
カマキリ (アラレガコ)	生態特性	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季は河川の中流域まで遡上しているが、秋・冬季の産卵期には下流・河口域へ降下する。 ・肉食性で水生昆虫が主な餌となっている。 ・産卵期は冬。沿岸岩礁帯域で産卵し、卵塊は孵化するまでオスが保護をする。
	影響要因	<ul style="list-style-type: none"> ・堰の存在・供用により河川の連続性が分断され、上流まで遡上することが不可能になる。
	確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本川下流で継続的に確認されている。 ・湛水域では確認されていない。
	生息環境 や他生物 の関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・特に無し
	分析結果	<ul style="list-style-type: none"> ・本川下流では確認されている一方で湛水域では確認されていないことから、堰が遡上を阻害している可能性が示唆された。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・遡上状況の改善
	保全対策 の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・魚道の改修により魚類の生息環境の分断について改善されているため、保全対策は必要ない。

6.3.4 国外外来種の生息・生育状況の変化の検証

(1) 基本情報の整理

各生物項目の国外外来種について、これまでの調査結果から確認種を整理した。なお、調査手法等を極力そろえるために、「河川水辺の国勢調査」について整理した。

1) 魚類

タイリクバラタナゴ、ニジマス、ブルーギル、オオクチバスの4種が確認されている（表 6.3-17、図 6.3-20 参照）。

確認された国外外来種のうち、種の確認状況や生態特性から、堰の運用による影響の有無を検討した結果、外来生物法の特定期外生物指定種であるブルーギルとオオクチバスについては、堰の運用・管理により生息域の拡大が生じる可能性があると考えられる。

また、タイリクバラタナゴが河川水辺の国勢調査で多くの個体数が確認されているものの、主に調査地区の九九福 3（中角橋付近）で確認されているため、鳴鹿大堰湛水域での確認個体数は少なく、減少傾向にある。

表 6.3-17 魚類の国外外来種

No	科名	種名	外来生法	生被防	本川下流							湛水域						
					H5	H10	H15	H19	H24	H29	R4	H5	H10	H15	H19	H24	H29	R4
1	コイ科	タイリクバラタナゴ		総合-重点		3	2	2	154	68	9		31			5	2	1
2	サケ科	ニジマス		産業管理	1													
3	サンフィッシュ科	ブルーギル	特定	総合-緊急		1			2	1					2			
4		オオクチバス	特定	総合-緊急			1	1	3	2	1				3			
種数合計					1	2	2	2	3	3	2	0	1	0	2	1	1	1

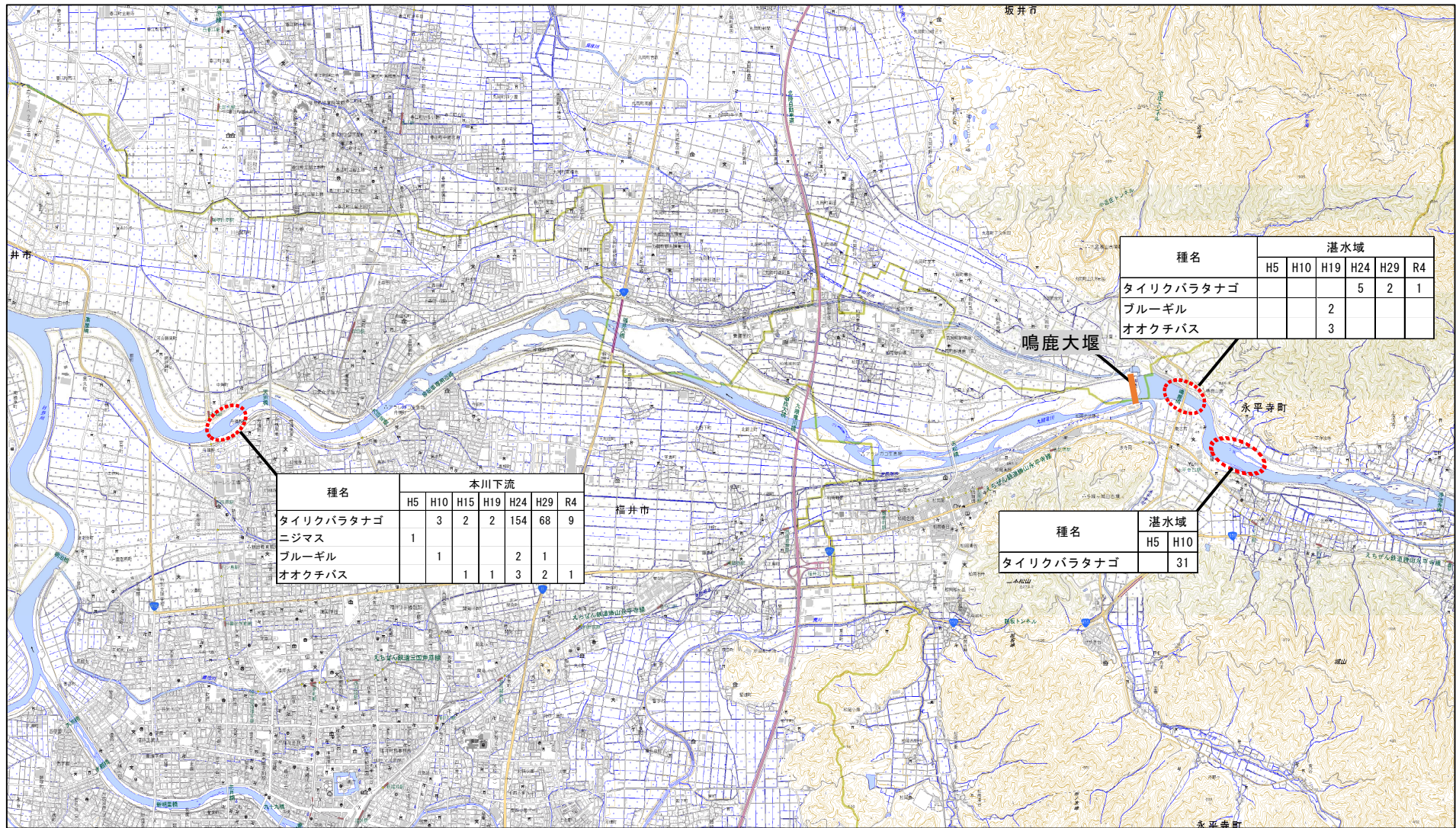


図 6.3-20 魚類の国外外来種確認位置図

2) 底生動物

コモチカワツボ、ハブタエモノアラガイ、タイワンシジミ、フロリダマミズヨコエビ、アメリカザリガニの5種が確認されている（表 6.3-18、図 6.3-21 参照）。

確認された国外外来種のうち、種の確認状況や生態特性から、堰の運用による影響の有無を検討した結果、堰の運用により周辺環境に大きな影響を与える種はいないと考えられる。

表 6.3-18 底生動物の国外外来種

No.	目名	科名	種名	選定基準		本川下流							湛水域					
				外来 生法	生被防	H5	H10	H15	H18	H23	H28	R3	H5	H10	H28	R3		
13	新生腹足目	ミズツボ科	コモチカワツボ		総合-その他						140	7					1	1
21	新生腹足目	モノアラガイ科	ハブタエモノアラガイ		総合-その他			1				12					3	3
34	マルスダレガイ目	シジミ科	タイワンシジミ		総合-その他							4						
109	ヨコエビ目	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ		総合-その他					219	10						41	41
129	エビ目	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ		総合-緊急	1	1	+	+	18							4	4
		種数		0	5	1	1	2	1	3	4		0	0		4	4	

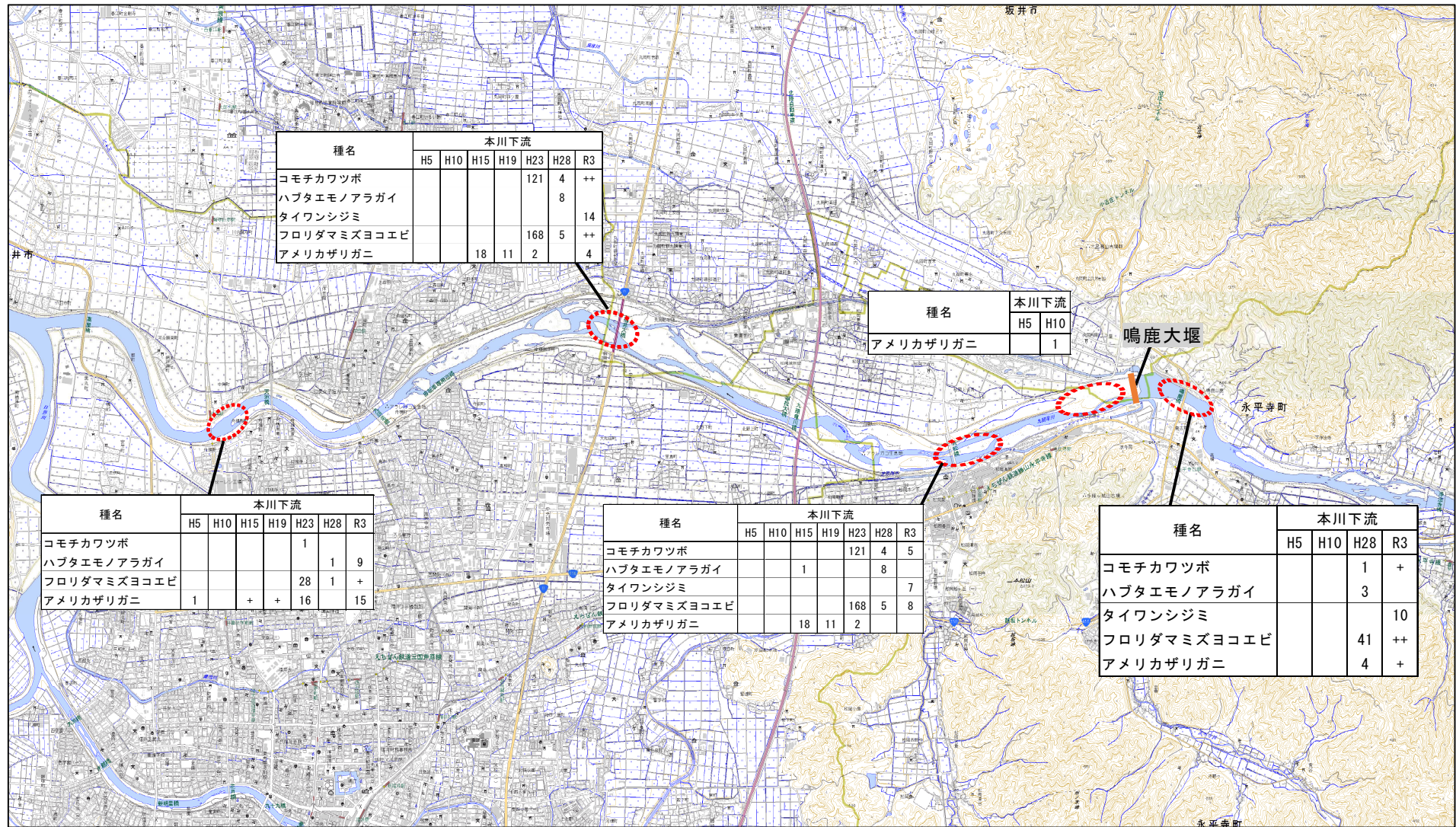


図 6.3-21 底生動物の国外外来種確認位置図

3) 植物

植物の国外外来種に関しては、河川水辺の国勢調査で確認された国外外来種群落の植生面積の経年変化を整理した。

鳴鹿大堰周辺において、オオブタクサ群落、セイタカアワダチソウ群落、ハリエンジュ群落等の国外外来種が生育する群落が確認されている（表 6.3-19、図 6.3-22 参照）。

確認された国外外来種群落のうち、群落の確認状況や生態特性から、堰の運用による影響の有無を検討した結果、堰の運用により周辺環境に大きな影響を与える種はないと考えられる。

表 6.3-19 植物の国外外来種群落

No.	植物群落名	植生面積(ha)				
		H6	H17	H22	H26	R2
1	オオイヌタデ-オオクサキビ群落	0	2.83	4.34	9.85	4.81
2	オオオナモミ群落	0	0.06	0	0.00	0.09
3	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落	0.44	0.43	0.37	3.51	0.18
4	オオブタクサ群落	0	0.44	10.23	11.18	17.97
5	アレチウリ群落	0.18	1.59	0.10	0.46	0.40
6	セイタカアワダチソウ群落	4.90	11.86	35.96	38.34	31.30
7	キダチコンギク群落	0	0.09	0	0.22	0.03
8	オオキンケイギク群落	—	—	—	—	0.05
9	メリケンカルカヤ群落	0	0.06	0.06	0.00	0.11
10	シマスズメノヒエ群落	—	—	—	—	0.09
11	オニウシノケグサ群落	2.46	0.28	0.11	1.09	2.32
12	シナダレスズメガヤ群落	0.05	4.77	0.03	0.37	0.27
13	イタチハギ群落	—	—	—	—	0.00
14	シンジュ群落	0.14	1.17	3.23	2.45	0.66
15	ハリエンジュ群落	0.21	1.61	3.87	3.45	3.71
合計	15群落	8.38	25.19	58.30	70.92	61.99

定期報告書

6. 生物

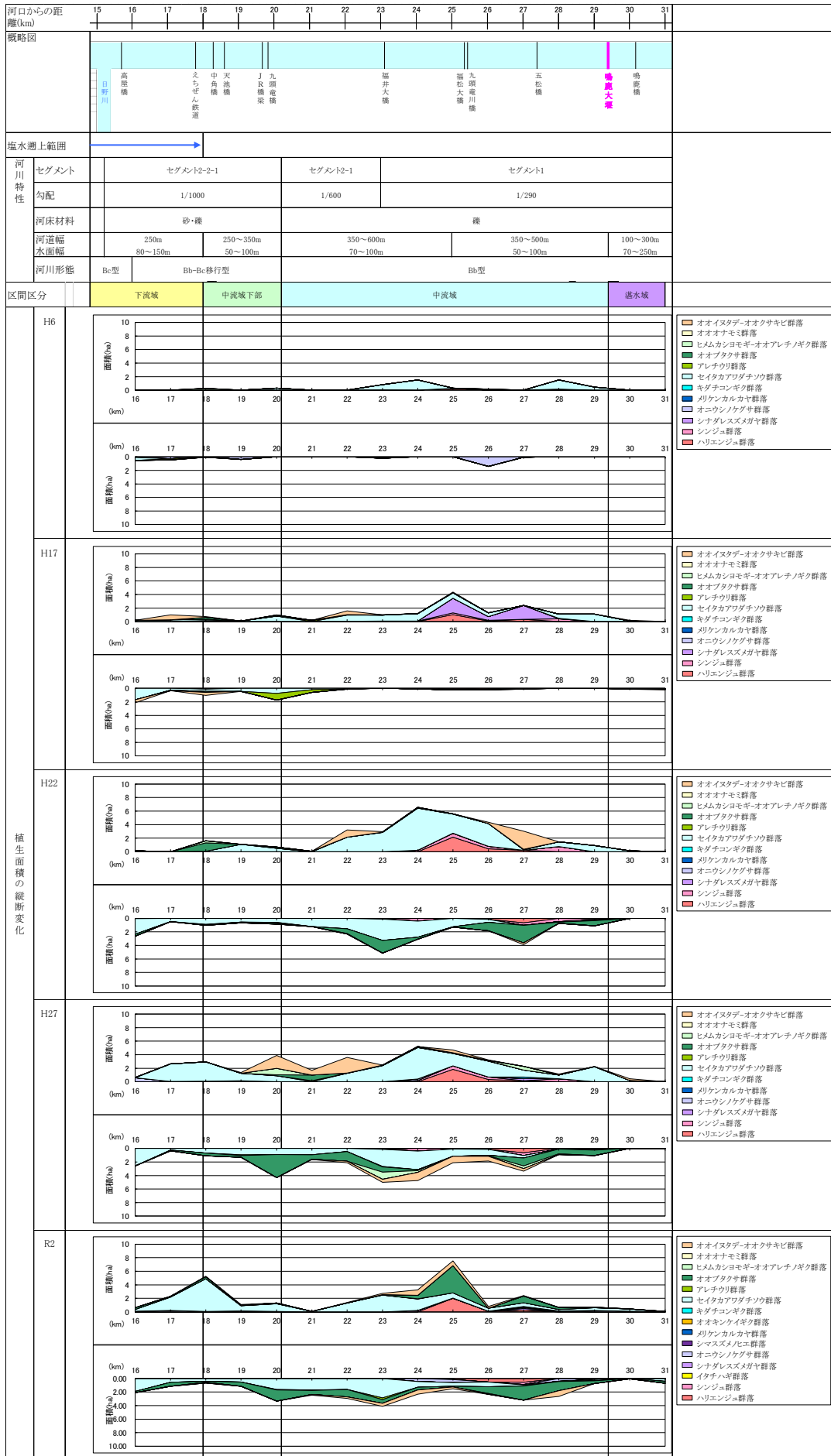


図 6.3-22 植物の国外外来種群落の縦断変化

4) 鳥類

ドバトが確認されている（表 6.3-20、図 6.3-23 参照）。

確認された国外外来種のうち、種の確認状況や生態特性から、堰の運用による影響の有無を検討した結果、堰の運用により周辺環境に大きな影響を与える種はいないと考えられる。

表 6.3-20 鳥類の国外外来種

No.	目和名	科和名	種和名	本川下流～本川上流			
				H5 (1993)	H11 (1999)	H16 (2004)	H25 (2013)
1	ハト目	ハト科	ドバト	35	117		12
合計	1目	1科	1種	1	1	0	1

5) 両生類・爬虫類・哺乳類

鳴鹿大堰の湛水域周辺における河川水辺の国勢調査の結果、両生類・爬虫類・哺乳類の国外外来種は確認されなかった。

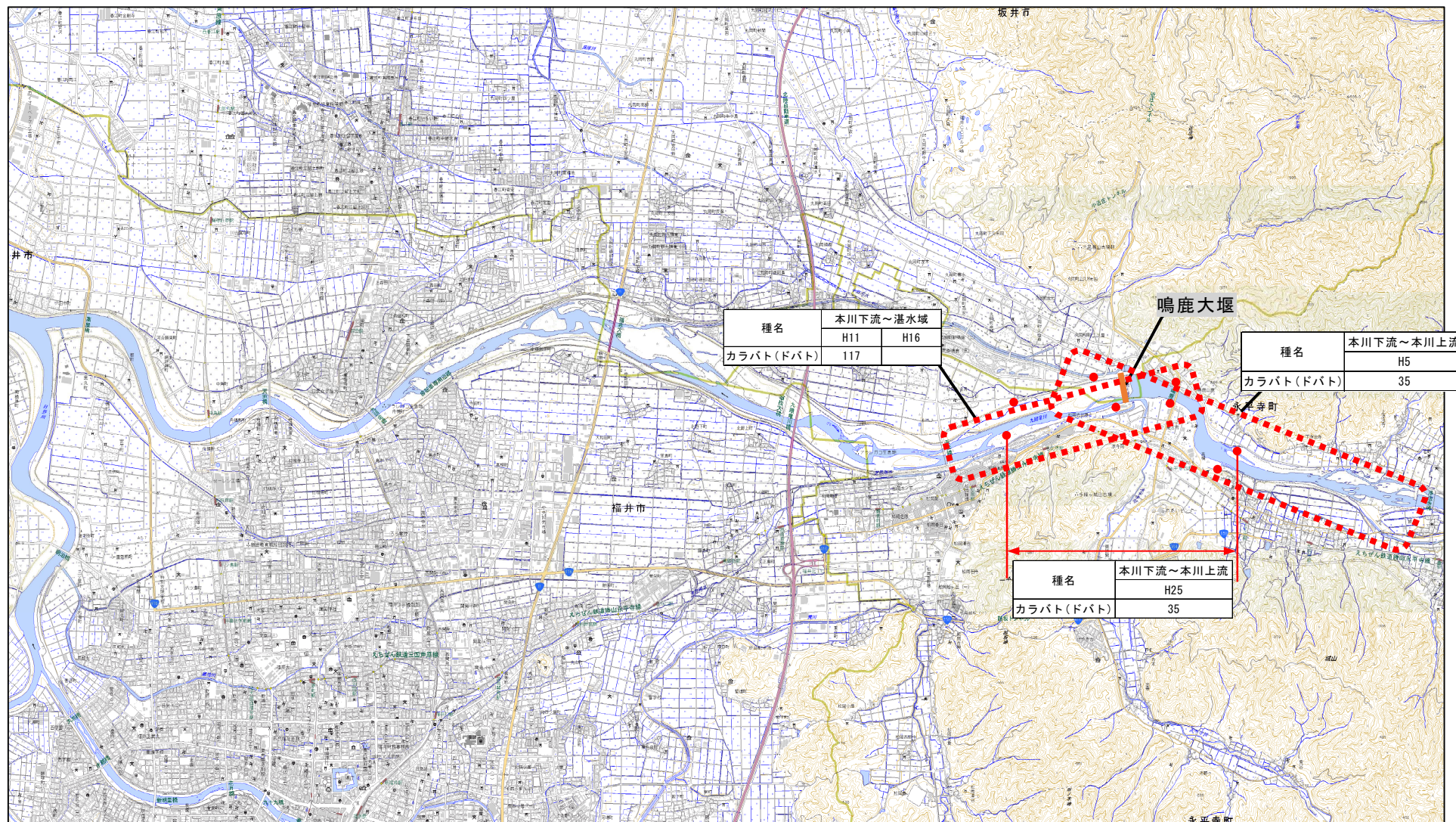


図 6.3-23 鳥類の国外外来種確認位置図

6) 陸上昆虫類等

アオマツムシ、アワダチソウゲンバイ、イネミズゾウムシ等の8種が確認されている（表 6.3-21、図 6.3-24 参照）。

確認された国外外来種のうち、種の確認状況や生態特性から、堰の運用による影響の有無を検討した結果、堰の運用により周辺環境に大きな影響を与える種はいないと考えられる。

表 6.3-21 陸上昆虫類等の国外外来種

No.	目名	科名	種名	国外 外来種	鳴鹿橋付近	
					H20	H30
1	バッタ目(直翅目)	マツムシ科	アオマツムシ	国外	●	●
2	カメムシ目(半翅目)	ビワハゴロモ科	シタベニハゴロモ	国外		●
3		ゲンバウム科	アワダチソウゲンバイ	国外		●
4	ハエ目(双翅目)	ミズアブ科	アメリカミズアブ	国外	●	
5	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コルリアトキリゴミムシ	国外	●	
6		ハムシ科	エンドウゾウムシ	国外	●	
7			ブタクサハムシ	国外	●	
8		イネゾウムシ科	イネミズゾウムシ	国外	●	●
4目7科8種					6種	4種

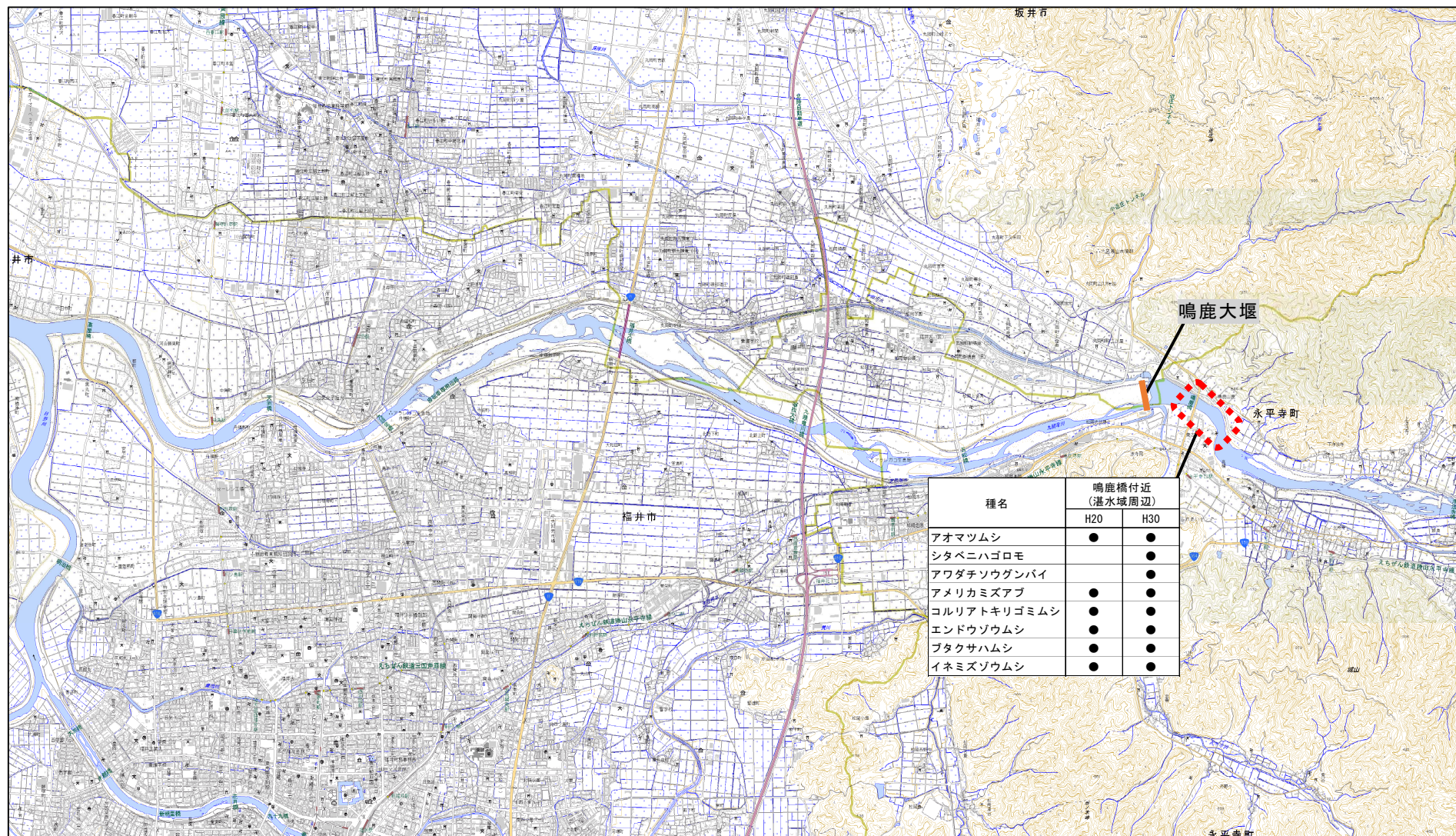


図 6.3-24 陸上昆虫類等の国外外来種確認位置図

(2) 現況での課題および駆除対策の必要性

国外外来種と鳴鹿大堰との関連性について、堰運用・管理に伴う国外外来種への影響要因を分析し、国外外来種毎に分布位置、生態的特性から影響の有無を現状分析した。

国外外来種のうち、堰運用・管理に伴って影響を及ぼす恐れのある種は、魚類のブルーギルとオオクチバスである。

このことから、堰の運用による影響を受ける種として抽出したブルーギルとオオクチバスについて、堰運用・管理に伴う影響の有無や程度を分析評価した。

その結果、現時点での駆除対策は必要ないと判断したが、今後個体数が顕著に増加した場合には、駆除対策の検討を行う。

表 6.3-22(1) 国外外来種に関する現状での課題の整理

種名		堰による影響の検証
ブルーギル	生態特性	<ul style="list-style-type: none"> ・自然分布は、北米東部 ・食性は基本的に動物食。様々な底生動物を利用するほか動物プランクトンを専門についばむ個体もいる。日本では水草や藻類を大量に食べる個体も多く確認されている。浮遊動物。 ・雄が作ったすり鉢状の巣で産卵が行われる。 ・雄には繁殖に関わる多型が知られる。 ・「なわばり雄」は全長 15~30cm 程度で繁殖集団を形成し、すり鉢状の産卵床を作る。「なわばり雄」は卵から孵化した仔魚が稚魚になる寸前まで 7~10 日程度保護する。 ・ブルーギルの卵は沈性付着卵であり、直径は 0.9~1.3mm。 ・1回の産卵数は平均的なサイズの個体で 21,000~36,000 粒であり、魚体サイズが大きいほど1回の産卵数は顕著に増加し、全長 235mm の個体では 64,000 粒に達する。 ・本種は一産卵期に多回産卵を行うことが広く知られている。 繁殖期：6~7月（西日本）
	影響要因	<ul style="list-style-type: none"> ・湛水域の存在により、釣り人が放流した可能性が考えられる。
	確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 10 年度と 24、29 年度に本川下流で、平成 19 年度に湛水域内で確認されている。
	生息環境や他生物の関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・生息環境は、止水環境や流れの緩やかな河川の下流域に生息。 ・フナ類等の在来種は継続して確認されている。
	分析結果	<ul style="list-style-type: none"> ・確認個体数は、経年的に少ない。 ・フナ類等の在来種は継続して確認されているが、今後、個体数の増加により影響を受ける可能性がある。 ・下流・湛水域ともに確認されているものの、近 2 回の調査では、九九福 4（福井大橋付近）、九九福 5（五松橋付近）で確認されていない。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・個体の駆除
	駆除対策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、ブルーギルを対象とした駆除対策等は実施していないが、今後、個体数の増加が顕著に見られた場合には、駆除対策の検討を行う。 ・九頭竜川本来の在来生態系を保全するため、国外外来種が在来生態系に及ぼす影響や国外外来種の密放流等を注意する広報に努める。

出典（生態特性）：侵入生物データベース（国立環境研究所）

表 6.3-22(2) 国外外来種に関する現状での課題での課題の整理

種名		堰による影響の検証
オオクチバス	生態特性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然分布は北米。 ・ 春から秋にかけては、水草地帯や障害物のある岸辺近くで活発に餌を求めて動き回り、水温が 10℃前後になる晩秋には深いところへ移動し、厳寒期には沈木その他の障害物の間で群をなして越冬する。 ・ 植生は通常はオイカワ、ヨシノボリ類などの魚類やエビ・ザリガニ類などの甲殻類を主食としその他水生昆虫や水面に落下した陸生昆虫や鳥のヒナまで捕食する。 ・ 雄が作ったすり鉢状の巣で産卵が行われる。 ・ 産出された卵および孵化後3週間くらいまでの仔魚は雄親に保護される。 ・ オオクチバスの卵は沈性付着卵であり、その直径は受精時で1.5~1.7mmである。北米での報告によると、雌一匹当たりの抱卵数は2,000~145,000個であり、体サイズの大きな雌ほど多くの卵を産むことが知られている。 ・ 繁殖期は水温16~20℃前後の春~初夏。
	影響要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湛水域の存在により、釣り人が放流した可能性が考えられる。
	確認状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成15年度、平成19年度、平成24年度、平成29年度に本川下流で、平成19年度に湛水域内で確認されている。
	生息環境や他生物の関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生息環境は山上湖、ダム湖、平地の天然湖沼、小規模なため池から河川中~下流域、汽水域に至る多様な水域。 ・ フナ類等の在来種は継続して確認されている。
	分析結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認個体数は、経年的に少ない。 ・ フナ類等の在来種は継続して確認されているが、今後、影響を受ける可能性がある。 ・ 継続的に確認されていないが、下流・湛水域ともに確認されており、分布の拡大の可能性が示唆された。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個体の駆除
	駆除対策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、オオクチバスを対象とした駆除対策等は実施していないが、今後、個体数の増加が顕著に見られた場合には、駆除対策の検討を行う。 ・ 九頭竜川本来の在来生態系を保全するため、国外外来種が在来生態系に及ぼす影響や国外外来種の密放流等を注意する広報に努める。

出典（生態特性）：侵入生物データベース（国立環境研究所）

6.4 生物の生息・生育状況の変化の評価

「生物の生息・生育状況の変化の検証」における検証結果について、評価の視点を定めて場所ごとに評価を行い、今後の方針を整理した。

評価の視点は「新生物多様性国家戦略[※]」等を参考に、生物多様性の保全及び持続可能な利用を目的とした施策を展開する上で不可欠な共通の基本的視点から設定することとした。基本的視点として以下のものが挙げられる。

- ・種の絶滅、地域個体群の消滅を回避する
- ・その川（地域）がもともと有していた多様な環境の保全・復元を図る
- ・連続した環境を確保する
- ・その川（地域）らしい生物の生育・生息環境の保全・復元を図る
- ・外来種対策によりその川（地域）の生物多様性を確保する

※平成4年（1992年）のリオデジャネイロで開催された国連環境開発会議（地球サミット）で調印された「生物の多様性に関する条約」を受け、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本方針と国のとるべき施策の方向を定めたものであり、平成7年（1995年）に策定された後、全面的な見直しを行い平成14年に「新・生物多様性国家戦略」が、平成19年11月に「第三次生物多様性国家戦略」が、平成24年9月に「生物多様性国家戦略2012-2020」が策定された。

6.4.1 生物群(分析対象種)毎の評価

生物群(分析対象種)毎の評価を表6.4-1(1)、(2)に示す。

定期報告書

6. 生物

表 6.4-1(1) 生物の生息・生育状況に関する評価

検討項目	生物の生息・生育状況の変化	堰との関連の検証結果	評価		今後の方針
			視点	評価結果	
魚類	回遊性魚類 (本川上流) 湛水前と大きな変化はみられないが、サケ、サクラマスなどの回遊魚が継続して確認されるようになった。	●：サケ、サクラマスなどの回遊魚が継続して確認されるようになっており、魚道改修の効果である可能性がある。	地域に特有の環境を保全する。	魚道の改修により魚類の生息環境の分断について改善されている。	—
	(湛水域内) 暫定運用後に初めて確認した回遊性魚類は、ワカサギ、サツキマス、カジカ中卵型、等が確認された。魚種組成に大きな違いはなく、近年減少傾向にあった回遊魚の確認種数も、令和4年度では増加傾向に転じた。	●：魚種組成からみると、魚道の改修により、新たに回遊魚を確認した。 △：年減少傾向にあった回遊魚の確認種数も、令和4年度では増加傾向に転じた。	地域に特有の環境を保全する。	魚道の改修の効果が現れており、緩流域を好む魚類についても大きな変化がないことから、現状で問題はないと考えられる。	・河川水辺の国勢調査を実施し、魚類相の生息状況を確認する。
	止水性魚類 (湛水域内) 緩流域を好むタイリクバラタナゴ、ギンブナ、モツゴ等の純淡水魚は引き続き多く確認した。また、ブルーギル、オオクチバスなどの外来魚は、増加していない。	—：緩流域に生息する魚類については顕著な増加傾向は見られなかった。	—	—	—
底生動物	主要構成種の変化 (本川上流) 主要構成種に変化はみられない。	—：水質の変化等もみられておらず、底生動物相についても影響は無いと考えられる。	—	—	—
	(湛水域内) 堰暫定運用前に多く確認していたカゲロウ目やトビケラ目の種比率が堰暫定運用後には少なくなり、ハエ目、ミズシジミの種比率を多く確認している。但し、カゲロウ目の種数に大きな変化はない。	●：堰の改修により湛水域面積が増大したことで、緩流域を好む種が増加した。	地域に特有の環境を保全する。	緩流域に特徴的な種であるため、現状で問題はないと考えられる。	—
	(本川下流) 主要構成種に変化はみられない。確認種数は増加している。	—：水質の変化等もみられておらず、底生動物相についても影響は無いと考えられる。	—	—	—
付着藻類	主要構成種の変化 (湛水域内) 緩流域を好む緑藻類が増加している。	●：緩流域を好む緑藻類が増加しており、改築による湛水域の水深の増大の影響と考えられる。	地域に特有の環境を保全する。	止水域に特徴的な種であるため、現状で問題はないと考えられる。	—
	(湛水域内) 平成23年度の秋季に珪藻綱の細胞数が増加した。	△：堰の運用の影響によるものなのかは不明である。	地域に特有の環境を保全する。	堰運用前から他の分類群と比較して種数・細胞数とも多く確認されているため、現状で問題はないと考えられる。	—
植物	植生面積の変化 (湛水域(陸域)) 人工草地、構造物が多く面積を占めているが、ツルヨシ等に代表される単子葉草本類やヤナギ林が増加傾向にある。	—：堰建設に伴う護岸等整備及び河床の安定化によるものと考えられる。	—	—	—
	植物の生育状況の変化 (本川下流) 五松橋付近より下流では、自然裸地が減少し、多年生草本群落が増えつつある。鳴鹿大堰直下流では、堰改築に伴い、引き続き裸地化した中州等の水際に植生が見られる。また、砂州の発達に合わせて、在来種草地が増えつつある。	●：堰運用後において下流域に中州や多年生草本群落の侵入を確認しているが、その状態は安定してきており、ツルヨシ群落、カワヤナギ群落が発達しつつある。樹林化、陸地化が進む可能性も考えられることから、その変化について定期的に確認する。	地域に特有の環境を保全する。	従来の砂礫河原環境が失われつつある。	・河川水辺の国勢調査を実施し、堰下流における樹林化・陸地化について、今後の変化の把握に努める。

表 6.4-1(2) 生物の生息・生育状況に関する評価

検討項目	生物の生息・生育状況の変化	堰との関連の検証結果	評価		今後の方針	
			視点	評価結果		
鳥類	湛水域を利用する	(湛水域内) 湛水域内を利用するマガモ、カルガモなどのカモ類等を多数確認した。	●：平成5年(1993年)、平成11年(1999年)の調査時には堰の改築工事の影響により確認数が少なかったものが、管理開始の平成16年(2004年)に回復した可能性がある。平成25年度は、平成16年度に比べ減少している。	地域に特有の環境を保全する。	現状で問題はないものと考えられる。	—
	湛水域周辺の	(湛水域(陸域)) 水辺に生息するアオサギ、セグロセキレイ、人家周辺に生息するスズメ、開けた草地等を好むヒバリ等を多数確認した。	—：平成16年度はカワウが増加している傾向がみられるが、平成25年度は確認個体数は少なかった。 ？：平成25年度調査からスポットセンサス法になり、確認種数が減少しているが原因は不明である。	—	—	—
両生類・爬虫類・哺乳類	湛水域周辺における確認種の変化	(湛水域(陸域)) 経年的に大きな変化はみられていない。堰の改築前後を比較すると、哺乳類でやや確認種数が増加した。	—：両生類・爬虫類・哺乳類相に大きな変化はみられない。	—	—	—
陸上昆虫類等	湛水域周辺における確認種の変化	(湛水域(陸域)) 経年的に大きな変化はみられていない。	—：陸上昆虫類相に大きな変化はみられない。	—	—	—

凡例) 堰との関連の検証結果

- ：生物の生息・生育状況の変化が堰によると考えられる場合
- ：生物の生息・生育状況の変化が堰以外によると考えられる場合
- △：生物の生息・生育状況の変化に対する影響要因が不明であった場合
- ：生物の生息・生育状況に、大きな変化が見られなかった場合
- ？：生物の生息・生育状況の変化が不明であった場合

6. 生物

6.4.2 生態系等(分析対象種)毎の評価

生態系等(分析対象種)毎の評価を表 6.4-2 に示す。

表 6.4-2 生態系等の変化に関する評価

検討項目			ハビタットの 変化の状況	堰との関連の検証結果(注)		評価	
						視点	評価結果
本川上流	鳴鹿橋付近	河道形状	流路の形状には、建設後での大きな変化はみられない。	—	—	—	—
		河床形態	瀬・淵等の割合に大きな変化はみられない。	—	—	—	—
		水際部の植生	水際植物群落、河畔地の植生面積に大きな変化はみられない。	—	—	—	—
湛水域内	鳴鹿大堰 ↓ 鳴鹿橋	河道形状	流路の形状には、建設後での大きな変化はみられない。	—	—	—	—
		河床形態	環境区分の割合に大きな変化はみられない。	—	—	—	—
		水際部の植生	ツルヨシ等に代表される単子葉草本やタチヤナギやカワヤナギに代表されるヤナギ林が増加傾向にある。	出水等により、河畔地の掃流が起き、先駆植物としてツルヨシ等の生育面積が増加していると考えられる。	●	地域に特有の環境を保全する。	今後も引き続き河川水辺の国勢調査によって変化を把握していく。
本川下流	鳴鹿大堰より下流	河道形状	流路内の自然裸地面積の増加がみられる。	出水等により、河道内の攪乱が発生していると考えられる。	●	地域に特有の環境を保全する。	今後も引き続き河川水辺の国勢調査によって変化を把握していく。
		河床形態	瀬・淵等の割合に大きな変化はみられない。	—	—	—	—
		水際部の植生	ツルヨシ等に代表される単子葉草本やタチヤナギやカワヤナギに代表されるヤナギ林が増加傾向にある。	出水等により、河道内の攪乱が起き、先駆植物としてツルヨシ等の生育面積が増加していると考えられる。	●	地域に特有の環境を保全する。	今後も引き続き河川水辺の国勢調査によって変化を把握していく。

凡例) 堰との関連の検証結果

- : 生物の生息・生育状況の変化が堰の存在や堰の管理・運用によると考えられる場合
- : 生物の生息・生育状況の変化が堰の存在や堰の管理・運用以外によると考えられる場合
- △ : 生態系等の変化に対する影響要因が不明であった場合
- : 生態系等の状況に、大きな変化がみられなかった場合
- ? : 生態系等の変化が不明であった場合

6.5 環境保全対策の効果の評価

鳴鹿大堰の改築に伴う魚道の改修により、堰及び湛水域の上下流において河川の連続性が改善し、九頭竜川を利用する様々な生物の生息・生育状況に変化が生じると想定されている。

そのため、鳴鹿大堰において生じる生物の生息・生育状況の変化を把握し、鳴鹿大堰の存在により堰上下流の生物の生息・生育状況が変化しているかどうかの検証を行った。

検証のために、既往定期報告書、並びに平成30年度に開催された第7回九頭竜川鳴鹿大堰意見交換会(学識者等意見聴取結果)を活用した。

この意見交換会は、効率的に各種魚類を遡上させるための堰運用の方針を検討するため、学識経験者等(学識経験者、漁業関係者、行政機関等)の意見を聴取することを目的としたものであり、意見聴取メンバーを表6.5-1に、意見聴取日時を表6.5-2に示す。

表 6.5-1 意見聴取メンバー

※敬称略

メンバー	所属	選定理由
角 哲也	京都大学防災研究所 水資源環境研究センター 教授	<ul style="list-style-type: none"> 河川工学の研究者である。 近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会委員、九頭竜川流域委員会委員(平成19閉会)、九頭竜川流域懇談会委員として現地環境に詳しい。
安達 辰則	福井県内水面漁業協同組合連合会 参事	<ul style="list-style-type: none"> 元福井県農林水産部企画幹で専門は内水面漁業・水産資源である。 昭和54年～平成24年まで、主に水産試験場にて水産資源に関する調査・研究を行ってきた。 現在、内水面センターの実施する河川湖沼の調査やアユ種苗生産を補助している。
安田 龍司	サクラマスレストレーション 代表	<ul style="list-style-type: none"> 九頭竜川においてサクラマスが自然再生産するための保全活動グループ代表(安田氏)、事務局(天谷氏)である。 九頭竜川や支川で、行政や漁協に協力する形でサクラマスの調査、放流等を定期的に行っている。
天谷 菜海	サクラマスレストレーション 事務局	
村岡 敬子	(独)土木研究所 河川生態チーム 主任研究員	<ul style="list-style-type: none"> 魚道に関する研究者である。 鳴鹿大堰の魚道において調査・研究実績がある。
田原 大輔	福井県立大学 海洋生物資源学部 准教授	<ul style="list-style-type: none"> 魚類の研究者である。 福井県の地域特産種であるカマキリを中心とした淡水カジカ類の研究を行い、内水面養殖の振興および天然資源の回復を目指している。

表 6.5-2 意見聴取日時

意見聴取	日時	場所
第7回九頭竜川鳴鹿大堰意見交換会	平成31年1月9日(水) 13:30～15:30	鳴鹿大堰 会議室

6.5.1 魚道の状況

旧鳴鹿堰堤の魚道（左岸のみ設置）は、勾配が大きく流速が速いため、遊泳力の弱い魚にとって遡上が困難となっていた。鳴鹿大堰では左右岸それぞれに、階段式、人工河川式魚道と呼び水水路を設け、様々な魚種が利用可能となるようにしているほか、濁水時に呼び水水路の水量が少なくなった時のために堰柱の中にデニール式魚道を設けている。また、落ちアユの時期に中央のゲートが開いていない場合、川の中央から両端にある土砂吐ゲートや呼び水水路に誘導できるよう落ちアユ用ゲートも設けている。平成22年度以降は、魚道流量の調節等遡上改善に係る実験も行っている。平成25年度以降、連続的な調査を行い、鳴鹿大堰の魚道を大型魚、小型魚等が遡上する実態把握を中心に調査を行っている。

新旧魚道の概要を図 6.5-1 に、各魚道の構造および詳細を表 6.5-3(1)、(2)に示す。

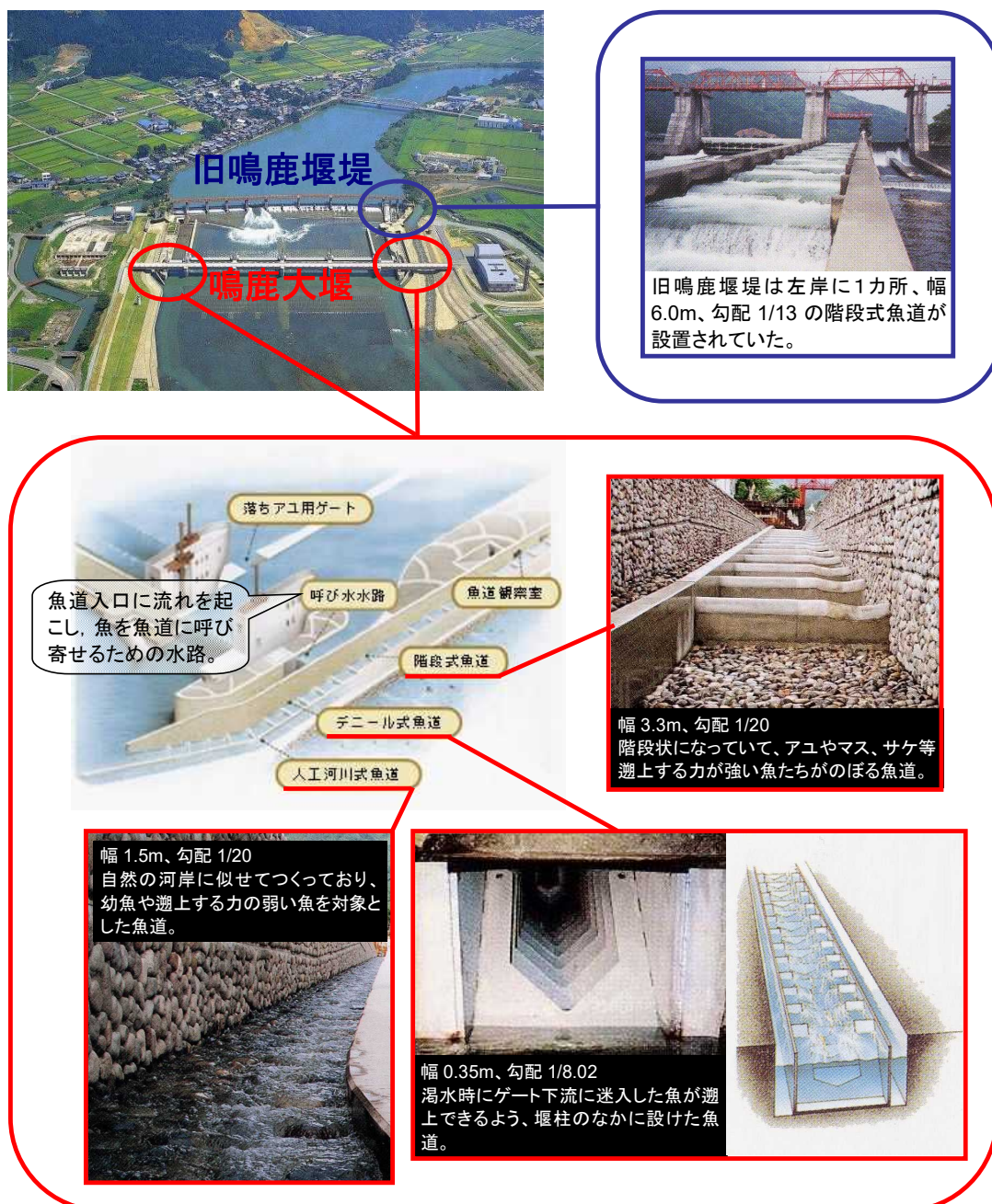


図 6.5-1 新旧魚道の概要

表 6.5-3(1) 各魚道の構造および詳細


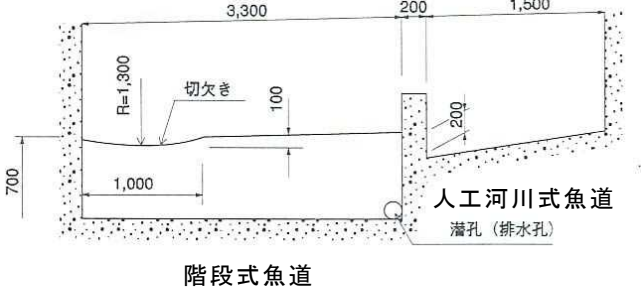
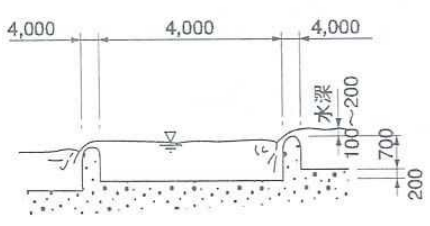

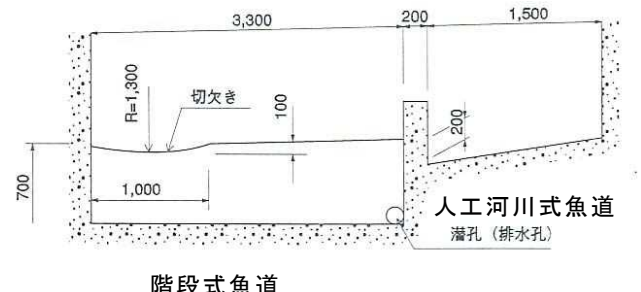
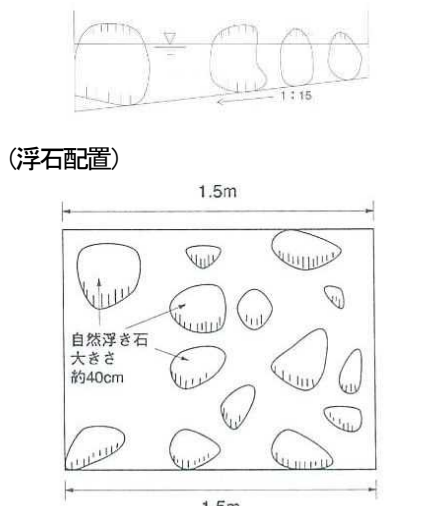

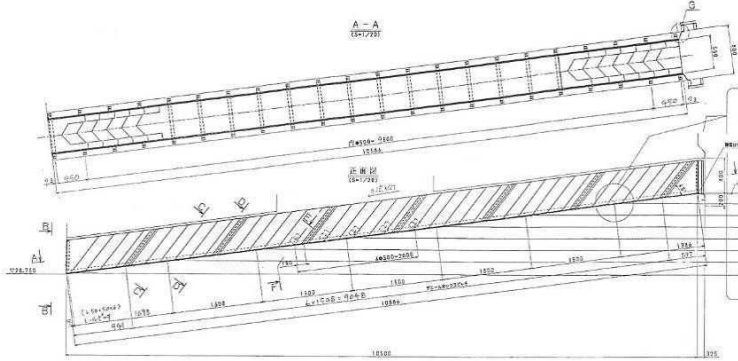
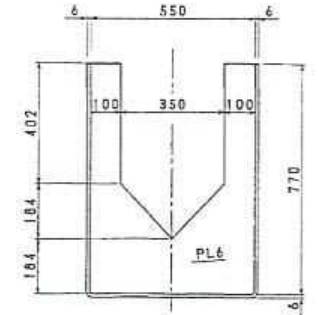

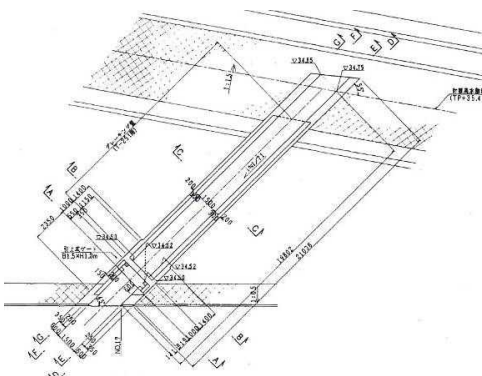
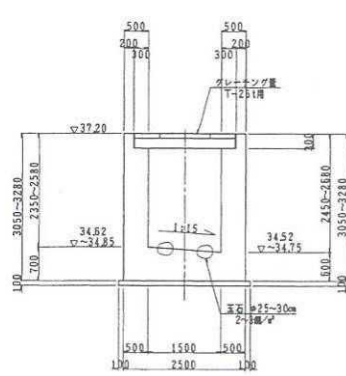
魚道型式	階段式魚道	
延長 (m)	左岸：187m, 右岸：210m	
幅 (m)	幅員 3.3m(切り欠幅 1.0m)	
勾配	1/20	
主な対象魚	アユ、サケ等の遊泳魚	
備考	隔壁間落差：20cm プール長：4.0m プール内水深：80cm (隔壁高 70cm+越流水深 10cm)	
(標準断面図) 		(縦断面図) 
魚道型式	人工河川式魚道	
延長 (m)	左岸：187m, 右岸：210m	
幅 (m)	幅員 1.5m	
勾配	縦断：1/20, 横断：1/15	
主な対象魚	カマキリ(アラレガコ)等の底生魚や稚魚	
備考	水路内流速：0~40cm/s 水深：5~20cm	
(標準断面図) 		(横断模式図) 

表 6.5-3(2) 各魚道の構造および詳細

魚道型式	デニール式魚道	
延長 (m)	10.5m	
幅 (m)	0.35m	
勾配	1/8.02	
主な対象魚	アユ、サケ等の遊泳魚	
備考	湧水時に端部堰柱間のゲート下流に迷入した魚類を階段式魚道に遡上させる目的で設置された施設。	
(正面図) 		(断面図) 
魚道型式	接続水路(人工河川式魚道)	
延長 (m)	21m	
幅 (m)	1.5m	
勾配	縦断：1/60，横断：1/15	
主な対象魚	アユ、サケ、カマキリ(アラレガコ)等	
備考	水深：0~20cm 永平寺川を遡上してきた魚類を鳴鹿大堰湛水域に誘導するために設置された施設。	
(平面図) 		(断面図) 

定期報告書

6. 生物

(3) 魚道の利用状況

平成11年度から平成27年度までの調査における鳴鹿大堰の魚道を利用した魚種は、人工河川式魚道で49種、階段式魚道で45種、合計53種であった(表6.5-5参照)。調査方法や調査期間の違いはあるものの、平成3年度に旧鳴鹿堰堤の魚道(左岸のみ)で調査を行った際に確認された魚類(8種)と比較して、鳴鹿大堰の魚道はより多くの魚種に利用されていた。鳴鹿大堰の暫定運用が開始された平成11年以降の魚類出現状況は表6.5-5に示すとおりである。

なお、平成28年度以降、魚道での採捕調査は実施されていない。

表 6.5-5 旧鳴鹿堰堤および鳴鹿大堰の魚道内での魚類確認状況

No.	生活型	科	種	遊泳区分	鳴鹿大堰															
					鳴鹿堰堤		H11~H24魚道出口調査での確認種 ^{注1)}		H25魚道出口調査での確認種 ^{注4)}		H26魚道出口調査での確認種 ^{注5)}		H27魚道出口調査での確認種 ^{注6)}							
					H3魚道内調査での確認種 ^{注1)}	種数	人工河川式魚道	階段式魚道	人工河川式魚道	階段式魚道	人工河川式魚道	階段式魚道	人工河川式魚道	階段式魚道						
1	回遊魚	ヤツメウナギ	カワヤツメ	底生魚			●	●												
2		サケ	サケ	遊泳魚			●	●												
3			サクラマス	遊泳魚			●	●												
4			サツキマス	遊泳魚			●	●												
5		アユ	アユ	遊泳魚	○△		●	●												
6		ハゼ	ヌマチチブ	底生魚			●	●												
7			ゴクラクハゼ	底生魚			●	●												
8			オオヨシノボリ	底生魚			●	●												
9			シマヨシノボリ	底生魚			●	●												
10			ルリヨシノボリ	底生魚			●	●												
11			トウヨシノボリ(橙色型)	底生魚			●	●												
12			トウヨシノボリ(型不明)	底生魚			●	●												
13			ヨシノボリ属	底生魚			●	●												
14			ウキゴリ	底生魚			●	●												
15			スミウキゴリ	底生魚			●	●												
16			ウキゴリ属	底生魚			●	●												
17		カジカ	カジカ卵型	底生魚			●	●												
18			ウツセミカジカ(回遊型)	底生魚			●	●												
19			カマキリ(アラレガコ)	底生魚			●	●												
20			カジカ属	底生魚			●	●												
21	純淡水魚	ヤツメウナギ	スナヤツメ類	底生魚			●	●												
22		サケ	イワナ属	遊泳魚			● ^{注3)}	●												
23			ヤマメ	遊泳魚	△		●	●												
24			アマゴ	遊泳魚			●	●												
25		コイ	アブラハヤ	遊泳魚			●	●												
26			タカハヤ	遊泳魚			●	●												
27			ウグイ	遊泳魚	△		●	●												
28			オイカワ	遊泳魚			●	●												
29			カワムツ	遊泳魚	△		●	●												
30			ハス	遊泳魚			●	● ^{注3)}												
31			ビロヒガイ	遊泳魚			●	●												
32			カマツカ	底生魚			●	●												
33			タモロコ	遊泳魚			●	●												
34			ホンモロコ	遊泳魚			●	●												
35			スゴモロコ	遊泳魚			●	●												
36			モツゴ	遊泳魚			●	●												
37			ニゴイ	遊泳魚	△		●	●												
38			ズナガニゴイ	遊泳魚			●	●												
39			ニゴイ属	遊泳魚			●	●												
40			コイ	遊泳魚			● ^{注3)}	●												
41			ギンブナ	遊泳魚			●	●												
42			ダシゴロウブナ	遊泳魚			●	●												
43			ヤリタナゴ	遊泳魚			●	●												
44			イチモンジタナゴ	遊泳魚			●	●												
45			カネヒラ	遊泳魚			●	●												
46			アカヒレタビラ	遊泳魚			●	●												
47			タイリクバラタナゴ	遊泳魚			●	●												
48		ドジョウ	シマドジョウ	底生魚			●	●												
49			アジメドジョウ	底生魚			●	●												
50		ナマズ	ナマズ	底生魚			● ^{注3)}	●												
51		ギギ	ギギ	底生魚			●	●												
52		アカザ	アカザ	底生魚			●	●												
53		サンフィッシュ	オオクチバス	遊泳魚			●	●												
54			ブルーギル	遊泳魚			●	●												
55			ドンコ	底生魚			●	●												
56			カワヨシノボリ	底生魚			●	●												
57	回遊性	イワガニ	モクスガニ	底生	△		●	●												
魚類以外の生物は回遊性のモクスガニのみを対象とした。					種数	8	49	45	22	20	17	18	15	14						
							53		27		23		19							

注1) 魚道上流部の隔壁全面に遡上魚捕獲用トラップ、下流部の隔壁全面に降下魚捕獲用トラップを設置し、採捕状況を24時間ごとに確認した。

注2) 24時間、魚道に採捕網を設置し遡上魚を採捕し、2時間または3時間ごとに種の同定、個体数計数等を行った。

注3) H17に過去データの見直しを行った結果、削除または追加された種である。
人工河川式魚道：コイ、ナマズ、イワナ(補足調査で確認されているので追加)
階段式魚道：ズナガニゴイ(捕獲記録が確認できないため削除)、ハス(補足調査で確認されているので追加)

注4) H25は、春・秋季は24時間調査、その他の時期は10:00~14:00の調査

注5) H26、27は、10:00~14:00の調査

注6) H28以降は、採捕調査を実施していない。

魚道の効果を評価するために、鳴鹿大堰の上下流、湛水域及び魚道内での回遊性魚類の確認状況を整理した（表 6.5-7 参照）。魚道における調査については、平成 2～3 年は旧鳴鹿堰堤の魚道での調査であり、平成 11 年以降が鳴鹿大堰の魚道での調査である。なお、平成 4～10 年については魚道内調査を実施していない。

その結果、アユ、オオヨシノボリ、モクズガニについては、暫定運用以前から暫定運用後も堰の下流～堰湛水域の上流までの広い範囲で確認されており、旧鳴鹿堰堤の頃の魚道も鳴鹿大堰の魚道も利用して遡上していたことが伺えた。

一方で、サケ、サクラマス、カマキリ（アラレガコ）、ウツセミカジカ（回遊型）、スミウキゴリについては、鳴鹿大堰の暫定運用以前には下流までの確認であったが、暫定運用後は上流でも確認しており、鳴鹿大堰の魚道を利用して遡上していることが伺えた。以上のことから、旧鳴鹿堰堤と比較して鳴鹿大堰の魚道はより多くの回遊性生物に利用されていると言える。

表 6.5-7 鳴鹿大堰上下流および魚道における確認状況からの評価

旧鳴鹿堰堤
鳴鹿大堰

堰の暫定運用開始

No.	目	科	種	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29		
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	カワヤツメ	C	C		C						B	B	B	B		B				B			B								
2	サケ	アユ	アユ	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	B	B	A	A	B	B	B	B	A	A		
3		サケ	サケ			C	C	C	C	C	C		B	B	A	A	A	A		B	A		B		B	B	B	B	B	A			
4			サクラマス	C	C		C					C	B	B	A	A	A	A	B		B	C			A	B	B	B	B		C		
5			サツキマス										B		C	B	C					C				B					B		
6	カサゴ	カジカ	カマキリ (アラレガコ)	C	C		C	C	C			C	B	C	C	B	A	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	C	
7			ウツセミカジカ (回遊型)				C	C	C	C	C	C	A	B	B	A	B	B	B		C	B	B	B	A		B						
8	スズキ	ハゼ	カジカ属		C	C							B	B	B	B	A						C	B	B	B					A	A	
9			スミウキゴリ				C	C	C			C		B		A	A	B				B	B	B	B			B					
10			シマウキゴリ				C									A	A	A	B	B		A	B		A	A	B	B			C	A	
11			ウキゴリ			C				A	C	A	A	A	A	A	A	A	B	B		A	B		A	A	B	B			C	A	
12			ウキゴリ属													A								B		B		B			C		
13			ゴクラクハゼ													C							C			B	B						
14			シマヨシノボリ			A	C		A	C	C	C	B	A	A	A	A	A	B	B	A	B	B	A	A	B	B	B	B	A	A		
15			オオヨシノボリ			A	A		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	B	B	A	A	B	B	B	B	A	A		
16			ルリヨシノボリ						C									B			B			A	A	B	B						
17			トウヨシノボリ (橙色型)																						B								
18			トウヨシノボリ (型不明)													B	A	A	A			B	A	B	B	A	B		B	B			
19			ヨシノボリ属	A	A	A										A									A	A	B	B	B				
20			ヌマチチブ				C	C		A	A	C	C	A	A	A	A	A	A	B	B	A	B	B	A	A	B	B	B			A	C
21			チチブ属		C	C																											
22	エビ	イワガニ	モクズガニ	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	B	B	

【凡例】
A: 鳴鹿大堰より上流まで確認している(潜水目視等)
B: 湛水域若しくは魚道出口で確認(捕獲)している
C: 鳴鹿大堰より下流まで確認している(潜水目視等)
 A > B > C の順で、より上流域まで確認されていることを示している

- 1) 平成4～10年度は魚道調査を、平成11～12年度は湛水域調査を実施していない。
- 2) 平成17、18、20、21年度は、魚道出口での捕獲調査のみ実施している。
- 3) 平成24年度は湛水域で調査を実施しているが、他年度の湛水域調査とは異なり、湛水域上流側で調査を実施しておらず、底生魚類は把握できていない
- 4) 平成25年度は堰上流で調査を実施していない
- 5) 平成26年度及び27年度は湛水域内及び、堰上流で調査を実施していない
- 6) 平成28年度以降は、捕獲調査を実施しておらず、CGCカメラ撮影調査においては魚種の特定まで行っていない。
- 7) 平成28年度及び29年度は、堰下流及び堰上流で潜水目視調査を実施している。

1) 遡上個体数

図 6.5-3 に鳴鹿大堰左右岸魚道(階段式魚道・人工河川式魚道)で行った調査で確認された遡上個体数の経年変化を示した。左右岸魚道での調査は、アユの遡上期に合わせて行う目視調査や採捕調査、CCD カメラによる撮影調査等を行ってきた。

それぞれ調査頻度や調査時間が異なることから、ここでは、調査結果を調査時間で除し、年間の全調査で平均した、調査1時間あたりの遡上個体数を算出して比較を行った。なお、平成2年度、3年度については、旧鳴鹿堰堤左岸の階段式魚道の遡上個体数である。

平成2年度、3年度は、魚道を遡上する個体がほとんど確認されなかった。また、平成14年6月の大出水、平成16年度5月以降の過去に例をみない出水による濁水の影響によって、平成13年度をピークに減少していたが、平成17年度には若干の回復をみせ、平成18年度～21年度は大幅な遡上個体の増加を確認している。

なお、図に示した遡上個体は多くが目視調査及び CCD カメラ撮影で確認したものとなっており、アユの遡上期に調査を行っていない平成22年度～23年度は確認数が少なくなっている。

平成30年度以降、鳴鹿大堰魚道を利用する魚類遡上数は増加傾向にあり、旧鳴鹿堰堤の時期と比較すると、個体数は増加している。

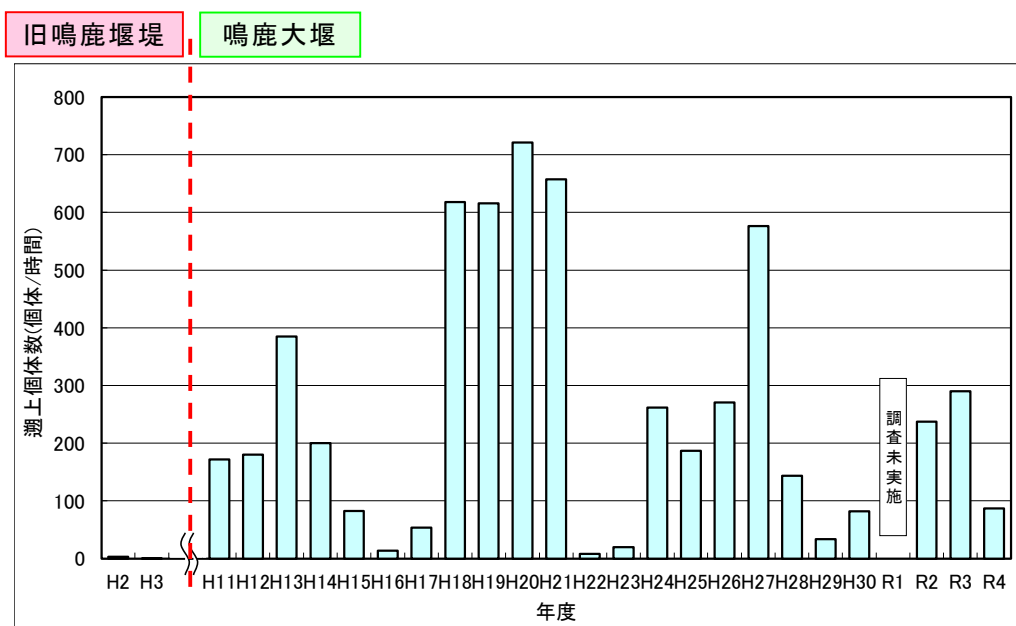


図 6.5-3 平成11年度～令和4年度までの遡上個体数の経年変化

- ※目視調査、採捕調査及び補足調査の調査結果をとりまとめた結果である。
- ※極力同条件で比較できるように、調査結果を調査時間で除し、単位時間あたりの遡上個体数として整理した。
- ※平成2年度、3年度については、旧鳴鹿堰堤左岸の階段式魚道の遡上個体数である。
- ※H15～17年度に遡上個体数が少ないが、平成14年出水時の濁水がH15の遡上数に影響した可能性や、H16年7月の福井豪雨、同10月の台風17号等、頻発した出水の影響が考えられる。
- ※H22、23年度の調査は夏季以降の実施であり、アユ等の遡上盛期に調査を実施していないため、確認個体数が少ない。
- ※H22より魚道の流量調整試験を実施、その結果から放流パターンを決定、H28より試行運用を開始し効果検証を行っている。
- ※H28、H29は天然アユの遡上量が著しく少ない(H29はH28の約18%)との見解が九頭竜川中部漁協より発信されており、確認個体数に影響を与えている可能性がある。

【出典：H2～3、11～16：モニタリング調査、H17～R4：フォローアップ調査】

6.5.3 魚道の流量調整(サクラマスモード)の本格運用の検証

(1) 魚道の流量調整(サクラマスモード)の運用の経緯

近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会において、鳴鹿大堰を遡上するサクラマス、サケ等の大型回遊魚の遡上確認数が少なく、魚道の効果について着目されていた。また、平成 22 年度には鳴鹿大堰直下で多数の滞留するサクラマスが確認されたことから、これまでの調査では特に大型魚に関する魚道の効果検証を行ってきた。平成 22 年度からは、大型魚の遡上に大きく影響すると考えられる魚道流量(越流水深)を増加させた調査を実施した。また、平成 24 年度以降は、放流パターンを変更(微調節ゲート流量を減少、魚道流量を増加)することによる効果の検証を行い、平成 31 年 3 月より「サクラマスモード」による運用が開始されている。

サクラマスモードの放流パターンについて、以下に示す。

表 6.5-8 放流パターンの概要

■ 流量調節の内容

放流量	以下の放流量は大型魚については遡上有利になっており、小型魚についても遡上不利となっていないことから以下の放流パターンで運用放流を行う。 魚道 1.0m ³ /s は、魚道越流水深が約 20cm での運用となる。
期間	3～4 月の早期から運用開始した場合、上流でサクラマス ^① の生息密度が過剰になる可能性があり堰下流の地形改変等の可能性を考慮し、暫定的に遡上ピーク時のみの運用とする。

■ 月別の放流パターン

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
放流パターン	通常期間				流量調整期間 (サクラマス遡上ピーク時)		通常期間			流量調整期間 (サケ・サクラマス遡上ピーク時)		通常期間

■ 流量調整期間に操作内容

流量調整期間	流量・時期	15m ³ /s まで	15m ³ /s 以上	400m ³ /s まで	400m ³ /s 以上
		渇水時	平常時		出水時
	操作	通常期間の操作に従う	気象、水象、その他の状況により必要と認めるとき、微調整ゲートからの放流量を毎秒 10m ³ /s にすることができる		
	魚道ゲート		越流水深約 20cm (片岸 1m ³ /s、左右岸計 2m ³ /s 程度)		
	微調整ゲート		5m ³ /s (左右岸計 10m ³ /s)		
	主ゲート (1～6号ゲート)		12m ³ /s を超える量は、土砂吐ゲート (1,6号ゲート) から順に放流		

6-147

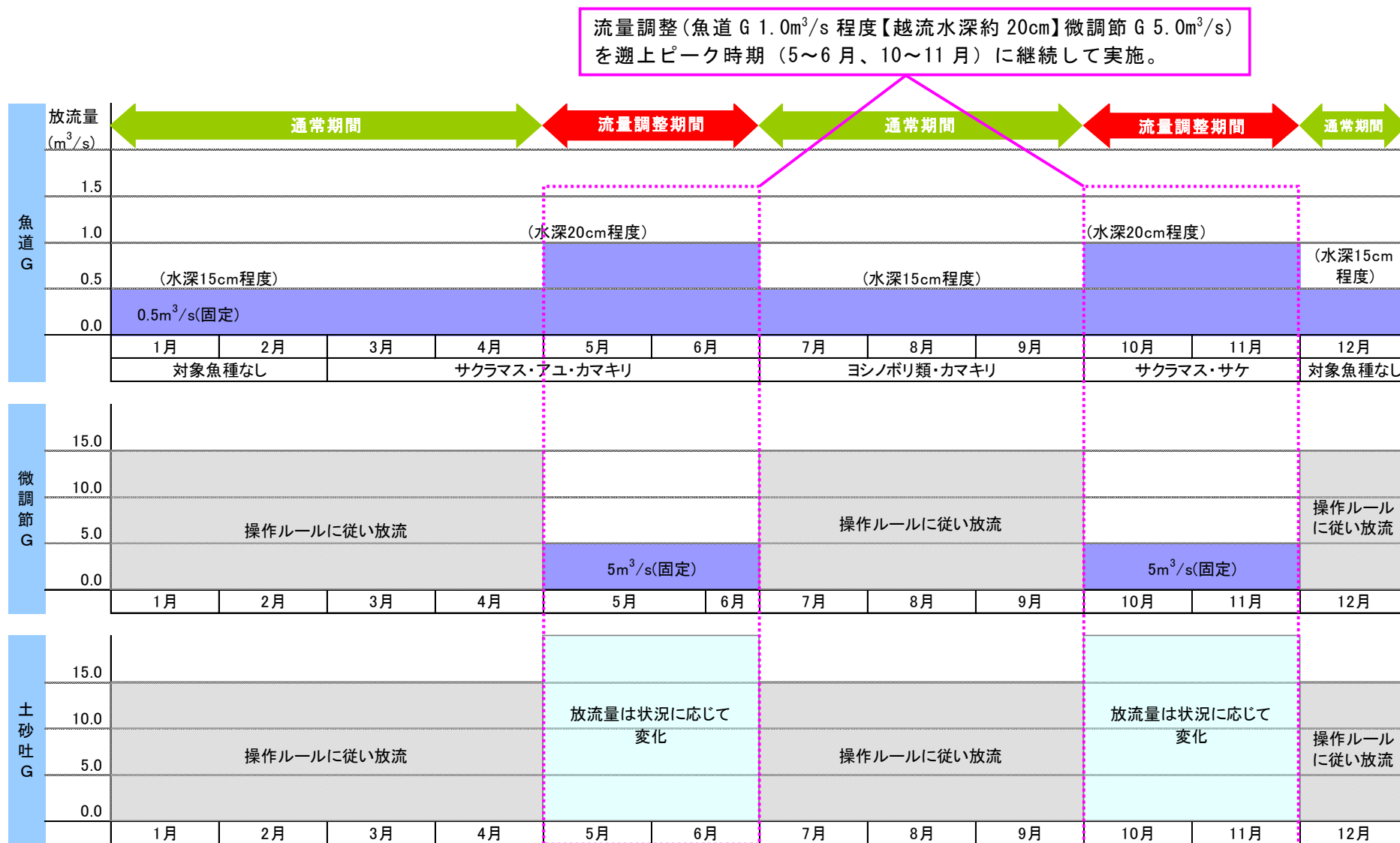


図 6.5-4 平成 30 年度～令和 4 年度までの配分放流パターン

(2) 魚道のサクラマスモード本格運用後の効果検証

ここでは、平成 30 年度～令和 4 年度までの本フォローアップ対象期間において行われた魚類遡上・降下調査結果から、対象魚種の遡上状況等を整理した。

1) CCD カメラによる大型魚の遡上状況

- 令和 2 年度および令和 3 年度は遡上数に回復傾向がみられたが、令和 4 年度では春季・秋季ともに遡上数が大幅に減少していた。
- 遡上数が減少した要因としては、海洋環境の変化など様々な理由が考えられるが、令和 4 年度は春季遡上期(3～6 月)、秋季遡上期(9～11 月)に降雨量が過年度と比較し少なかったことも遡上数の減少の要因の 1 つと考えられた。
- 令和 4 年度から、早春季(3～4 月)の遡上数を初めてカウントした結果、春季(5～6 月)とほぼ同数程度のサクラマスの遡上が確認され、以前より早春季にも多くのサクラマスが遡上していることが推察された。

表 6.5-9(1) 遡上個体数の経年比較(春季_大型魚)

放流パターン		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	R3年度	R4年度
流量調整時	サクラマスモード	193.6	226.7	86.3	82.9	62.6	111.4	95.1	51.4
	アユモード①	—	—						
	アユモード②	202.0	193.0						
通常運用時		63.2	170.5	—	—	—	—	—	—
春季平均		163.1	199.9	86.3	82.9	62.6	111.4	95.1	51.4

※1 数値は両岸の魚道遡上個体数を1日当たりの遡上個体数に平均化したものである。

※2 各調査年の5/1～6/30のうち、調査実施日を対象とした。

※3 サクラマスモード：魚道流量1.5m³/s固定 微調整G流量5.0m³/s固定
 アユモード①：魚道流量0.5m³/s固定 微調整G流量5.0m³/s固定
 アユモード②：魚道流量1.0m³/s固定 微調整G流量5.0m³/s固定
 通常モード：魚道流量0.5m³/s固定 微調整G流量最大15.0m³/s固定

※4 H26年度調査日数=サクラマスモード：13日 アユモード②：14日 通常モード：9日
 H27年度調査日数=サクラマスモード：22日 アユモード②：18日 通常モード：21日
 H28年度調査日数=アユモード②：56日
 H29～30、R2～4年度調査日数=アユモード②：61日

※5 R1年度は調査を実施していない。

表 6.5-9(2) 遡上個体数の経年比較(秋季_大型魚)

放流パターン		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	R3年度	R4年度
流量調整時	サクラマスモード	28.1	22.2	16.6	7.7	6.2	10.2	8.2	3.2
	アユモード②	—	—						
通常運用時		17.8	10.2	—	—	—	—	—	—
秋季平均		23.1	16.3	16.6	7.7	6.2	10.2	8.2	3.2

※1 数値は両岸の魚道遡上個体数を1日当たりの遡上個体数に平均化したものである。

※2 各調査年の10/1～11/30のうち、調査実施日を対象とした。

※3 サクラマスモード：魚道流量1.5m³/s固定 微調整G流量5.0m³/s固定
 アユモード②：魚道流量1.0m³/s固定 微調整G流量5.0m³/s固定
 通常モード：魚道流量0.5m³/s固定 微調整G流量最大15.0m³/s固定

※4 H26年度調査日数=サクラマスモード：32日 通常モード：29日
 H27年度調査日数=サクラマスモード：30日 通常モード：31日
 H28～30、R2～4年度調査日数=アユモード②：61日

※5 R1年度は調査を実施していない。

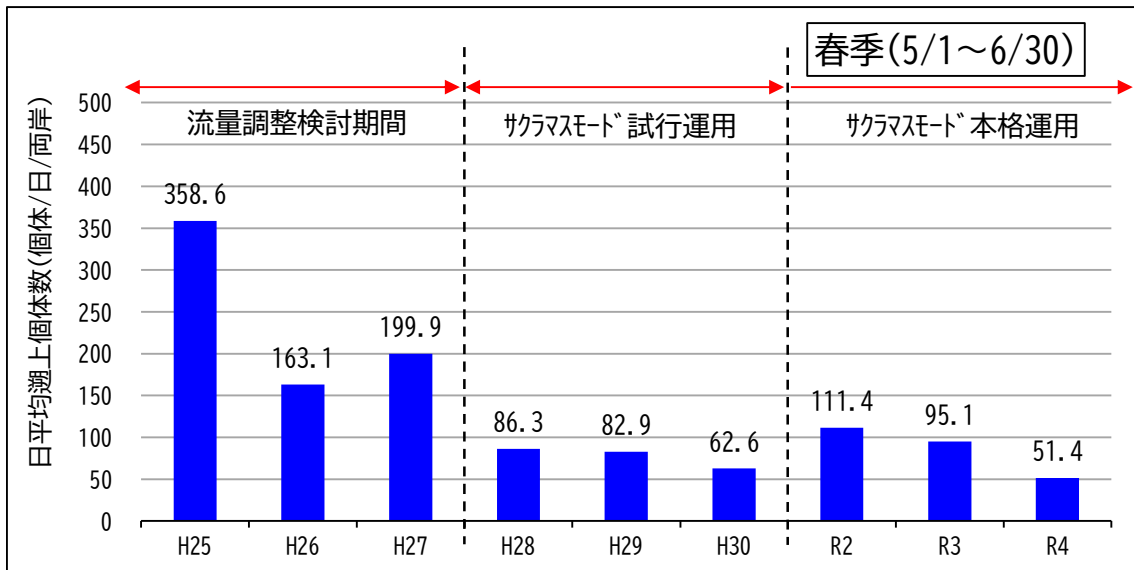


図 6.5-5(1) 流量調整時の大型魚の日平均遡上個体数の経年変化（春季）

※数値は両岸の魚道遡上個体数を1日あたりの遡上個体数に平均化したものである。

※各調査年の5/1～6/30のうち、調査実施を対象とした。

※魚道流量1.0m³/s固定、微調節G流量5.0m³/s固定での遡上個体数を比較した。

※調査日数：平成26年度：14日、平成27年度：18日、平成28年度：56日、平成29年度～令和4年度：61日

【出典：H26～29、R2～4年度フォローアップ調査】

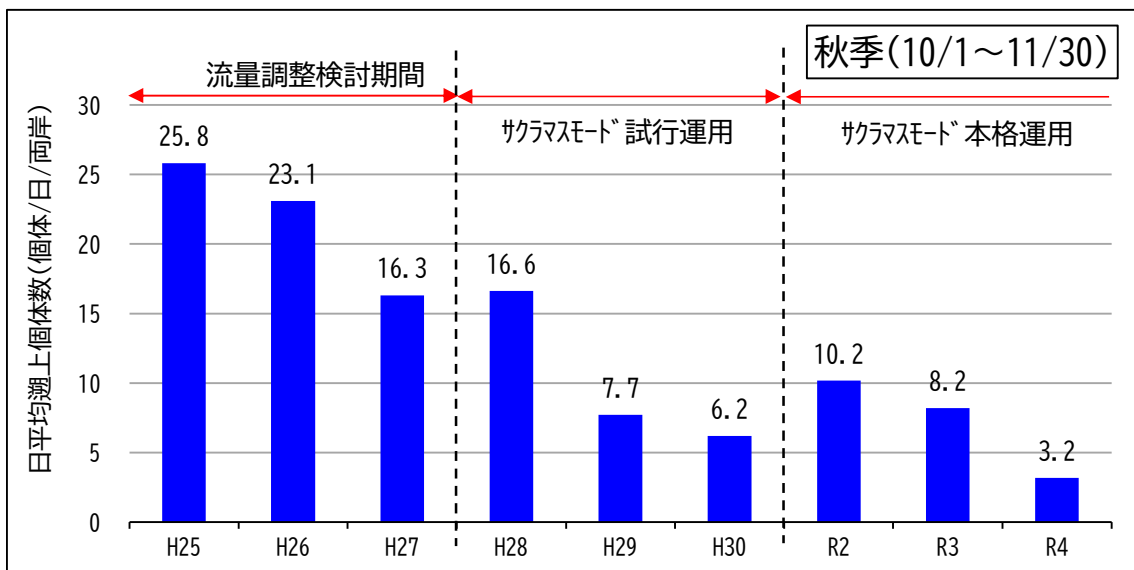


図 6.5-5(2) 流量調整時の大型魚の日平均遡上個体数の経年変化（秋季）

※数値は両岸の魚道遡上個体数を1日あたりの遡上個体数に平均化したものである。

※各調査年の5/1～6/30のうち、調査実施を対象とした。

※魚道流量1.0m³/s固定、微調節G流量5.0m³/s固定での遡上個体数を比較した。

※調査日数：平成26年度：14日、平成27年度：18日、平成28年度：56日、平成29年度～令和4年度：61日

【出典：H26～29、R2～4年度フォローアップ調査】



図 6.5-6 流量調整時のサクラマス遡上状況

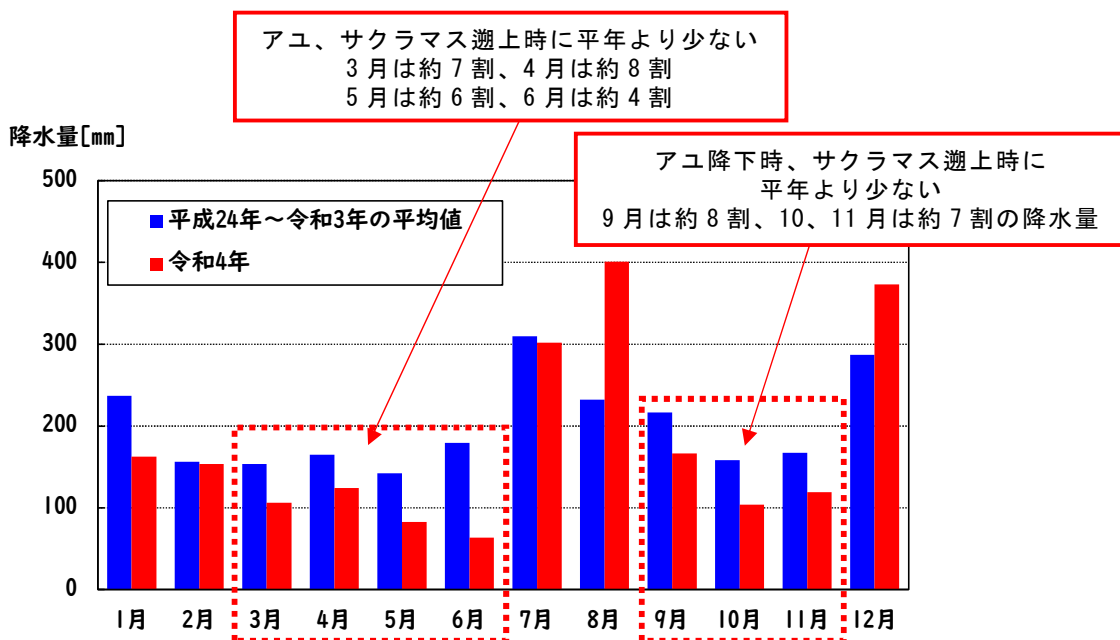


図 6.5-7 調査地点周辺の降水量【気象庁 勝山観測所】

2) CCD カメラによる小型魚の遡上状況

- ▶ 春季遡上は平成 29 年度および平成 30 年度に大きく減少した後、令和 2 年度および令和 3 年度に大きく回復したが、令和 4 年度は遡上数が大きく減少した。
- ▶ 令和 4 年度は、8 月 4 日に出水で調査機材が流出したため、8 月のデータが確認できなかった。8 月を除くと、4 月下旬のややまとまった降雨後の 5 月に遡上ピークが確認された。
- ▶ 遡上数が減少した理由としては、令和 3 年度の秋季が渇水でアユの産卵床の干し上がりが起こったこと、融雪出水が多くアユ遡上期あたりの沿岸域の水温が低かったこと、春季遡上期に出水が少なかったことなどが考えられた。

表 6.5-10 遡上個体数の経年比較(春季_小型魚)

【小型魚 春季】 単位：個体/日/両岸

放流パターン	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	R3年度	R4年度
流量調整時								
サクラマスモード	15,863.2	9,883.3						
アユモード①	—	—	6,826.2	1,220.5	2,045.8	7,505.6	9,322.9	2,789.2
アユモード②	5,868.9	19,021.7						
通常運用時	5,863.6	14,938.6	—	—	—	—	—	—
春季平均	9,274.4	14,064.5	6,826.2	1,220.5	2,045.8	7,505.6	9,322.9	2,789.2

※1 数値は両岸の魚道遡上個体数を1日当たりの遡上個体数に平均化したものである。

※2 各調査年の5/1～6/30のうち、調査実施日を対象とした。

※3 サクラマスモード：魚道流量1.5m³/s固定 微調整G流量5.0m³/s固定
 アユモード①：魚道流量0.5m³/s固定 微調整G流量5.0m³/s固定
 アユモード②：魚道流量1.0m³/s固定 微調整G流量5.0m³/s固定
 通常モード：魚道流量0.5m³/s固定 微調整G流量最大15.0m³/s固定

※4 H26年度調査日数＝サクラマスモード：13日 アユモード②：14日 通常モード：9日
 H27年度調査日数＝サクラマスモード：22日 アユモード②：18日 通常モード：21日
 H28年度調査日数＝アユモード②：56日
 H29～30、R2～4年度調査日数＝アユモード②：61日

※5 R1年度は調査を実施していない。

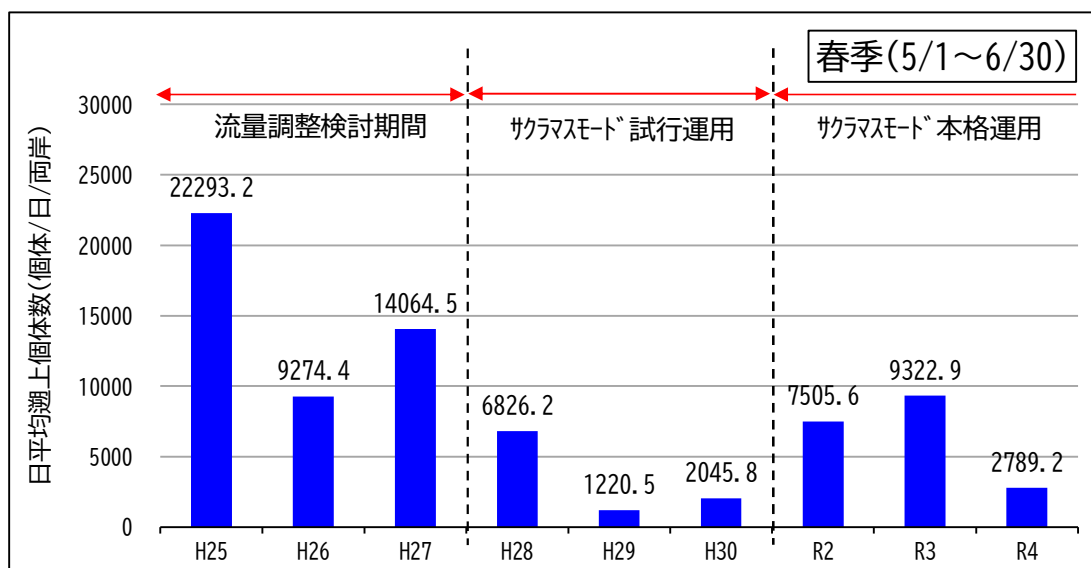


図 6.5-8 流量調整時の小型魚の日平均遡上個体数の経年変化 (春季)

※数値は両岸の魚道遡上個体数を1日あたりの遡上個体数に平均化したものである。

※各調査年の5/1～6/30のうち、調査実施を対象とした。

※魚道流量1.0m³/s固定、微調整G流量5.0m³/s固定での遡上個体数を比較した。

※調査日数：平成 26 年度：14 日、平成 27 年度：18 日、平成 28 年度：56 日、平成 29 年度～令和 4 年度：61 日

【出典：H26～29、R2～4 年度フォローアップ調査】



図 6.5-9 流量調整時のアユ等小型魚遡上状況

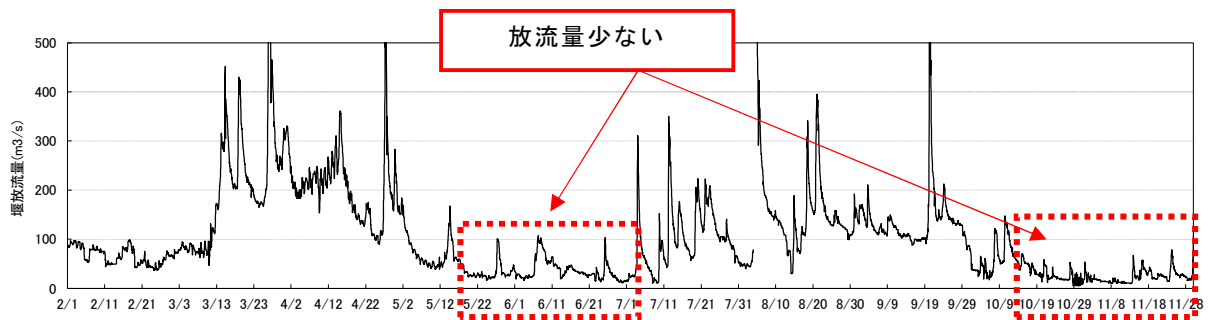


図 6.5-10 鳴鹿大堰の放流量

3) CCD カメラによるカジカ属(カマキリ)の遡上状況

- ▶ 春季遡上は令和2年度に大きく減少しており、令和3年度はさらに減少したが、令和4年度はやや回復していた。*
- ▶ 九頭竜川におけるカマキリは資源量そのものの減少が指摘されており、確認個体数が少ないものと考えられるが、カジカ属の遡上個体数に影響を及ぼす要因の詳細は不明である。

※詳細な原因は不明であるが、冷水性のカジカ属には春季の低水温が遡上に有利にはたらいた可能性も考えられた。

表 6.5-11 遡上個体数の経年比較(春季_カジカ属)

【カジカ属 春季】		単位：個体/日/両岸							
放流パターン	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	
流量調整時	サクラマスモード	1.0	1.8	1.2	1.3 (左岸：0.5 右岸：0.8)	1.2 (左岸：0.6 右岸：0.6)	0.4 (左岸：0.3 右岸：0.1)	0.1 (左岸：0.1 右岸：0.0)	0.6 (左岸：0.4 右岸：0.1)
	アユモード①	—	—						
	アユモード②	0.5	1.1						
通常運用時	0.0	0.4	—	—	—	—	—	—	
春季平均	0.6	1.1	1.2	1.3	1.2	0.4	0.1	0.6	

※1 数値は両岸の魚道遡上個体数を1日当たりの遡上個体数に平均化したものである。

なお、四捨五入の関係上、小計が表示上の数値の合計と一致しない場合がある。

※2 各調査年の5/1~6/30のうち、調査実施日を対象とした。

※3 (サクラマスモード)：魚道流量1.5m³/s固定 微調整G流量5.0m³/s固定
(アユモード)：魚道流量1.0m³/s固定 微調整G流量5.0m³/s固定
通常モード：魚道流量0.5m³/s固定 微調整G流量最大15.0m³/s固定

※4 H26年度調査日数=サクラマスモード：13日 アユモード②：14日 通常モード：9日
H27年度調査日数=サクラマスモード：22日 アユモード②：18日 通常モード：21日
H28年度調査日数=アユモード②：56日
H29~30、R2~4年度調査日数=アユモード②：61日

※5 R1年度は調査を実施していない。

※6 階段式魚道は遡上実績がないため、省略した。

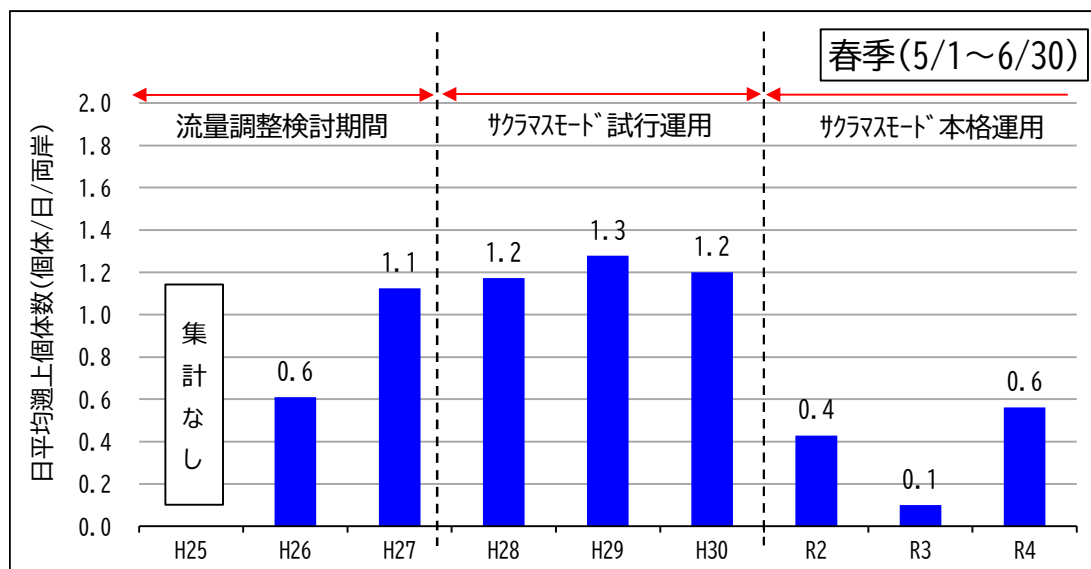


図 6.5-11 流量調整時のカジカ属の日平均遡上個体数の経年変化(春季)

※数値は両岸の魚道遡上個体数を1日あたりの遡上個体数に平均化したものである。

※各調査年の5/1~6/30のうち、調査実施を対象とした。

※魚道流量1.0m³/s固定、微調整G流量5.0m³/s固定での遡上個体数を比較した。

※調査日数：平成26年度：14日、平成27年度：18日、平成28年度：56日、平成29年度~令和4年度：61日

【出典：H26~29、R2~4年度フォローアップ調査】

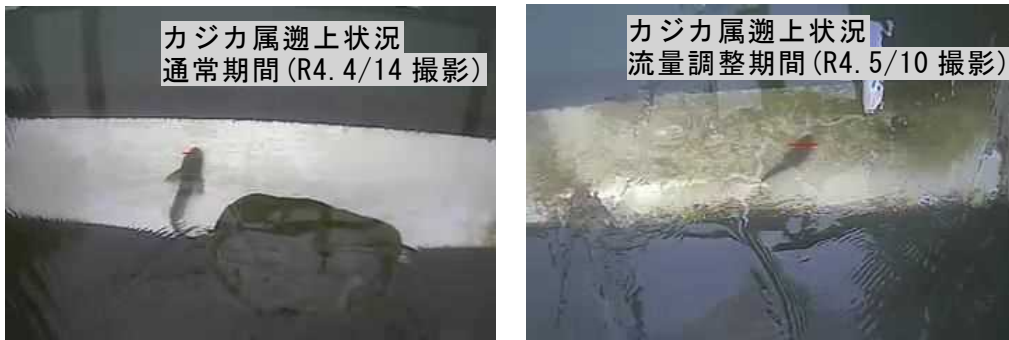


図 6.5-12 通常期間・流量調整時のカジカ属遡上状況

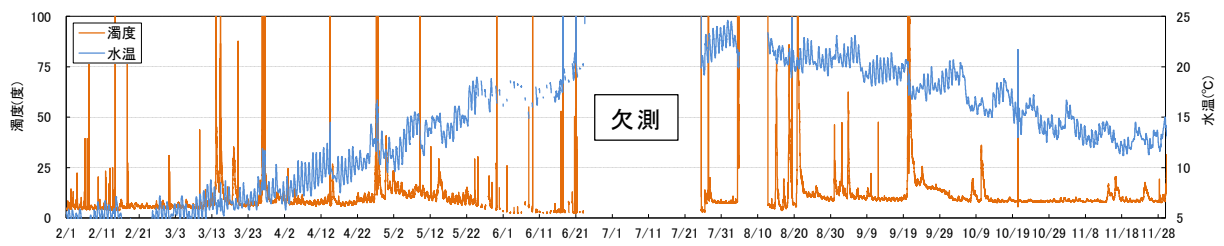


図 6.5-13 鳴鹿大堰湛水域の水温、濁度

4) 堰管理橋からの目視調査(堰直下におけるサクラマス滞留状況の確認)

- 平成 24 年度～令和 4 年度までの堰管理橋からの目視調査結果をもとに、堰直下の滞留状況を検証した。
- 平成 22 年度には約 300 個体の滞留が確認されていたが、平成 24 年度以降(流量調整検討開始以降)、堰直下のサクラマス滞留個体数は減少している。
- サクラマスモード本格運用後の令和 3～4 年度の堰直下滞留数についても、以前に比べて多数が滞留する状況は確認されていない。
- 堰直下の最大滞留数は、近年 10 個体以下で推移している。これは、遡上できずに滞留しているのではなく、越夏場所として利用していると考えられる。

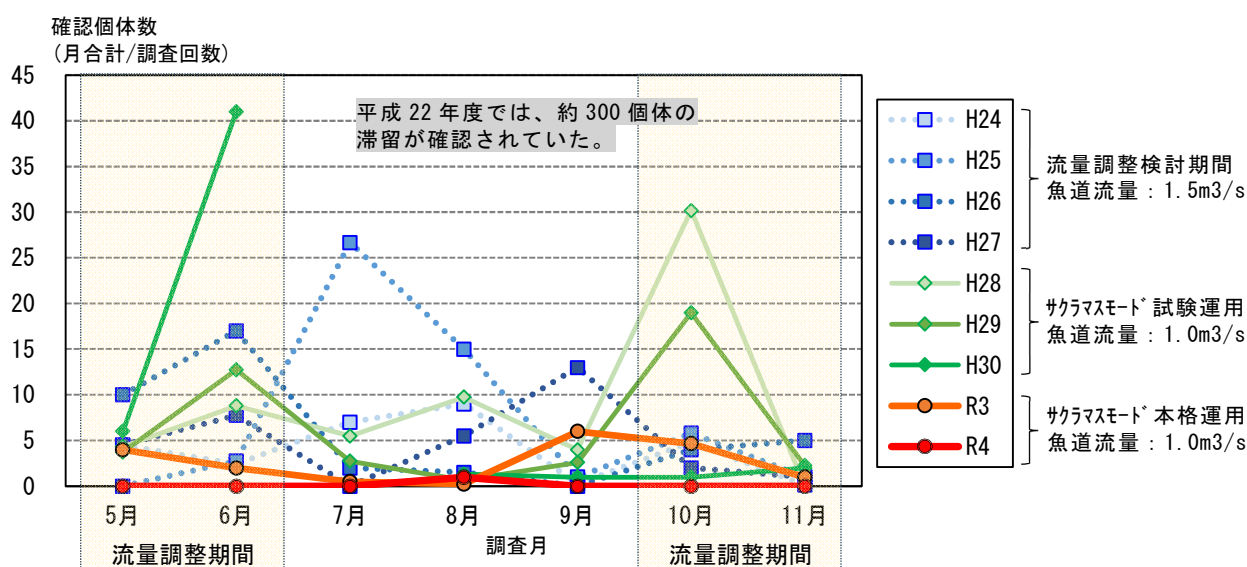


図 6.5-14 堰直下のサクラマス滞留個体数の経年変化

※平成 30 年 7 月～11 月、令和元年度、令和 2 年度は調査を実施していない。
※毎月の確認個体数合計を月の調査回数で除した平均値を比較した。

【出典：H24～30、R3～4 年度フォローアップ調査】

(3) サクラマス(大型魚)遡上状況

サクラマスの遡上状況に係る調査結果について、近4ヶ年(平成30年度、令和2～4年度)のまとめを表6.5-12に示す。

表 6.5-12 サクラマス遡上状況等のまとめ

年度	サクラマスの遡上状況等
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・春季の遡上は近年減少傾向にあり、平成29年度よりやや減少した。 ・平成30年度の遡上数の減少は、サクラマスレストレーションの安田氏への聞き取り調査でも懸念されており、減少要因として、3年前の産卵数が少なかったことが挙げられている。 ・秋季の大型魚の遡上は、春季同様、減少傾向にあり、平成29年度よりやや減少した。
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・春季、秋季ともに遡上数は大きく増加した。 ・春季の流量調整期間中の5～6月に堰放流量が100m³/s前後の出水が多く、適度に遡上を促進していたと考えられた。 ・秋季の流量調整期間中の10～11月も100m³/s前後の出水が多く、適度に遡上を促進していたと考えられた。 ・一般的に、出水により魚類は遡上意欲を増すとされており、出水と魚道流量調整を利用して多くの大型魚が遡上したと考えられた。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・春季、秋季ともに大型魚の遡上数は近年減少傾向であったが、令和2年度と同程度の遡上数であった。 ・春季の流量調整期間中の5～6月に堰放流量が100m³/s前後の出水が多く、適度に遡上を促進していたと考えられた。 ・秋季の流量調整期間中の10～11月は、降雨量は少なかったことから100m³/s前後の出水がほとんどなく、サクラマスの遡上条件としては悪い状況であった。しかし、降雨後の出水に反応して遡上していたことから、大きな遡上数減少には至らなかった。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・春季、秋季とも大型魚の遡上数は減少し、平成30年度の水準より少ない遡上数であった。 ・春季の流量調整期間中(5～6月)、秋季の流量調整期間中(10～11月)に降雨量が少なかったことから100m³/s前後の出水がほとんどなく、サクラマスの遡上条件としては悪い状況であった。しかし、サクラマスの堰下の滞留がほとんどみられなかったこと、サクラマスレストレーションの産卵床調査で令和3年度以上の産卵床が確認されたことから、遡上個体はスムーズに上流へ遡上していたと考えられた。

(4) アユ(小型魚)の遡上状況

アユの遡上状況に係る調査結果について、近4ヶ年(平成30年度、令和2～4年度)のまとめを表6.5-13に示す。

表 6.5-13 アユ遡上状況等のまとめ

年度	アユの遡上状況等
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・春季の遡上は平成29年度より増加したものの、平成28年度以前の遡上数には回復していない。 ・小型魚の遡上の大部分はアユであり、5月中～下旬にかけて多くの遡上を確認された。 ・遡上ピークの水温は15～16℃であり、平成29年度より高く、過年度の遡上ピーク時の水温と同様であった。このことから、遡上数の少ない要因としては、遡上期の河川水温度以外の要因と考えられるが、詳細は不明である。
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度より遡上数は大きく増加した。 ・近年、遡上数が減少していたが、令和2年度は大きく増加しており、流量調整によるアユの遡上に対する弊害は認められない。 ・流量調整期間の10月に階段式魚道を用いて降下するアユも多数確認され、流量調整によりアユの降下がスムーズに行われている可能性も示唆された。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・アユの遡上数は、令和2年度より増加していた。 ・近年、遡上数が減少していたが、令和2年度は大きく増加し、令和3年度はさらに遡上数が増加しており、流量調整によるアユの遡上に対する弊害は認められない。 ・流量調整期間の10月に階段式魚道を用いて降下するアユも多数確認され、流量調整によりアユの降下がスムーズに行われていることが確認された。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度と比較して流量調整期間のうち、春季では大きく減少していたが、秋季はやや増加していた。 ・近年遡上数が増加していたが、令和4年度は遡上数が減少した。しかし、遡上してきたアユは堰下流に滞留することなく遡上していたことから、流量調整によるアユの遡上に対する弊害は認められなかった。 ・流量調整期間の10月に階段式魚道を用いて降下するアユも多数確認され、流量調整によりアユの降下もスムーズに行われていることが確認された。

(5) カジカ属の遡上状況

カジカ属の遡上状況に係る調査結果について、近4ヶ年(平成30年度、令和2～4年度)のまとめを表6.5-14に示す。

表 6.5-14 カジカ属遡上状況等のまとめ

年度	カジカ属の遡上状況等
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・春季の遡上は例年と同程度であった。 ・遡上魚は比較的大きい個体が多かったことから、当歳魚はなく、鳴鹿大堰周辺に生息する2歳以上の個体が移動しているものと考えられる。
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・人工河川式魚道を主体に、例年と比較して遡上数は減少していた。 ・カマキリについては、遡上する個体数が少なく、魚道利用状況や流量調整による課題等も明確ではない。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・人工河川式魚道を主体に、例年と比較して遡上数は減少していた。 ・カマキリについては、遡上する個体数が少ないことから、今後も調査を継続し、魚道利用状況や流量調整による効果検証を行うデータを蓄積する。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度と比較して遡上数はやや増加した。 ・これまで主に人工河川式魚道で確認されていたが、令和4年度の秋季に確認された個体は、階段式魚道を利用している個体が多かった。 ・カマキリについては、遡上する個体数が少ないことから、今後も調査を継続し、魚道利用状況や流量調整による効果検証を行うデータを蓄積する。

6.5.4 堰による影響の検証

生物の変化に対する堰・魚道の影響の検証結果を表 6.5-15(1)、(2)に示す。

表 6.5-15(1) 生物の変化に対する影響の検証結果

検討項目		生物の変化の状況	魚道の存在・供用に伴う影響	魚道の存在・供用以外の影響	検証結果	
生息状況の変化	回遊性魚類等の遡上阻害	<p>・平成11年度からの調査において、鳴鹿大堰の魚道で回遊種は14種が確認されている。毎年、アユが最も多く、その他はシマヨシノボリ、オオヨシノボリ及びヌマチチブが比較的多い。</p> <p>・気象・水象条件や、自然遡上数の変化により、遡上確認数は変動がある。</p> <p>・多くのサクラマスが堰直下で滞留するような現象は認められなくなってきた。</p>	堰・湛水域の存在(魚道の改修)	—	<p>・鳴鹿大堰の魚道は運用開始以前に比べると、多くの魚種に利用されている。</p> <p>・サクラマス等の重要種の遡上も確認されており、魚道は概ね機能している。</p> <p>・平成30年度より流量調整の本格運用を行うことにより、サクラマスの遡上を促進させる試行が実施されている。</p> <p>・カマキリについては、遡上する個体数が少なく、魚道利用状況や流量調整による課題等も明確ではない。</p>	●
	回遊性魚類等の陸封化	<p>これまでの調査において、鳴鹿大堰の魚道では、アユ、シマヨシノボリ、オオヨシノボリ、ヌマチチブなど多くの種が確認されている。</p>	堰・湛水域の存在(魚道の改修)	—	<p>鳴鹿大堰魚道で九頭竜川における多くの回遊魚が確認されており、湛水域への回遊魚の定着傾向はみられないことから、陸封化は生じていないと考えられる。</p>	●
	止水性魚類の増加	<p>止水～緩流に主に生息する種としては、これまでにアブラハヤ、カマツカ、ウキゴリ、ヌマチチブなど25種が確認されている。平成22～25年にかけてヌマチチブの増加が目立った。</p>	堰・湛水域の存在(魚道の改修)	—	<p>鳴鹿大堰の魚道～湛水域は、多くの止水性～緩流性の魚類にとって良好な生息環境として維持されている。</p>	●

注) 検証結果

- : 生物の生息・生育状況の変化が魚道の効果によると考えられる場合
- : 生物の生息・生育状況の変化が魚道以外の影響によると考えられる場合
- △ : 生物の生息・生育状況の変化に対する要因が不明であった場合
- : 生物の生息・生育状況に、大きな変化が見られなかった場合
- ? : 生物の生息・生育状況の変化が不明であった場合

表 6.5-15(2) 生物の変化に対する影響の検証結果

検討項目		生物の変化の状況	魚道の存在・供用に伴う影響	魚道の存在・供用以外の影響	検証結果	
生息状況の変化	外来魚の増加	特定外来生物のブルーギル、オオクチバスのほか、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」に掲載されているタイリクバラタナゴ、ニジマスの計4種が鳴鹿大堰周辺で確認されている。	堰・湛水域の存在(魚道の改修)	—	鳴鹿大堰の魚道や湛水域では外来魚の確認状況に、経年的に顕著な定着・増加の傾向は見られていない。	—
	魚類相の変化	種数：これまでの調査における鳴鹿大堰の魚道を利用した魚種は、人工河川式魚道で48種、階段式魚道で45種、合計52種(モクズガニを含む)である。 個体数：平成3年度に旧鳴鹿堰堤の魚道で最大73個体(旧階段式魚道)の遡上が確認されたのに対し、鳴鹿大堰の運用開始後(平成11年度以降)において飛躍的に増加している。 重要種：これまでに確認された重要種はスナヤツメ、カワヤツメ、ヤリタナゴ、アカヒレタビラ、アジメドジョウ、アカザ、サケ、サクラマス、ヤマメ、イワナ、カマキリ、カジカ、ウツセミ、カジカ、カワヨシノボリの14種である。	堰・湛水域の存在(魚道の改修)	—	確認種数に減少はみられない。	●

注) 検証結果

- ：生物の生息・生育状況の変化が魚道の効果によると考えられる場合
- ：生物の生息・生育状況の変化が魚道以外の影響によると考えられる場合
- △：生物の生息・生育状況の変化に対する要因が不明であった場合
- ：生物の生息・生育状況に、大きな変化が見られなかった場合
- ？：生物の生息・生育状況の変化が不明であった場合

6.5.5 環境保全対策の効果の評価と今後の方針

環境保全対策の効果の評価と今後の方針を表 6.5-16(1)、(2)に示す。

表 6.5-16(1) 環境保全対策の降下の評価と今後の方針

検討項目	生物の状況	魚道との関連の 検証結果	評価		今後の方針
			視点	評価結果	
魚類 生息状況の変化	回遊魚の遡上阻害	●：鳴鹿大堰の魚道は運用開始以前に比べると、多くの魚種に利用されている。またサクラマス、カマキリ等の重要種の遡上も確認されており、魚道は概ね機能している。 平成 30 年度より流量調整の本格運用を行うことにより、サクラマスの遡上促進が実施されている。	地域に特有の環境を保全する	魚道の改修や運用改善により魚道が機能しており、生息環境の改善が確認されている。	・サクラマスの遡上に対して流量(越流水深)調整自体の課題はみられないため、今後も適正な調査時期に調査を実施し、ダム等管理フォローアップ委員会で報告する。 ・カマキリ等を含む底生魚の遡上については、カマキリの自然遡上個体数が極端に少ないため、現状把握が十分にできない状況にある。 ・アユ等の小型魚は、自然遡上個体数に年変動はあるものの、流量調整自体の課題はみられない。
	回遊性魚類等の陸封化	●：鳴鹿大堰魚道で九頭竜川における多くの回遊魚が確認されており、湛水域への回遊魚の定着傾向はみられないことから、陸封化は生じていないと考えられる。	地域に特有の環境を保全する	陸封化は生じておらず、九頭竜川に生息する多くの魚類が確認されている。	—
	止水性魚類の増加	●：鳴鹿大堰の魚道～湛水域は、多くの止水性～緩流性の魚類にとって良好な生息環境として維持されている。平成 22～25 年にかけてヌマチチブの増加が目立った。	●：鳴鹿大堰の魚道～湛水域は、多くの止水性～緩流性の魚類にとって良好な生息環境として維持されている。	地域に特有の環境を保全する	湛水域が止水性～緩流性魚類の良好な生息環境として利用されていることが確認されている。

注) 検証結果

- ：生物の生息・生育状況の変化が魚道の効果によると考えられる場合
- ：生物の生息・生育状況の変化が魚道以外の影響によると考えられる場合
- △：生物の生息・生育状況の変化に対する要因が不明であった場合
- ：生物の生息・生育状況に、大きな変化が見られなかった場合
- ？：生物の生息・生育状況の変化が不明であった場合

表 6.5-16(2) 環境保全対策の効果の評価と今後の方針

検討項目	生物の状況	魚道との関連の 検証結果	評価		今後の方針
			視点	評価結果	
魚類 生息状況の変化 外来魚の増加	特定外来生物のブルーギル、オオクチバスのほか、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」に掲載されているタイリクバラタナゴ、ニジマスの計4種が鳴鹿大堰周辺で確認されている。	●:鳴鹿大堰の魚道や湛水域では外来魚の確認状況に、経年的に顕著な定着・増加の傾向は見られていない。	地域に特有の環境を保全する	外来種の増加が抑制されており、魚類相は主に在来種で構成されていることが確認されている。	—
	種類数：これまでの調査における鳴鹿大堰の魚道を利用した魚種は、人工河川式魚道で48種、階段式魚道で45種、合計52種(モクズガニを含む)である。 個体数：平成3年度に旧鳴鹿堰堤の魚道で最大73個体(旧階段式魚道)の遡上が確認されたのに対し、鳴鹿大堰の運用開始後(平成11年度以降)において飛躍的に増加している。 重要種：これまでに確認された重要種はスナヤツメ、カワヤツメ、ヤリタナゴ、アカヒレタビラ、アジメドジョウ、アカザ、サケ、サクラマス、ヤマメ、イワナ、カマキリ、カジカ、ウツセミ、カジカ、カワヨシノボリの14種である。	●:確認種数に減少はみられない。	地域に特有の環境を保全する	魚道は多くの魚類に利用されており、重要種も多く確認されている。利用個体数も運用開始後に増加していることが確認されている。	—
環境保全対策の効果のまとめ	<p>(1) 魚道の効果</p> <p>魚道の改修や運用改善により、回遊魚の遡上阻害が改善されており、湛水域により陸封化についても確認されていない。湛水域は、止水性～緩流性魚類に利用されており、外来魚の増加も確認されおらず、主に在来種の生息が確認されている。</p> <p>また、サクラマス、サケ等の地域を代表する大型回遊魚や生息地指定の天然記念物であるカマキリ(アラレガコ)についても魚道を利用していることが確認されており、魚道の効果が確認されている。</p>				

注) 検証結果

- ：生物の生息・生育状況の変化が魚道の効果によると考えられる場合
- ：生物の生息・生育状況の変化が魚道以外の影響によると考えられる場合
- △：生物の生息・生育状況の変化に対する要因が不明であった場合
- ：生物の生息・生育状況に、大きな変化が見られなかった場合
- ？：生物の生息・生育状況の変化が不明であった場合

6.5.6 フォローアップ調査の継続の妥当性の評価

鳴鹿大堰は、平成 11 年度から暫定運用が始まり、平成 16 年度から本格的運用が開始された。それに伴い、平成 17 年度からフォローアップ調査として、底生動物調査、付着藻類調査、魚道における魚類調査等を実施している。

平成 17 年度から開始したフォローアップ調査は、令和 4 年度で 17 回目となる。これまでに底生動物や魚類に関して多量のデータが蓄積されており、鳴鹿大堰における流量調整の本格運用が魚類の遡上に一定の効果を発揮していることが確認されている。

平成 30 年度に魚道の試行的運用結果の総括を行い、その後、魚道の流量調整の本格運用が始まった。今後も、引き続き、フォローアップ調査を継続して実施していく。

6.6 まとめ

各場所における堰及び堰以外の影響と生物の生息・生育状況の変化を検証し、影響要因が検証された場合に、評価の視点を定めて、評価を行った。評価結果及び今後の方針を整理した結果を表 6.6-1 に示す。

今後も引き続きそれらの結果を踏まえ、地域と堰管理者とが連携した取り組みを推進する。

表 6.6-1 生物の生息・生育状況の変化の検証・評価と今後の方針

項目		今後の方針
生物相	魚類	<ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップ調査を実施し、大型魚、小型魚、底生魚の遡上状況を把握する。 ・河川水辺の国勢調査を実施し、生息状況を把握する。
	底生動物	<ul style="list-style-type: none"> ・河川水辺の国勢調査を実施し、生息状況を把握する。
	植物	<ul style="list-style-type: none"> ・河川水辺の国勢調査を実施し、生育状況を把握する。 ・河川水辺の国勢調査を実施し、植物群落調査、河川調査等を行い、今後の変化（樹林化・乾燥化等）の把握に努める。
	鳥類	<ul style="list-style-type: none"> ・河川水辺の国勢調査を実施し、生息状況を把握する。
	両生類 爬虫類 哺乳類	<ul style="list-style-type: none"> ・河川水辺の国勢調査を実施し、生息状況を把握する。
	陸上昆虫類等	<ul style="list-style-type: none"> ・河川水辺の国勢調査を実施し、生息状況を把握する。
重要種		<ul style="list-style-type: none"> ・河川水辺の国勢調査等を行う際に生息・生育状況に留意して調査を行う。
国外外来種		<ul style="list-style-type: none"> ・現在、国外外来種の駆除対策等は実施していないが、今後、個体数の増加が顕著に見られた場合には、駆除対策の検討を行う。 ・九頭竜川本来の在来生態系を保全するため、国外外来種が在来生態系に及ぼす影響を啓発し、また、国外外来種の密放流等を注意する広報に努める。 ・今後も引き続き、河川水辺の国勢調査等を行う際に生息・生育状況に留意して調査を行う。
環境保全対策		<ul style="list-style-type: none"> ・河川水辺の国勢調査（魚類調査）およびフォローアップ調査を継続し、堰上下流の調査地区、魚道を対象に、回遊魚（サクラマス、サケ、カマキリ（アラレガコ）等）の生息状況等を把握する。

6.7 文献リスト

使用した文献等のリストを表 6.7-1(1)～(5)に示す。

表 6.7-1(1) 使用資料リスト

区分	No.	報告書またはデータ名	発行者または著者名	発行年月
河川水辺の国勢調査（河川版）	6-1	平成13年度 河川水辺生物調査業務（九頭竜川水系両生類・爬虫類・哺乳類調査）報告書	応用地質株式会社	平成14年3月
	6-2	平成14年度 河川水辺生物調査業務（九頭竜川水系陸上昆虫類等調査）報告書	（株）北陸環境科学研究所	平成15年3月
	6-3	平成15年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務魚介類調査報告書	エヌエス環境株式会社	平成16年3月
	6-4	平成15年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務底生動物調査報告書	エヌエス環境株式会社	平成16年3月
	6-5	平成16年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務報告書 鳥類	三洋テクノマリン株式会社	平成17年3月
	6-6	平成17年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務報告書	（株）長大	平成18年3月
	6-7	平成18年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務底生動物調査報告書	（株）建設企画コンサルタント	平成19年3月
	6-8	平成19年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査（魚類調査）報告書	三洋テクノマリン株式会社	平成20年3月
	6-9	平成20年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務（陸上昆虫類等調査）報告書	（株）北陸環境科学研究所	平成21年3月
	6-10	平成21年度 九頭竜川水系河川水辺国勢調査業務（両生類・爬虫類・哺乳類調査）報告書	（株）パスコ	平成22年3月
	6-11	九頭竜川河川水辺国勢調査業務報告書	（株）建設技術研究所	平成23年2月
	6-12	平成23年度 九頭竜川水辺現地調査（底生動物）他業務報告書	（株）パスコ	平成24年2月
	6-13	九頭竜川河川水辺現地調査（魚類）他業務報告書	国際航業株式会社	平成25年2月
	6-14	九頭竜川河川水辺現地調査（鳥類）他業務報告書	（株）建設技術研究所	平成26年2月
	6-15	九頭竜川河川水辺現地調査（植物）他業務報告書	（株）建設技術研究所	平成27年2月
	6-16	九頭竜川河川水辺現地調査（環境基図）他業務報告書	（株）建設技術研究所	平成28年2月
	6-17	福井管内河川水辺の国勢調査他業務報告書	（株）建設技術研究所	平成29年2月
	6-18	福井管内河川水辺の国勢調査他業務報告書	いであ株式会社	平成30年3月
	6-19	福井管内河川水辺の国勢調査他業務報告書	（株）建設技術研究所	平成31年2月
	6-20	福井管内河川水辺の国勢調査他業務報告書	いであ株式会社	令和2年3月
	6-21	福井管内河川水辺の国勢調査他業務報告書	いであ株式会社	令和3年3月
	6-22	福井管内河川水辺の国勢調査他業務報告書	いであ株式会社	令和4年3月

表 6.7-1(2) 使用資料リスト

区分	No.	報告書またはデータ名	発行者または著者名	発行年月
その他の調査	6-19	平成元年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	(財)北陸公衆衛生研究所	平成2年3月
	6-20	平成2年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	(財)北陸公衆衛生研究所	平成3年3月
	6-21	平成2年度アラレガコ生息実態調査業務報告書	(財)北陸公衆衛生研究所	平成3年3月
	6-22	九頭竜川中流域動植物等調査業務報告書	アジア航測株式会社	平成3年10月
	6-23	九頭竜川中流域環境調査業務報告書	アジア航測株式会社	平成3年3月
	6-24	平成3年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	(財)北陸公衆衛生研究所	平成4年3月
	6-25	平成3年度 九頭竜川中流域水生生物調査(その2)作業報告書	(財)北陸公衆衛生研究所	平成4年3月
	6-26	アラレガコ生息環境検討資料作成業務報告書	三洋テクノマリン株式会社	平成4年3月
	6-27	平成4年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	(財)北陸公衆衛生研究所	平成5年3月
	6-28	平成5年度 九頭竜川中流域植物調査業務報告書	アジア航測株式会社	平成6年2月
	6-29	平成6年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	(財)北陸公衆衛生研究所	平成7年2月
	6-30	平成7年度 鳴鹿大堰魚道モニタリング業務報告書	三洋テクノマリン株式会社	平成7年10月
	6-31	平成7年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	(財)北陸公衆衛生研究所	平成8年2月
	6-32	平成8年度 鳴鹿大堰左岸魚道モニタリング業務報告書	三洋テクノマリン株式会社	平成8年9月
	6-33	平成8年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	(財)北陸公衆衛生研究所	平成9年2月
	6-34	平成8年度 九頭竜川回遊魚環境調査作業報告書	三洋テクノマリン株式会社	平成9年9月
	6-35	平成9年度 九頭竜川中流域水生生物調査作業報告書	(財)北陸公衆衛生研究所	平成10年2月
	6-36	平成10年度 鳴鹿大堰魚道モニタリング調査業務報告書	三洋テクノマリン株式会社	平成12年2月
	6-37	平成10年度 鳴鹿大堰魚道モニタリング調査業務報告書(概要版)	三洋テクノマリン株式会社	平成12年2月
	6-38	平成11年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	(財)北陸公衆衛生研究所	平成12年3月
6-39	平成11年度 鳴鹿大堰魚道モニタリング業務報告書	三洋テクノマリン株式会社	平成13年3月	
6-40	平成12年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	(株)北陸環境科学研究所	平成13年3月	

表 6.7-1(3) 使用資料リスト

区分	No.	報告書またはデータ名	発行者または著者名	発行年月
その他の調査	6-41	平成13年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	(株)北陸環境科学研究所	平成14年2月
	6-42	平成13年度 鳴鹿大堰魚道モニタリング調査業務報告書	三洋テクノマリン株式会社	平成14年3月
	6-43	平成14年度 九頭竜川中流域水生生物調査業務報告書	(株)北陸環境科学研究所	平成15年2月
	6-44	平成14年度 鳴鹿大堰魚道モニタリング調査業務報告書	三洋テクノマリン株式会社	平成15年3月
	6-45	平成15年度 九頭竜川中流部水生生物調査業務報告書	(株)北陸環境科学研究所	平成16年2月
	6-46	平成15年度 鳴鹿大堰魚道モニタリング調査業務報告書	三洋テクノマリン株式会社	平成16年3月
	6-47	平成16年度 鳴鹿大堰魚道モニタリング調査業務報告書	三洋テクノマリン株式会社	平成17年3月
	6-48	平成16年度 九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務報告書	(株)ユニスコ	平成17年3月
	6-49	平成17年度 鳴鹿大堰環境調査業務報告書	(株)北陸環境科学研究所	平成18年3月
	6-50	平成18年度鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	(株)北陸環境科学研究所	平成19年3月
	6-51	平成19年度鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	(株)北陸環境科学研究所	平成20年3月
	6-52	平成20年度鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	(株)北陸環境科学研究所	平成21年3月
	6-53	平成21年度 鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	国際航業株式会社	平成22年3月
	6-54	鳴鹿大堰フォローアップ調査他業務 報告書	三井共同建設コンサルタント株式会社	平成23年2月
	6-55	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	(株)東京建設コンサルタント	平成24年2月
	6-56	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	三井共同建設コンサルタント株式会社	平成25年2月
	6-57	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	国際航業株式会社	平成26年2月
	6-58	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	国際航業株式会社	平成27年2月
	6-59	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	国際航業株式会社	平成28年2月
	6-60	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	国際航業株式会社	平成29年3月
	6-61	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	国際航業株式会社	平成30年2月
	6-62	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	三井共同建設コンサルタント株式会社	令和3年3月
	6-63	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	三井共同建設コンサルタント株式会社	令和4年3月
	6-64	鳴鹿大堰フォローアップ調査業務 報告書	三井共同建設コンサルタント株式会社	令和5年1月

表 6.7-1(4) 使用資料リスト

区分	No.	報告書またはデータ名	発行者または著者名	発行年月
その他の資料	6-65	「報道発表資料 第4次レッドリストの公表について（お知らせ）」	環境省	平成24年8月
	6-66	「報道発表資料 第4次レッドリストの公表について（汽水・淡水魚類）（お知らせ）」	環境省	平成25年2月
	6-67	「環境省レッドリスト 2020 の公表について」	環境省	令和2年3月
	6-68	福井県の絶滅のおそれのある野生動物－福井県レッドデータブック（動物編）	福井県	平成14年3月
	6-69	福井県の絶滅のおそれのある野生植物－福井県レッドデータブック（植物編）	福井県	平成16年3月
	6-70	【改訂版】福井県の絶滅のおそれのある野生動植物	福井県	平成26年6月
	6-71	外来種ハンドブック（日本生態学会編）	地人書館	平成14年9月
	6-72	Aquatic insects of North America	R. W. MERRITT, K. W. CUMMINS	平成11年
	6-73	溪流生態砂防学	太田猛彦・高橋剛一郎	平成11年
	6-74	Ecology and classification of North American freshwater invertebrates. Academic press	H. T. James, P. C. Alan	平成3年
	6-75	琉球列島の陸水生物	西島信	平成15年
	6-76	原色川虫図鑑	谷田一三監修	平成12年
	6-77	日本産水生昆虫一科・属・種への検索	川合禎次他 編	平成17年
	6-78	山溪カラー名鑑 日本の淡水魚 改訂版	川那部浩哉他編・監修	平成元年
	6-79	原色日本野鳥生態図鑑＜陸鳥編＞	保育社	平成7年2月
	6-80	原色日本野鳥生態図鑑＜水鳥編＞	保育社	平成7年3月
	6-81	日本の野生植物 草本 I 単子葉類	佐竹義輔他 編	昭和57年
	6-82	日本の野生植物 シダ	岩槻邦男 編	平成4年
	6-83	日本の野生植物 木本 II	佐竹義輔他 編	平成元年
	6-84	日本の哺乳類〔改訂版〕	阿部永 監修	平成17年
	6-85	川の生物図典	(財)リバーフロント整備センター編	平成8年
	6-86	決定版日本の両生爬虫類	内山りゅう・前田憲男他	平成14年
	6-87	日本カエル図鑑	前田憲男・松井正文	平成元年
	6-88	新訂原色昆虫大圖鑑	平嶋義宏、森本桂 監修	平成20年
	6-89	学研生物図鑑 昆虫II	中根猛彦 監修	昭和58年
	6-90	学研生物図鑑 昆虫III	石原保 監修	平成2年
	6-91	日本産蛾類大図鑑 第1巻解説編	井上寛他 著	昭和57年

表 6.7-1(5) 使用資料リスト

区分	No.	報告書またはデータ名	発行者または著者名	発行年月
その他の資料	6-92	日本産蛾類大図鑑 第1巻解説編	井上寛他 著	昭和57年
	6-93	水辺の環境調査	(財)ダム水源地環境整備センター	平成6年
	6-94	滋賀県水産試験場研究報告第32号(琵琶湖産アユの資源調査報告書:琵琶湖へ流入する仔アユ量(1977)の推定-I)	中賢治、伏木省三他	昭和54年3月

6.8 確認種リスト

次頁以降に、底生動物、植物、陸上昆虫類等の確認種リストを示す。

表 6.8-1(1) 底生動物確認種リスト

No.	綱名	目名	科名	種名	調査年度										
					H5	H10	H15	H18	H23	H28	R3				
1	普通海綿綱	ザラカイメン目	タンスイカイメン科	ヨワカイメン								○			
2				マツモトカイメン								○			
3	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ			○				○	○			
4				アメリカツノウズムシ							○	○			
5				アメリカナミウズムシ			○				○	○			
6			ヒラタウズムシ科	コガタウズムシ	○							○			
				三岐腸目		○		○	○						
7				異紐虫目	リネウス科	リネウス科			○						
8	有針綱	ハリヒモムシ目	マミズヒモムシ科	ミミズヒモムシ属							○	○			
				ハリヒモムシ目			○								
9	腹足綱	新生腹足目	タニシ科	マルタニシ							○	○			
10				オオタニシ			○	○							
11				ヒメタニシ									○		
12				カワニナ科	カワニナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13			カワニナ属										○	○	
14			ミズツボ科	コモチカワツボ							○	○	○		
15				カワザンショウガイ科	カワザンショウガイ			○							
16				ヨシダカワザンショウガイ			○								
17			ミズゴマツボ科	カワザンショウガイ科	カワザンショウガイ			○							
18				エドガワミズゴマツボ			○								
19			低位異鰓目	汎有肺目	ミズゴマツボ			○	○	○	○				
20					マメウラシマガイ科	マメウラシマガイ			○						
21					モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ									○
22					ヒメモノアラガイ			○	○	○	○	○	○	○	
23					ハブタエモノアラガイ			○	○	○	○	○	○	○	
24					モノアラガイ	○	○	○				○	○	○	
25					モノアラガイ属							○	○	○	
26					モノアラガイ科					○					
27					オカモノアラガイ科	ナガオカモノアラガイ	○								
28					サカマキガイ科	サカマキガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	
29					ヒラマキガイ科	ヒメヒラマキミズマイマイ									○
30						ヒラマキミズマイマイ			○						
31						ヒロマキミズマイマイ									
32					カワコザラガイ科	Menetus属									○
33			ヒラマキガイモドキ						○	○	○	○			
34			スweifガイ科	カワコザラガイ				○							
35				カワコザラガイ属									○		
36	二枚貝綱	ウグイスガイ目	イタボガキ科	マガキ				○							
37	マルスダレガイ目	インガイ目	インガイ科	インガイ						○	○				
38			スマガイ					○	○	○					
39		ツキガイ科	ウメノハナガイ属							○	○				
40			タイワンシジミ								○	○			
41			マシジミ	○	○	○	○								
42		シジミ科	シジミ属							○	○	○			
43			マメシジミ科	マメシジミ属								○			
44		ドブシジミ科	ドブシジミ							○					
45		ザルガイ科	チゴトリガイ			○									
46		ニッコウガイ科	ヒメシラトリガイ			○									
47		アサジガイ科	シズクガイ			○									
48	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	サシバゴカイ科	ホソミサシバ				○							
49			Eteone属									○			
50			チロリ科	チロリ属					○			○			
51			カギゴカイ科	カギゴカイ属				○							
52			ゴカイ科	ヤマトカワゴカイ								○			
53		スビオ目	スビオ科	カワゴカイ属				○	○	○	○	○			
54				Neanthes属				○							
55				イトメ	○	○	○	○	○	○	○	○			
56				シロガネゴカイ科	ミナミシロガネゴカイ					○	○				
57				Polydora属								○			
58	イトゴカイ目	イトゴカイ科	ヤマトスビオ					○	○	○	○				
59			Pseudopolydora属									○			
60			Scoelepis属									○			
61			イトゴカイ								○				
62			イトゴカイ属					○	○	○					
63	Heteromastus属									○					
64	Mediomastus属									○					
65	Notomastus属					○	○	○	○	○					
66	イトゴカイ科									○					
67	ケヤリムシ目	ケヤリムシ科	ケヤリムシ科				○								

定期報告書

6. 生物

表 6.8-1(2) 底生動物確認種リスト

No.	綱名	目名	科名	種名	調査年度													
					H5	H10	H15	H18	H23	H28	R3							
58	ミミズ綱	ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ								○						
59		オヨギミミズ目	オヨギミミズ科	オヨギミミズ属 オヨギミミズ科			○				○	○						
60		イトミミズ目	ヒメミミズ科	Fridericia sp.									○					
61				ミズヒメミミズ										○				
62				Mesenchytraeus sp.										○				
63				ヒメミミズ科	ナガハナコヒメミミズ									○				
64				コヒメミミズ科	ヒメイトミミズ属									○				
65				ミズミミズ科	エラオイミズミミズ								○	○				
66				エラミミズ		○	○	○	○	○	○	○	○	○				
67				トックリヤドリミミズ										○				
68				ウチワミミズ属										○				
69				ビワヨゴレイトミミズ										○				
70				Haemonais waldvogeli										○				
71				モトムラユリミミズ					○					○				
72				フトゲユリミミズ							○	○	○	○				
73				ユリミミズ					○	○	○	○	○	○				
74				ミツゲミズミミズ										○				
75				ナミミズミミズ					○					○				
76				ミズミミズ										○				
77		ミズミミズ属							○	○	○	○						
78		クロオビミズミミズ					○			○	○	○						
79		ハヤセミズミミズ										○						
80		トガリミズミミズ										○						
81		フサゲミズミミズ										○						
82		ヨゴレミズミミズ					○	○				○						
83		テングミズミミズ					○			○	○	○						
84		クチアケコイトミミズ										○						
85		ノコギリミズミミズ										○						
86		ミズミミズ科					○	○	○	○	○	○						
87		ミズミミズ亜科								○		○						
88		ツリミミズ目	ツリミミズ科	ツリミミズ科							○	○						
89		ツリミミズ科	フトミミズ科	フトミミズ科							○	○						
90		カイヨウミミズ科	Eukerria saltensis									○						
91		ツリミミズ目									○	○						
92		ミミズ綱							○	○								
93		ヒル綱	吻蛭目	ヒラタビル科	ハハビロビル					○		○	○					
94					ミドリビル								○	○				
95					ヒラタビル							○		○				
96	ヌマビル											○	○					
97	アタマビル						○	○										
98	カメビル												○					
99	ヒラタビル科					○	○	○	○									
100	ウオビル科			ナミウオビル									○					
101	ウオビル科										○		○					
102	ウマビル										○		○					
103	吻無蛭目	ヘモビ科	シマイシビル	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
104			イシビル科	ナミイシビル				○	○	○								
105			イシビル科				○	○	○	○	○							
106			ナガレビル科	ナガレビル科								○	○					
107			ヒル綱										○					
108	鯀脚綱	カイエビ目	カイエビ科	カイエビ						○	○							
109				軟甲綱	タナイス目	タナイス科	キスイタナイス				○			○				
110							ノルマンタナイス						○					
111							ヨコエビ目	ハマトビムシ科	ヒメハマトビムシ								○	
112									ヒメハマトビムシ属				○	○			○	○
113									ホソハマトビムシ属							○		
114									ハマトビムシ科			○						
115									ユンボソコエビ科	ニッポンドロソコエビ				○	○	○	○	○
116							ドロソコエビ属				○							
117							ドロクダムシ科	Apocorophium属									○	
118							ドロクダムシ属					○	○	○				
119				アリアケドロクダムシ					○									
120				メリタヨコエビ科	シミズメリタヨコエビ				○	○	○	○	○					
121				メリタヨコエビ属				○	○									
122				マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ							○	○	○				
123	メクラヨコエビ科	キョウトメクラヨコエビ									○							
124	キタヨコエビ科	アナンデルヨコエビ				○												
125	ホクリクヨコエビ						○	○	○		○							
126	オオエソヨコエビ										○							
127	オオエソヨコエビ属										○							
128	ヨコエビ科	ニッポンヨコエビ				○	○											
129	ヨコエビ科					○												

表 6.8-1(3) 底生動物確認種リスト

No.	綱名	目名	科名	種名	調査年度									
					H5	H10	H15	H18	H23	H28	R3			
116	昆虫綱	カゲロウ目 (蜉蝣目)	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科										
117			ミズムシ科 (甲)	ミズムシ (甲)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
118			コツプムシ科	イソコツプムシ属		○	○	○	○	○	○	○	○	
119				ヨツバコツプムシ		○	○	○	○	○	○	○	○	
				コツプムシ科		○	○	○	○	○	○	○	○	
				クロイサザアミ		○	○	○	○	○	○	○	○	
120			アミ目	アミ科	ニホンイサザアミ									
121			エビ目	ヌマエビ科	ミゾレスマエビ									
122					シナヌマエビ									
123					カワリヌマエビ属									
124					ヌマエビ		○	○	○	○	○	○	○	○
125					ヌカエビ									
					ヌマエビ属									
126				テナガエビ科	テナガエビ		○	○	○	○	○	○	○	○
127					ユビナガスジエビ									
128					スジエビ		○	○	○	○	○	○	○	○
129					スジエビモドキ									
					テナガエビ科									
130				アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ		○	○	○	○	○	○	○	
131				サワガニ科	サワガニ			○						
132				ペンケイガニ科	アカテガニ									
133					クロベンケイガニ		○	○	○	○	○	○	○	
					ペンケイガニ科									
134				モクスガニ科	モクスガニ		○	○	○	○	○	○	○	
135					スネナガイソガニ		○							
136					ケフサイソガニ		○							
137			ムツハアリアケガニ科	アリアケモドキ			○	○	○	○	○	○		
138			カゲロウ目 (蜉蝣目)	トビイロカゲロウ科	ヒメトビイロカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○	
139					トビイロカゲロウ属									
140				カワカゲロウ科	キイロカワカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○	
141					モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ								
142				トウヨウモンカゲロウ科	トウヨウモンカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○	
143					モンカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○	
144				シロイロカゲロウ科	オオシロカゲロウ									
145				ヒメシロカゲロウ科	ヒメシロカゲロウ属									
146				マダラカゲロウ科	オオクマダラカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○	
147					クロマダラカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○	
148					チェルノバマダラカゲロウ									
					トウヨウマダラカゲロウ属									
149					オオマダラカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○	
150					ヨシノマダラカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○	
151					コウノマダラカゲロウ									
152					フタマダラカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○	
153					ミツトゲマダラカゲロウ		○	○						
154					ムコブマダラカゲロウ									
					トゲマダラカゲロウ属									
155					シリナガマダラカゲロウ									
156					ホソバマダラカゲロウ									
157					イマニシマダラカゲロウ									
158					クシゲマダラカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○	
159					ツノマダラカゲロウ									
					マダラカゲロウ属									
160				アカマダラカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○		
161				エラブタマダラカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○		
162				ヒメフタオカゲロウ科	マエグロヒメフタオカゲロウ									
163					ヒメフタオカゲロウ									
				ヒメフタオカゲロウ属										
164				コカゲロウ科	ミツオミジカオフタバコカゲロウ									
165					ミジカオフタバコカゲロウ									
					ミジカオフタバコカゲロウ属									
166					ヨシノコカゲロウ									
167					フタバコカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○	
168					サホコカゲロウ									
169					フタモンコカゲロウ									
170					シロハラコカゲロウ									
171					Jコカゲロウ									
172					Mコカゲロウ									
					コカゲロウ属		○	○						
173					フタバカゲロウ		○	○						
					フタバカゲロウ属									
174					ウスイロフトヒゲコカゲロウ									
175					トゲエラトビイロコカゲロウ									
176					ヒロバネトビイロコカゲロウ									
177					Dコカゲロウ									
178					トビイロコカゲロウ		○	○	○					
179				ヒメウスバコカゲロウ属										
180				ウデマガリコカゲロウ										
181				コバネヒゲトガリコカゲロウ										
			コカゲロウ科											

定期報告書

6. 生物

表 6.8-1(4) 底生動物確認種リスト

No.	綱名	目名	科名	種名	調査年度							
					H5	H10	H15	H18	H23	H28	R3	
182			フタオカゲロウ科	オオフタオカゲロウ フタオカゲロウ属		○	○			○	○	○
183			チラカゲロウ科	チラカゲロウ	○	○	○	○	○	○	○	○
184			ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ	○							
185				キブネタニガワカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○
186				シロタニガワカゲロウ	○	○	○	○	○	○	○	○
				タニガワカゲロウ属							○	○
187				ウエノヒラタカゲロウ	○	○	○	○	○	○	○	○
188				ナミヒラタカゲロウ			○	○	○	○	○	○
189				エルモンヒラタカゲロウ	○	○	○		○	○	○	○
190				ユミモンヒラタカゲロウ	○		○		○	○	○	○
				ヒラタカゲロウ属				○				○
191				キョウトキハダヒラタカゲロウ							○	○
192				ヒメヒラタカゲロウ		○	○	○	○	○	○	○
193				サツキヒメヒラタカゲロウ	○	○	○	○	○	○	○	○
				ヒメヒラタカゲロウ属		○			○	○	○	○
				ヒラタカゲロウ科					○			
194		トンボ目 (蜻蛉目)	イトトンボ科	ホソミイトトンボ					○			
195				アオモンイトトンボ		○						
196				アオモンイトトンボ属			○				○	○
197				クロイトトンボ	○	○						
198				セスジイトトンボ		○						
				クロイトトンボ属			○	○	○	○		
199				イトトンボ科								○
200			モノサシトンボ科	モノサシトンボ		○						
201			カワトンボ科	ハグロトンボ	○	○	○	○	○	○	○	○
202				ミヤマカワトンボ		○		○				○
203				ニホンカワトンボ							○	○
				カワトンボ属						○	○	○
				カワトンボ科							○	○
204			ヤンマ科	ギンヤンマ	○		○	○	○	○	○	○
205				コシボソヤンマ	○	○	○	○	○	○	○	○
206			サナエトンボ科	ミヤマサナエ		○	○	○	○	○	○	○
207				ヤマサナエ		○	○	○	○	○	○	○
208				キイロサナエ	○	○			○	○	○	○
209				クロサナエ	○						○	○
210				ダビドサナエ		○		○	○	○	○	○
				ダビドサナエ属		○	○	○	○	○	○	○
211				ヒメクロサナエ		○						
212				オナガサナエ		○	○	○	○	○	○	○
213				アオサナエ		○						
214				ホンサナエ	○	○	○				○	
215				コオニヤンマ	○	○	○	○	○	○	○	○
216				ヒメサナエ			○	○				○
217				オジロサナエ	○	○						○
				サナエトンボ科							○	○
218			オニヤンマ科	オニヤンマ								○
219			エソトンボ科	オオヤマトンボ								○
220				コヤマトンボ	○	○	○	○	○	○	○	○
221			トンボ科	コフキトンボ							○	○
222				シオカラトンボ	○	○	○	○	○	○	○	○
223				オオシオカラトンボ								○
224				ウスバキトンボ		○	○		○			
225				コシアキトンボ			○	○	○	○	○	○
226				マユタテアカネ	○							
227				アキアカネ						○		
228				ミヤマアカネ								○
				アカネ属			○					○
229		カワゲラ目 (セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科			○		○	○		
230			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科								○
231			オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属	○	○	○	○	○	○	○	○
232				オナシカワゲラ属	○						○	○
				オナシカワゲラ科		○						
233			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科		○	○					○
234			カワゲラ科	エダオカワゲラ属								○
235				カミムラカワゲラ			○				○	○
				カミムラカワゲラ属	○	○	○	○	○	○	○	○
236				フタツメカワゲラ属		○	○	○	○	○	○	○
237				ニシオオヤマカワゲラ							○	○
238				オオヤマカワゲラ	○				○			○
				オオヤマカワゲラ属		○	○				○	○
239				スズキクラカケカワゲラ							○	○
				クラカケカワゲラ属		○	○				○	○
				カワゲラ科								○
240			アミメカワゲラ科	クサカワゲラ属		○	○	○				
241				アサカワヒメカワゲラ			○	○				
				アサカワヒメカワゲラ属					○			○
242				ヨグサヒメカワゲラ属		○						○
				アミメカワゲラ科	○			○	○	○	○	○

表 6.8-1(5) 底生動物確認種リスト

No.	綱名	目名	科名	種名	調査年度							
					H5	H10	H15	H18	H23	H28	R3	
243		カメムシ目 (半翅目)	アメンボ科	アメンボ			○	○	○	○	○	
244				ヒメアメンボ					○	○	○	○
245			ヤスマツアメンボ								○	
246			シマアメンボ					○	○	○		
247				イトアメンボ科	ヒメイトアメンボ			○				
248				カタビロアメンボ科	ケシカタビロアメンボ						○	
249					ホルバートケシカタビロアメンボ							○
250					ケシカタビロアメンボ属							○
251					ナガレカタビロアメンボ							○
252					ナガレカタビロアメンボ属							○
253					オヨギカタビロアメンボ							○
254				カタビロアメンボ科	カタビロアメンボ			○		○		
255				ミズギワカメムシ科	タニガワミズギワカメムシ						○	
256					ミズギワカメムシ							○
257				ミズムシ科 (昆)	コチビズムシ			○			○	
258					ヘラコチビズムシ						○	○
259					チビズムシ			○				○
260					チビズムシ属						○	○
261					ハラグロコミズムシ							○
262					エサキコミズムシ			○				○
263					コミズムシ			○	○			○
264					コミズムシ属							○
265					タイコウチ科	タイコウチ	○	○	○	○	○	
266						ミズカマカリ	○		○		○	○
267				ナベフタムシ科	ナベフタムシ						○	
268				マツモムシ科	マツモムシ			○	○	○	○	
269		ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	タイリククロスジヘビトンボ				○		○		
270				ヘビトンボ	○	○	○	○	○	○	○	
271			センブリ科	ネグロセンブリ							○	
272			センブリ属					○	○			
273			センブリ科				○					
274		アミメカゲロウ目 (脈翅)	ミスカゲロウ科	ミスカゲロウ						○		
275			トビケラ目 (毛翅目)	シンテイトビケラ科	ニセスイドウトビケラ属						○	
276		ムネカクトビケラ科		ムネカクトビケラ			○					
277			ムネカクトビケラ属			○			○	○		
278			シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	○					○	○	
279				ナミコガタシマトビケラ							○	
280				コガタシマトビケラ属			○	○	○	○	○	
281				シロズシマトビケラ							○	
282				ウルマーシマトビケラ	○	○	○	○	○	○	○	
283				ナカハラシマトビケラ	○	○	○	○	○	○	○	
284				シマトビケラ属							○	
285				シマトビケラ科						○		
286				イワトビケラ科	ミヤマイワトビケラ属					○	○	
287				クダトビケラ科	キタクダトビケラ属						○	
288			クダトビケラ属				○				○	
289			クダトビケラ科	クダトビケラ	○	○				○		
290			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	○	○	○	○	○	○		
291				チャバナヒゲナガカワトビケラ	○	○	○	○	○	○		
292				ヒゲナガカワトビケラ属			○					
293				ヒゲナガカワトビケラ科	○							
294			ヤマトビケラ科	コヤマトビケラ属	○	○	○	○		○	○	
295				アルタイヤマトビケラ							○	
296				イノフスヤマトビケラ							○	
297				ヤマトビケラ属	○	○	○	○			○	
298				ケシヤマトビケラ属							○	
299				ヤマトビケラ科						○	○	
300			ヒメトビケラ属	○		○	○			○		
301			ヒメトビケラ科						○			
302			ナガレトビケラ科	ヒロアタマナガレトビケラ			○	○		○	○	
303				カワムラナガレトビケラ				○			○	
304				クワヤマナガレトビケラ							○	
305				ムナグロナガレトビケラ	○	○	○	○	○	○	○	
306				ヤマナカナガレトビケラ	○	○	○	○	○	○	○	
307				ナガレトビケラ属				○	○	○	○	
308			コエグリトビケラ科	コエグリトビケラ属						○	○	
309				コエグリトビケラ科						○		
310			カクスイトビケラ科	マルツツトビケラ			○					
311			アシエダトビケラ科	コバントビケラ						○	○	
312			ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	○		○	○	○	○		
313				カワモトニンギョウトビケラ						○		
314			カクツツトビケラ科	コカクツツトビケラ			○	○				
315				カクツツトビケラ属						○	○	
316				カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ				○			
317			ヒゲナガトビケラ科	タテヒゲナガトビケラ属			○	○			○	
318				ヒゲナガトビケラ属							○	
319				アオヒゲナガトビケラ属				○	○	○	○	
320				クサツミトビケラ属						○	○	
321				セトトビケラ属						○	○	
322				センカイトビケラ属						○	○	
323				ヒメセトトビケラ属			○					
324				エグリトビケラ科	ホタルトビケラ						○	
325				ホタルトビケラ属NA			○	○	○	○		
326				オンダケトビケラ属						○		
327			キタガミトビケラ科	キタガミトビケラ	○	○		○	○			
328				ホソバトビケラ科	ホソバトビケラ						○	
329				ホソバトビケラ科						○		
330			マルバネトビケラ科	マルバネトビケラ属						○	○	
331				ケトビケラ科	グマガトビケラ			○	○			
332				トウヨウダマガトビケラ						○	○	
333				グマガトビケラ属				○				

定期報告書

6. 生物

表 6.8-1(6) 底生動物確認種リスト

No.	綱名	目名	科名	種名	調査年度							
					H5	H10	H15	H18	H23	H28	R3	
311		チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	ミズメイガ亜科				○	○			
312		ハエ目 (双翅目)	オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属								○
313			ヒメガガンボ科	ウスバガガンボ属		○	○	○	○	○		○
314				ナミヒメガガンボ属								○
315				ヒゲナガガガンボ属EB			○	○				
316				ヒゲナガガガンボ属		○		○	○	○		○
317				カスリヒメガガンボ属								○
318				ヒメガガンボ属							○	
319				オルモシア属								○
320			ガガンボ科	ガガンボ属TA			○					
321				ガガンボ属TC			○					
				ガガンボ属				○	○	○		○
				ガガンボ科	○							
322			アミカ科	フタマタアミカ属					○			
323			チョウバエ科	ハマダラチョウバエ属								○
324			コシボソガガンボ科	コシボソガガンボ属					○			
325			ヌカカ科	ヌカカ科			○				○	○
326			ユスリカ科	ダンダラヒメユスリカ属			○				○	○
327				クロユスリカ属							○	○
328				ケブカエリユスリカ属			○	○	○	○	○	○
329				ハダカユスリカ属			○		○	○	○	○
330				セスジュスリカ			○					
				ユスリカ属			○	○	○	○	○	○
331				ナゴコフナシユスリカ属								○
332				エダゲヒゲユスリカ属			○	○		○		○
333				トラフユスリカ属			○	○				○
334				コナユスリカ属								○
335				ツヤユスリカ属			○	○		○	○	○
336				カマガタユスリカ属			○	○	○	○	○	○
337				スジカマガタユスリカ属			○	○	○	○	○	○
338				ヤマユスリカ亜科			○					
339				ホソミユスリカ属			○				○	○
340				フタエユスリカ							○	
341				サトクロユスリカ属			○	○	○			
342				テンマクエリユスリカ属								○
343				ノザキトビケラヤドリユスリカ								○
344				セボリユスリカ属			○	○	○	○	○	○
345				コブナシユスリカ属							○	
346				フユスリカ属				○				
347				ムナトゲエリユスリカ属					○			
348				オオミドリユスリカ						○		○
				オオミドリユスリカ属			○	○	○			
349				ボカシヌマユスリカ属				○	○			○
350				ツヤムネユスリカ属			○	○	○	○		○
351				トゲヤマユスリカ属					○			○
352				クビワユスリカ								○
353				モンヌマユスリカ属			○					○
354				ニイツマホソケブカエリユスリカ								○
355				コヒメユスリカ属								○
356				アヤユスリカ属								○
357				キモグリエリユスリカ								○
				エリユスリカ属			○	○	○	○		○
358				ニセトゲアシエリユスリカ属			○					○
359				ニセコブナシユスリカ属				○				
360				コシアキヒメユスリカ属								○
361				ニセヒゲユスリカ属				○		○		○
362				カワリユスリカ属			○	○	○	○		○
363				ハモンユスリカ属			○	○	○	○		○
364				クビレサワユスリカ								○
365				カモヤマユスリカ								○
366				リョウカクサワユスリカ								○
				サワユスリカ属			○	○		○		
367				カユスリカ属			○			○		○
368				オオヤマユスリカ属				○	○			○
369				オオヤマユスリカ亜科			○		○			
370				クロバヌマユスリカ属			○					
371				ニセエリユスリカ属			○	○	○			○
372				ナガレツヤユスリカ属			○				○	○
373				ウスギヌヒメユスリカ属			○			○		○
374				ナガレユスリカ属			○	○				○
375				テドリカユスリカ								○
376				キザキユスリカ属			○	○				
377				ハムグリユスリカ属								○
378				アシマダラユスリカ属			○	○	○	○		○
379				フサユキユスリカ属								○
380				ムナクボエリユスリカ属								○
381				カスリモンユスリカ								○
382				ヒゲユスリカ属			○	○	○	○		○
383				ヌカユスリカ属								○
384				セマダラヒメユスリカ属						○		
385				トクナガエリユスリカ属						○		
386				ハヤセヒメユスリカ属								○
387				ニセテンマクエリユスリカ属								○
388				ヤマトヒメユスリカ属						○		
				ユスリカ科	○	○	○	○	○	○	○	○

表 6.8-1(7) 底生動物確認種リスト

No.	綱名	目名	科名	種名	調査年度							
					H5	H10	H15	H18	H23	H28	R3	
389			ユスリカ亜科	ユスリカ亜科						○		
390			カ科	ハマダラカ属							○	
391				カ科								○
392			ホソカ科	ホソカ属							○	
393			ブユ科	アシマダラブユ属	○			○	○	○	○	
394			ナガレアブ科	ヒメモンナガレアブ								○
395			ミズアブ科	Allognosta属								○
396				Odontomyia属			○				○	
				ミズアブ科						○		
397			アシナガバエ科	アシナガバエ科			○		○	○	○	
398			オドリバエ科	カマオドリバエ属								○
399				Hemerodromia sp.								○
				オドリバエ科			○				○	
400			ハナアブ科	ハナアブ科			○	○				
				ハエ目(双翅目)				○	○			
401		コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	マメゲンゴロウ								○
402				キボシケンゲンゴロウ					○			
403				テラニシセスジゲンゴロウ								○
404				ホソセスジゲンゴロウ			○	○				
				セスジゲンゴロウ属					○			○
405				ハイイロゲンゴロウ					○			
406				コシマゲンゴロウ								○
407				チビゲンゴロウ			○		○	○	○	
408				ツブゲンゴロウ	○	○			○			
409				ゴマダラチビゲンゴロウ	○	○	○	○	○	○	○	
410				キベリマメゲンゴロウ	○	○	○	○	○	○	○	
411				モンキマメゲンゴロウ	○	○	○	○	○	○	○	
412				ヒメゲンゴロウ	○		○					○
				ゲンゴロウ科		○						
413			ミズスマシ科	コミズスマシ			○	○				
				ミズスマシ属					○			
414				コオナガミズスマシ	○	○	○			○	○	
				オナガミズスマシ属			○	○		○	○	
				ミズスマシ科	○	○						
415			コガシラミズムシ科	クビボソコガシラミズムシ	○	○		○				○
				ヒメコガシラミズムシ属								○
416				コガシラミズムシ			○		○			○
417			コツブゲンゴロウ科	コツブゲンゴロウ					○			
418			ガムシ科	ヤマトゴマフガムシ	○	○	○					○
419				トゲバゴマフガムシ					○			
420				ゴマフガムシ			○	○		○		○
				ゴマフガムシ属					○			
421				キベリヒラタガムシ		○						
422				キイロヒラタガムシ	○		○		○	○	○	
423				コガムシ								○
424				ガムシ								○
425				シジミガムシ			○					
426				コモンシジミガムシ								○
				シジミガムシ属								○
427				ヒメガムシ		○			○			○
428			ヒメドロムシ科	ナガアシドロムシ属						○	○	
429				マルヒメドロムシ属								○
430				ヨコミゾドロムシ						○	○	
431				クロサワドロムシ								○
432				キスジミゾドロムシ						○	○	
433				ゴトウミゾドロムシ						○	○	
434				ケスジドロムシ						○	○	
435				イブシアシナガドロムシ								○
436				アシナガミゾドロムシ						○		
437				アワツヤドロムシ								○
438				ツヤドロムシ						○	○	
439				ミソツヤドロムシ			○	○	○			○
				ツヤドロムシ属						○	○	
440				ホソヒメツヤドロムシ								○
441				マルヒメツヤドロムシ								○
				ヒメツヤドロムシ属								○
442			ヒラタドロムシ科	チビヒゲナガハナノミ	○	○	○	○	○	○	○	
				チビヒゲナガハナノミ属			○					
443				クシヒゲマルヒラタドロムシ						○	○	
				マルヒラタドロムシ属			○	○	○	○		
444				チビマルヒゲナガハナノミ								○
445				ヒラタドロムシ			○	○	○	○	○	
				ヒラタドロムシ属	○	○						
446				マスタチビヒラタドロムシ			○	○	○	○	○	
				ヒラタドロムシ科				○				
447			ナガハナノミ科	タテスジヒメヒゲナガハナノミ								○
448			ホタル科	ゲンジボタル				○	○	○	○	
449				ハイケボタル								○
種数					95種	143種	230種	177種	227種	256種	344種	

定期報告書

6. 生物

表 6.8-2(1) 植物確認種リスト

No.	科名	種和名	福井大橋周辺				九頭竜川橋～鳴鹿橋上流			
			H6	H12	H17	H26	H2・3	H3	H5	H16
1	イワヒバ科	イワヒバ								
2	トクサ科	スギナ	○	○	○	○	○	○	○	○
3	トクサ科	トクサ		○	○					○
4	トクサ科	イヌドクサ		○	○	○	○	○	○	○
5	ハナヤスリ科	オオハナワラビ								○
6	ゼンマイ科	ゼンマイ					○			
7	ウラボシ科	ウラボシ					○			
8	フサシダ科	カニクサ					○			○
9	コバノイシカグマ科	イワヒメワラビ					○			
10	コバノイシカグマ科	ワラビ		○			○		○	○
11	ホングウシダ科	ホラシノブ					○			
12	ミズワラビ科	イワガネソウ		○						
13	ミズワラビ科	タチシノブ							○	○
14	イノモトソウ科	オオバノイノモトソウ								○
15	イノモトソウ科	イノモトソウ				○	○		○	○
16	チャセンシダ科	トラノオシダ		○	○		○		○	○
17	シシガシラ科	シシガシラ					○			
18	オシダ科	リョウメンシダ				○	○		○	○
19	オシダ科	ヤブソテツ		○	○	○	○		○	○
20	オシダ科	ヤマヤブソテツ	○			○	○			
21	オシダ科	イワヘゴ	○							
22	オシダ科	ベニシダ		○			○		○	○
23	オシダ科	オオベニシダ							○	
24	オシダ科	クマワラビ		○	○	○		○		○
25	オシダ科	オクマワラビ		○		○	○		○	○
26	オシダ科	オオイタチシダ								○
27	オシダ科	ヤマイタチシダ					○			○
28	オシダ科	アイアスカイノデ								○
29	オシダ科	イノデ	○	○			○	○	○	○
30	オシダ科	サカゲイノデ	○		○	○			○	
31	オシダ科	ジュウモンジシダ					○			○
32	ヒメシダ科	ミゾシダ	○			○	○			○
33	ヒメシダ科	ホシダ					○			○
34	ヒメシダ科	ゲジゲジシダ	○	○						
35	ヒメシダ科	イブキシダ			○					
36	ヒメシダ科	ハリガネワラビ					○			
37	ヒメシダ科	ヤワランシダ					○			
38	ヒメシダ科	ヒメワラビ			○					
39	メシダ科	イヌワラビ		○	○	○			○	○
40	メシダ科	ヤマイヌワラビ					○			
41	メシダ科	ホソバシケシダ					○			
42	メシダ科	シケシダ	○	○	○	○	○			○
43	メシダ科	オオヒメワラビ				○			○	
44	メシダ科	クサソテツ	○	○	○	○	○	○	○	○
45	メシダ科	コウヤワラビ	○							
46	ウラボシ科	マメツタ							○	
47	ウラボシ科	ノキシノブ			○		○		○	○
48	マツ科	モミ					○			
49	マツ科	アカマツ					○		○	○
50	マツ科	クロマツ					○			
51	スギ科	スギ					○	○		○
52	ヒノキ科	ヒノキ					○			
53	ヒノキ科	ネズ							○	
54	マキ科	ラカンマキ		○						
55	イヌガヤ科	イヌガヤ					○			
56	クルミ科	オニグルミ	○	○	○	○	○	○	○	○
57	クルミ科	ノグルミ							○	
58	ヤナギ科	ヤマナラシ								○
59	ヤナギ科	サイコクキツネヤナギ					○			
60	ヤナギ科	シダレヤナギ				○			○	
61	ヤナギ科	アカメヤナギ	○	○	○	○			○	○
62	ヤナギ科	ジャヤナギ	○	○	○	○			○	○
63	ヤナギ科	カワヤナギ	○	○	○	○	○	○	○	○
64	ヤナギ科	ネコヤナギ	○	○	○	○	○	○	○	○
65	ヤナギ科	イヌコリヤナギ	○			○	○	○	○	○
66	ヤナギ科	ウンリュウヤナギ	○	○		○			○	○
67	ヤナギ科	オオタチヤナギ			○	○				
68	ヤナギ科	コゴメヤナギ	○	○	○	○	○	○	○	○
69	ヤナギ科	タチヤナギ	○	○	○	○	○	○	○	○
70	ヤナギ科	マルバヤナギ					○	○		
71	カバノキ科	ミヤマカワラハンノキ						○	○	○
72	カバノキ科	ヤマハンノキ							○	○

表 6.8-2(2) 植物確認種リスト

No.	科名	種和名	福井大橋周辺				九頭竜川橋～鳴鹿橋上流			
			H6	H12	H17	H26	H2・3	H3	H5	H16
73	カバノキ科	ハンノキ	○	○	○	○	○	○	○	○
74	カバノキ科	カワラハンノキ						○		
75	カバノキ科	アカシデ					○			
76	カバノキ科	ツノハシバミ					○			
77	ブナ科	クリ					○		○	○
78	ブナ科	クヌギ	○				○		○	○
79	ブナ科	アラカシ					○			
80	ブナ科	シラカシ					○		○	○
81	ブナ科	ウラジロガシ						○		
82	ブナ科	コナラ				○	○		○	○
83	ニレ科	エノキ	○	○	○	○	○	○	○	○
84	ニレ科	アキニレ					○			○
85	ニレ科	ケヤキ	○	○	○	○	○		○	○
86	クワ科	ヒメコウゾ				○			○	○
87	クワ科	カジノキ	○							
88	クワ科	クワクサ					○		○	○
89	クワ科	イヌビワ					○			
90	クワ科	イタビカズラ					○		○	○
91	クワ科	オオイタビ							○	
92	クワ科	カナムグラ	○	○	○	○	○	○	○	○
93	クワ科	トウグワ			○	○				
94	クワ科	ヤマグワ	○	○	○	○	○	○	○	○
95	イラクサ科	ヤブマオ	○	○	○	○	○	○	○	○
96	イラクサ科	カラムシ	○	○	○	○	○	○	○	○
97	イラクサ科	ナンバンカラムシ					○		○	
98	イラクサ科	メヤブマオ				○	○		○	○
99	イラクサ科	コアカソ			○	○	○		○	○
100	イラクサ科	アカソ	○	○	○	○	○		○	○
101	イラクサ科	ムカゴイラクサ								○
102	イラクサ科	カテンソウ					○			
103	イラクサ科	ミズ	○				○	○		○
104	イラクサ科	アオミズ	○	○		○	○		○	○
105	ビャクダン科	カナビキソウ	○	○	○	○	○		○	○
106	タデ科	ミズヒキ		○	○	○	○			○
107	タデ科	ソバ								○
108	タデ科	サクラタデ	○	○	○		○	○	○	○
109	タデ科	ヤナギタデ	○	○	○	○	○	○	○	○
110	タデ科	シロバナサクラタデ	○	○	○	○	○		○	○
111	タデ科	オオイヌタデ	○	○	○	○	○	○	○	○
112	タデ科	イヌタデ	○	○	○	○	○	○	○	○
113	タデ科	タニソバ					○			
114	タデ科	イシミカワ	○	○	○	○	○		○	○
115	タデ科	ハナタデ	○				○		○	○
116	タデ科	ボントクタデ					○		○	○
117	タデ科	サナエタデ	○	○					○	
118	タデ科	ママコノシリヌグイ	○	○	○	○	○		○	○
119	タデ科	アキノウナギツカミ	○	○	○	○	○	○	○	○
120	タデ科	ミゾソバ	○	○	○	○	○	○	○	○
121	タデ科	ミチヤナギ	○	○	○	○	○		○	○
122	タデ科	イタドリ	○	○	○	○	○		○	○
123	タデ科	スイバ	○	○	○	○	○		○	○
124	タデ科	ヒメスイバ	○	○	○	○	○			○
125	タデ科	アレチギシギシ	○	○	○	○	○		○	○
126	タデ科	ナガバギシギシ	○	○	○	○			○	○
127	タデ科	ギシギシ	○	○	○	○	○	○	○	○
128	タデ科	ノダイオウ		○		○				
129	タデ科	マダイオウ	○							
130	タデ科	エゾノギシギシ	○	○	○	○	○	○	○	○
131	ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	○	○	○	○	○		○	○
132	オシロイバナ科	オシロイバナ							○	
133	ザクロソウ科	ザクロソウ		○	○	○		○	○	
134	ザクロソウ科	クルマバザクロソウ	○		○					
135	スベリヒユ科	マツバボタン							○	
136	スベリヒユ科	スベリヒユ	○	○	○	○	○	○	○	○
137	スベリヒユ科	ヒメマツバボタン			○					
138	スベリヒユ科	ハゼラン			○					
139	ナデシコ科	ノミノツツリ	○	○	○	○	○		○	
140	ナデシコ科	オランダミミナグサ	○	○	○	○	○		○	○
141	ナデシコ科	ミミナグサ	○			○	○	○		
142	ナデシコ科	カワラナデシコ	○	○	○	○	○		○	○
143	ナデシコ科	ツメクサ	○	○	○	○	○		○	○
144	ナデシコ科	ムシトリナデシコ	○	○	○	○	○	○	○	○

定期報告書

6. 生物

表 6.8-2(3) 植物確認種リスト

No.	科名	種和名	福井大橋周辺				九頭竜川橋～鳴鹿橋上流			
			H6	H12	H17	H26	H2・3	H3	H5	H16
145	ナデシコ科	シロバナムシトリナデシコ	○	○						
146	ナデシコ科	フシグロ	○					○	○	
147	ナデシコ科	シロバナマンテマ			○	○				
148	ナデシコ科	マンテマ		○	○	○				○
149	ナデシコ科	ノミノフスマ	○	○	○	○	○	○	○	
150	ナデシコ科	ウシハコベ	○	○	○	○	○	○	○	○
151	ナデシコ科	サワハコベ								○
152	ナデシコ科	コハコベ	○	○	○	○	○		○	○
153	ナデシコ科	ミドリハコベ	○		○	○				
154	アカザ科	シロザ	○	○	○	○	○	○	○	○
155	アカザ科	アカザ		○			○	○	○	○
156	アカザ科	アリタソウ				○			○	
157	アカザ科	ケアリタソウ						○		
158	アカザ科	アメリカアリタソウ	○	○	○		○	○	○	○
159	ヒユ科	ヒカゲイノコズチ	○	○	○	○	○		○	○
160	ヒユ科	ヒナタイノコズチ	○	○	○	○	○	○	○	○
161	ヒユ科	ヤナギイノコズチ								○
162	ヒユ科	イヌビユ	○	○				○	○	
163	ヒユ科	ホソアオゲイトウ			○	○			○	○
164	ヒユ科	アオゲイトウ		○			○			
165	ヒユ科	アオビユ						○		○
166	ヒユ科	ケイトウ			○			○	○	○
167	モクレン科	ホオノキ							○	
168	マツバサ科	サネカズラ					○		○	○
169	クスノキ科	クスノキ					○		○	○
170	クスノキ科	ヤブニッケイ			○		○		○	
171	クスノキ科	ヤマコウバシ					○			
172	クスノキ科	クロモジ					○			
173	クスノキ科	タブノキ							○	
174	クスノキ科	シロダモ		○	○	○	○		○	○
175	キンポウゲ科	ヒメウス					○			○
176	キンポウゲ科	ボタンツル	○	○	○	○	○		○	○
177	キンポウゲ科	センニンソウ	○	○	○	○	○		○	○
178	キンポウゲ科	ケキツネノボタン	○	○	○	○	○			○
179	キンポウゲ科	ウマノアシガタ	○				○			
180	キンポウゲ科	ヤマキツネノボタン							○	
181	キンポウゲ科	タガラシ		○						
182	キンポウゲ科	キツネノボタン		○	○	○	○		○	○
183	キンポウゲ科	アキカラマツ	○	○	○	○	○		○	○
184	キンポウゲ科	モミジカラマツ					○			
185	メギ科	トキワイカリソウ					○			
186	メギ科	ナンテン					○		○	○
187	アケビ科	アケビ	○	○	○	○	○	○	○	○
188	アケビ科	ミツバアケビ		○		○	○		○	○
189	アケビ科	ゴヨウアケビ	○		○				○	○
190	アケビ科	ムベ							○	
191	ツツラフジ科	アオツツラフジ	○	○	○	○	○	○	○	○
192	ツツラフジ科	コウモリカズラ	○							
193	ドクダミ科	ドクダミ	○	○	○	○	○	○	○	○
194	ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ	○	○	○	○	○	○	○	○
195	マタタビ科	サルナシ						○		
196	ツバキ科	ヤブツバキ					○		○	○
197	ツバキ科	ヒサカキ					○		○	○
198	ツバキ科	チャノキ					○			○
199	オトギリソウ科	オトギリソウ	○	○			○		○	○
200	オトギリソウ科	コケオトギリ	○			○		○		
201	オトギリソウ科	キンシバイ		○			○		○	
202	オトギリソウ科	サワオトギリ				○			○	
203	ケシ科	キケマン					○			
204	ケシ科	ムラサキケマン	○			○	○		○	
205	ケシ科	フウロケマン	○							
206	ケシ科	タケニグサ	○			○	○		○	
207	ケシ科	ケナシチャンバギク	○							
208	フウチョウソウ科	セイヨウフウチョウソウ	○			○				
209	アブラナ科	シロイヌナズナ	○							
210	アブラナ科	ハルザキヤマガラシ			○	○			○	
211	アブラナ科	セイヨウカラシナ	○	○	○	○	○	○		○
212	アブラナ科	セイヨウアブラナ	○	○	○					
213	アブラナ科	ナズナ	○				○			
214	アブラナ科	タネツケバナ	○	○	○	○	○	○	○	○
215	アブラナ科	タチタネツケバナ	○							
216	アブラナ科	ミチタネツケバナ	○							

表 6.8-2(4) 植物確認種リスト

No.	科名	種和名	福井大橋周辺				九頭竜川橋～鳴鹿橋上流			
			H6	H12	H17	H26	H2・3	H3	H5	H16
217	アブラナ科	コタネツケバナ	○							
218	アブラナ科	オオバタネツケバナ	○							
219	アブラナ科	マメグンバイナズナ	○	○	○	○	○	○	○	○
220	アブラナ科	オランダガラシ		○	○	○			○	
221	アブラナ科	ダイコン	○						○	
222	アブラナ科	イヌガラシ	○	○	○	○	○	○	○	○
223	アブラナ科	スカシタゴボウ	○	○	○	○	○	○	○	○
224	アブラナ科	キレハイヌガラシ	○	○					○	○
225	アブラナ科	ヒメイヌガラシ	○			○				
226	ペンケイソウ科	キリンソウ		○			○		○	
227	ペンケイソウ科	コモチマンネングサ	○	○	○	○	○		○	○
228	ペンケイソウ科	メノマンネングサ	○	○			○		○	○
229	ペンケイソウ科	オノマンネングサ							○	
230	ペンケイソウ科	ツルマンネングサ	○	○	○	○			○	○
231	ユキノシタ科	ネコノメソウ	○							
232	ユキノシタ科	ヤマネコノメソウ	○							
233	ユキノシタ科	ウツギ	○	○	○	○		○	○	○
234	ユキノシタ科	ヤマアジサイ					○			
235	バラ科	キンミズヒキ	○		○	○	○		○	○
236	バラ科	ヒメキンミズヒキ			○					
237	バラ科	ヘビイチゴ	○	○	○	○	○		○	○
238	バラ科	ヤブヘビイチゴ	○			○				○
239	バラ科	ビワ								○
240	バラ科	ノウゴウイチゴ					○			
241	バラ科	ダイコンソウ					○			○
242	バラ科	ヤマブキ					○		○	○
243	バラ科	ミツバツチグリ					○			
244	バラ科	オヘビイチゴ	○	○	○	○	○	○	○	○
245	バラ科	カマツカ				○	○		○	
246	バラ科	ウワミズザクラ					○			○
247	バラ科	キンキマメザクラ					○		○	
248	バラ科	ヤマザクラ					○			○
249	バラ科	三ワウメ	○							
250	バラ科	リンボク					○			
251	バラ科	カスミザクラ					○		○	
252	バラ科	ソメイヨシノ					○		○	○
253	バラ科	ノイバラ	○	○	○	○	○	○	○	○
254	バラ科	ニオイバラ					○			
255	バラ科	ミヤコイバラ						○	○	
256	バラ科	イザヨイバラ	○							
257	バラ科	テリハノイバラ			○					
258	バラ科	フユイチゴ					○			
259	バラ科	クマイチゴ	○							○
260	バラ科	クサイチゴ	○							○
261	バラ科	ナガバモミジイチゴ					○			○
262	バラ科	モミジイチゴ					○			
263	バラ科	ナワシロイチゴ	○	○	○	○	○	○	○	○
264	バラ科	シモツケ	○	○					○	
265	バラ科	ユキヤナギ							○	
266	バラ科	コゴメウツギ		○						
267	マメ科	クサネム	○	○	○	○	○	○	○	○
268	マメ科	ネムノキ	○	○	○	○	○	○	○	○
269	マメ科	イタチハギ				○				○
270	マメ科	ヤブマメ					○		○	○
271	マメ科	ゲンゲ	○			○	○		○	
272	マメ科	カワラケツメイ	○		○	○	○	○	○	○
273	マメ科	エビスグサ							○	
274	マメ科	アレチヌスビトハギ							○	
275	マメ科	ヌスビトハギ					○		○	
276	マメ科	ノササゲ					○			
277	マメ科	ノアズキ							○	○
278	マメ科	ダイズ							○	
279	マメ科	ツルマメ	○	○	○	○	○	○	○	○
280	マメ科	コマツナギ	○	○	○	○	○	○	○	○
281	マメ科	マルバヤハズソウ	○	○	○	○	○	○	○	○
282	マメ科	ヤハズソウ	○	○	○	○	○	○	○	○
283	マメ科	ヤマハギ				○	○	○	○	○
284	マメ科	メドハギ	○	○	○	○	○	○	○	○
285	マメ科	ハイメドハギ			○				○	
286	マメ科	マルバハギ							○	
287	マメ科	ツクシハギ	○							
288	マメ科	ネコハギ			○					

定期報告書

6. 生物

表 6.8-2(5) 植物確認種リスト

No.	科名	種和名	福井大橋周辺				九頭竜川橋～鳴鹿橋上流			
			H6	H12	H17	H26	H2・3	H3	H5	H16
289	マメ科	ビッチュウヤマハギ								○
290	マメ科	セイウミヤコグサ				○			○	○
291	マメ科	ミヤコグサ	○	○	○	○	○	○	○	○
292	マメ科	ナツフジ					○			
293	マメ科	クズ	○	○	○	○	○	○	○	○
294	マメ科	オオバタンキリマメ							○	
295	マメ科	ハリエンジュ	○	○	○		○		○	○
296	マメ科	クララ	○	○	○	○	○		○	○
297	マメ科	コメツブツメクサ	○	○	○	○	○		○	○
298	マメ科	ムラサキツメクサ	○	○	○	○	○		○	○
299	マメ科	シロツメクサ	○	○	○	○	○	○	○	○
300	マメ科	ツルフジバカマ		○						
301	マメ科	ヤハズエンドウ	○	○	○	○				○
302	マメ科	ホソバヤハズエンドウ	○		○					
303	マメ科	スズメノエンドウ	○		○		○		○	○
304	マメ科	イブキノエンドウ					○		○	
305	マメ科	カスマグサ	○	○	○	○			○	
306	マメ科	ナンテンハギ	○	○					○	
307	マメ科	ヤブツルアズキ			○	○			○	○
308	マメ科	フジ	○	○	○	○	○		○	○
309	カタバミ科	イモカタバミ			○	○				
310	カタバミ科	カタバミ	○	○	○	○	○	○	○	○
311	カタバミ科	アカカタバミ		○					○	
312	カタバミ科	ウスアカカタバミ		○	○		○			○
313	カタバミ科	ケカタバミ		○						
314	カタバミ科	ムラサキカタバミ	○	○						○
315	カタバミ科	オッタチカタバミ		○	○	○			○	○
316	フウロソウ科	アメリカフウロ			○					
317	フウロソウ科	ゲンノショウコ	○	○	○	○	○	○	○	○
318	トウダイグサ科	エノキグサ	○	○	○	○	○	○	○	○
319	トウダイグサ科	オオニシキソウ	○	○	○	○	○		○	○
320	トウダイグサ科	コニシキソウ	○	○	○	○	○		○	○
321	トウダイグサ科	アカメガシワ	○	○	○	○	○	○	○	○
322	トウダイグサ科	ヒメカンソウ	○		○				○	
323	トウダイグサ科	コミカンソウ								○
324	ミカン科	カラスザンショウ				○	○	○	○	○
325	ミカン科	フユザンショウ							○	
326	ミカン科	サンショウ	○		○		○		○	○
327	ニガキ科	シンジュ	○	○	○	○			○	○
328	ニガキ科	ニガキ					○		○	○
329	センダン科	センダン			○					
330	ドクウツギ科	ドクウツギ	○				○	○	○	○
331	ウルシ科	ツタウルシ					○		○	
332	ウルシ科	ヌルデ	○	○	○	○	○		○	○
333	ウルシ科	ヤマハゼ					○		○	
334	ウルシ科	ヤマウルシ					○			
335	カエデ科	イロハモミジ					○			
336	ツリフネソウ科	キツリフネ					○			
337	ツリフネソウ科	ツリフネソウ	○			○	○		○	
338	モチノキ科	イヌツゲ					○			
339	モチノキ科	アオハダ					○			
340	モチノキ科	ソヨゴ					○		○	
341	ニシキギ科	ツルウメモドキ	○	○	○	○	○	○	○	○
342	ニシキギ科	オニツルウメモドキ		○						
343	ニシキギ科	コマユミ					○		○	○
344	ニシキギ科	ツルマサキ					○		○	
345	ニシキギ科	マサキ		○		○				○
346	ニシキギ科	ツリバナ							○	
347	ニシキギ科	オオツリバナ							○	
348	ニシキギ科	マユミ				○	○			○
349	ミツバウツギ科	ゴンズイ					○			
350	クロウメモドキ科	ケケンポナシ					○	○		
351	ブドウ科	ノブドウ	○	○	○	○	○	○	○	○
352	ブドウ科	キレバノブドウ	○	○		○			○	
353	ブドウ科	ヤブガラシ	○	○	○	○	○	○	○	○
354	ブドウ科	ツタ				○	○		○	○
355	ブドウ科	ヤマブドウ					○			
356	ブドウ科	エビヅル	○	○	○	○	○		○	○
357	ブドウ科	サンカクヅル	○							
358	ブドウ科	ケサンカクヅル					○			
359	シナノキ科	シナノキ								○
360	アオイ科	ムクゲ	○						○	

表 6.8-2(6) 植物確認種リスト

No.	科名	種和名	福井大橋周辺				九頭竜川橋～鳴鹿橋上流			
			H6	H12	H17	H26	H2・3	H3	H5	H16
361	アオギリ科	アオギリ					○			○
362	グミ科	ツルグミ								○
363	グミ科	トウグミ	○	○						
364	グミ科	ナワシログミ						○		
365	グミ科	アキグミ	○	○	○	○	○	○	○	○
366	スマレ科	タチツボスマレ					○			○
367	スマレ科	アオイスミレ								○
368	スマレ科	コスミレ			○					
369	スマレ科	マキノスマレ	○							
370	スマレ科	スマレ	○	○		○	○		○	
371	スマレ科	ヒメスマレ	○							
372	スマレ科	ツボスマレ	○	○	○	○	○	○	○	○
373	スマレ科	シハイスマレ						○		
374	スマレ科	ノジスマレ	○							○
375	ミゾハコベ科	イヌミゾハコベ	○							
376	ウリ科	ゴキツル	○	○		○	○	○	○	○
377	ウリ科	ニホンカボチャ						○		
378	ウリ科	アマチャツル				○	○	○	○	○
379	ウリ科	スズメウリ			○	○	○			○
380	ウリ科	アレチウリ	○	○	○	○	○		○	○
381	ウリ科	カラスウリ			○	○				○
382	ウリ科	キカラスウリ	○		○	○				○
383	ミソハギ科	ヒメミソハギ	○	○					○	
384	ミソハギ科	ミソハギ	○	○	○	○	○		○	○
385	ミソハギ科	キカシグサ	○				○		○	
386	アカバナ科	ミズタマソウ	○			○	○		○	○
387	アカバナ科	アカバナ	○	○						
388	アカバナ科	チョウジタデ	○	○	○	○		○	○	○
389	アカバナ科	メマツヨイグサ	○	○	○	○	○	○	○	○
390	アカバナ科	オオマツヨイグサ	○	○			○	○	○	○
391	アカバナ科	マツヨイグサ					○		○	
392	アリノトウグサ科	アリノトウグサ			○					
393	アリノトウグサ科	ホザキノフサモ	○	○		○				○
394	アリノトウグサ科	フサモ					○	○		
395	ミズキ科	アオキ					○		○	
396	ミズキ科	ヒメアオキ					○		○	○
397	ミズキ科	ミズキ		○					○	
398	ミズキ科	クマノミズキ	○	○	○	○	○		○	○
399	ミズキ科	ハナイカダ					○			
400	ウコギ科	コシアブラ					○			
401	ウコギ科	ウコギ					○			
402	ウコギ科	ヤマウコギ			○	○	○		○	○
403	ウコギ科	ウド					○			
404	ウコギ科	タラノキ	○	○	○		○		○	○
405	ウコギ科	メダラ			○				○	
406	ウコギ科	タカノツメ					○			
407	ウコギ科	ヤツデ					○		○	○
408	ウコギ科	キツタ	○	○		○	○		○	○
409	セリ科	シラネセンキュウ					○			
410	セリ科	シャク	○			○				○
411	セリ科	ツボクサ		○	○		○		○	
412	セリ科	セントウソウ	○			○		○		○
413	セリ科	ミツバ	○	○	○	○	○	○	○	○
414	セリ科	ノチドメ	○	○	○	○	○	○	○	○
415	セリ科	チドメグサ	○				○	○	○	○
416	セリ科	セリ	○	○	○	○	○		○	○
417	セリ科	ヤブニンジン					○		○	○
418	セリ科	ウマノミツバ			○					
419	セリ科	ヤブジラミ	○	○	○	○	○		○	○
420	セリ科	オヤブジラミ	○	○	○	○			○	○
421	バンレイシ科	ポポー								○
422	リョウブ科	リョウブ					○			
423	ツツジ科	ウラジロハナヒリノキ					○			
424	ツツジ科	ネジキ					○			
425	ツツジ科	ヤマツツジ					○			
426	ツツジ科	ホツツジ					○			
427	ツツジ科	アクシバ					○			
428	ツツジ科	ナツハゼ					○			
429	ヤブコウジ科	ヤブコウジ					○			
430	サクラソウ科	オカトラノオ					○		○	○
431	サクラソウ科	ナガエコナスビ	○							
432	サクラソウ科	コナスビ	○		○	○	○			○

定期報告書

6. 生物

表 6.8-2(7) 植物確認種リスト

No.	科名	種和名	福井大橋周辺				九頭竜川橋～鳴鹿橋上流				
			H6	H12	H17	H26	H2・3	H3	H5	H16	
433	カキノキ科	カキノキ		○	○	○	○			○	○
434	カキノキ科	ヤマガキ	○							○	
435	エゴノキ科	エゴノキ					○			○	
436	ハイノキ科	サワフタギ					○				
437	モクセイ科	ヤマトアオダモ						○			
438	モクセイ科	マルバアオダモ					○				
439	モクセイ科	ネズミモチ					○			○	○
440	モクセイ科	トウネズミモチ									○
441	モクセイ科	イボタノキ				○	○			○	○
442	キョウチクトウ科	テイカカズラ					○			○	○
443	キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ			○	○					○
444	ガガイモ科	ガガイモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
445	アカネ科	ヒメヨツバムグラ	○								
446	アカネ科	キクムグラ	○			○		○	○	○	○
447	アカネ科	ヤエムグラ	○	○	○	○	○				○
448	アカネ科	ヨツバムグラ	○			○					
449	アカネ科	ホソバノヨツバムグラ									○
450	アカネ科	オククルマムグラ	○								
451	アカネ科	キバナカワラマツバ					○				
452	アカネ科	カワラマツバ	○				○	○	○	○	○
453	アカネ科	エゾノカワラマツバ		○							
454	アカネ科	チョウセンカワラマツバ	○							○	
455	アカネ科	フタバムグラ		○							
456	アカネ科	ハシカグサ	○			○	○				○
457	アカネ科	ツルアリドオシ					○				
458	アカネ科	ヘクソカズラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
459	アカネ科	アカネ	○	○	○	○					
460	ヒルガオ科	コヒルガオ			○	○	○				
461	ヒルガオ科	ヒルガオ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
462	ヒルガオ科	ハマヒルガオ									○
463	ヒルガオ科	マメダオシ									
464	ヒルガオ科	ネナシカズラ		○	○		○				○
465	ヒルガオ科	アメリカネナシカズラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
466	ヒルガオ科	マルバアサガオ						○			
467	ムラサキ科	ハナイバナ	○	○		○		○	○		
468	ムラサキ科	ノハラムラサキ	○								
469	ムラサキ科	ミズタバコ	○								
470	ムラサキ科	キュウリグサ	○	○	○	○	○			○	○
471	ムラサキ科	ワスレナグサ属									○
472	クマツヅラ科	ムラサキシキブ					○				
473	クマツヅラ科	クサギ		○	○	○	○			○	○
474	クマツヅラ科	ヤナギハナガサ	○	○		○	○			○	○
475	アワゴケ科	アワゴケ								○	
476	シソ科	キランソウ	○				○				
477	シソ科	ククルマバナ	○	○	○	○	○			○	○
478	シソ科	ヤマクルマバナ			○					○	
479	シソ科	トウバナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
480	シソ科	イヌトウバナ			○		○			○	
481	シソ科	ナギナタコウジュ	○					○	○		
482	シソ科	カキドオシ	○	○	○	○	○			○	○
483	シソ科	ホトケノザ			○		○			○	
484	シソ科	オドリコソウ					○				
485	シソ科	ヒメオドリコソウ	○		○	○					○
486	シソ科	メハジキ		○	○	○				○	
487	シソ科	シロネ	○	○	○	○	○			○	○
488	シソ科	ヒメシロネ								○	
489	シソ科	ヒメサルダヒコ					○				○
490	シソ科	コシロネ	○	○		○					○
491	シソ科	ハッカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
492	シソ科	オランダハッカ	○		○			○			
493	シソ科	ヒメジソ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
494	シソ科	イヌコウジュ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
495	シソ科	エゴマ		○							○
496	シソ科	シソ		○							○
497	シソ科	レモンエゴマ			○	○	○			○	○
498	シソ科	チリメンジソ(アオチリメン)			○					○	
499	シソ科	トラノオジソ	○								
500	シソ科	アオジソ								○	
501	シソ科	ハナトラノオ									○
502	シソ科	ウツボグサ		○			○				
503	シソ科	ヒキオコシ					○				
504	シソ科	アキノタムラソウ								○	

表 6.8-2(8) 植物確認種リスト

No.	科名	種和名	福井大橋周辺				九頭竜川橋～鳴鹿橋上流			
			H6	H12	H17	H26	H2・3	H3	H5	H16
505	シソ科	イヌゴマ	○	○	○	○	○	○	○	○
506	シソ科	ニガクサ	○		○				○	○
507	シソ科	ツルニガクサ	○			○				
508	ナス科	クコ	○			○		○	○	
509	ナス科	ホオズキ	○			○				
510	ナス科	ワルナスビ					○			○
511	ナス科	ヒヨドリジョウゴ					○		○	○
512	ナス科	イヌホオズキ	○	○		○				○
513	ナス科	ジャガイモ							○	
514	ゴマノハグサ科	キクモ							○	
515	ゴマノハグサ科	マツバウンラン		○	○		○			
516	ゴマノハグサ科	スズメノトウガラシ	○						○	
517	ゴマノハグサ科	タケトアゼナ								○
518	ゴマノハグサ科	アメリカアゼナ	○	○	○	○	○		○	
519	ゴマノハグサ科	アゼトウガラシ	○						○	
520	ゴマノハグサ科	アゼナ	○	○	○	○		○	○	○
521	ゴマノハグサ科	ムラサキサギゴケ	○			○				
522	ゴマノハグサ科	サギゴケ					○		○	
523	ゴマノハグサ科	ヤマサギゴケ	○							
524	ゴマノハグサ科	トキワハゼ	○	○	○	○	○	○	○	○
525	ゴマノハグサ科	シロバナトキワハゼ	○							
526	ゴマノハグサ科	ミゾホオズキ		○						
527	ゴマノハグサ科	コシオガマ			○	○				
528	ゴマノハグサ科	ビロードモウズイカ	○	○	○	○			○	○
529	ゴマノハグサ科	オオカワヂシャ		○						
530	ゴマノハグサ科	タチヌノフグリ	○	○	○	○	○		○	○
531	ゴマノハグサ科	ムシクサ	○	○	○	○	○			
532	ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ	○	○	○	○	○		○	○
533	ゴマノハグサ科	カワヂシャ	○	○						○
534	ノウゼンカズラ科	キリ	○		○		○		○	○
535	キツネノマゴ科	キツネノマゴ		○				○		○
536	ハエドクソウ科	ハエドクソウ					○			
537	オオバコ科	オオバコ	○	○	○	○	○	○	○	○
538	オオバコ科	ヘラオオバコ	○		○	○	○			○
539	オオバコ科	タチオオバコ		○	○	○				
540	スイカズラ科	ツクバネウツギ					○			
541	スイカズラ科	スイカズラ	○	○	○	○	○		○	○
542	スイカズラ科	ソクズ	○							
543	スイカズラ科	ニワトコ	○	○			○			
544	スイカズラ科	ガマズミ					○			○
545	スイカズラ科	ユバノガマズミ					○			
546	スイカズラ科	ケナシヤブデマリ	○	○		○				
547	スイカズラ科	タニウツギ	○	○	○		○	○	○	○
548	オミナエシ科	オトコエシ	○				○			○
549	オミナエシ科	ノヂシャ	○	○	○	○	○			
550	キキョウ科	ツリガネニンジン							○	
551	キキョウ科	ホタルブクロ							○	
552	キキョウ科	ミゾカクシ		○			○		○	○
553	キキョウ科	キキョウソウ		○	○	○				○
554	キク科	キッコウハグマ					○			
555	キク科	ブタクサ	○	○	○	○	○		○	○
556	キク科	オオブタクサ	○	○	○	○			○	○
557	キク科	カワラハハコ	○	○	○	○	○	○	○	○
558	キク科	カワラヨモギ	○	○	○	○	○	○	○	○
559	キク科	ヒメヨモギ	○					○	○	
560	キク科	ヨモギ	○	○	○	○	○	○	○	○
561	キク科	オトコヨモギ	○	○	○	○	○	○	○	○
562	キク科	キレハオトコヨモギ						○		
563	キク科	イヌヨモギ					○	○	○	
564	キク科	ホソバコンギク	○							
565	キク科	シロヨメナ								○
566	キク科	ノコンギク	○	○	○	○	○	○	○	○
567	キク科	オオホウキギク						○		
568	キク科	キダチコンギク	○	○	○	○				
569	キク科	シラヤマギク					○			
570	キク科	ヒロハホウキギク	○	○	○	○				○
571	キク科	ホウキギク	○	○	○	○	○	○	○	○
572	キク科	ヒナギク		○						
573	キク科	アメリカセンダングサ	○	○	○	○	○	○	○	○
574	キク科	ヤブタバコ					○			
575	キク科	トキンソウ	○	○	○	○	○	○	○	○
576	キク科	フランスギク	○	○	○	○				

表 6.8-2(9) 植物確認種リスト

No.	科名	種和名	福井大橋周辺				九頭竜川橋～鳴鹿橋上流			
			H6	H12	H17	H26	H2・3	H3	H5	H16
577	キク科	ノアザミ	○	○						
578	キク科	アレチノギク				○				○
579	キク科	オオアレチノギク	○	○	○	○	○	○	○	○
580	キク科	オオキンケイギク	○	○	○	○				○
581	キク科	ハルシャギク	○		○	○			○	○
582	キク科	コスモス	○	○	○			○	○	○
583	キク科	キバナコスモス			○					
584	キク科	ベニバナポロギク	○	○	○		○	○	○	○
585	キク科	アメリカタカサブロウ		○	○	○				○
586	キク科	タカサブロウ	○	○	○		○	○	○	○
587	キク科	ダンドポロギク				○	○	○	○	
588	キク科	ヒメムカシヨモギ	○	○	○	○	○	○	○	○
589	キク科	ハルジオン	○	○	○	○	○	○	○	
590	キク科	ヒヨドリバナ					○		○	○
591	キク科	フジバカマ	○	○	○	○	○	○	○	○
592	キク科	サワヒヨドリ					○			
593	キク科	ツワブキ					○			
594	キク科	ハキタメギク	○						○	○
595	キク科	ハハコグサ	○	○	○	○	○		○	○
596	キク科	チチチコグサ								○
597	キク科	チチコグサ	○	○			○			○
598	キク科	チチコグサモドキ							○	
599	キク科	ウスベニチチコグサ	○		○					
600	キク科	キクイモ				○	○		○	
601	キク科	ブタナ	○	○	○	○			○	○
602	キク科	オグルマ			○					
603	キク科	オオデシバリ	○							○
604	キク科	ニガナ	○	○		○			○	○
605	キク科	ハナニガナ	○							
606	キク科	ノニガナ	○				○			
607	キク科	イワニガナ		○	○				○	○
608	キク科	オオユウガギク			○					
609	キク科	ユウガギク	○	○					○	
610	キク科	ヨメナ		○	○	○	○		○	○
611	キク科	アキノノゲシ	○	○	○	○	○	○	○	○
612	キク科	ホソバアキノノゲシ		○	○	○	○		○	○
613	キク科	コオニタビラコ	○				○			
614	キク科	ヤブタビラコ	○		○	○				
615	キク科	フキ	○		○	○	○			○
616	キク科	コウゾリナ	○	○	○	○	○		○	○
617	キク科	オオハンゴンソウ	○				○			
618	キク科	サワギク							○	
619	キク科	ノボロギク	○	○	○	○	○		○	○
620	キク科	コメナモミ		○	○				○	
621	キク科	メナモミ					○		○	
622	キク科	セイタカアワダチソウ	○	○	○	○	○	○	○	○
623	キク科	オオアワダチソウ	○	○	○	○	○		○	○
624	キク科	アキノキリンソウ					○		○	
625	キク科	オニノゲシ	○	○	○		○		○	
626	キク科	ノゲシ	○	○	○	○	○	○	○	○
627	キク科	ヒメジョオン	○	○	○	○	○		○	○
628	キク科	ヘラバヒメジョオン				○				○
629	キク科	シロバナタンポポ	○							
630	キク科	セイヨウタンポポ	○		○	○	○	○	○	○
631	キク科	イガオナモミ			○				○	
632	キク科	オオオナモミ	○	○	○	○	○	○	○	○
633	キク科	オナモミ					○		○	
634	キク科	ヤクシソウ					○		○	
635	キク科	オニタビラコ	○	○	○	○			○	○
636	オモダカ科	ヘラオモダカ					○			
637	オモダカ科	オモダカ					○			
638	トチカガミ科	オオカナダモ							○	
639	トチカガミ科	コカナダモ	○	○	○	○		○	○	○
640	ヒルムシロ科	エビモ		○		○	○		○	
641	ヒルムシロ科	ササバモ		○						
642	ヒルムシロ科	アイノコイトモ		○						
643	ユリ科	ラッキョウ							○	
644	ユリ科	ノビル	○	○	○	○				○
645	ユリ科	アサツキ	○							
646	ユリ科	ニラ							○	
647	ユリ科	ハラン					○			
648	ユリ科	ドイツスズラン	○							

表 6.8-2(10) 植物確認種リスト

No.	科名	種和名	福井大橋周辺				九頭竜川橋～鳴鹿橋上流			
			H6	H12	H17	H26	H2・3	H3	H5	H16
649	ユリ科	ヤブカンゾウ	○	○	○	○	○		○	○
650	ユリ科	ノカンゾウ							○	
651	ユリ科	ササユリ					○			
652	ユリ科	オニユリ		○	○				○	
653	ユリ科	テッポウユリ					○			
654	ユリ科	シンテッポウユリ								○
655	ユリ科	ヤブラン				○	○		○	○
656	ユリ科	ジャノヒゲ			○	○	○			○
657	ユリ科	ナガバジャノヒゲ								○
658	ユリ科	ナルユリ					○			
659	ユリ科	アマドコロ					○			
660	ユリ科	オモト					○			
661	ユリ科	サルトリイバラ					○		○	○
662	ユリ科	タチシオデ					○			
663	ユリ科	シオデ					○		○	
664	ユリ科	ヤマカシュウ							○	
665	ヒガンバナ科	ヒガンバナ	○	○	○	○			○	○
666	ヒガンバナ科	ナツズイセン							○	
667	ヒガンバナ科	ラッパスイセン	○							
668	ヒガンバナ科	スイセン					○			
669	ヒガンバナ科	タマズダレ			○					
670	ヤマノイモ科	ナガイモ			○	○				○
671	ヤマノイモ科	タチドコロ					○			○
672	ヤマノイモ科	ヤマノイモ	○	○	○	○	○		○	○
673	ヤマノイモ科	ヒメドコロ							○	
674	ヤマノイモ科	オニドコロ		○	○		○		○	○
675	ミズアオイ科	コナギ	○	○			○		○	○
676	アヤメ科	グラジオラス							○	
677	アヤメ科	シャガ					○		○	○
678	アヤメ科	キシウブ	○	○	○	○	○	○	○	○
679	アヤメ科	アヤメ			○					
680	アヤメ科	ニワゼキショウ	○	○	○	○				○
681	アヤメ科	ヒメヒオウギズイセン			○				○	○
682	イグサ科	ハナビゼキショウ		○	○	○				
683	イグサ科	ヒメコウガイゼキショウ		○	○	○				○
684	イグサ科	ヒロハノコウガイゼキショウ	○						○	
685	イグサ科	イ	○	○	○	○	○		○	○
686	イグサ科	ドロイ					○			
687	イグサ科	コウガイゼキショウ	○	○	○		○	○	○	○
688	イグサ科	ホソイ			○					
689	イグサ科	クサイ	○	○	○	○	○		○	○
690	イグサ科	スズメノヤリ	○	○	○	○	○		○	○
691	ツユクサ科	ツユクサ	○	○	○	○	○		○	○
692	ツユクサ科	イボクサ	○		○			○	○	○
693	ツユクサ科	ムラサキツユクサ								○
694	ホシクサ科	ホシクサ							○	
695	イネ科	アオカモジグサ		○	○	○	○		○	○
696	イネ科	タチカモジグサ	○				○			
697	イネ科	カモジグサ	○	○	○	○			○	○
698	イネ科	コヌカグサ	○	○	○				○	
699	イネ科	ヤマヌカボ			○					
700	イネ科	ヌカボ	○	○		○			○	○
701	イネ科	クロコヌカグサ	○							
702	イネ科	ハイコヌカグサ	○							
703	イネ科	ヌカススキ			○					
704	イネ科	ハナヌカススキ	○	○	○	○				○
705	イネ科	スズメノテッポウ	○	○	○	○	○	○		○
706	イネ科	メリケンカルカヤ			○	○				○
707	イネ科	ハルガヤ	○							○
708	イネ科	コブナグサ	○	○	○	○	○	○	○	○
709	イネ科	トダシバ	○	○	○	○	○		○	○
710	イネ科	カラスムギ			○		○		○	○
711	イネ科	ミノゴメ	○	○			○			
712	イネ科	ヤマカモジグサ	○	○						
713	イネ科	コバンソウ	○	○	○	○	○		○	○
714	イネ科	ヒメコバンソウ	○	○	○	○			○	○
715	イネ科	イヌムギ	○	○	○	○				○
716	イネ科	スズメノチャヒキ	○	○	○	○				○
717	イネ科	キツネガヤ	○	○	○	○	○		○	○
718	イネ科	ノガリヤス							○	○
719	イネ科	ヤマアワ	○	○	○	○	○		○	○
720	イネ科	ホッスガヤ					○			

定期報告書

6. 生物

表 6.8-2(11) 植物確認種リスト

No.	科名	種和名	福井大橋周辺				九頭竜川橋～鳴鹿橋上流			
			H6	H12	H17	H26	H2・3	H3	H5	H16
721	イネ科	チウセンガリヤス								
722	イネ科	ギョウギシバ	○	○	○	○	○		○	○
723	イネ科	カモガヤ	○	○	○	○				○
724	イネ科	メヒシバ	○	○	○	○	○	○	○	○
725	イネ科	キタメヒシバ	○							
726	イネ科	コメシバ	○					○	○	
727	イネ科	アキメヒシバ	○	○	○	○		○	○	○
728	イネ科	アブラスキ				○			○	
729	イネ科	イヌビエ	○	○	○	○	○	○	○	○
730	イネ科	ケイヌビエ	○	○	○	○	○	○	○	○
731	イネ科	タイヌビエ						○		
732	イネ科	ヒメイヌビエ						○		○
733	イネ科	オヒシバ	○	○	○	○	○	○	○	○
734	イネ科	スズメガヤ					○			
735	イネ科	シナダレスズメガヤ	○	○	○	○	○		○	○
736	イネ科	カゼクサ	○	○	○	○	○	○	○	○
737	イネ科	ニワホコリ	○	○	○		○	○	○	○
738	イネ科	オオニワホコリ							○	○
739	イネ科	コスズメガヤ	○	○	○	○		○	○	○
740	イネ科	ナルコビエ	○	○	○	○	○	○	○	○
741	イネ科	オニウシノケグサ	○	○	○	○	○	○	○	○
742	イネ科	トボシガラ	○		○					○
743	イネ科	ヒロハノウシノケグサ	○	○	○	○	○		○	○
744	イネ科	オオウシノケグサ	○							
745	イネ科	ウキガヤ						○		
746	イネ科	ドジョウツナギ	○	○	○	○				○
747	イネ科	ウシノシッペイ			○		○		○	
748	イネ科	コウボウ	○							
749	イネ科	チガヤ	○	○	○	○	○	○	○	○
750	イネ科	チゴザサ	○	○					○	○
751	イネ科	エゾノサヤヌカグサ	○	○	○	○				○
752	イネ科	サヤヌカグサ	○			○		○	○	○
753	イネ科	ネズミムギ	○	○	○	○			○	○
754	イネ科	ホソムギ	○	○		○			○	○
755	イネ科	コメガヤ								○
756	イネ科	ササガヤ				○			○	○
757	イネ科	ヒメアシボソ	○	○	○	○	○		○	○
758	イネ科	アシボソ	○	○	○	○	○	○	○	○
759	イネ科	ハチジョウススキ					○			
760	イネ科	トキワススキ	○							
761	イネ科	オギ	○	○	○	○	○	○	○	○
762	イネ科	ススキ	○	○	○	○	○	○	○	○
763	イネ科	ケチヂミザサ				○	○			○
764	イネ科	コチヂミザサ	○						○	○
765	イネ科	ヌカキビ	○	○	○	○	○	○	○	○
766	イネ科	オオクサキビ	○	○	○	○	○		○	○
767	イネ科	シマスズメノヒエ			○				○	
768	イネ科	スズメノヒエ	○	○	○	○	○		○	○
769	イネ科	チカラシバ	○	○	○	○	○		○	○
770	イネ科	アオチカラシバ		○						
771	イネ科	クサヨシ	○	○	○	○	○	○	○	○
772	イネ科	オオアワガエリ					○			
773	イネ科	ヨシ	○	○	○	○	○		○	○
774	イネ科	ツルヨシ	○	○	○	○	○	○	○	○
775	イネ科	セイタカヨシ		○						
776	イネ科	マダケ					○			○
777	イネ科	ハチク						○	○	
778	イネ科	モウソウチク					○			
779	イネ科	ネザサ	○	○	○	○			○	○
780	イネ科	ケネザサ					○			
781	イネ科	メダケ			○	○	○		○	○
782	イネ科	ミゾイチゴツナギ	○			○				
783	イネ科	スズメノカタビラ			○	○	○	○	○	○
784	イネ科	ツルスズメノカタビラ	○	○						
785	イネ科	オオイチゴツナギ	○							
786	イネ科	イチゴツナギ	○	○	○		○			○
787	イネ科	オオスズメノカタビラ	○	○	○	○				○
788	イネ科	タマオオスズメノカタビラ			○					
789	イネ科	ヒエガエリ	○	○	○	○			○	○
790	イネ科	ヤダケ								○
791	イネ科	ヌメリグサ								○
792	イネ科	フゲシザサ		○						

表 6.8-2(12) 植物確認種リスト

No.	科名	種和名	福井大橋周辺				九頭竜川橋～鳴鹿橋上流			
			H6	H12	H17	H26	H2・3	H3	H5	H16
793	イネ科	チマキザサ	○	○	○	○	○		○	○
794	イネ科	イヌアワ	○	○	○	○			○	○
795	イネ科	アキノエノログサ	○	○	○	○	○	○	○	○
796	イネ科	コツブキンエノコロ	○	○	○	○			○	○
797	イネ科	キンエノコロ	○	○	○		○	○	○	○
798	イネ科	エノログサ	○			○	○	○	○	○
799	イネ科	ムラサキエノコロ	○	○	○		○		○	○
800	イネ科	オオエノコロ							○	
801	イネ科	セイバンモロコシ								○
802	イネ科	ミヤマアブラスキ							○	○
803	イネ科	ネズミノオ		○				○		○
804	イネ科	カニツリグサ	○	○	○	○				○
805	イネ科	ナギナタガヤ	○	○	○	○			○	○
806	イネ科	マコモ	○	○		○	○	○	○	○
807	イネ科	シバ	○	○	○	○	○		○	○
808	イネ科	コウライシバ							○	
809	ヤシ科	シュロ		○			○		○	○
810	サトイモ科	ショウブ					○		○	○
811	サトイモ科	セキショウ	○						○	○
812	サトイモ科	サトイモ				○			○	
813	サトイモ科	カラスビシャク			○	○			○	
814	ウキクサ科	アオウキクサ								○
815	ウキクサ科	コウキクサ				○			○	
816	ウキクサ科	ウキクサ		○		○				○
817	ミクリ科	ミクリ		○		○	○			○
818	ガマ科	ヒメガマ	○		○	○	○	○	○	○
819	ガマ科	ガマ						○	○	○
820	ガマ科	コガマ							○	
821	カヤツリグサ科	エナシヒゴクサ	○			○				
822	カヤツリグサ科	クロカワズスゲ	○		○					
823	カヤツリグサ科	アゼナルコ			○					
824	カヤツリグサ科	カサスゲ			○					
825	カヤツリグサ科	シラスゲ	○			○				
826	カヤツリグサ科	ヒロードスゲ	○	○	○	○			○	
827	カヤツリグサ科	ハマアオスゲ	○							
828	カヤツリグサ科	タニガワスゲ	○							
829	カヤツリグサ科	マスクサ	○		○	○	○			○
830	カヤツリグサ科	ヤマアゼスゲ	○		○					
831	カヤツリグサ科	アイズスゲ	○							
832	カヤツリグサ科	ジュズスゲ	○			○			○	
833	カヤツリグサ科	ヒゴクサ	○			○				
834	カヤツリグサ科	ナキリスゲ		○			○		○	○
835	カヤツリグサ科	アオスゲ	○	○	○	○				○
836	カヤツリグサ科	シバスゲ	○		○					
837	カヤツリグサ科	コジュズスゲ	○							
838	カヤツリグサ科	キンキカサスゲ	○	○						
839	カヤツリグサ科	アオゴウソ		○						
840	カヤツリグサ科	イトアオスゲ	○							
841	カヤツリグサ科	コウボウシバ		○						
842	カヤツリグサ科	シオクグ		○						
843	カヤツリグサ科	アズマナルコ	○							
844	カヤツリグサ科	ニシノホンモンジスゲ	○			○		○		○
845	カヤツリグサ科	アゼスゲ	○			○				
846	カヤツリグサ科	ヤワラスゲ	○		○	○				
847	カヤツリグサ科	チャガヤツリ	○	○	○	○				○
848	カヤツリグサ科	アイダクグ			○					
849	カヤツリグサ科	ヒメクグ	○	○	○	○	○		○	○
850	カヤツリグサ科	クグガヤツリ						○		
851	カヤツリグサ科	イヌクグ							○	
852	カヤツリグサ科	タマガヤツリ	○	○	○	○	○	○	○	○
853	カヤツリグサ科	メリケンガヤツリ		○		○				
854	カヤツリグサ科	ヒナガヤツリ	○		○				○	○
855	カヤツリグサ科	アゼガヤツリ	○					○	○	○
856	カヤツリグサ科	コアゼガヤツリ	○							
857	カヤツリグサ科	コゴメガヤツリ	○	○	○	○	○	○	○	○
858	カヤツリグサ科	カヤツリグサ	○	○	○	○	○	○	○	○
859	カヤツリグサ科	アオガヤツリ	○							
860	カヤツリグサ科	ウシクグ	○	○				○	○	○
861	カヤツリグサ科	シロガヤツリ	○							
862	カヤツリグサ科	カワラスガナ	○					○	○	○
863	カヤツリグサ科	ミズガヤツリ						○		
864	カヤツリグサ科	ヒメガヤツリ		○						

表 6.8-2(13) 植物確認種リスト

No.	科名	種和名	福井大橋周辺				九頭竜川橋～鳴鹿橋上流			
			H6	H12	H17	H26	H2・3	H3	H5	H16
865	カヤツリグサ科	マツバイ	○				○	○	○	
866	カヤツリグサ科	ハリイ	○				○			
867	カヤツリグサ科	ヒメヒラテンツキ	○						○	○
868	カヤツリグサ科	テンツキ				○	○		○	
869	カヤツリグサ科	クロテンツキ	○			○				
870	カヤツリグサ科	ヒデリコ	○		○	○		○	○	○
871	カヤツリグサ科	アゼテンツキ						○		
872	カヤツリグサ科	ヒンジガヤツリ							○	
873	カヤツリグサ科	ホタルイ							○	
874	カヤツリグサ科	イヌホタルイ	○		○					○
875	カヤツリグサ科	カンガレイ	○						○	
876	カヤツリグサ科	サンカクイ	○	○	○		○	○	○	○
877	カヤツリグサ科	タイワンヤマイ	○							
878	カヤツリグサ科	アブラガヤ							○	○
879	カヤツリグサ科	スゲ属								○
880	シウガ科	ハナミョウガ					○			
881	シウガ科	シウガ					○			
882	ラン科	サイハイラン		○						
883	ラン科	シュンラン					○			
884	ラン科	ネジバナ			○					○
合計			447	368	366	370	467	186	485	465

注1) 種名、学名、配列等は原則として平成15年度河川水辺の国勢調査の種リストに従った。H26度成果を追記した。

注2) 平成3年度鳴鹿大堰環境調査業務報告書は九頭竜川中流域環境調査業務報告書に春季の調査を加えて補完しているため、まとめて取り扱った。

注3) 平成2、3年度に記録されていたウンゼンザサ及び平成6年度に記録されていたシロバナコンギクは、参考資料等に記載がなく削除した。

注4) 調査範囲

H2・3: 距離標25.5km付近～31km付近

H3: 距離標29km付近～31km付近

H5: 距離標27.4km～32.2km

H6: 距離標22.5km～23.5km

H12: 距離標22.5～23.5km付近

H16: 距離標25.6～31.8km

H26: 九九福F3(福井大橋付近: 右岸22.5k～23.5k)、九九福F4(福井大橋付近: 左岸22.5k～23.5k)

出典) H2・3: 「九頭竜川中流域環境調査業務報告書」アジア航測(株)、

「平成3年度鳴鹿大堰環境調査業務報告書」(財)ダム水源地環境整備センター

H3: 「平成3年度九頭竜川中流域水生生物調査(その2)作業報告書」財団法人北陸公衆衛生研究所

H5: 「平成5年度九頭竜川中流域植物調査業務報告書」アジア航測(株)

H6: 「平成6年度九頭竜川水植物調査報告書(河川水辺の国勢調査)」(財)北陸公衆衛生研究所

H12: 「平成12年度河川水辺生物調査業務(九頭竜川水系植物調査)報告書」アジア航測株式会社

H16: 「平成16年度九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務報告書」株式会社ウエスコ

H26: 「九頭竜川河川水辺現地調査(植物)他業務報告書」株式会社建設環境研究所

表 6.8-3(1) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭電川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近	
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30
1	クモ目	ジグモ科	ジグモ			●					●	●				
2	クモ目	マシラグモ科	ヨコフマシラグモ	●												
3	クモ目	ユウレイグモ科	イエユウレイグモ											●		
4	クモ目	ウスグモ科	ヤマウスグモ											●		
5	クモ目	ヒメグモ科	ヤマトコノハグモ		●											
-	クモ目	ヒメグモ科	Enoplognatha属											●		
6	クモ目	ヒメグモ科	ハイロヒメグモ											●		
7	クモ目	ヒメグモ科	オオツリガネヒメグモ											●		
8	クモ目	ヒメグモ科	オオヒメグモ											●		
9	クモ目	ヒメグモ科	ハンゲツオスナキグモ	●		●										
10	クモ目	ヒメグモ科	スネグロオチハヒメグモ					●				●		●		●
11	クモ目	ヒメグモ科	ムネグロヒメグモ						●					●		
12	クモ目	ヒメグモ科	ボカシミングモ		●									●		
-	クモ目	ヒメグモ科	ヒメグモ科									●				●
13	クモ目	ツツグモ科	Mysmenella属									●		●		
14	クモ目	サラグモ科	ハラシロムナキグモ						●					●		
15	クモ目	サラグモ科	ノコギリヒザグモ					●						●		
16	クモ目	サラグモ科	ニセアカムネグモ	●										●		
17	クモ目	サラグモ科	Gonyldioides属					●						●		
18	クモ目	サラグモ科	クロナシキングモ			●	●	●						●		
19	クモ目	サラグモ科	ヘリシロサラグモ					●						●		
20	クモ目	サラグモ科	セスジアカムネグモ		●									●		
-	クモ目	サラグモ科	サラグモ科					●						●		
21	クモ目	アシナガグモ科	コシロカネグモ						●					●		
22	クモ目	アシナガグモ科	キララシロカネグモ											●		
23	クモ目	アシナガグモ科	メガネドヨウグモ											●		
24	クモ目	アシナガグモ科	ジョウグモ	●		●	●	●				●		●		●
25	クモ目	アシナガグモ科	ヨツボシヒメアシナガグモ											●		
26	クモ目	アシナガグモ科	ヒメアシナガグモ											●		
27	クモ目	アシナガグモ科	トリアシナガグモ		●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
28	クモ目	アシナガグモ科	ヤサガアシナガグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
29	クモ目	アシナガグモ科	アシナガグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
30	クモ目	アシナガグモ科	ウロコアシナガグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
31	クモ目	アシナガグモ科	シクアアシナガグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
-	クモ目	アシナガグモ科	Tetraenatha属					●				●		●		●
32	クモ目	コガネグモ科	ハツリグモ											●		
33	クモ目	コガネグモ科	ヤミイロオニグモ		●	●								●		
34	クモ目	コガネグモ科	ビジョウニグモ					●						●		
35	クモ目	コガネグモ科	ヤマオニグモ	●					●					●		
36	クモ目	コガネグモ科	オニグモ			●	●	●						●		●
-	クモ目	コガネグモ科	Araneus属										●			●
37	クモ目	コガネグモ科	ムツボシオニグモ	●	●				●	●				●		
-	クモ目	コガネグモ科	Araniella属											●		●
38	クモ目	コガネグモ科	コガネグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
39	クモ目	コガネグモ科	ナガコガネグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
40	クモ目	コガネグモ科	コガネタコガネグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
41	クモ目	コガネグモ科	カラスゴミグモ						●					●		
42	クモ目	コガネグモ科	ゴミグモ			●	●	●						●		●
43	クモ目	コガネグモ科	キザハシオニグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
44	クモ目	コガネグモ科	ヨツボシジョウグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
45	クモ目	コガネグモ科	コガネグモダマシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
46	クモ目	コガネグモ科	ナカムラオニグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
47	クモ目	コガネグモ科	ドヨウオニグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
48	クモ目	コガネグモ科	コゲチャオニグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
49	クモ目	コガネグモ科	ヤマシロオニグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
50	クモ目	コガネグモ科	ホシスジオニグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
51	クモ目	コガネグモ科	ズグロオニグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
-	クモ目	コガネグモ科	コガネグモ科											●		●
52	クモ目	コモリグモ科	ハタチコモリグモ											●		●
53	クモ目	コモリグモ科	エビチヤコモリグモ				●							●		●
54	クモ目	コモリグモ科	クロコモリグモ											●		●
-	クモ目	コモリグモ科	Arctosa属											●		●
55	クモ目	コモリグモ科	ハラクロコモリグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
56	クモ目	コモリグモ科	スズキコモリグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
57	クモ目	コモリグモ科	イナダハリグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
58	クモ目	コモリグモ科	ウツキコモリグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
59	クモ目	コモリグモ科	ヤマハリグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
60	クモ目	コモリグモ科	イサコモリグモ									●		●		●
61	クモ目	コモリグモ科	ハリグモ		●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
62	クモ目	コモリグモ科	キクツキコモリグモ		●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
63	クモ目	コモリグモ科	キンベコモリグモ									●		●		●
-	クモ目	コモリグモ科	Pardosa属											●		●
64	クモ目	コモリグモ科	クラークコモリグモ											●		●
65	クモ目	コモリグモ科	ミナミコモリグモ											●		●
66	クモ目	コモリグモ科	イモコモリグモ											●		●
67	クモ目	コモリグモ科	チビコモリグモ											●		●
-	クモ目	コモリグモ科	Pirata属					●						●		●
68	クモ目	コモリグモ科	ヒノマルコモリグモ						●	●	●	●		●		●
69	クモ目	コモリグモ科	アライトコモリグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
-	クモ目	コモリグモ科	コモリグモ科											●		●
70	クモ目	キシダグモ科	スジフトハリグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
71	クモ目	キシダグモ科	スジアカハリグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
72	クモ目	キシダグモ科	イトウイロハリグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
73	クモ目	キシダグモ科	アズマキシダグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
74	クモ目	ササグモ科	ササグモ		●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
75	クモ目	シボグモ科	シボグモ		●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
76	クモ目	タナグモ科	クサグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
77	クモ目	タナグモ科	コクサグモ								●	●		●		●
78	クモ目	ハグモ科	アシハグモ									●		●		●
79	クモ目	ハグモ科	ネコハグモ		●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
80	クモ目	ガケジグモ科	クロヤチグモ											●		●
81	クモ目	ガケジグモ科	メガネヤチグモ	●										●		●
82	クモ目	ガケジグモ科	セスジガケジグモ			●	●	●	●	●	●	●		●		●
83	クモ目	ヤマトガケジグモ科	ヤマトガケジグモ		●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
84	クモ目	ウエムラグモ科	ミヤマタンボグモ			●	●	●	●	●	●	●		●		●
85	クモ目	ウエムラグモ科	イタチグモ											●		●
86	クモ目	ウエムラグモ科	オトヒメグモ											●		●
87	クモ目	フクログモ科	アカスジヨマチグモ							●	●	●		●		●
88	クモ目	フクログモ科	カバキヨマチグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
89	クモ目	フクログモ科	ヤマトヨマチグモ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
90	クモ目	フクログモ科	ミチノクフクログモ											●		●

定期報告書

6. 生物

表 6.8-3(2) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近		
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30	
91	クモ目	フクログモ科	ヤマトフクログモ			●											
92	クモ目	フクログモ科	ハマキフクログモ		●					●	●						
93	クモ目	フクログモ科	ヤハズフクログモ					●									
94	クモ目	フクログモ科	ヒメフクログモ		●	●				●							
95	クモ目	フクログモ科	ムナアカフクログモ		●	●	●			●	●						
-	クモ目	フクログモ科	Clubiona属					●				●					●
-	クモ目	フクログモ科	フクログモ科					●									●
96	クモ目	ワシグモ科	チャクワシグモ							●							
97	クモ目	ワシグモ科	トラフワシグモ							●							
98	クモ目	ワシグモ科	カワラメキリグモ				●										
99	クモ目	ワシグモ科	メキリグモ				●			●							
100	クモ目	ワシグモ科	ヨツボシワシグモ							●							
101	クモ目	ワシグモ科	クロチャケムリグモ							●							
102	クモ目	ワシグモ科	クロケムリグモ				●										●
-	クモ目	ワシグモ科	ワシグモ科														●
103	クモ目	アシダカグモ科	アシダカグモ														●
104	クモ目	エビグモ科	コガネエビグモ	●			●			●	●						●
105	クモ目	エビグモ科	キンイロエビグモ	●	●		●			●	●						●
106	クモ目	エビグモ科	シロエビグモ	●						●							●
107	クモ目	エビグモ科	アサヒエビグモ		●					●							●
108	クモ目	エビグモ科	ヤドカリグモ														●
109	クモ目	エビグモ科	ヤマトヤドカリグモ		●	●	●			●	●						●
110	クモ目	エビグモ科	シャコグモ														●
111	クモ目	カニグモ科	キハダカニグモ								●	●					●
112	クモ目	カニグモ科	コハナグモ							●	●						●
113	クモ目	カニグモ科	ハナグモ	●	●	●	●	●		●	●						●
114	クモ目	カニグモ科	アマギエビグモ							●	●						●
115	クモ目	カニグモ科	ウカバグモ					●		●							●
116	クモ目	カニグモ科	マツモトオチバカニグモ					●		●							●
117	クモ目	カニグモ科	フノジグモ							●	●						●
118	クモ目	カニグモ科	セマルトラフカニグモ														●
119	クモ目	カニグモ科	ホシクロボシカニグモ	●	●												●
120	クモ目	カニグモ科	ヤミイロカニグモ	●	●												●
121	クモ目	カニグモ科	チュウカカニグモ								●	●					●
122	クモ目	カニグモ科	クロボシカニグモ							●							●
123	クモ目	カニグモ科	ソウシキカニグモ	●	●	●				●	●						●
124	クモ目	カニグモ科	ヨコフカニグモ														●
-	クモ目	カニグモ科	Xysticus属														●
-	クモ目	カニグモ科	カニグモ科														●
125	クモ目	ハエトリグモ科	マツモトハエトリ														●
126	クモ目	ハエトリグモ科	ネコハエトリ	●	●	●	●	●		●	●	●					●
127	クモ目	ハエトリグモ科	カタオカハエトリ							●	●	●					●
128	クモ目	ハエトリグモ科	マミジロハエトリ	●	●	●	●	●		●	●	●					●
129	クモ目	ハエトリグモ科	マミクロハエトリ							●	●	●					●
130	クモ目	ハエトリグモ科	ホオジロハエトリ	●													●
131	クモ目	ハエトリグモ科	アダンソンハエトリ							●							●
132	クモ目	ハエトリグモ科	タノハハエトリ								●						●
133	クモ目	ハエトリグモ科	ウスリーハエトリ							●	●						●
-	クモ目	ハエトリグモ科	Heliophanus属														●
134	クモ目	ハエトリグモ科	オスクロハエトリ	●	●	●	●	●		●	●						●
135	クモ目	ハエトリグモ科	ヤハズハエトリ	●	●	●	●	●		●	●						●
-	クモ目	ハエトリグモ科	Mendoza属														●
136	クモ目	ハエトリグモ科	シラヒゲハエトリ														●
137	クモ目	ハエトリグモ科	タイリクアリグモ														●
138	クモ目	ハエトリグモ科	ヤサアリグモ	●													●
139	クモ目	ハエトリグモ科	アリグモ	●	●	●	●	●		●	●	●					●
140	クモ目	ハエトリグモ科	クワガタアリグモ														●
141	クモ目	ハエトリグモ科	アシトハエトリ														●
142	クモ目	ハエトリグモ科	チャイロアサヒハエトリ							●							●
143	クモ目	ハエトリグモ科	マダネアサヒハエトリ	●	●	●	●	●									●
144	クモ目	ハエトリグモ科	キアソハエトリ	●													●
145	クモ目	ハエトリグモ科	マダネアサヒハエトリ	●	●	●	●	●									●
146	クモ目	ハエトリグモ科	ミスジハエトリ							●	●						●
147	クモ目	ハエトリグモ科	デーニツハエトリ														●
148	クモ目	ハエトリグモ科	ミスジハエトリ														●
149	クモ目	ハエトリグモ科	イナヅマハエトリ		●	●	●	●									●
150	クモ目	ハエトリグモ科	ヒメカラスハエトリ														●
151	クモ目	ハエトリグモ科	カラスハエトリ				●	●			●						●
152	クモ目	ハエトリグモ科	クロツヤハエトリ														●
153	クモ目	ハエトリグモ科	キレワハエトリ														●
154	クモ目	ハエトリグモ科	アオビハエトリ		●	●	●	●		●	●						●
155	クモ目	ハエトリグモ科	Sitticus属														●
156	クモ目	ハエトリグモ科	ウスジハエトリ		●												●
-	クモ目	ハエトリグモ科	ハエトリグモ科														●
157	カゲロウ目(蜉蝣目)	カワカゲロウ科	キイロカワカゲロウ				●	●		●	●						●
158	カゲロウ目(蜉蝣目)	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ														●
159	カゲロウ目(蜉蝣目)	モンカゲロウ科	トウヨウモンカゲロウ														●
160	カゲロウ目(蜉蝣目)	モンカゲロウ科	モンカゲロウ		●	●	●	●		●	●						●
161	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	Ephemerella属														●
-	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	マダラカゲロウ科														●
162	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属														●
163	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ														●
164	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	Baetis属														●
165	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバカゲロウ														●
-	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	コカゲロウ科														●
166	カゲロウ目(蜉蝣目)	フタバカゲロウ科	フタバカゲロウ科														●
167	カゲロウ目(蜉蝣目)	チラカゲロウ科	チラカゲロウ	●						●	●	●					●
168	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ		●	●	●	●		●	●	●					●
169	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒラタカゲロウ科	ウエノヒラタカゲロウ														●
170	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ							●	●	●					●
171	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ		●	●	●	●		●	●	●					●
172	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒラタカゲロウ科	タチヤマヒメヒラタカゲロウ														●
-	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ科														●
173	トンボ目(蜻蛉目)	アオイトトンボ科	ホソオイトトンボ														●
174	トンボ目(蜻蛉目)	アオイトトンボ科	アオイトトンボ														●
175	トンボ目(蜻蛉目)	アオイトトンボ科	オオアオイトトンボ		●												●
176	トンボ目(蜻蛉目)	イトトンボ科	アジアイトトンボ							●	●	●					●
177	トンボ目(蜻蛉目)	イトトンボ科	アオモンイトトンボ							●	●	●					●
178	トンボ目(蜻蛉目)	イトトンボ科	モートンイトトンボ							●	●	●					●
179	トンボ目(蜻蛉目)	イトトンボ科	クロイトトンボ	●													●
180	トンボ目(蜻蛉目)	イトトンボ科	セスジイトトンボ				●										●

表 6.8-3(3) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近	
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30
181	トンボ目(蜻蛉目)	カワトンボ科	ハグロトンボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
182	トンボ目(蜻蛉目)	カワトンボ科	アサヒカワトンボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
183	トンボ目(蜻蛉目)	ヤンマ科	マルタンヤンマ													
184	トンボ目(蜻蛉目)	ヤンマ科	ギンヤンマ			●	●	●		●						
185	トンボ目(蜻蛉目)	ヤンマ科	コンボソヤンマ						●							
186	トンボ目(蜻蛉目)	サナエトンボ科	ダビドサナエ				●	●							●	●
187	トンボ目(蜻蛉目)	サナエトンボ科	オニヤンマ					●		●						
188	トンボ目(蜻蛉目)	オニヤンマ科	オニヤンマ				●	●						●		
189	トンボ目(蜻蛉目)	エトトンボ科	コヤマトンボ			●			●						●	●
-	トンボ目(蜻蛉目)	エトトンボ科	エトトンボ科													●
190	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	シヨウジョウトンボ											●	●	
191	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	ハラビロトンボ							●				●	●	
192	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	シオカラトンボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
193	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	シオヤトンボ											●	●	
194	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	オオシオカラトンボ							●				●	●	
195	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	ウスバキトンボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
196	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	コシアキトンボ			●	●	●		●				●	●	
197	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	チョウトンボ				●	●								
198	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	コシメトンボ							●						
199	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	ナツアカネ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
200	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	マユタテアカネ				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
201	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	アキアカネ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
202	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	ノシメトンボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
203	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	マイコアカネ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
204	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	ミヤマアカネ							●	●	●	●	●	●	●
205	ゴキブリ目(網翅目)	ゴキブリ科	クロゴキブリ				●	●							●	●
206	ゴキブリ目(網翅目)	チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ			●	●	●	●					●		
-	ゴキブリ目(網翅目)	チャバネゴキブリ科	チャバネゴキブリ科					●								
207	カマキリ目(蟷螂目)	ヒメカマキリ科	ヒメカマキリ												●	●
208	カマキリ目(蟷螂目)	カマキリ科	ヒナカマキリ													●
209	カマキリ目(蟷螂目)	カマキリ科	ハラビロカマキリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
210	カマキリ目(蟷螂目)	カマキリ科	ウスバカマキリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
211	カマキリ目(蟷螂目)	カマキリ科	コカマキリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
212	カマキリ目(蟷螂目)	カマキリ科	チョウセンカマキリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
213	カマキリ目(蟷螂目)	カマキリ科	オオカマキリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-	カマキリ目(蟷螂目)	カマキリ科	Tenodera属				●	●								
214	ハサミムシ目(革翅目)	マルムネハサミムシ科	ヒゲジロハサミムシ						●					●	●	●
215	ハサミムシ目(革翅目)	マルムネハサミムシ科	コバネハサミムシ											●	●	●
216	ハサミムシ目(革翅目)	マルムネハサミムシ科	コヒゲジロハサミムシ											●	●	●
217	ハサミムシ目(革翅目)	マルムネハサミムシ科	ハマヘハサミムシ											●	●	●
218	ハサミムシ目(革翅目)	クギヌキハサミムシ科	クギヌキハサミムシ			●	●	●	●					●	●	●
219	ハサミムシ目(革翅目)	オオハサミムシ科	オオハサミムシ							●				●	●	●
220	カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ					●						●	●	●
221	カワゲラ目(セキ翅目)	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ					●						●	●	●
222	カワゲラ目(セキ翅目)	カワゲラ科	カニムラカワゲラ			●	●	●	●					●	●	●
-	カワゲラ目(セキ翅目)	カワゲラ科	Kamimuria属											●	●	●
223	カワゲラ目(セキ翅目)	カワゲラ科	Neoperla属											●	●	●
-	カワゲラ目(セキ翅目)	カワゲラ科	カワゲラ科											●	●	●
224	カワゲラ目(セキ翅目)	アミメカワゲラ科	Stavsolus属											●	●	●
225	バッタ目(直翅目)	コロギス科	ハネナシコロギス						●							
226	バッタ目(直翅目)	コロギス科	コロギス											●	●	●
227	バッタ目(直翅目)	ツユムシ科	セスジツユムシ											●	●	●
228	バッタ目(直翅目)	ツユムシ科	サトクダマキモドキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
229	バッタ目(直翅目)	ツユムシ科	エノツユムシ											●	●	●
230	バッタ目(直翅目)	ツユムシ科	ツユムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
231	バッタ目(直翅目)	ツユムシ科	アシシロツユムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
232	バッタ目(直翅目)	ツユムシ科	ヘリグロツユムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-	バッタ目(直翅目)	ツユムシ科	ツユムシ科											●	●	●
233	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	コバネヒメギス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
234	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	ウスイロササキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
235	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	オナガササキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
236	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	ホシササキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
237	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	ササキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	Gonocephalus属											●	●	●
238	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	ヒメギス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
239	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	クビキリギリス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
240	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	ヒガシキリギリス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
241	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	ハヤシノウマオイ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
242	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	ハタケノウマオイ							●	●	●	●	●	●	●
243	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	カヤキリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
244	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	クサキリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
245	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	ヤブキリ							●	●	●	●	●	●	●
-	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	キリギリス科											●	●	●
246	バッタ目(直翅目)	ケラ科	ケラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
247	バッタ目(直翅目)	マツムシ科	スズムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
248	バッタ目(直翅目)	マツムシ科	カンタン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-	バッタ目(直翅目)	マツムシ科	Oecanthus属											●	●	●
249	バッタ目(直翅目)	マツムシ科	アオマツムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
250	バッタ目(直翅目)	マツムシ科	マツムシ											●	●	●
251	バッタ目(直翅目)	コオロギ科	ハラオカメコオロギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
252	バッタ目(直翅目)	コオロギ科	ミツカドコオロギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-	バッタ目(直翅目)	コオロギ科	Loxoblemmus属											●	●	●
253	バッタ目(直翅目)	コオロギ科	クマコオロギ						●							
254	バッタ目(直翅目)	コオロギ科	タンボコオロギ											●	●	●
255	バッタ目(直翅目)	コオロギ科	クマズムシ											●	●	●
256	バッタ目(直翅目)	コオロギ科	エンマコオロギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
257	バッタ目(直翅目)	コオロギ科	ツツレサセコオロギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-	バッタ目(直翅目)	コオロギ科	コオロギ科											●	●	●
258	バッタ目(直翅目)	カネタタキ科	カネタタキ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
259	バッタ目(直翅目)	アリツカコオロギ科	アリツカコオロギ							●	●	●	●	●	●	●
260	バッタ目(直翅目)	ヒバリモドキ科	カワラス							●	●	●	●	●	●	●
261	バッタ目(直翅目)	ヒバリモドキ科	マダラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
262	バッタ目(直翅目)	ヒバリモドキ科	ヒゲシロズ							●	●	●	●	●	●	●
263	バッタ目(直翅目)	ヒバリモドキ科	シバズ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
264	バッタ目(直翅目)	ヒバリモドキ科	ヤチズ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
265	バッタ目(直翅目)	ヒバリモドキ科	エソズ							●	●	●	●	●	●	●
266	バッタ目(直翅目)	ヒバリモドキ科	クサヒバリ							●	●	●	●	●	●	●
267	バッタ目(直翅目)	ヒバリモドキ科	キアシヒバリモドキ											●	●	●
-	バッタ目(直翅目)	ヒバリモドキ科	ヒバリモドキ科											●	●	●
268	バッタ目(直翅目)	バッタ科	ショウリウバッタ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
269	バッタ目(直翅目)	バッタ科	マダラバッタ							●	●	●	●	●	●	●
270	バッタ目(直翅目)	バッタ科	クルマバッタ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

定期報告書

6. 生物

表 6.8-3(4) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近	
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30
271	バッタ目(直翅目)	バッタ科	ヒナバッタ	●	●	●			●	●			●	●		
272	バッタ目(直翅目)	バッタ科	シヨウリョウバッタモドキ										●			
273	バッタ目(直翅目)	バッタ科	トノサマバッタ		●			●	●				●	●	●	●
274	バッタ目(直翅目)	バッタ科	イナゴモドキ			●			●	●						
275	バッタ目(直翅目)	バッタ科	ナキイナゴ										●	●		
276	バッタ目(直翅目)	バッタ科	カルマバッタモドキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
277	バッタ目(直翅目)	バッタ科	ヒロハネヒナバッタ		●		●		●	●			●	●		
278	バッタ目(直翅目)	バッタ科	ツマグロバッタ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
279	バッタ目(直翅目)	バッタ科	イボバッタ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-	バッタ目(直翅目)	バッタ科	バッタ科			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
280	バッタ目(直翅目)	イナゴ科	コバネイナゴ		●		●	●	●	●	●	●	●	●		
281	バッタ目(直翅目)	イナゴ科	セグロイナゴ			●	●	●	●	●	●	●	●	●		
-	バッタ目(直翅目)	イナゴ科	イナゴ科			●	●	●	●	●	●	●	●	●		
282	バッタ目(直翅目)	オンブバッタ科	オンブバッタ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-	バッタ目(直翅目)	オンブバッタ科	Attractomorpha属			●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
283	バッタ目(直翅目)	ヒシバッタ科	トグヒシバッタ				●			●						
284	バッタ目(直翅目)	ヒシバッタ科	ハネナガヒシバッタ	●	●	●			●	●				●	●	●
285	バッタ目(直翅目)	ヒシバッタ科	コバネヒシバッタ	●	●									●	●	●
286	バッタ目(直翅目)	ヒシバッタ科	ハラヒシバッタ	●	●	●	●		●	●			●	●	●	●
287	バッタ目(直翅目)	ヒシバッタ科	ヤセヒシバッタ										●	●		
288	バッタ目(直翅目)	ヒシバッタ科	ヒメヒシバッタ										●	●		
289	バッタ目(直翅目)	ノミバッタ科	ノミバッタ	●	●		●						●	●		
290	ナナフシ目(竹節虫目)	ナナフシ科	エダナナフシ							●						
291	カメムシ目(半翅目)	ヒシウンカ科	キガシラヒシウンカ							●						
292	カメムシ目(半翅目)	ヒシウンカ科	オオヒシウンカ											●		
293	カメムシ目(半翅目)	ヒシウンカ科	ヒシウンカ	●						●					●	
294	カメムシ目(半翅目)	ヒシウンカ科	ヨスジヒシウンカ							●				●		
295	カメムシ目(半翅目)	ウンカ科	ゴマフウンカ			●										
296	カメムシ目(半翅目)	ウンカ科	タテゴトウンカ							●						
297	カメムシ目(半翅目)	ウンカ科	ヒメトビウンカ												●	
298	カメムシ目(半翅目)	ウンカ科	トビイロウンカ					●							●	
299	カメムシ目(半翅目)	ウンカ科	ホソミドリウンカ							●					●	
300	カメムシ目(半翅目)	ウンカ科	セジロウンカ		●								●			
301	カメムシ目(半翅目)	ウンカ科	エノナガウンカ											●		
302	カメムシ目(半翅目)	ウンカ科	タマガワナガウンカ			●										
303	カメムシ目(半翅目)	ウンカ科	テラウチウンカ		●											●
304	カメムシ目(半翅目)	ウンカ科	コブウンカ					●								
-	カメムシ目(半翅目)	ウンカ科	ウンカ科									●				
305	カメムシ目(半翅目)	ハネナガウンカ科	アカハネナガウンカ				●								●	
306	カメムシ目(半翅目)	テングスケバ科	テングスケバ	●												
307	カメムシ目(半翅目)	テングスケバ科	ツマグロスケバ			●			●	●	●	●	●	●	●	●
308	カメムシ目(半翅目)	テングスケバ科	ミツハシテングスケバ										●			
309	カメムシ目(半翅目)	アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
310	カメムシ目(半翅目)	アオバハゴロモ科	トビイロハゴロモ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
311	カメムシ目(半翅目)	ビウハゴロモ科	シタベニハゴロモ										●			
312	カメムシ目(半翅目)	ハゴロモ科	ハゴロモ科											●		
313	カメムシ目(半翅目)	ハゴロモ科	ベッコウハゴロモ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
314	カメムシ目(半翅目)	ハゴロモ科	ヒメベッコウハゴロモ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
315	カメムシ目(半翅目)	グンバイウンカ科	ヒラタグンバイウンカ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
316	カメムシ目(半翅目)	ゼミ科	クマゼミ											●		
317	カメムシ目(半翅目)	ゼミ科	アブラゼミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
318	カメムシ目(半翅目)	ゼミ科	ミンミンゼミ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
319	カメムシ目(半翅目)	ゼミ科	ツクツクボウシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
320	カメムシ目(半翅目)	ゼミ科	ニイニゼミ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
321	カメムシ目(半翅目)	ツノゼミ科	トビイロツノゼミ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
322	カメムシ目(半翅目)	アワフキムシ科	シロオビアワフキ												●	
323	カメムシ目(半翅目)	アワフキムシ科	モンキアワフキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
324	カメムシ目(半翅目)	アワフキムシ科	ハマベアワフキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
325	カメムシ目(半翅目)	アワフキムシ科	ヒメシロオビアワフキ												●	
326	カメムシ目(半翅目)	アワフキムシ科	コガタアワフキ												●	
327	カメムシ目(半翅目)	アワフキムシ科	マエキアワフキ	●										●		
328	カメムシ目(半翅目)	アワフキムシ科	ヒメモンキアワフキ						●	●		●	●	●	●	●
329	カメムシ目(半翅目)	アワフキムシ科	マダラアワフキ												●	
-	カメムシ目(半翅目)	アワフキムシ科	アワフキムシ科													
330	カメムシ目(半翅目)	コガシラアワフキムシ科	コガシラアワフキ	●	●	●										
331	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	トバヨコバイ					●								●
332	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	フタテンヒメヨコバイ												●	
333	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	クサビヨコバイ												●	
334	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	タケナガヨコバイ												●	
335	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ヒメアズキンヨコバイ									●				
336	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	アズキンヨコバイ												●	
337	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ホシアズキンヨコバイ										●			
338	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ツマグロオオヨコバイ						●		●				●	
339	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	オオヨコバイ							●						
340	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	オオオナガトガリヨコバイ												●	
341	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	オナガトガリヨコバイ												●	
342	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	インダヒメヨコバイ												●	
343	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ヨツモンコヒメヨコバイ	●											●	
344	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	サジヨコバイ												●	
345	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	アライシモンヨコバイ									●				
346	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ヒシモンヨコバイ		●										●	
347	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	カエデズキンヨコバイ		●					●						
348	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ヤノズキンヨコバイ	●												
349	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ミスジガリヨコバイ													●
350	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	マエジロオオヨコバイ												●	
351	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ミドリヒロヨコバイ	●	●	●		●	●	●			●	●	●	●
352	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ミミズク		●				●	●						
353	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	キマダラヒロヨコバイ												●	
354	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ヤナギハトムネヨコバイ												●	
355	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ヨツテンウスバヨコバイ												●	
356	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ヒメフタテンウスバヨコバイ												●	
357	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	イナズマヨコバイ		●										●	
358	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	イネマダラヨコバイ				●								●	
359	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	コチャイロヨコバイ												●	
360	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	オオイナズマヨコバイ									●				

表 6.8-3(5) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近		
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30	
361	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	セスジメヨコバイ														
362	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ツマグロヨコバイ	●	●	●			●	●					●		
363	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	Pagaronia属														●
364	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	シロミヤクイチメジヨコバイ	●													
365	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	クロヒラタヨコバイ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
366	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ヒドツメヨコバイ			●											●
367	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	クロサジヨコバイ		●	●			●	●							
368	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ズキンヨコバイ						●	●							
369	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	シラホシスカシヨコバイ		●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
370	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	イグチホシヨコバイ														●
371	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ホシヨコバイ									●	●	●	●	●	●
-	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ヨコバイ科						●			●	●	●	●	●	●
372	カメムシ目(半翅目)	クビナガカメムシ科	ヒメクビナガカメムシ												●		
373	カメムシ目(半翅目)	サンガメ科	ハリサンガメ											●			
374	カメムシ目(半翅目)	サンガメ科	ヨコツナサンガメ			●						●					
375	カメムシ目(半翅目)	サンガメ科	ハネナシサンガメ			●											
376	カメムシ目(半翅目)	サンガメ科	ヒロウドサンガメ														●
377	カメムシ目(半翅目)	サンガメ科	セスジアシナガサンガメ														●
378	カメムシ目(半翅目)	サンガメ科	オオアシナガサンガメ		●												●
379	カメムシ目(半翅目)	サンガメ科	アカシマサンガメ						●								
380	カメムシ目(半翅目)	サンガメ科	トビロサンガメ	●						●	●						●
381	カメムシ目(半翅目)	サンガメ科	クロモンサンガメ	●	●				●	●							●
382	カメムシ目(半翅目)	サンガメ科	トゲサンガメ														●
383	カメムシ目(半翅目)	サンガメ科	キイロサンガメ														●
384	カメムシ目(半翅目)	サンガメ科	ヒメトビサンガメ	●	●												●
-	カメムシ目(半翅目)	サンガメ科	サンガメ科														●
385	カメムシ目(半翅目)	グンバイムシ科	ウチワグンバイ														●
386	カメムシ目(半翅目)	グンバイムシ科	オオウチワグンバイ														●
387	カメムシ目(半翅目)	グンバイムシ科	ヒゲトグンバイ														●
388	カメムシ目(半翅目)	グンバイムシ科	アワダチウグンバイ					●									●
389	カメムシ目(半翅目)	グンバイムシ科	ヤブガラングンバイ														●
390	カメムシ目(半翅目)	グンバイムシ科	コアソグンバイ														●
391	カメムシ目(半翅目)	グンバイムシ科	キクグンバイ		●	●											●
392	カメムシ目(半翅目)	グンバイムシ科	ヤナギグンバイ														●
393	カメムシ目(半翅目)	グンバイムシ科	ナングンバイ														●
394	カメムシ目(半翅目)	グンバイムシ科	トサグンバイ														●
395	カメムシ目(半翅目)	ハナカメムシ科	ヤサハナカメムシ														●
396	カメムシ目(半翅目)	ハナカメムシ科	コヒメハナカメムシ														●
397	カメムシ目(半翅目)	ハナカメムシ科	ナミヒメハナカメムシ							●							●
398	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ヨツモンカスミカメ			●											●
399	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ウスモンカスミカメ														●
400	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ナカグロカスミカメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
401	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	フチゲクワカスミカメ		●		●										●
402	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	フタモンアカカスミカメ														●
403	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	コアカスミカメ		●	●			●	●							●
404	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	モモアカハギカスミカメ														●
405	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ツマグロアカカスミカメ														●
406	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ヒメセダカカスミカメ			●											●
407	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	カワヤオギツヤカスミカメ			●											●
408	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ヤナギウスバツヤカスミカメ														●
409	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ケヤキツヤカスミカメ														●
410	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	メンガタカスミカメ														●
411	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	モンキチビカスミカメ														●
412	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	Lygoeoris idoneus														●
413	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ナガミドリカスミカメ		●		●			●							●
414	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	Lyus属														●
415	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ズアカシダカスミカメ														●
416	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	クロマルカスミカメ					●		●							●
417	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	マツヒョウタンカスミカメ		●												●
418	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ヒョウタンカスミカメ		●			●		●							●
419	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	クロヒョウタンカスミカメ		●												●
420	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	オオクロセダカスミカメ														●
421	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ニセクロツヤチビカスミカメ														●
422	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	クロツヤチビカスミカメ														●
423	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	フタゲムギカスミカメ			●	●			●							●
424	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	アカシダカスミカメ					●									●
425	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	グンバイカスミカメ		●	●			●								●
426	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ウスモンミドリカスミカメ					●		●							●
427	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ケブカカスミカメ														●
428	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	イネホソミドリカスミカメ														●
-	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	カスミカメムシ科														●
429	カメムシ目(半翅目)	マキバサンガメ科	ハネナガマキバサンガメ	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●
430	カメムシ目(半翅目)	マキバサンガメ科	アシトマキバサンガメ														●
431	カメムシ目(半翅目)	マキバサンガメ科	キハネアシトマキバサンガメ														●
432	カメムシ目(半翅目)	ヒラタカメムシ科	ヒメヒラタカメムシ		●												●
433	カメムシ目(半翅目)	オオホシカメムシ科	オオホシカメムシ			●											●
434	カメムシ目(半翅目)	オオホシカメムシ科	ヒメホシカメムシ	●			●										●
435	カメムシ目(半翅目)	ホシカメムシ科	フタモンホシカメムシ	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
436	カメムシ目(半翅目)	ホソヘリカメムシ科	クモヘリカメムシ														●
437	カメムシ目(半翅目)	ホソヘリカメムシ科	キベリヘリカメムシ														●
438	カメムシ目(半翅目)	ホソヘリカメムシ科	ヒメクモヘリカメムシ														●
439	カメムシ目(半翅目)	ホソヘリカメムシ科	ホソヘリカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
440	カメムシ目(半翅目)	ヘリカメムシ科	ホオズキカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
441	カメムシ目(半翅目)	ヘリカメムシ科	ホソハリカメムシ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
442	カメムシ目(半翅目)	ヘリカメムシ科	ハリカメムシ														●
443	カメムシ目(半翅目)	ヘリカメムシ科	ヒメゲヘリカメムシ														●
444	カメムシ目(半翅目)	ヘリカメムシ科	ハラビロヘリカメムシ						●								●
445	カメムシ目(半翅目)	ヘリカメムシ科	オオクモヘリカメムシ														●
446	カメムシ目(半翅目)	ヘリカメムシ科	ホソハラビロヘリカメムシ						●	●	●	●	●	●	●	●	●
447	カメムシ目(半翅目)	ヘリカメムシ科	オオツマキヘリカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
448	カメムシ目(半翅目)	ヘリカメムシ科	ツマキヘリカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
449	カメムシ目(半翅目)	ヘリカメムシ科	キハラヘリカメムシ														●
-	カメムシ目(半翅目)	ヘリカメムシ科	ヘリカメムシ科														●
450	カメムシ目(半翅目)	ヒメヘリカメムシ科	スカシヒメヘリカメムシ														●

定期報告書

6. 生物

表 6.8-3(6) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近	
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30
451	カメムシ目(半翅目)	ヒメヘリカメムシ科	アカヒメヘリカメムシ	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
452	カメムシ目(半翅目)	ヒメヘリカメムシ科	ケブカヒメヘリカメムシ		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
453	カメムシ目(半翅目)	ヒメヘリカメムシ科	コブチヒメヘリカメムシ													
454	カメムシ目(半翅目)	ヒメヘリカメムシ科	フチヒメヘリカメムシ		●	●	●	●	●	●	●			●	●	●
-	カメムシ目(半翅目)	ヒメヘリカメムシ科	ヒメヘリカメムシ	●										●		
455	カメムシ目(半翅目)	イトカメムシ科	ヒメイトカメムシ								●			●		
456	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	ウスイロナガカメムシ											●		
457	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	ヒメヒラタナガカメムシ											●		
458	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	コバネナガカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
459	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	クロナガカメムシ											●		
460	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	ヒメオオメナガカメムシ											●		
461	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	オオメナガカメムシ	●					●	●	●	●	●	●	●	●
462	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	キベリヒコウタンナガカメムシ	●					●	●	●	●	●	●	●	●
463	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	ホソコバネナガカメムシ											●		
464	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	オオチャイロナガカメムシ								●			●		
465	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	チャイロナガカメムシ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
466	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	ヒメナガカメムシ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
467	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	ヒラタヒョウタンナガカメムシ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
468	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	モンシロナガカメムシ	●					●	●	●	●	●	●	●	●
469	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	アムールシロヘリナガカメムシ											●		
470	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	チャモンナガカメムシ											●		
471	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	クロアシホソナガカメムシ											●		
-	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	Paromius属											●		
472	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	ムラサキナガカメムシ											●		
473	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	イチゴチビナガカメムシ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
474	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	チビナガカメムシ											●		
475	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	コバネヒョウタンナガカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
476	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	ジュウジナガカメムシ											●		
477	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	ヒメジュウジナガカメムシ											●		
-	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	ナガカメムシ科											●		
478	カメムシ目(半翅目)	メダカナガカメムシ科	メダカナガカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
479	カメムシ目(半翅目)	ツノカメムシ科	ハサミツノカメムシ											●		
480	カメムシ目(半翅目)	ツノカメムシ科	ベニモンツノカメムシ											●		
481	カメムシ目(半翅目)	ツノカメムシ科	アオモンツノカメムシ							●	●	●	●	●	●	●
482	カメムシ目(半翅目)	ツノカメムシ科	エサキモンツノカメムシ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
483	カメムシ目(半翅目)	ツチカメムシ科	ミツボシツチカメムシ						●	●	●	●	●	●	●	●
484	カメムシ目(半翅目)	ツチカメムシ科	シロヘリツチカメムシ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
485	カメムシ目(半翅目)	ツチカメムシ科	ヒメツチカメムシ						●	●	●	●	●	●	●	●
486	カメムシ目(半翅目)	ツチカメムシ科	ツチカメムシ						●	●	●	●	●	●	●	●
487	カメムシ目(半翅目)	ツチカメムシ科	マルツチカメムシ											●		
488	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	ウズラカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
489	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	フチヒゲカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
490	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	ハナダカカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
491	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	ナガメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
492	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	トゲシラホシカメムシ											●		
493	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	マルシラホシカメムシ											●		
494	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	オオトゲシラホシカメムシ											●		
495	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	シラホシカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
496	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	ニセオオトゲシラホシカメムシ											●		
497	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	ツヤアオカメムシ							●	●	●	●	●	●	●
498	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	エビイロカメムシ											●		
499	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	アカスジカメムシ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
500	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	クサギカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
501	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	アオクサカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
502	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	エノアオカメムシ											●		
503	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	アシアカカメムシ											●		
504	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	クネツチカメムシ											●		
505	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	イチモンジカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
506	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	チャバネアオカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
507	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	オオクロカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
508	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	イネクロカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
509	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	ルリクチフトカメムシ											●		
510	カメムシ目(半翅目)	マルカメムシ科	ヒメマルカメムシ											●		
511	カメムシ目(半翅目)	マルカメムシ科	タデマルカメムシ											●		
512	カメムシ目(半翅目)	マルカメムシ科	マルカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-	カメムシ目(半翅目)	マルカメムシ科	マルカメムシ科											●		
513	カメムシ目(半翅目)	キンカメムシ科	オオキンカメムシ											●		
514	カメムシ目(半翅目)	キンカメムシ科	チャイロカメムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
515	カメムシ目(半翅目)	クヌギカメムシ科	サジクヌギカメムシ											●		
516	カメムシ目(半翅目)	アメンボ科	アメンボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
517	カメムシ目(半翅目)	アメンボ科	ヒメアメンボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
518	カメムシ目(半翅目)	アメンボ科	コセアカアメンボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-	カメムシ目(半翅目)	アメンボ科	Gerris属											●		
519	カメムシ目(半翅目)	アメンボ科	シマアメンボ											●		
520	カメムシ目(半翅目)	イトアメンボ科	イトアメンボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
521	カメムシ目(半翅目)	イトアメンボ科	ヒメイトアメンボ											●		
522	カメムシ目(半翅目)	カタビロアメンボ科	ケンカカタビロアメンボ											●		
523	カメムシ目(半翅目)	ミズギワカメムシ科	コミズギワカメムシ											●		
524	カメムシ目(半翅目)	ミズギワカメムシ科	ミズギワカメムシ											●		
525	カメムシ目(半翅目)	ミズムシ科(昆)	コチビミズムシ											●		
526	カメムシ目(半翅目)	ミズムシ科(昆)	ハラゲロコミズムシ											●		
527	カメムシ目(半翅目)	ミズムシ科(昆)	エサキコミズムシ											●		
528	カメムシ目(半翅目)	ミズムシ科(昆)	コミズムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
529	カメムシ目(半翅目)	タイコウチ科	タイコウチ											●		
530	カメムシ目(半翅目)	タイコウチ科	ミズカマキリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
531	カメムシ目(半翅目)	マツモムシ科	コマツモムシ											●		
532	カメムシ目(半翅目)	マツモムシ科	マツモムシ											●		
533	ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	タイリククロスジヘビトンボ											●		
534	ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ											●		
535	ヘビトンボ目	センブリ科	ネグロセンブリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
536	ヘビトンボ目	センブリ科	チュウブクロセンブリ											●		
537	ラクダムシ目	ラクダムシ科	ラクダムシ											●		
538	アミカゲロウ目(派種目)	ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
539	アミカゲロウ目(派種目)	ヒロバカゲロウ科	ツマモンヒロバカゲロウ											●		
540	アミカゲロウ目(派種目)	ヒロバカゲロウ科	スカジヒロバカゲロウ											●		

表 6.8-3(7) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近		
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30	
541	アミメカゲロウ目(派種目)	ヒロバカゲロウ科	ウンモンヒロバカゲロウ														
542	アミメカゲロウ目(派種目)	クサカゲロウ科	クモンクサカゲロウ														
543	アミメカゲロウ目(派種目)	ツトンボ科	ツトンボ														
544	アミメカゲロウ目(派種目)	ヒメカゲロウ科	ヤマトヒメカゲロウ														
545	アミメカゲロウ目(派種目)	ウスバカゲロウ科	ウスバカゲロウ														
546	アミメカゲロウ目(派種目)	ウスバカゲロウ科	カスリウスバカゲロウ														
547	アミメカゲロウ目(派種目)	ウスバカゲロウ科	クロコウスバカゲロウ														
548	アミメカゲロウ目(派種目)	ウスバカゲロウ科	ホシウスバカゲロウ														
549	シリアゲムシ目(長翅目)	シリアゲムシ科	ヤマトシリアゲ														
550	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	コガタシマトビケラ														
551	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	ナミコガタシマトビケラ														
-	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	Oheumatopsyche属														
552	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	ギフシマトビケラ														
553	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ														
-	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	シマトビケラ科														
554	トビケラ目(毛翅目)	ヒゲナガカフトビケラ科	ヒゲナガカフトビケラ														
555	トビケラ目(毛翅目)	ヒゲナガカフトビケラ科	チャハネヒゲナガカフトビケラ														
-	トビケラ目(毛翅目)	ヒゲナガカフトビケラ科	ヒゲナガカフトビケラ科														
556	トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Padunia属														
-	トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ科														
557	トビケラ目(毛翅目)	ヒメトビケラ科	ヒメトビケラ科														
558	トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	クレメンサナガレトビケラ														
559	トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	ムナグロナガレトビケラ														
560	トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	トワダナガレトビケラ														
561	トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	ヤマナカナガレトビケラ														
-	トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ科														
562	トビケラ目(毛翅目)	ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ														
563	トビケラ目(毛翅目)	カクツツビケラ科	ツダカクツツビケラ														
564	トビケラ目(毛翅目)	ヒゲナガトビケラ科	アオヒゲナガトビケラ														
565	トビケラ目(毛翅目)	ヒゲナガトビケラ科	Setodes属														
566	トビケラ目(毛翅目)	ヒゲナガトビケラ科	ヤマトセンカイトビケラ														
567	トビケラ目(毛翅目)	エグリトビケラ科	ウスバキトビケラ														
568	トビケラ目(毛翅目)	エグリトビケラ科	トウウウウスバキトビケラ														
569	トビケラ目(毛翅目)	フトヒゲトビケラ科	ヨツメトビケラ														
570	チョウ目(鱗翅目)	コウモリガ科	コウモリガ														
571	チョウ目(鱗翅目)	コウモリガ科	キマダラコウモリ														
572	チョウ目(鱗翅目)	ミノガ科	ネグロミノガ														
573	チョウ目(鱗翅目)	ミノガ科	クロツヤミノガ														
574	チョウ目(鱗翅目)	ミノガ科	キタクロミノガ														
575	チョウ目(鱗翅目)	ミノガ科	チャミノガ														
576	チョウ目(鱗翅目)	ミノガ科	オオミノガ														
577	チョウ目(鱗翅目)	ミノガ科	ニトベミノガ														
578	チョウ目(鱗翅目)	ミノガ科	シバミノガ														
579	チョウ目(鱗翅目)	スカシバガ科	ムナフトヒメスカシバ														
580	チョウ目(鱗翅目)	スカシバガ科	クバカスカシバ														
581	チョウ目(鱗翅目)	スカシバガ科	ヒメアトスカシバ														
582	チョウ目(鱗翅目)	スカシバガ科	フトウスカシバ														
583	チョウ目(鱗翅目)	ボクトウガ科	ハイロボクトウ														
584	チョウ目(鱗翅目)	ボクトウガ科	ゴマボクトウ														
585	チョウ目(鱗翅目)	イラガ科	ムラサキイラガ														
586	チョウ目(鱗翅目)	イラガ科	クロフツイラガ														
587	チョウ目(鱗翅目)	イラガ科	イラガ														
588	チョウ目(鱗翅目)	イラガ科	ナンイラガ														
589	チョウ目(鱗翅目)	イラガ科	アオイイラガ														
590	チョウ目(鱗翅目)	イラガ科	ヒロヘリアオイラガ														
591	チョウ目(鱗翅目)	イラガ科	クロシタアオイラガ														
592	チョウ目(鱗翅目)	イラガ科	アカイラガ														
593	チョウ目(鱗翅目)	マダラガ科	キスジホソマダラ														
594	チョウ目(鱗翅目)	マダラガ科	ヤホシホソマダラ														
595	チョウ目(鱗翅目)	マダラガ科	ブドウスカシクロバ														
596	チョウ目(鱗翅目)	マダラガ科	シロシタホタルガ														
597	チョウ目(鱗翅目)	セセリチョウ科	イチモンジセセリ														
598	チョウ目(鱗翅目)	セセリチョウ科	チャハネセセリ														
599	チョウ目(鱗翅目)	セセリチョウ科	キマダラセセリ														
600	チョウ目(鱗翅目)	シジミチョウ科	ルリシジミ														
601	チョウ目(鱗翅目)	シジミチョウ科	ウラギンシジミ														
602	チョウ目(鱗翅目)	シジミチョウ科	ツバメシジミ														
603	チョウ目(鱗翅目)	シジミチョウ科	ウラナミシジミ														
604	チョウ目(鱗翅目)	シジミチョウ科	ベニシジミ														
605	チョウ目(鱗翅目)	シジミチョウ科	トラフシジミ														
606	チョウ目(鱗翅目)	シジミチョウ科	ヤマトシジミ本土亜種														
607	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	コムラサキ														
608	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	ミドリヒョウモン														
609	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	ツマグロヒョウモン														
610	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	オオウラギンシジモウモン														
611	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	メスグロヒョウモン														
612	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	ウラギンヒョウモン														
613	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	ゴマダラチョウ本土亜種														
614	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	クロヒカゲ本土亜種														
615	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	テングチョウ日本本土亜種														
616	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	イチモンジチョウ														
617	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	ジャノメチョウ														
618	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	コジャノメ														
619	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	ヒメジャノメ														
620	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	コムシジ本州以南亜種														
621	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	ヒオドシチョウ														
622	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	アサギマダラ														
623	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	キタテハ														
624	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	ヒメアカタテハ														
625	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	アカタテハ														
626	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	ヒメウラナミジャノメ														
627	チョウ目(鱗翅目)	アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ本土亜種														
628	チョウ目(鱗翅目)	アゲハチョウ科	アオスジアゲハ														
629	チョウ目(鱗翅目)	アゲハチョウ科	カラスアゲハ本土亜種														
630	チョウ目(鱗翅目)	アゲハチョウ科	モンキアゲハ														

定期報告書

6. 生物

表 6.8-3(8) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近	
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30
631	チョウ目(鱗翅目)	アゲハチョウ科	キアゲハ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
632	チョウ目(鱗翅目)	アゲハチョウ科	クロアゲハ本土亜種	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
633	チョウ目(鱗翅目)	アゲハチョウ科	アゲハ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
634	チョウ目(鱗翅目)	シロチョウ科	ツマキチョウ本土亜種	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
635	チョウ目(鱗翅目)	シロチョウ科	モンキチョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
636	チョウ目(鱗翅目)	シロチョウ科	キタキチョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
637	チョウ目(鱗翅目)	シロチョウ科	スジシロシロチョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
638	チョウ目(鱗翅目)	シロチョウ科	モンシロチョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-	チョウ目(鱗翅目)	シロチョウ科	シロチョウ科						●					●		
639	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ホソバノトクノメイガ												●	
640	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ヒメタガリノメイガ	●						●	●					●
641	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ツトガ							●	●					●
642	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロモンノメイガ		●	●					●				●	●
643	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	タイワシロスキノメイガ		●					●					●	●
644	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	アカウスグロノメイガ							●	●				●	●
645	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロテンウスグロノメイガ							●	●				●	●
646	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	モンウスグロノメイガ							●	●				●	●
647	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロツトガ	●							●					
648	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ヨシツトガ		●		●								●	●
649	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ニカメイガ	●									●			
-	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	Chilo属											●		
650	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ウスクロスジツガ	●												
651	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	テンスジツガ		●					●					●	
652	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	モリオカツガ							●						
653	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	キホソノメイガ本州・四国・九州亜種												●	
654	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	カキハノメイガ			●									●	
655	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	コブノメイガ		●		●								●	
656	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ハカジモドキノメイガ							●						
657	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	モモノゴマダラノメイガ	●												
658	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	クロスカシタガリノメイガ	●												
659	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロスジツガ							●						
660	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ニセシロスジツガ							●						
661	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ツゲノメイガ		●											
662	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	トガリキノメイガ	●												
663	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ワタヘリクノメイガ		●		●								●	
664	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	キアヤヒメノメイガ							●	●					●
665	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロアヤヒメノメイガ							●	●					
666	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ヒメマダラミスメイガ		●					●	●					
667	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	アヤナミノメイガ		●					●						
668	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロエグリツトガ			●										
669	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロマダラノメイガ							●	●					
670	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	クロヘリキノメイガ		●									●		
671	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	トビヘリキノメイガ		●		●				●				●	
672	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	クロスノメイガ	●	●											
673	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ワタノメイガ								●					
674	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ウスオビクノメイガ							●						
675	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	クロオビクノメイガ							●						
676	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	モンキクノメイガ	●	●	●	●			●	●				●	●
677	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	マエキノメイガ		●	●					●					
678	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ミツテンノメイガ								●					
679	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	マメノメイガ	●	●	●				●					●	●
680	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロテンキノメイガ		●	●				●					●	
681	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	サツマキノメイガ	●												
682	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	クロフキノメイガ							●						
683	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ヨツメノメイガ	●			●			●						
684	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ヨツメノメイガ												●	
685	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	クロフタオビツトガ							●						
686	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ホシオビホソノメイガ	●											●	
687	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ワモンノメイガ		●	●	●	●		●	●				●	
688	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	マエウスキノメイガ												●	
689	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	クロミスジノメイガ		●					●						
690	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロアシクロノメイガ												●	
691	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	アワノメイガ	●		●				●					●	
692	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	オナモミノメイガ本土亜種		●					●	●					
693	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ユウグモノメイガ							●	●				●	
694	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	フキノメイガ	●	●										●	
695	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ヨスジノメイガ		●											
696	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ヘリジロキノメイガ		●										●	
697	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	マエウスモンキノメイガ							●	●				●	
698	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	マエウスカシノメイガ	●	●		●			●					●	
699	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ヒロバウスグロノメイガ		●										●	
700	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シバツトガ		●	●				●	●				●	
701	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	イネコムズメイガ							●	●					
702	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	キイロノメイガ	●												
703	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	クビシロノメイガ												●	
704	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	コガタシロモンノメイガ		●										●	
705	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ナガハマツトガ							●	●					
706	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロハラノメイガ	●											●	
707	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ウスイロキノメイガ			●										
708	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ウコンノメイガ	●		●									●	
709	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	キオビミスメイガ												●	
710	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ナカキトガリノメイガ							●					●	
711	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	キムジノメイガ			●									●	
712	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	トモンノメイガ			●				●	●				●	
713	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	タテシマノメイガ							●	●				●	
714	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ウラグロシロノメイガ		●	●					●					
715	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロオビノメイガ	●	●	●	●	●		●	●	●			●	●
716	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	モンシロクノメイガ	●		●									●	
717	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ヨツボシノメイガ												●	
718	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	セスジノメイガ							●					●	
719	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	トビマダラモンノメイガ		●										●	
720	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	クロスジノメイガ	●						●					●	

表 6.8-3(9) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近		
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30	
721	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ウスマルモンメイガ						●								
722	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	クロモンキノメイガ				●									●	
723	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ウスベニオノメイガ		●												
724	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	モンシロルリノメイガ	●						●						●	
-	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ツトガ科					●					●				
725	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ウスアカマダラメイガ						●								
726	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	オオアカオビマダラメイガ		●	●											
727	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ヒトビネマダラメイガ													●	
-	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	Acrobasis属											●			
728	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ウスアカムラサキマダラメイガ						●								●
729	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ツマクロシマメイガ							●							
730	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	マツノシマダラメイガ		●												
731	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ウスオビトガリメイガ						●								
732	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	オオウスベニトガリメイガ	●	●	●			●	●							
733	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	キモントガリメイガ													●	
734	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	キペリトガリメイガ													●	●
735	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ウスベニトガリメイガ													●	
736	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ヒエソソメイガ		●											●	
737	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	シロイチモジマダラメイガ		●	●			●							●	
738	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	フタクロマダラメイガ		●											●	
739	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	アカシマメイガ		●											●	
740	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	トビロシマメイガ		●											●	
741	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	アカフツツリガ		●				●	●						●	
742	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ナカムラサキフトメイガ													●	
743	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	トサカフトメイガ				●		●							●	
744	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	オオツツリガ						●							●	
745	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	サンカクマダラメイガ													●	
746	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	アカマダラメイガ		●				●	●						●	●
747	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	シロスジクロマダラメイガ			●										●	
748	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ナカトビフトメイガ							●						●	
749	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	クロモンフトメイガ	●	●	●										●	
750	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ウスジシマメイガ	●	●	●	●									●	
751	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	マエジロホソマダラメイガ													●	
-	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	Phycitodes属												●		
752	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ハイイロマダラメイガ		●										●		
753	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	オオフトメイガ						●							●	
754	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ハラウスキマダラメイガ													●	
755	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ヒメアカマダラメイガ							●						●	
756	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	エチゴマダラメイガ		●		●									●	
757	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ヤマトマダラメイガ													●	
758	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	マエナミマダラメイガ							●						●	
759	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	アカクロマダラメイガ													●	
760	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	トビロフタスジシマメイガ													●	
-	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	メイガ科	●				●								●	
761	チョウ目(鱗翅目)	マダガ科	アカジママダガ		●				●	●						●	
762	チョウ目(鱗翅目)	マダガ科	マダガ						●							●	
763	チョウ目(鱗翅目)	カキハバ科	アヤトガリハバ	●	●				●							●	●
764	チョウ目(鱗翅目)	カキハバ科	モントガリハバ			●										●	
765	チョウ目(鱗翅目)	カキハバ科	ウコンカキハバ		●											●	
766	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ヒトスジマダラエダシャク	●												●	
767	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ユウマダラエダシャク			●	●									●	
768	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	チズモンアオシャク	●	●											●	
769	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ナカウスエダシャク		●									●	●		
770	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ヨモギエダシャク本州以南亜種	●	●		●									●	
771	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ミスジコナフエダシャク		●											●	
772	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ヒラヤマシロエダシャク		●											●	
773	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ソトシロオビエダシャク	●												●	
774	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	フタモンクロナシメシャク		●				●							●	
775	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ギンセスエダシャク	●	●				●	●						●	
776	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	フタテンオエダシャク	●	●	●	●		●	●						●	
777	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウスオエダシャク	●	●	●	●		●	●				●	●		
778	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ハラアカアオシャク	●	●	●										●	
779	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ホソハラアカアオシャク	●	●	●										●	
780	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウスハラアカアオシャク	●	●	●										●	
781	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	コウスアオシャク	●	●	●	●				●					●	
782	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	シロテンエダシャク	●	●				●							●	
-	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	Cleora属												●		
783	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	クロモンアオシャク			●										●	
784	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	コソツメアオシャク	●												●	
785	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	オオハガタナシメシャク		●											●	
786	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウスビモンナシメシャク						●							●	
787	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	セアカカバナシメシャク		●				●							●	
-	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	Eupithecia属												●		
788	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	セスジナシメシャク		●		●									●	
789	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	エグリエダシャク													●	
790	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ケブカチビナシメシャク													●	
791	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	コンロスジアオシャク													●	
792	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ナミガタエダシャク	●												●	
793	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウラベエダシャク	●	●				●	●						●	
794	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	フトオビエダシャク			●										●	
795	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	オオバナミガタエダシャク													●	
796	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ハミスジエダシャク		●											●	
797	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウスキヒメシャク						●		●					●	
798	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウスモンキヒメシャク						●	●						●	
799	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	クロテントヒメシャク			●			●							●	
800	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	オイワケヒメシャク						●	●	●					●	
801	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ベニヒメシャク	●	●				●	●						●	
802	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	クロオビキヒメシャク						●	●						●	
803	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ミジンキヒメシャク						●	●						●	
804	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ナミスジアオシャク			●			●							●	
805	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ナカモンキナシメシャク						●						●		
806	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウスネズミエダシャク			●			●							●	
807	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	シヤンハイオエダシャク	●	●	●	●		●	●						●	
808	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ハガタツバメアオシャク													●	
809	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ナカジロナシメシャク												●		
810	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	マエキトビエダシャク													●	

定期報告書

6. 生物

表 6.8-3(10) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近	
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30
811	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	エグリツメダシヤク													
812	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	キスジシロエダシヤク	●					●							
813	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	トビスジヒメナミシヤク			●	●			●					●	
814	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	シロツバメエダシヤク			●										
815	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウスキツバメエダシヤク												●	
816	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウスキオエダシヤク		●				●							
817	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	オオアヤシヤク			●										
818	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウラモンアカエダシヤク					●								
819	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ソシロオビナミシヤク			●										
820	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウスグロナミエダシヤク		●		●								●	
821	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	リンゴツノエダシヤク												●	
822	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	フタナトビヒメシヤク			●			●	●					●	
823	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	クロテンシロヒメシヤク		●	●										
824	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウスキトガリヒメシヤク	●												
825	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ギンバネヒメシヤク				●									
826	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ヤスジマルバヒメシヤク		●				●							
827	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウスキクロテンヒメシヤク	●						●						
828	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ハイロヒメシヤク	●	●	●	●		●	●					●	
829	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	モントビヒメシヤク	●			●									
830	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	マエキヒメシヤク		●				●		●					
831	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウスサカハチヒメシヤク			●			●	●						
832	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ヨツボシウスキヒメシヤク	●												
833	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	キノシロヒメシヤク		●					●						
-	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	Scopula属					●				●	●			●
834	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウンモンオオシロヒメシヤク								●					
835	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ツマトビシロエダシヤク	●											●	
836	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	スジハグルマエダシヤク				●									
837	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	カギバアオシヤク												●	
838	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ヨツメアオシヤク	●											●	
839	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ミヤマツバメエダシヤク			●										
840	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	コベニスジヒメシヤク	●	●	●	●									
841	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ウスベニスジヒメシヤク					●							●	
842	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ベニスジヒメシヤク		●		●			●					●	
843	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	フタトビスジナミシヤク												●	
844	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	フトジマナミシヤク												●	
845	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	トガリエダシヤク												●	
-	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	シャクガ科	●				●				●				●
846	チョウ目(鱗翅目)	カイコ科	クワコ												●	
847	チョウ目(鱗翅目)	カレハガ科	マツカレハ							●					●	
848	チョウ目(鱗翅目)	カレハガ科	タケカレハ							●					●	
849	チョウ目(鱗翅目)	カレハガ科	ホシカレハ	●												
850	チョウ目(鱗翅目)	ヤマユガ科	オオミスアオ本土亜種	●												●
851	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	フトウスズメ			●			●							
852	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	エビガラスズメ			●										
853	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	モンソバズズメ		●											
854	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	オオスカシバ													●
855	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	トビロスズメ		●	●									●	
856	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	ベニスズメ						●							
857	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	サザナミスズメ		●											
858	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	クロスキバホウジャク													●
859	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	ホシホウジャク			●		●								
860	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	クロホウジャク	●		●	●								●	
861	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	ホウジャク		●				●	●						
862	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	ホシヒメホウジャク						●							
863	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	ウチスズメ	●												
864	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	コスズメ	●	●	●			●	●					●	
865	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	キロスズメ	●												
866	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	セスズズメ		●		●							●	●	
867	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	ニセツマアカシャチホコ						●	●					●	
868	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	セグロシャチホコ		●	●	●		●		●					
869	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	バイバラシロシャチホコ												●	
870	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	シロシャチホコ							●						
871	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	シロテンシャチホコ												●	
872	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	オオネグロシャチホコ												●	
873	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	ホソバシャチホコ												●	
874	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	ナカグロモクシャチホコ												●	
875	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	クワゴモドキシヤチホコ	●	●	●			●							●
876	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	ヒナシャチホコ									●				
877	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	ムクツマキシヤチホコ												●	
878	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	モンクロシャチホコ									●			●	
879	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	ヒメシャチホコ	●	●	●			●							
880	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	アオシャチホコ												●	
881	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	ムラサキシヤチホコ	●												
882	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	カノガ						●						●	
883	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	ゴマダラベニコケガ	●												
884	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	スジベニコケガ	●											●	
885	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	シロヒトリ	●	●	●								●	●	
886	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	ムジホソバ								●				●	
887	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	ヤネホソバ	●	●											
888	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	キマエホソバ	●											●	
889	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	キシタホソバ		●	●	●			●						●
890	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	キマエクロホソバ													
891	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	カクモンヒトリ	●												
892	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	クビウスケグロホソバ		●											
893	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	ハガタキコケガ	●	●				●						●	
894	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	スジモンヒトリ												●	
895	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	オビヒトリ		●										●	
896	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	キハラゴマダラヒトリ		●	●			●	●					●	
897	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	アカハラゴマダラヒトリ						●						●	
898	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	ゴマダラキコケガ	●												
-	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	ヒトリガ科											●		●
899	チョウ目(鱗翅目)	ドクガ科	ドクガ													
900	チョウ目(鱗翅目)	ドクガ科	マドクガ		●				●						●	

表 6.8-3(11) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭電川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近		
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30	
901	チョウ目(鱗翅目)	ドクガ科	ブドウドクガ	●						●							
902	チョウ目(鱗翅目)	ドクガ科	マイマイガ			●				●							
903	チョウ目(鱗翅目)	ドクガ科	ヒメシロモンドクガ	●	●	●	●			●				●	●	●	
904	チョウ目(鱗翅目)	ドクガ科	ウチジロマイマイ		●					●							
905	チョウ目(鱗翅目)	ドクガ科	ゴマフリドクガ(日本本土・奄美群島)														●
906	チョウ目(鱗翅目)	ドクガ科	モンシロドクガ	●	●		●										●
907	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	キマダラヤガ				●										●
908	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	フタテンヒメヨトウ	●	●					●							●
909	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	オオケンモン		●												●
910	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シロハラケンモン	●						●							●
911	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ナシケンモン	●													●
912	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ナカジロシタバ			●					●						●
913	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	タマナヤガ	●	●						●						●
914	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	カブラヤガ		●							●					●
915	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	カラスヨトウ										●				●
916	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	オオシマカラスヨトウ														●
917	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	サビイロヤガ							●							●
918	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クロチンカバアツバ								●						●
919	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ウリキンウフバ		●		●										●
920	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	アカモクメヨトウ		●												●
921	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ハガタウスキヨトウ	●													●
922	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ソトジロツマキリクチバ	●	●												●
923	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シロチンウスグロヨトウ		●	●			●					●	●		●
924	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	テンスイロヨトウ		●	●	●			●	●			●	●		●
925	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シロモンオビヨトウ	●	●					●	●			●	●		●
926	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ヒメサビスジヨトウ	●	●	●				●	●			●	●		●
-	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	Aethetis属											●			
927	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ギンギシヨトウ							●							●
928	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クロハナコヤガ				●										●
929	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	モクメヤガ	●	●	●			●	●							●
930	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ヤマガタアツバ		●												●
931	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	イチモジキノコヨトウ		●					●							●
932	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ウスアオモンコヤガ														●
933	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	Callopietria属											●			
934	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ウスエグリバ	●													●
935	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	オニベニシタバ							●							●
936	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	エノベニシタバ														●
937	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	イチジクキンウフバ	●							●						●
938	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	カクモンキシタバ								●						●
939	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	カギモンハチオイアツバ								●						●
940	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	キンスジアツバ	●	●		●			●	●						●
941	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	オオホシミヨトウ														●
942	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	カバイロシマコヤガ														●
943	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	モモイロシマコヤガ														●
944	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シマフコヤガ								●						●
945	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シマキリガ							●							●
946	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ニレキリガ							●							●
947	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ワタアカキリバ		●												●
948	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	スジキノコヨトウ				●			●							●
949	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	キノコヨトウ		●	●	●			●	●						●
950	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ミツモンキンウフバ		●	●	●			●	●			●	●		●
951	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	エゾギクキンウフバ	●	●	●				●	●						●
952	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	アオモンギンセダカモクメ		●	●				●	●						●
953	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ハイロセダカモクメ		●	●											●
954	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	オオバコヤガ	●	●	●	●										●
955	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	コウスチャヤガ		●	●	●				●						●
956	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ウスイロアカフヤガ	●	●					●							●
957	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ウスツマクチバ	●						●							●
958	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	モンシロムラサキクチバ														●
959	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	モンシロムラサキクチバ											●	●		●
960	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	アカテングチバ	●													●
961	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	セアカキンウフバ	●	●												●
962	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ギンスジキンウフバ		●												●
963	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	アケビノハ		●												●
964	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	トビイロアカガネヨトウ			●											●
965	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	フサヤガ	●													●
966	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	フタスジエグリアツバ														●
967	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	アカキリバ	●													●
968	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ナカグロクチバ				●				●						●
969	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ナカジロアツバ		●	●				●	●						●
970	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	オオタバコガ			●			●								●
971	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	タバコガ		●	●				●	●						●
972	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ツメクサガ	●	●	●	●			●	●	●					●
973	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シヨウフオオヨトウ	●													●
974	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ウスキミスジアツバ	●	●	●	●			●	●						●
975	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	フシキアツバ														●
976	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クロスジアツバ		●												●
977	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シラナミアツバ				●			●							●
978	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	トビスジアツバ								●						●
979	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クロクモヤガ														●
980	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	オオシラナミアツバ			●			●								●
981	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	フキヨトウ														●
982	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ソトウスグロアツバ	●	●	●								●	●		●
983	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ヒロオビウスグロアツバ							●							●
984	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クロキシタアツバ														●
985	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	トビモンアツバ			●											●
986	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ムラサキミツボシアツバ			●											●
987	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	アオアツバ			●				●							●
988	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	タイワンキシタアツバ		●	●	●			●	●						●
989	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ミジンアツバ			●											●
990	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	オオシロテングチバ	●													●
991	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	コウスグロアツバ														●
992	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	チョウセンウスグロアツバ	●	●												●
993	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ウラジロアツバ							●							●
994	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シロダラヒメヨトウ														●
995	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ヤナギキリガ	●	●												●
996	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クサビヨトウ	●						●							●
997	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	マエカシロヨトウ		●												●
998	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	セアカヨトウ							●							●
999	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クビグロクチバ	●		●				●							●
1000	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ククキンウフバ	●													●

定期報告書

6. 生物

表 6.8-3(12) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近		
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30	
1001	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ギンモンシロウバ	●			●										
1002	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ネジロコヤガ	●													
1003	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ヒメネジロコヤガ		●					●					●		
1004	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ヨトウガ							●					●		
1005	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ホシシミトウ												●		
1006	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	スジモンコヤガ		●										●		
1007	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ニセウンモンクチバ	●	●					●	●					●	
1008	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ウンモンクチバ			●				●					●		
1009	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	オオウンモンクチバ			●									●		
1010	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	アオハセダカヨトウ			●									●		
1011	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	マダラキヨトウ												●		
1012	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クサシロキヨトウ												●		
1013	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ミヤマフタオビキヨトウ	●											●		
1014	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クロシタキヨトウ												●		
1015	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	フタテンキヨトウ			●								●	●		
1016	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	アワヨトウ	●						●					●		
1017	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ツマクロキヨトウ												●		
1018	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	マメチャイロキヨトウ												●		
1019	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	スジシロキヨトウ	●											●		
1020	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	フタオビキヨトウ			●				●	●				●		
-	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	Mythimna属												●		●
1021	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	フタオビコヤガ	●	●					●					●		
1022	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	チャオビヨトウ	●	●										●		
1023	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ヒゲトクロアツバ												●		
1024	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	マエジロヤガ	●											●		
1025	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ベニモンシトウ		●										●		
1026	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ヒメグリバ							●					●		
1027	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	アカエグリバ												●		
1028	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ヨモギキリガ												●		
1029	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クロテンキリガ										●				
1030	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	キボシアツバ		●										●		
1031	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	アシトクチバ												●		
1032	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ホソオビアシトクチバ		●										●		
1033	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ヨモギコヤガ		●					●					●		
1034	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	マダラエグリバ			●									●		
1035	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ウスオビヤガ		●										●		
1036	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	キタハコガ	●	●										●		
1037	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	マエホシトウ		●										●		
1038	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	マエテンアツバ		●					●					●		
1039	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	トガリアツバ		●					●					●		
1040	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	タケアツバ		●					●					●		
1041	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	テンクアツバ		●					●	●				●		
-	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	Rivula属												●		
1042	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シロシタヨトウ	●	●										●		
1043	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クロシジメアツバ		●										●		
1044	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ハスオビメアツバ			●									●		
1045	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	イネヨトウ		●										●		
1046	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	テンオビヨトウ	●	●					●	●				●		
1047	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	オオアカマエアツバ		●										●		
1048	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	マルモンシロガ		●					●					●		
1049	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ハグルマトモエ	●	●					●	●				●		
1050	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	オスグルトモエ	●	●					●	●				●		
1051	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	スジキリヨトウ		●					●					●		
1052	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シロイチモジトウ		●										●		
1053	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ハスモンシトウ	●	●										●		
1054	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ウスアオキノヨトウ		●										●		
1055	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シロスジキノヨトウ		●										●		
1056	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ウンモンキノヨトウ		●					●					●		
1057	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ムクゲコノハ												●		
1058	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	キクキンウバ		●					●					●		
1059	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シロスジアオヨトウ	●											●		
1060	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	Traudinges属												●		
1061	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シロモンヤガ		●										●		
1062	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	キタミドリヤガ							●					●		
1063	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ハイロキシタヤガ							●					●		
1064	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	キバラモクメキリガ							●					●		
1065	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クロシキリガ							●					●		
1066	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	アヤナミアツバ	●	●					●	●				●		
-	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ヤガ科												●		
1067	チョウ目(鱗翅目)	コバガ科	キノカワガ												●		
1068	チョウ目(鱗翅目)	コバガ科	ウスベニアオリンガ							●					●		
1069	チョウ目(鱗翅目)	コバガ科	アカマエアオリンガ	●	●					●	●				●		
1070	チョウ目(鱗翅目)	コバガ科	ベニモンアオリンガ							●					●		
1071	チョウ目(鱗翅目)	コバガ科	スミコバガ												●		
1072	チョウ目(鱗翅目)	コバガ科	トビモンシロコバガ												●		
1073	チョウ目(鱗翅目)	コバガ科	オオコバガ	●											●		
1074	チョウ目(鱗翅目)	コバガ科	クロシジロコバガ		●					●					●		
1075	チョウ目(鱗翅目)	コバガ科	クロシキノカワガ		●										●		
1076	チョウ目(鱗翅目)	コバガ科	アオシリアオリンガ												●		
1077	チョウ目(鱗翅目)	コバガ科	アメリシガ												●		
1078	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	ホソハネヒメガガンボ												●		
1079	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Epiphragma evanescens												●		
1080	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	オオヒゲナガガガンボ		●										●		
1081	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	コマダラヒメガガンボ												●		
1082	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	カスリヒメガガンボ												●		
-	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ科												●		
1083	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	ヒメウレイガガンボ												●		
1084	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	エソソガガンボ												●		
1085	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	オオマキバガガンボ	●											●		
1086	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	キイロソコガガンボ												●		
1087	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	キリウシガガンボ												●		
1088	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	キアシガガンボ												●		
1089	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	マダガガンボ		●										●		
1090	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	クロキリウシガガンボ												●		
1091	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	ヤチノコキリガガンボ												●		
-	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	Tipula属												●		
-	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	ガガンボ科												●		
1092	ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	ユスリカ科												●		
1093	ハエ目(双翅目)	カ科	ヒトシジマカ												●		
1094	ハエ目(双翅目)	ケバエ科	メスカケバエ							●	●				●		
1095	ハエ目(双翅目)	ケバエ科	ハグロケバエ	●						●					●		
-	ハエ目(双翅目)	ケバエ科	Bibio属												●		
1096	ハエ目(双翅目)	ケバエ科	ヒメセアケバエ	●											●		
1097	ハエ目(双翅目)	ミズアブ科	エソソルミズアブ												●		
1098	ハエ目(双翅目)	ミズアブ科	アメリカミズアブ												●		
1099	ハエ目(双翅目)	ハラキンミズアブ	ハラキンミズアブ		●					●					●		
1100	ハエ目(双翅目)	ミズアブ科	ユガタミズアブ	●											●		

表 6.8-3(13) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺					九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近	
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30	
1101	ハエ目(双翅目)	ミズアブ科	コウカアブ	●	●	●	●	●	●	●					●		●
1102	ハエ目(双翅目)	ミズアブ科	ルリミズアブ					●	●	●					●		●
1103	ハエ目(双翅目)	ミズアブ科	ミズアブ		●				●						●		
1104	ハエ目(双翅目)	アブ科	アカウシアブ		●												
1105	ハエ目(双翅目)	アブ科	アカアブ	●													
1106	ハエ目(双翅目)	アブ科	タイワンシロアブ				●										
1107	ハエ目(双翅目)	アブ科	ウシアブ														
1108	ハエ目(双翅目)	ムシヒキアブ科	トラフムシヒキ							●							
1109	ハエ目(双翅目)	ムシヒキアブ科	アオメアブ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1110	ハエ目(双翅目)	ムシヒキアブ科	チャイロムシヒキ												●		
1111	ハエ目(双翅目)	ムシヒキアブ科	ウスグロムシヒキ											●			
1112	ハエ目(双翅目)	ムシヒキアブ科	ミノモソムシヒキ			●											
1113	ハエ目(双翅目)	ムシヒキアブ科	サキグロムシヒキ														
1114	ハエ目(双翅目)	ムシヒキアブ科	ナミガリケムシヒキ	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1115	ハエ目(双翅目)	ムシヒキアブ科	シロスヒメムシヒキ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-	ハエ目(双翅目)	ムシヒキアブ科	Philonicus属												●		
1116	ハエ目(双翅目)	ムシヒキアブ科	シオヤアブ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1117	ハエ目(双翅目)	ツリアブ科	クロバナツリアブ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1118	ハエ目(双翅目)	ツリアブ科	コトハラボツツリアブ												●		
1119	ハエ目(双翅目)	ツリアブ科	スキバツリアブ												●		
1120	ハエ目(双翅目)	アシナガバエ科	アシナガキンバエ												●		
1121	ハエ目(双翅目)	アシナガバエ科	マダラアシナガバエ												●		
-	ハエ目(双翅目)	アシナガバエ科	アシナガバエ科												●		
1122	ハエ目(双翅目)	オドリバエ科	オドリバエ科												●		
1123	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ツマクロコシホリハナアブ												●		
1124	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ナガヒラタアブ		●												
1125	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ヤマヒゲナガハナアブ		●	●				●							
1126	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ヒゲナガハナアブ								●						
1127	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ヒロビヒラタアブ			●											
1128	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ヨソジマオヒラタアブ								●						
1129	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	オオショウガハエ					●									●
1130	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ホソヒラタアブ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1131	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	キゴシハナアブ												●		
1132	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ホシメハナアブ														●
1133	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	シマハナアブ			●				●					●		
1134	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	スルスシマハナアブ												●		
1135	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	キョウコシマハナアブ												●		
1136	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ナミハナアブ	●	●						●			●	●	●	●
1137	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	マドリタアブ		●												●
1138	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ナミホシヒラタアブ		●	●											●
1139	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	フタホシヒラタアブ	●	●	●											●
1140	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	アシフトハナアブ														●
1141	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ムツモンホソヒラタアブ		●												●
1142	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ホソツヤヒラタアブ			●											●
1143	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ホソツヤヒラタアブ		●	●	●										●
1144	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	シマアシフトハナアブ														●
1145	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	アリノスアブ			●											●
1146	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	キアシマヒラタアブ			●											●
1147	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ノヒラマヒラタアブ			●											●
1148	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	オオハナアブ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1149	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	マキゲヒラアシヒラタアブ		●												●
1150	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ミナヒメヒラタアブ														●
1151	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ホソヒメヒラタアブ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1152	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ヒメヒラタアブ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1153	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	シロスジベッコウハナアブ	●													
1154	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ナミルリイロハナガハナアブ														●
-	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ハナアブ科												●		
1155	ハエ目(双翅目)	ショウジョウバエ科	ヒョウモンショウジョウバエ			●											
1156	ハエ目(双翅目)	ショウジョウバエ科	キイロショウジョウバエ												●	●	
1157	ハエ目(双翅目)	ショウジョウバエ科	オオホシショウジョウバエ			●											
-	ハエ目(双翅目)	ショウジョウバエ科	Drosophila属												●		
1158	ハエ目(双翅目)	ショウジョウバエ科	コフキヒメショウジョウバエ														
1159	ハエ目(双翅目)	ショウジョウバエ科	ツヤカフトショウジョウバエ														●
-	ハエ目(双翅目)	ショウジョウバエ科	ショウジョウバエ科												●		
1160	ハエ目(双翅目)	ミギワバエ科	ミギワバエ科												●		
1161	ハエ目(双翅目)	デガシラバエ科	フトハチモドキバエ														
1162	ハエ目(双翅目)	ヤチバエ科	ヒゲナガヤチバエ												●		●
1163	ハエ目(双翅目)	ツヤホソバエ科	ヒトテンツヤホソバエ												●		
1164	ハエ目(双翅目)	ミバエ科	ヒラヤマミメケツカミバエ				●										
1165	ハエ目(双翅目)	ミバエ科	ヨモギマルツシバエ														
1166	ハエ目(双翅目)	ミバエ科	ネジロクロミバエ		●												
1167	ハエ目(双翅目)	ミバエ科	ミスジハマダラミバエ														
1168	ハエ目(双翅目)	クロバエ科	オオクロバエ	●													
1169	ハエ目(双翅目)	クロバエ科	オビケンバエ		●												
1170	ハエ目(双翅目)	クロバエ科	コガネケンバエ														
1171	ハエ目(双翅目)	クロバエ科	ケンバエ		●												
1172	ハエ目(双翅目)	クロバエ科	ミドリケンバエ		●												
1173	ハエ目(双翅目)	クロバエ科	スネアカケンバエ		●												
-	ハエ目(双翅目)	クロバエ科	Lucilia属														
1174	ハエ目(双翅目)	クロバエ科	ツマクロケンバエ		●	●									●		●
1175	ハエ目(双翅目)	クロバエ科	シリフトミドリバエ			●											
-	ハエ目(双翅目)	クロバエ科	クロバエ科														
1176	ハエ目(双翅目)	イエバエ科	セマダライエバエ														
1177	ハエ目(双翅目)	イエバエ科	ヒメクロバエ		●												
1178	ハエ目(双翅目)	イエバエ科	オオイエバエ														
1179	ハエ目(双翅目)	イエバエ科	Phaonia属														
-	ハエ目(双翅目)	イエバエ科	イエバエ科														
1180	ハエ目(双翅目)	ニクバエ科	シリグロニクバエ		●												
1181	ハエ目(双翅目)	ニクバエ科	ナミニクバエ	●													
1182	ハエ目(双翅目)	ニクバエ科	コニクバエ														
-	ハエ目(双翅目)	ニクバエ科	Sarcophaga属														
-	ハエ目(双翅目)	ニクバエ科	ニクバエ科														
1183	ハエ目(双翅目)	フンバエ科	ヒメフンバエ														
1184	ハエ目(双翅目)	ヤドリバエ科	Demoticoidea pallidus		●												
1185	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソクビゴミムシ科	セグロホソクビゴミムシ			●											
1186	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソクビゴミムシ科	オオホソクビゴミムシ	●													
1187	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソクビゴミムシ科	コホソクビゴミムシ			●											
1188	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソクビゴミムシ科	ミイデラゴミムシ														
1189	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	キイロチゴモクムシ		●	●											
1190	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ニッポンヨツボシゴミムシ		●												
1191	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	トゲアトキリゴミムシ														
1192	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アオグロヒラタゴミムシ		●	●											
1193	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	セスジヒラタゴミムシ														
1194	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	タンゴヒラタゴミムシ		●	●											
1195	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アシシノヒヒラタゴミムシ														
1196	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	キアシマルガタゴミムシ		●	●											
1197	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	マルガタゴミムシ														
1198	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コアマルガタゴミムシ		●	●											
1199	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ニセマルガタゴミムシ														
1200	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アカアシマルガタゴミムシ														

定期報告書

6. 生物

表 6.8-3(14) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近	
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30
1201	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオマルガタゴミムシ	●	●	●			●	●	●				●	
1202	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	イグチマルガタゴミムシ				●								●	
1203	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヒメツヤマルガタゴミムシ				●								●	
1204	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ツヤマルガタゴミムシ				●								●	
1205	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コマルガタゴミムシ					●							●	
-	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	Amara属												●	
1206	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ホシボシゴミムシ	●	●	●	●	●	●	●	●				●	
1207	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオホシボシゴミムシ					●							●	
1208	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ゴミムシ	●	●	●			●	●					●	
-	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	Anisodactylus属												●	
1209	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ケベリゴモクムシ	●	●	●	●	●	●	●					●	●
1210	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ムネミソチビゴモクムシ			●									●	
1211	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	スジミズアトキリゴミムシ												●	
1212	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	フタモンクビナゴミムシ	●	●	●	●								●	●
1213	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	キヤシヌレチゴミムシ	●	●	●	●	●	●	●					●	
1214	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ケベリカタキバゴミムシ	●											●	
1215	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クロスカタキバゴミムシ			●									●	
1216	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヨツモンカタキバゴミムシ		●				●	●					●	
1217	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオルリミズギワゴミムシ													●
1218	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ウスモンケンミズギワゴミムシ				●									
1219	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオフタモンミズギワゴミムシ												●	
1220	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アオミズギワゴミムシ													●
1221	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ウスモンミズギワゴミムシ	●											●	
1222	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	エチゴアオミズギワゴミムシ												●	
1223	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	マルミズギワゴミムシ												●	
1224	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ガロアミズギワゴミムシ		●				●	●					●	
1225	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヒョウゴミズギワゴミムシ						●	●					●	
1226	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオアオミズギワゴミムシ		●	●			●	●					●	
1227	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ハコネミズギワゴミムシ												●	
1228	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ニッコウミズギワゴミムシ												●	
1229	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヨツボシミズギワゴミムシ				●			●					●	
1230	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アトモンミズギワゴミムシ	●	●	●				●					●	
1231	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クロミズギワゴミムシ												●	
1232	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヒメスジミズギワゴミムシ		●	●				●	●				●	
1233	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヒラアオミズギワゴミムシ					●							●	
1234	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	キモンナミズギワゴミムシ							●	●				●	
1235	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ハマベミズギワゴミムシ		●				●	●					●	
1236	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	フタモンミズギワゴミムシ		●	●									●	
1237	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヨツアオミズギワゴミムシ												●	
1238	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	キアシルミズギワゴミムシ					●							●	
-	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	Bembidion属					●							●	
1239	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	フタボシチビゴミムシ						●	●					●	
1240	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	マルヒメゴモクムシ												●	
1241	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アカビヒメゴモクムシ												●	
1242	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	チビヒメゴモクムシ	●											●	
1243	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ムネミソマルゴミムシ											●	●	
1244	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アオアトキリゴミムシ												●	
1245	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	エノカタビロオサムシ		●										●	
1246	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	マイマイカブリ							●					●	
1247	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオオサムシ												●	
1248	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヒメオサムシ												●	
1249	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	セアカオサムシ	●	●				●	●					●	
1250	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヤコンオサムシ近畿地方北部亜種												●	
1251	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヤコンオサムシ	●	●	●	●		●	●					●	
1252	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アカガネアオゴミムシ			●									●	
1253	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ケベリアオゴミムシ												●	
1254	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コトワアオゴミムシ							●					●	
1255	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヒメケベリアオゴミムシ	●	●	●			●	●					●	
1256	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオアトボシアオゴミムシ	●	●	●	●	●	●	●					●	
1257	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アトボシアオゴミムシ												●	
1258	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アオゴミムシ	●	●	●	●	●	●	●					●	
1259	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	キボシアオゴミムシ												●	
1260	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ムナビロアオゴミムシ		●	●				●					●	
1261	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コガシラアオゴミムシ	●	●										●	
1262	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アトワアオゴミムシ	●	●										●	
1263	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ツヤヒメヒョウタンゴミムシ												●	
1264	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コヒメヒョウタンゴミムシ	●											●	
1265	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クロモリヒラタゴミムシ		●	●				●					●	
1266	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオアオモリヒラタゴミムシ	●	●	●				●					●	
1267	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ハラアカモリヒラタゴミムシ	●	●	●	●			●					●	
1268	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コハラアカモリヒラタゴミムシ	●	●	●				●					●	
-	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	Colpodes属													●
1269	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オサムシモドキ												●	
1270	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ミズギワアトキリゴミムシ		●	●				●					●	
1271	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	スナハラゴミムシ		●										●	
1272	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオスナハラゴミムシ	●	●					●					●	
1273	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	カワチゴミムシ				●		●	●					●	
1274	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コヨツボシアトキリゴミムシ												●	
1275	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	セアカヒラタゴミムシ	●	●	●	●	●	●	●					●	
1276	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ホソアトキリゴミムシ							●					●	
1277	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	イクビホソアトキリゴミムシ	●	●										●	
1278	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アオヘリホソゴミムシ	●	●	●	●	●	●	●					●	
1279	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	チビヒョウタンゴミムシ												●	
1280	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ダイミョウチビヒョウタンゴミムシ		●	●									●	
1281	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオケベリアオゴミムシ												●	
1282	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クビボソゴミムシ	●											●	
1283	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	スシアオゴミムシ			●	●								●	
1284	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ハバゴモクムシ												●	
1285	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	マルガタゴモクムシ												●	
1286	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオゴモクムシ	●	●	●	●		●	●					●	
1287	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ツヤアオゴモクムシ												●	
1288	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオズケゴモクムシ	●	●	●	●		●	●					●	
1289	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ケウスゴモクムシ	●	●	●	●		●	●					●	
1290	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヒメケゴモクムシ	●	●	●	●		●	●					●	
1291	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クロゴモクムシ	●	●	●	●		●	●					●	
1292	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヒラタゴモクムシ	●	●	●	●		●	●					●	
1293	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ウスアカロゴモクムシ	●	●	●	●		●	●					●	
1294	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アカシマルガタゴモクムシ	●	●	●	●		●	●					●	
1295	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コゴモクムシ												●	
1296	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ケゴモクムシ												●	
-	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	Harpalus属												●	
1297	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヤマトツクリゴミムシ							●					●	
1298	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ツクリゴミムシ												●	
1299	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クビアオアトキリゴミムシ	●	●					●					●	

表 6.8-3(15) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近		
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30	
1300	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	フタホシアトキリゴミムシ														
1301	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コルリアトキリゴミムシ				●										
1302	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオゴミムシ														
1303	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ノグチアオゴミムシ		●												
1304	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	マルクビゴミムシ														
1305	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	カワチマルクビゴミムシ														
1306	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオマルクビゴミムシ														
1307	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	チヤハネクビナガゴミムシ														
1308	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クビナガゴミムシ														
1309	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	メダカアトキリゴミムシ														
1310	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クビナガゴミムシ														
1311	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クロオビコムズギワゴミムシ														
1312	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ウスイロコムズギワゴミムシ														
1313	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ウスオビコムズギワゴミムシ														
1314	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クロヘリアトキリゴミムシ														
1315	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ホソチビゴミムシ														
1316	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	フタホシスジハネゴミムシ														
1317	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオヒラタゴミムシ														
1318	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コヒラタゴミムシ														
1319	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ホソヒラタゴミムシ														
1320	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオナガゴミムシ														
1321	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	トククナガゴミムシ														
1322	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオクロナガゴミムシ														
1323	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クロオオナガゴミムシ														
1324	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コホソナガゴミムシ														
1325	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コガシラナガゴミムシ														
1326	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ノグチナガゴミムシ														
1327	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	キンナガゴミムシ														
1328	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオキンナガゴミムシ														
1329	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アシミノナガゴミムシ														
1330	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヨリトモナガゴミムシ														
-	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	Pterostichus属														
1331	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ナガヒョウタンゴミムシ														
1332	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ナガマメゴモクムシ														
1333	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ミドリマメゴモクムシ														
1334	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	マメゴモクムシ														
1335	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ツヤマメゴモクムシ														
1336	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ムネアカマメゴモクムシ														
1337	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	マルガタツヤヒラタゴミムシ														
1338	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	キアンツヤヒラタゴミムシ														
1339	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クロツヤヒラタゴミムシ														
1340	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヒメツヤヒラタゴミムシ														
1341	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオクロツヤヒラタゴミムシ														
-	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	Synuchus属														
1342	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヒラタコムズギワゴミムシ														
1343	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クワイロコムズギワゴミムシ														
1344	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ウスモンコムズギワゴミムシ														
1345	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヨツモンコムズギワゴミムシ														
1346	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヒラタキイロチビゴミムシ														
1347	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヒメツヤゴモクムシ														
1348	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クビアカツヤゴモクムシ														
1349	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	チビツヤゴモクムシ														
1350	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アカガネオオゴミムシ														
-	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オサムシ科														
1351	コウチュウ目(鞘翅目)	ハンミョウ科	アイヌハンミョウ														
1352	コウチュウ目(鞘翅目)	ハンミョウ科	コワハンミョウ														
1353	コウチュウ目(鞘翅目)	ハンミョウ科	コニワハンミョウ														
1354	コウチュウ目(鞘翅目)	ハンミョウ科	エリヤハンミョウ														
1355	コウチュウ目(鞘翅目)	ハンミョウ科	コハンミョウ														
1356	コウチュウ目(鞘翅目)	ハンミョウ科	ナミハンミョウ														
1357	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	クロズマゲンゴロウ														
1358	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	マメゲンゴロウ														
1359	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	ホソセスジゲンゴロウ														
1360	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	ハイロゲンゴロウ														
1361	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	コシマゲンゴロウ														
1362	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	チビゲンゴロウ														
1363	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	コマルケンゲンゴロウ														
1364	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	ケンケンゴロウ														
1365	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	ツツゲンゴロウ														
1366	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	コシマチビゲンゴロウ														
1367	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	ヒメシマチビゲンゴロウ														
1368	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	ケベリマゲンゴロウ														
1369	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	モンキマゲンゴロウ														
1370	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	ヒメゲンゴロウ														
1371	コウチュウ目(鞘翅目)	コガシラミズムシ科	クビボソコガシラミズムシ														
1372	コウチュウ目(鞘翅目)	コガシラミズムシ科	コガシラミズムシ														
1373	コウチュウ目(鞘翅目)	ナガヒラタムシ科	ナガヒラタムシ														
1374	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソガムシ科	ヤマトホソガムシ														
1375	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	ヤマトゴマフガムシ														
1376	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	トゲバゴマフガムシ														
1377	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	ゴマフガムシ														
1378	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	コケシガムシ														
1379	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	ウスモンケンガムシ														
1380	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	アカケシガムシ														
1381	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	キハネケシガムシ														
1382	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	ケンガムシ														
1383	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	セマルケシガムシ														
1384	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	ケベリヒラタガムシ														
1385	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	キイロヒラタガムシ														
1386	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	コガムシ														
1387	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	ガムシ														
1388	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	シジミガムシ														
1389	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	ホソケシガムシ														
1390	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	マメガムシ														
1391	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	ヒメガムシ														
1392	コウチュウ目(鞘翅目)	エンマムシ科	ツヤハマベエンマムシ														
1393	コウチュウ目(鞘翅目)	エンマムシ科	コエンマムシ														
1394	コウチュウ目(鞘翅目)	エンマムシ科	ルリエンマムシ														
1395	コウチュウ目(鞘翅目)	タマキノコムシ科	オオヒメタマキノコムシ														
1396	コウチュウ目(鞘翅目)	シテムシ科	オオヒラタシテムシ														
1397	コウチュウ目(鞘翅目)	シテムシ科	オオモモトシテムシ														
1398	コウチュウ目(鞘翅目)	シテムシ科	モモトシテムシ														
1399	コウチュウ目(鞘翅目)	シテムシ科	クロシテムシ														
1400	コウチュウ目(鞘翅目)	シテムシ科	マエモンシテムシ														

定期報告書

6. 生物

表 6.8-3(16) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近		
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30	
1401	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ナカアカヒゲフトハネカクシ														
-	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	Aleochara属					●				●					
1402	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ムネビロハネカクシ							●							
1403	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	セスジハネカクシ	●													
1404	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ルイスツヤセスジハネカクシ														
1405	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	オオシロコハネカクシ														
1406	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ズグロアカヒメハネカクシ														
1407	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	チャイロニセコガシラハネカクシ														
1408	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ケベリカワベハネカクシ														
-	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	Bledius属											●			
1409	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	チビツツニセユミセミゾハネカクシ														
1410	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ニセヒメユミセミゾハネカクシ														
-	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	Carpelemus属					●				●					
1411	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	セミソキノカワハネカクシ														
1412	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	マルズハネカクシ														
1413	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	コマルズハネカクシ														
1414	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	Gabrus属														
1415	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ニセトガリハネカクシ														
1416	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	キイロマルケシハネカクシ														
1417	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クロストガリハネカクシ														
1418	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	サキアカバツツナガハネカクシ														
1419	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ナガアリヤドリ														
1420	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ヨコモトガリハネカクシ														
1421	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	アカバナガエハネカクシ		●					●							
1422	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	マメアリツカムシ														
1423	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ミギワハネカクシ														
1424	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	アメロセミゾハネカクシ														
1425	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	スノアカヒメソハネカクシ														
1426	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	アカヒメソハネカクシ														
1427	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クロカワベナガエハネカクシ														
1428	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ツマアカカワベナガエハネカクシ														
1429	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ナミヨセミゾハネカクシ														
1430	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クロハネアリガタハネカクシ														
1431	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ナガサキハネナガヨツメハネカクシ														
1432	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	セミソツメハネカクシ														
1433	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ウスアカバソハネカクシ														
1434	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	Oxytelus属														
1435	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	アオバアリガタハネカクシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1436	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	アカセマルマルクビハネカクシ														
1437	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ドウガネコガシラハネカクシ														
1438	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ドウハネコガシラハネカクシ														
1439	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	キアシチビコガシラハネカクシ														
1440	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	カクコガシラハネカクシ														
1441	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	オオアカハコガシラハネカクシ														
-	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	Philonthus属														
1442	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	アカバクビフトハネカクシ														
1443	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クロガネトガリオオスハネカクシ														
1444	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クロヒメカワベハネカクシ														
1445	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	アカバチビナガハネカクシ														
1446	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ツマキクビソハネカクシ														
1447	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クビボソハネカクシ														
1448	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ヘリアカチオキノコムシ														
1449	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	チビヒメクビソハネカクシ														
1450	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クロクビヒメクビソハネカクシ														
1451	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ヒメキノコハネカクシ														
1452	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ホソフタホシメダカハネカクシ														
1453	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ドウボソナガメダカハネカクシ														
1454	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	コクメダカハネカクシ														
1455	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ナミフタホシメダカハネカクシ														
1456	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クロズマルクビハネカクシ														
1457	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ホソクロハネカクシ														
1458	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	キアシコガシラナガハネカクシ														
1459	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	アカシユミセミゾハネカクシ														
1460	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ヤマトニセユミセミゾハネカクシ														
1461	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ユミセミゾハネカクシ														
1462	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ナミエンマアリツカムシ														
1463	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	Xantholinus属														
1464	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	シロヒゲアリノスハネカクシ														
1465	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クビアカアリノスハネカクシ														
-	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ハネカクシ科														
1466	コウチュウ目(鞘翅目)	マルハナノミ科	クロチビマルハナノミ														
1467	コウチュウ目(鞘翅目)	マルハナノミ科	ウスチャチビマルハナノミ														
1468	コウチュウ目(鞘翅目)	マルハナノミ科	ホソチビマルハナノミ														
1469	コウチュウ目(鞘翅目)	マルハナノミ科	Sacodes属														
1470	コウチュウ目(鞘翅目)	マルハナノミ科	トビイロマルハナノミ														
1471	コウチュウ目(鞘翅目)	クワガタムシ科	クワガタ														
1472	コウチュウ目(鞘翅目)	クワガタムシ科	ヒラタクワガタ本土亜種														
1473	コウチュウ目(鞘翅目)	クワガタムシ科	ノコギリクワガタ														
1474	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	コイチャコガネ														
1475	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	アオドウガネ														
1476	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ドウガネブイブイ														
1477	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	サクラコガネ														
1478	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ヒメサクラコガネ														
1479	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ヤマトアオドウガネ														
1480	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ツヤコガネ														
1481	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ハンヒメコガネ														
1482	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ヒラタアオコガネ														
1483	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ヒメコガネ														
1484	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	チビサクラコガネ														
1485	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	マグソコガネ														
1486	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	カガメコガネ														
1487	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ナミハナムグリ														
1488	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	セマダラコガネ														
1489	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	コアオハナムグリ														
1490	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	クロハナムグリ														
1491	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ナガチャコガネ														
1492	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	クロコガネ														
1493	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	オオクロコガネ														
1494	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	コクコガネ														
1495	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	アンナコガネ														
1496	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	アカビロウドコガネ														
1497	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ビロウドコガネ														
1498	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ヒメビロウドコガネ														
1499	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	オオビロウドコガネ														
1500	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	オオコフキコガネ														

表 6.8-3(17) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近		
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30	
1501	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	コフキコガネ														
1502	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ヒメシジコガネ	●													
1503	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	コガネムシ	●	●												
1504	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	スジコガネ														
1505	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	クリイロコガネ														
1506	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ウタリビロウドコガネ		●												
1507	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ハラゲビロウドコガネ														
1508	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ヒラタハナムグリ		●	●											
1509	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	コブマルエンマコガネ	●													
1510	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ウスチャコガネ														
1511	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	アオウスチャコガネ														
1512	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	キスジコガネ														
1513	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	マモコガネ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1514	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ナラノチャイロコガネ														
1515	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ムラサキツヤハナムグリ														
1516	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	シロテンハナムグリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1517	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	セラルケシマグソコガネ														
1518	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	カナブン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1519	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	クロカナブン														
1520	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	クロスジチャイロコガネ本州・四国亜種														
1521	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ホソケンシマグソコガネ														
1522	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	カブトムシ														
-	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	コガネムシ科														
1523	コウチュウ目(鞘翅目)	コブシジコガネ科	ヘリケゴブシジコガネ														
1524	コウチュウ目(鞘翅目)	マルトゲムシ科	シラフチマルトゲムシ		●												
1525	コウチュウ目(鞘翅目)	ドロムシ科	ムナビロツヤドロムシ														
1526	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒメドロムシ科	キスジミドリムシ		●	●											
1527	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒメドロムシ科	イブシアシナガドロムシ														
1528	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒメドロムシ科	アシナガミドリムシ														
1529	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒメドロムシ科	アワツヤドロムシ														
1530	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒメドロムシ科	ツヤドロムシ														
1531	コウチュウ目(鞘翅目)	ナガドロムシ科	タテシジナガドロムシ		●												
1532	コウチュウ目(鞘翅目)	ナガドロムシ科	タマガワナガドロムシ														
1533	コウチュウ目(鞘翅目)	チビドロムシ科	チビドロムシ														
1534	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒラタドロムシ科	マルヒラタドロムシ														
1535	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒラタドロムシ科	ヒラタドロムシ		●	●											
1536	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒラタドロムシ科	マサダチヒラタドロムシ		●												
1537	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ヒシモンナガタマムシ														
1538	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ヒメアサギナガタマムシ														
1539	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ブドウナガタマムシ		●												
1540	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	アサギナガタマムシ														
1541	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ロコノナガタマムシ														
1542	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	シンリョクナガタマムシ														
-	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	タマムシ科														
1543	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ムツボシタマムシ														
1544	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ナガヒラタチビタマムシ														
1545	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ホソツツタマムシ		●												
1546	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	アラモホソツツタマムシ														
1547	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	クズノチビタマムシ														
1548	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ナミガタチビタマムシ														
1549	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	マルガタチビタマムシ														
1550	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ヤナギチビタマムシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1551	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	ヘリアカシコメツク														
1552	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	ヒメカバイロコメツク														
1553	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	サビキコリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1554	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	ホソサビキコリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1555	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	ヒメサビキコリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1556	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	オオアカコメツク	●	●												
1557	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	アカコメツク														
1558	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	ケブカクロコメツク														
1559	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	クロハナコメツク														
1560	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	メスグロホタルコメツク														
1561	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	オオハナコメツク	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1562	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	Ectinus属														
1563	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	ミスギワコメツク														
1564	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	ヨツモンミスギワコメツク														
1565	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	キアシミスギワコメツク														
1566	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	クロスジクチホソコメツク		●	●											
1567	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	クロツヤハダコメツク														
1568	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	ニセクチホコメツク														
1569	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	タテジマカネコメツク	●	●												
1570	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	クロツヤクシコメツク	●	●												
1571	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	クシコメツク														
1572	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	チャバネクシコメツク	●	●												
1573	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	クロツヤミスギワコメツク														
1574	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	クロハナコメツク														
1575	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	コハナコメツク														
1576	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	クリイロニセコメツク														
1577	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	クロホソコメツク														
1578	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	マダラチビコメツク	●	●												
1579	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	クチホコメツク														
1580	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	アカアシオオクシコメツク														
1581	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	カダモンチビコメツク														
-	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツクムシ科	コメツクムシ科	●													
1582	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	ミヤマクビボソジョウカイ														
1583	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	ウスイロクビボソジョウカイ														
1584	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	ムネアカフトジョウカイ														
1585	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	ホッカイジョウカイ	●													
1586	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	クビボソジョウカイ														
1587	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	クロジョウカイ	●													
1588	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	ヒメジョウカイ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1589	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	ニセヒメジョウカイ														
1590	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	ジョウカイボン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1591	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	セボシジョウカイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1592	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	マルムネジョウカイ	●													
1593	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	カダケンイロジョウカイ														
-	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	ジョウカイボン科														
1594	コウチュウ目(鞘翅目)	ホタル科	オハボタル		●	●											
1595	コウチュウ目(鞘翅目)	ペニボタル科	クロハナボタル														
1596	コウチュウ目(鞘翅目)	ペニボタル科	クロハナボタル	●													
1597	コウチュウ目(鞘翅目)	ペニボタル科	ニセクロハナボタル														
1598	コウチュウ目(鞘翅目)	カツオブシムシ科	ヒメマルカツオブシムシ														
1599	コウチュウ目(鞘翅目)	カツオブシムシ科	カマキリタマゴカツオブシムシ														
1600	コウチュウ目(鞘翅目)	シバムシ科	ツツガタシバムシ														

定期報告書

6. 生物

表 6.8-3(18) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近		
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30	
1601	コウチュウ目(鞘翅目)	カッコウムシ科	キムネツツカコウムシ			●											
1602	コウチュウ目(鞘翅目)	ジウカイモドキ科	ヒロオビジウカイモドキ									●					
1603	コウチュウ目(鞘翅目)	ジウカイモドキ科	キアジオビジウカイモドキ	●	●	●	●			●	●						●
1604	コウチュウ目(鞘翅目)	ジウカイモドキ科	ツマキアオジウカイモドキ	●	●	●	●			●	●	●		●			●
1605	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒゲボソケシキスイ科	コクロチビハナケシキスイ														●
1606	コウチュウ目(鞘翅目)	クスイモドキ科	クスイモドキ		●	●	●			●	●						
1607	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	カメノコテントウ			●				●	●						
1608	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	シロトホシテントウ			●				●	●						●
1609	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ムーアシロホシテントウ			●				●	●						●
1610	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	シロジウシホシテントウ	●										●			
1611	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ヒメアカホシテントウ		●	●	●			●	●						●
1612	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ナナホシテントウ	●	●	●	●			●	●	●		●			●
1613	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	フタモンクロテントウ			●				●	●						●
1614	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ナミテントウ	●	●	●	●			●	●	●		●			●
1615	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	オオニジウヤホシテントウ			●											
1616	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ジウサンホシテントウ	●	●	●	●			●	●						
1617	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ソマフタホシテントウ			●				●	●						
1618	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	フタホシテントウ			●				●	●						
1619	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	キイロテントウ		●	●				●	●	●		●			●
1620	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	オンシロテントウ			●				●	●						
1621	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	セシジメテントウ			●				●	●						●
1622	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	アトホシテントウ			●				●	●						
1623	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ムツキホシテントウ			●				●	●						●
1624	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ヒメカメノコテントウ	●	●	●	●			●	●	●		●			●
1625	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	コカメノコテントウ			●				●	●						●
1626	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ハレヤヒメテントウ			●				●	●						●
1627	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ハバヒメテントウ			●				●	●						●
1628	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	チュウジョウヒメテントウ			●				●	●						
1629	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	クロヘリヒメテントウ		●	●				●	●						●
1630	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	クロヒメテントウ			●				●	●						●
1631	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	カワムラヒメテントウ			●				●	●						●
1632	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	コクロヒメテントウ			●				●	●						●
1633	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	クロツヤテントウ		●	●				●	●						●
1634	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	キアシクロヒメテントウ			●				●	●						●
1635	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	クロテントウ			●				●	●						●
1636	コウチュウ目(鞘翅目)	クスイムシ科	ケナガセマルクスイ														●
1637	コウチュウ目(鞘翅目)	クスイムシ科	キイロセマルクスイ														●
1638	コウチュウ目(鞘翅目)	クスイムシ科	マルガタクスイ														●
1639	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシシダマシ科	ヨツボシテントウダマシ	●	●	●				●	●			●			●
1640	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシシダマシ科	キボシテントウダマシ			●				●	●						●
1641	コウチュウ目(鞘翅目)	オオクスイムシ科	ヨツボシオオクスイ											●			●
1642	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキモドキ科	キムネヒメコメツキモドキ														●
1643	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキモドキ科	ツマクロヒメコメツキモドキ		●					●	●						●
1644	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキモドキ科	ルイスコメツキモドキ							●	●						●
1645	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒメマキムシ科	ウスチャケシマキムシ											●			●
1646	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒメマキムシ科	ヤマトケシマキムシ											●			●
1647	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	クロハナケシキスイ		●	●				●	●						●
1648	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	クリロデオキスイ														●
1649	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	ナミモンコケシキスイ							●	●						●
1650	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	ツバキヒラタケシキスイ														●
1651	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	ツヤチビヒラタケシキスイ											●			●
1652	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	セグロヒラタケシキスイ											●			●
1653	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	コゲチャヒラタケシキスイ														●
1654	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	キナガヒラタケシキスイ							●	●						●
1655	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	ホソキヒラタケシキスイ							●	●						●
1656	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	モンチビヒラタケシキスイ							●	●						●
1657	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	マヒラタケシキスイ							●	●						●
1658	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	ヨツボシケンキスイ		●	●	●			●	●						●
1659	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	キムネチビケンキスイ							●	●						●
1660	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	キベリチビケンキスイ							●	●						●
1661	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	ネアカマルケンキスイ														●
1662	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	キボシヒラタケシキスイ			●					●						●
1663	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	アカマダラケンキスイ		●	●											●
1664	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	ウスグロキケンキスイ							●	●						●
1665	コウチュウ目(鞘翅目)	ケンキスイ科	オオキマダラケンキスイ			●											●
1666	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒメハナムシ科	エムモンチビヒメハナムシ														●
1667	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒメハナムシ科	ミジムシモドキ							●	●						●
1668	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒメハナムシ科	ニセグロズマルヒメハナムシ														●
1669	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒメハナムシ科	クロズマルヒメハナムシ														●
1670	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒメハナムシ科	アカボシチビヒメハナムシ														●
1671	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソヒラタムシ科	ミツモンセマルヒラタムシ							●	●						●
1672	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソヒラタムシ科	マルムネホソヒラタムシ														●
1673	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソヒラタムシ科	ホソムネホソヒラタムシ														●
1674	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	クロソアリモドキ														●
1675	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	ヒラタソアリモドキ														●
1676	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	コクロソアリモドキ		●	●				●	●						●
1677	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	ホソクビアリモドキ		●	●	●			●	●						●
1678	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	キアシクビホソムシ			●											●
1679	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	ホソアシチビイッカク														●
1680	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	クロモンイッカク														●
1681	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	ウスモンホソアリモドキ														●
1682	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	ムナグロホソアリモドキ														●
1683	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	クロホソアリモドキ														●
1684	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	ヨツボシホソアリモドキ														●
1685	コウチュウ目(鞘翅目)	ナガクチキムシ科	フタオビホソナガクチキ							●	●						●
1686	コウチュウ目(鞘翅目)	ナガクチキムシ科	コイチャニセハナノミ														●
1687	コウチュウ目(鞘翅目)	ツチハンミョウ科	マメハンミョウ														●
1688	コウチュウ目(鞘翅目)	ツチハンミョウ科	キイロゲンセイ														●
1689	コウチュウ目(鞘翅目)	ハナムミ科	クリイロヒメハナムミ														●
1690	コウチュウ目(鞘翅目)	ハナムミ科	シズオカヒメハナムミ														●
1691	コウチュウ目(鞘翅目)	ハナムミ科	クロヒメハナムミ		●	●				●	●						●
1692	コウチュウ目(鞘翅目)	ハナムミ科	コクロヒメハナムミ														●
1693	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリモドキ科	キイロカミキリモドキ							●	●						●
1694	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリモドキ科	キバナカミキリモドキ							●	●						●
1695	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリモドキ科	アオカミキリモドキ	●	●	●				●	●						●
1696	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリモドキ科	モモトカミキリモドキ							●	●						●
1697	コウチュウ目(鞘翅目)	アカハネムシ科	オニアカハネムシ														●
1698	コウチュウ目(鞘翅目)	アカハネムシ科	ムナビロアカハネムシ														●
1699	コウチュウ目(鞘翅目)	ハナムミダマシ科	コフナガタハナムミ														●
1700	コウチュウ目(鞘翅目)	ハナムミダマシ科	クロフナガタハナムミ														●

表 6.8-3(19) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近		
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30	
1701	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	クリノスイロクチキムシ														
1702	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	クリイロクチキムシ	●													
1703	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ホンドリビロクチキムシ		●												●
1704	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	オオヒメツノゴミムシダマシ			●											
1705	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	モンキゴミムシダマシ	●													
1706	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	コスナゴミムシダマシ	●	●	●		●		●	●	●			●		●
1707	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ヒメスナゴミムシダマシ	●		●				●	●	●					
1708	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	オオスナゴミムシダマシ			●							●				
1709	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	カクスナゴミムシダマシ			●					●						●
1710	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ホソスナゴミムシダマシ			●											●
1711	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ヒメカクスナゴミムシダマシ		●	●							●				
1712	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	スジコガシラゴミムシダマシ		●	●				●	●	●					●
1713	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	オオメキバネハムシダマシ			●							●				
1714	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ヒゲトゴミムシダマシ			●	●										●
1715	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	フジナガハムシダマシ			●											●
1716	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ニホンキマワリ本土亜種			●											●
1717	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	コクヌストモドキ		●	●											●
1718	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	コルベヨココエグリゴミムシダマシ		●	●											●
1719	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	マルセルエグリゴミムシダマシ本土亜種			●											●
1720	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ナメクチキムシ			●											●
1721	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ニセヒロウドカミキリ			●											●
1722	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ウスハカミキリ		●	●											●
1723	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ゴマダラカミキリ	●	●	●				●	●	●		●			●
1724	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	クワカミキリ			●											●
1725	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	フサオビアラゲカミキリ		●	●											●
1726	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	サビカミキリ			●											●
1727	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	コボスジサビカミキリ			●											●
1728	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	シロスジカミキリ	●	●	●											●
1729	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	イチジクカミキリ		●	●											●
1730	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	トゲヒゲトラカミキリ			●											●
1731	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ホタルカミキリ			●											●
1732	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ガロアケンカミキリ	●		●											●
1733	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	クロハナカミキリ			●											●
1734	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ムネアカクロハナカミキリ			●											●
1735	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	オニグルミ/キモンカミキリ			●											●
1736	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ナガゴマフカミキリ			●							●				●
1737	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ヒシカミキリ		●	●				●	●						●
1738	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ヒメヒゲナガカミキリ			●											●
1739	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ヘリグロリンゴカミキリ			●											●
1740	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	キクスイカミキリ	●	●	●				●	●						●
1741	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	セズジメハナカミキリ			●											●
1742	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ニセノギリカミキリ			●											●
1743	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	キボシカミキリ			●											●
1744	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	マルモンサビカミキリ			●											●
1745	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	トガリシロオビサビカミキリ			●											●
1746	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	アトモンサビカミキリ	●		●											●
1747	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ヒメナガサビカミキリ			●											●
1748	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	アトジロサビカミキリ			●											●
1749	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ヒトオビアラゲカミキリ			●											●
1750	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ケンカミキリ			●											●
1751	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	クロカミキリ			●											●
1752	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	アカガネサルハムシ		●	●											●
1753	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ハンノキハムシ			●											●
1754	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヒメカミナリハムシ		●	●											●
1755	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヒメアザミカミナリハムシ			●											●
1756	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	カミナリハムシ		●	●											●
1757	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	スジカミナリハムシ本州以南亜種		●	●											●
1758	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ニホンカミナリハムシ	●		●											●
1759	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	カミナリハムシ		●	●											●
1760	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	Altica属			●											●
1761	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ツブノミハムシ			●											●
1762	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	サメハダツブノミハムシ			●											●
1763	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ホソリトビハムシ			●											●
1764	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	オオキイロマルノミハムシ			●											●
1765	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	アカイロマルノミハムシ			●											●
1766	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ジンガサハムシ			●											●
1767	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ウリハムシモドキ	●	●	●				●	●						●
1768	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ウリハムシ	●	●	●				●	●						●
1769	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	クロウリハムシ	●	●	●				●	●						●
1770	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	アオハネサルハムシ	●	●	●											●
1771	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ハネナシトビハムシ	●	●	●											●
1772	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	サムライマメゾウムシ		●	●											●
1773	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ネムノキマメゾウムシ	●	●	●											●
1774	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	シリアカマメゾウムシ			●											●
1775	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	エンドウゾウムシ			●											●
1776	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	アズキマメゾウムシ		●	●											●
1777	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヒメジンガサハムシ			●											●
1778	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	フタヒロヒゴトビハムシ			●											●
1779	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヒメドウガネトビハムシ		●	●											●
1780	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	キイチゴトビハムシ			●											●
1781	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヒサゴトビハムシ			●											●
1782	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	アオハダウガネトビハムシ			●											●
1783	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	デンサイトビハムシ			●											●
1784	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	オオリヒメハムシ			●											●
1785	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ムシクソハムシ			●											●
1786	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヨモギハムシ		●	●											●
1787	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ハツカハムシ			●											●
1788	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヤナギハムシ	●		●											●
1789	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヒトミメサルハムシ			●											●
1790	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	キムネアオハムシ			●											●
1791	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	イモサルハムシ	●		●											●
1792	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ミドリトビハムシ		●	●											●
1793	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ルリツツハムシ	●		●											●
1794	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	キアシチビツツハムシ			●											●
1795	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	バラリツツハムシ	●	●	●											●
1796	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	コヤツボシツツハムシ	●	●	●											●
1797	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	タテジキツツハムシ			●											●
1798	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	クロボシツツハムシ	●	●	●											●
1799	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	クワハムシ		●	●											●
1800	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ジュンサイハムシ		●	●											●

定期報告書

6. 生物

表 6.8-3(20) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近		
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30	
1801	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	イタドリハムシ			●	●							●	●		
1802	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	クシミハムシ								●						
1803	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	コガタリハムシ								●						
1804	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヤツボシハムシ							●							●
1805	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	フジハムシ														●
1806	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ドウガネサルハムシ	●		●	●	●	●	●			●		●		
1807	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ルリクビボソハムシ														●
1808	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	トゲアシクビボソハムシ		●												
1809	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	トホシクビボソハムシ														●
1810	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	キオビクビボソハムシ				●										
1811	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	アカクビボソハムシ		●					●	●						●
1812	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヤマモハムシ								●						
1813	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	セアカクビボソハムシ				●										●
1814	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	イヌノフグリビハムシ		●												●
1815	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヨモギアシナガトビハムシ		●						●						
1816	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	コフキケバカサルハムシ					●				●					
1817	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	フタスジヒメハムシ	●	●	●	●			●	●	●			●	●	●
1818	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ホタルハムシ	●	●	●	●			●	●	●			●	●	●
1819	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	アオバシナガハムシ														●
1820	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヒメスイロハムシ				●				●						
1821	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	キヨクワハムシ														●
1822	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	カクムネトビハムシ								●						●
1823	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	オオキイロノミハムシ	●													●
1824	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ルリマルノミハムシ														●
1825	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ドウガネツヤハムシ				●										●
1826	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヒメツヤハムシ														●
1827	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	フタクサハムシ			●	●				●						●
1828	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	イネクビボソハムシ		●					●	●						●
1829	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ハギツツハムシ		●	●				●	●						●
1830	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ムネアカキバネサルハムシ					●									●
1831	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	マルキバネサルハムシ	●	●	●	●			●	●						●
1832	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	アトボシハムシ								●						●
1833	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヨツボシハムシ	●		●	●										●
1834	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	タマアシトビハムシ														●
1835	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	チャバネツヤハムシ	●	●	●	●			●	●						●
1836	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	チュウジョウキスジノミハムシ														●
1837	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ホソキスジノミハムシ														●
1838	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	キスジノミハムシ														●
1839	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヤナギルリハムシ	●	●	●	●			●	●	●					●
1840	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	クビボソトビハムシ			●											●
1841	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ルリナガネトビハムシ														●
1842	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ナトビハムシ														●
1843	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ダイコンナガネトビハムシ					●									●
1844	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ミノハギハムシ														●
1845	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	イタヤハムシ								●						●
1846	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ニレハムシ		●						●						●
1847	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	エノキハムシ			●											●
1848	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ムナギルリハムシ	●	●	●	●			●	●	●					●
1849	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	イクビマメゾウムシ		●						●						●
1850	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ツマキタマノミハムシ			●											●
1851	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	キヨクタマノミハムシ														●
1852	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ルリウスバハムシ			●				●							●
1853	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ガマズミトビハムシ														●
1854	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	トビサルハムシ														●
1855	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ワモンナガハムシ							●							●
1856	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒゲナガゾウムシ科	ウスモンツツヒゲナガゾウムシ														●
1857	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒゲナガゾウムシ科	クロホシメナガヒゲナガゾウムシ		●												●
1858	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒゲナガゾウムシ科	セマルヒゲナガゾウムシ														●
1859	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソクチゾウムシ科	クチナガホソクチゾウムシ														●
1860	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソクチゾウムシ科	セアカホソクチゾウムシ														●
1861	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソクチゾウムシ科	ギンギンホソクチゾウムシ														●
1862	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソクチゾウムシ科	マメホソクチゾウムシ				●										●
1863	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソクチゾウムシ科	ケバクホソクチゾウムシ								●						●
1864	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	ヒメクロオトシブミ														●
1865	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	クロケンツブチョッキリ	●													●
1866	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	ブドウハマキチョッキリ														●
1867	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	ナラリオトシブミ								●						●
1868	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	カシリオトシブミ				●										●
1869	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	オオケバカチョッキリ														●
1870	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	ヒメケバカチョッキリ					●		●	●						●
1871	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	クチナガチョッキリ		●												●
1872	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	カシリチョッキリ														●
1873	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	コブマルクチカクシゾウムシ														●
1874	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ヒゲブクチカクシゾウムシ			●	●			●	●						●
1875	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	イチゴハナゾウムシ		●	●	●			●	●						●
1876	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	コバハナゾウムシ														●
1877	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	カギアシゾウムシ														●
1878	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	エノヒメゾウムシ							●	●						●
1879	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	マダラヒメゾウムシ			●											●
1880	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	シロモンマメゾウムシ														●
1881	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	メナガクチフトゾウムシ	●	●	●				●	●						●
1882	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	カナメグラサルゾウムシ		●												●
1883	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ボウサンクチカクシゾウムシ														●
1884	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	オオアオゾウムシ														●
1885	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ワモントゲトゲゾウムシ	●													●
1886	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ヤナギシリジロゾウムシ		●					●	●						●
1887	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	アイノシギゾウムシ		●												●
1888	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	セダカシギゾウムシ		●					●	●						●
1889	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ヤノシギゾウムシ								●						●
-	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	Curculio属														●
1890	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	クリイロクチフトゾウムシ			●											●
1891	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	オオタコゾウムシ			●					●						●
1892	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ケナガイネゾウムシ	●	●	●				●	●						●
1893	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	モンイネゾウムシ	●	●	●				●	●						●
1894	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ヤナギイネゾウムシ	●	●	●				●	●						●
1895	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	アカイネゾウムシ			●					●						●
1896	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	Ellescus属														●
1897	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	コフキゾウムシ	●	●	●	●			●	●						●
1898	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	アシナガオニゾウムシ														●
1899	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ムシクサコバンゾウムシ														●
1900	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	タチゲサルゾウムシ		●	●					●						●

表 6.8-3(21) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近		
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30	
1901	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	クロトゲサルゾウムシ														
1902	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	チャバネキウイゾウムシ			●				●	●						
1903	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ケブカクチフトゾウムシ														
1904	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	コカシクチフトゾウムシ														
1905	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	フタキボシゾウムシ	●	●		●										
1906	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ハスジカツオゾウムシ		●	●								●	●	●	
1907	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ナガカツオゾウムシ		●	●			●		●						
1908	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	カツオゾウムシ		●												●
1909	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	トゲハチラセクモゾウムシ			●											●
1910	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ヒラセクモゾウムシ		●	●				●							
1911	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	クワヒメゾウムシ											●			
1912	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	チビヒョウタンゾウムシ														
1913	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	カンワクチフトゾウムシ		●									●			
1914	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ヤドリノミゾウムシ			●											●
1915	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	カンワノミゾウムシ			●											
1916	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	マダラノミゾウムシ														
1917	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	アカアシノミゾウムシ														●
1918	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	オゾロアシナガゾウムシ		●												●
1919	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	タカオマルクチカクシゾウムシ														●
1920	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	マルメクチフトサルゾウムシ														
1921	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ワシバナヒメキウイゾウムシ		●												
1922	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ケブカトゲアシヒゲボソゾウムシ		●												
1923	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	コヒゲボソゾウムシ														
1924	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	リンゴヒゲボソゾウムシ														
1925	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	クリアアナキゾウムシ														●
1926	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ハリゲスグリゾウムシ														
1927	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	スグリゾウムシ														
1928	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	チビスグリゾウムシ		●	●											
1929	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ケナガスグリゾウムシ														
1930	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ヒレルクチフトゾウムシ											●			
1931	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ウンモンナガクチカクシゾウムシ														
1932	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	クロクチフトサルゾウムシ		●												
1933	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	アカアシクチフトサルゾウムシ														
1934	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ギシギシクチフトサルゾウムシ														
1935	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	タデノクチフトサルゾウムシ							●							
1936	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	サビヒョウタンゾウムシ														
1937	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	クワヒョウタンゾウムシ	●	●	●											
1938	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ニセマツノシラホシゾウムシ		●	●	●										
1939	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ヒサゴクチカクシゾウムシ														
1940	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ケチビコキゾウムシ			●											
1941	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	チビコキゾウムシ		●												
1942	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	マダラケンツブゾウムシ														
1943	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ワシバナヒョウタンゾウムシ	●	●	●				●	●						
1944	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ヤナギノミゾウムシ														
1945	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	クロノミゾウムシ	●													
1946	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	フトゲチビツチゾウムシ														
1947	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	クロツヤサルゾウムシ		●	●											
-	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ゾウムシ科	●													
1948	コウチュウ目(鞘翅目)	オオゾウムシ科	トホシオオゾウムシ		●												
1949	コウチュウ目(鞘翅目)	イネゾウムシ科	イネゾウムシ			●											
1950	コウチュウ目(鞘翅目)	イネゾウムシ科	イネミズゾウムシ			●											
1951	コウチュウ目(鞘翅目)	イネゾウムシ科	オオミズゾウムシ	●		●											
1952	コウチュウ目(鞘翅目)	チビゾウムシ科	ホソチビゾウムシ														
1953	コウチュウ目(鞘翅目)	キクイムシ科	トサキクイムシ														
1954	コウチュウ目(鞘翅目)	キクイムシ科	ルイスザイノキクイムシ														
1955	ハチ目(膜翅目)	ミフシノハバチ科	アカスジチュウレンジ														
1956	ハチ目(膜翅目)	ミフシノハバチ科	ニホンチュウレンジ	●	●	●	●										
1957	ハチ目(膜翅目)	ミフシノハバチ科	ルリチュウレンジ														
1958	ハチ目(膜翅目)	コンボウハバチ科	ホシアシトハバチ														
1959	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	ハグロハバチ														
1960	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	セグロカブラハバチ		●	●											
1961	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	ニホンカブラハバチ	●	●												
1962	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	カブラハバチ														
1963	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	オオムネアカハバチ		●												
1964	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	オスグロハバチ	●													
1965	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	カダアカスギナハバチ		●												
1966	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	クロハバチ	●		●											
1967	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	チャイロハバチ	●													
1968	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	コシキモンハバチ	●	●	●											
1969	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	クロイロシマハバチ	●	●												
-	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	Pachyprotasis属														
1970	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	セマダラハバチ	●													
1971	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	ゼンマイハバチ	●													
1972	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	ルリバラハバチ	●													
1973	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	キコシホソハバチ			●											
1974	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	クロムネアカハバチ														
1975	ハチ目(膜翅目)	クビナガキバチ科	アカズクビナガキバチ														
1976	ハチ目(膜翅目)	アシトコバチ科	チビアシトコバチ														
1977	ハチ目(膜翅目)	アシトコバチ科	キアシトコバチ		●	●											
1978	ハチ目(膜翅目)	アシトコバチ科	ハエヤドリアシトコバチ			●											
1979	ハチ目(膜翅目)	アシトコバチ科	オニアシトコバチ														
1980	ハチ目(膜翅目)	アシトコバチ科	ハネマダラアシトコバチ														
1981	ハチ目(膜翅目)	アリガタバチ科	ハゴロモアリガタバチ		●	●											
1982	ハチ目(膜翅目)	アリガタバチ科	ハマキアリガタバチ														
1983	ハチ目(膜翅目)	アリガタバチ科	ムカシアリガタバチ														
1984	ハチ目(膜翅目)	セイボウ科	ムツバセイボウ														
1985	ハチ目(膜翅目)	セイボウ科	ツمامラサキセイボウ														
1986	ハチ目(膜翅目)	セイボウ科	ミドリセイボウ		●												
1987	ハチ目(膜翅目)	セイボウ科	ホシツヤセイボウ		●	●											
1988	ハチ目(膜翅目)	セイボウ科	オオセイボウ		●												
1989	ハチ目(膜翅目)	セイボウ科	ミツバセイボウ		●												
1990	ハチ目(膜翅目)	カマバチ科	トビロカマバチ														
1991	ハチ目(膜翅目)	アリ科	アンナガアリ														
1992	ハチ目(膜翅目)	アリ科	オオハリアリ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1993	ハチ目(膜翅目)	アリ科	クロオオアリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1994	ハチ目(膜翅目)	アリ科	ナワヨツボシオオアリ														
1995	ハチ目(膜翅目)	アリ科	ヒラズオオアリ														
1996	ハチ目(膜翅目)	アリ科	ウメツツオオアリ														
1997	ハチ目(膜翅目)	アリ科	ヤマヨツボシオオアリ														
1998	ハチ目(膜翅目)	アリ科	ケブカクロオオアリ		●	●											
1999	ハチ目(膜翅目)	アリ科	ハリフトシリアゲアリ		●	●											

表 6.8-3(23) 陸上昆虫類等確認種リスト

No.	目名	科名	種名	福井大橋周辺					五松橋周辺				九頭竜川橋～ 鳴鹿橋上流		鳴鹿橋付近	
				H4	H9	H14	H20	H30	H9	H14	H20	H30	H2・H3	H16	H20	H30
2101	ハチ目(膜翅目)	アリマキバチ科	オオグシアリマキバチ		●	●										
2102	ハチ目(膜翅目)	アリマキバチ科	キアシマエダテバチ		●		●				●					
2103	ハチ目(膜翅目)	フシダカバチ科	ヒメツチスガリ												●	
2104	ハチ目(膜翅目)	フシダカバチ科	マルモンツチスガリ		●	●				●	●	●			●	●
2105	ハチ目(膜翅目)	アナバチ科	サトジガバチ	●	●	●	●			●	●	●		●	●	●
2106	ハチ目(膜翅目)	アナバチ科	ヤマトルジガバチ		●					●	●				●	
2107	ハチ目(膜翅目)	アナバチ科	クロアナバチ	●						●	●				●	
2108	ハチ目(膜翅目)	アナバチ科	アメリカジガバチ			●				●	●				●	
2109	ハチ目(膜翅目)	アナバチ科	クロアナバチ本土亜種	●	●	●	●			●	●	●			●	
2110	ハチ目(膜翅目)	アナバチ科	フカイアナバチ	●												
2111	ハチ目(膜翅目)	ヒメハナバチ科	アブラナヒメハナバチ				●									
2112	ハチ目(膜翅目)	ヒメハナバチ科	ウスキヒメハナバチ							●	●					
2113	ハチ目(膜翅目)	ヒメハナバチ科	キバナヒメハナバチ		●	●	●			●	●					●
2114	ハチ目(膜翅目)	ヒメハナバチ科	ミカドヒメハナバチ	●												
2115	ハチ目(膜翅目)	ヒメハナバチ科	ツヤマヒメハナバチ							●						●
2116	ハチ目(膜翅目)	ヒメハナバチ科	コガタウツギヒメハナバチ									●				
2117	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	ニホンミツバチ	●	●	●	●			●	●	●		●	●	●
2118	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	セイウミツバチ			●				●	●	●		●	●	●
2119	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	コマルハナバチ本土亜種							●	●					
2120	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	オオマルハナバチ本土亜種							●	●					●
2121	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	クロマルハナバチ							●	●					●
2122	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	キオビツヤハナバチ	●		●	●			●	●					
2123	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	イワタビツヤハナバチ		●	●				●	●					
2124	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	ヤマトツヤハナバチ	●	●	●				●	●					●
2125	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	ニッポンヒゲナガハナバチ	●												
2126	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	シロスジヒゲナガハナバチ	●			●	●		●	●	●				●
2127	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	ヤマトキマダラハナバチ	●												
2128	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	ダイミヨウキマダラハナバチ							●						
2129	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	ミツクヒゲナガハナバチ		●	●				●	●					
2130	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	キムネクマバチ	●	●	●	●	●		●	●			●	●	
2131	ハチ目(膜翅目)	ムカシハナバチ科	アシトムカシハナバチ			●										
2132	ハチ目(膜翅目)	ムカシハナバチ科	コムカシハナバチ							●	●					
2133	ハチ目(膜翅目)	ムカシハナバチ科	スミスメンハナバチ			●										
2134	ハチ目(膜翅目)	ムカシハナバチ科	ホソメンハナバチ			●										
2135	ハチ目(膜翅目)	ムカシハナバチ科	マツムラムハナバチ			●	●			●	●					●
2136	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	アカガネコハナバチ	●	●	●	●	●		●	●	●		●	●	
2137	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	アトジマコハナバチ			●				●	●	●				
2138	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	ズマルコハナバチ		●	●				●	●					
2139	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	ニセキオビコハナバチ			●				●	●					
2140	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	ニッポンチビコハナバチ			●										
2141	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	ハラナガツヤコハナバチ			●				●						
2142	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	ニッポンコハナバチ	●												
2143	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	ニッポンカタコハナバチ					●								
2144	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	シロスジカタコハナバチ		●					●						
2145	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	オオエチビコハナバチ		●	●										
2146	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	オバケチビコハナバチ		●	●				●						
2147	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	ズマルツヤコハナバチ			●										
2148	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	フタモンカタコハナバチ			●	●			●	●					●
2149	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	ヒラタチビコハナバチ		●	●				●	●					●
-	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	Lasioglossum属					●								
2150	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	アオスジハナバチ							●	●					
2151	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	オクエツヤドリコハナバチ			●										●
2152	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	ミスホヤドリコハナバチ							●						
-	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	コハナバチ科													
2153	ハチ目(膜翅目)	ハキリバチ科	ヤトガリハナバチ							●					●	
2154	ハチ目(膜翅目)	ハキリバチ科	スミスハキリバチ												●	
2155	ハチ目(膜翅目)	ハキリバチ科	ヤマトハキリバチ												●	
2156	ハチ目(膜翅目)	ハキリバチ科	キヌゲハキリバチ							●	●				●	
2157	ハチ目(膜翅目)	ハキリバチ科	バラハキリバチ本土亜種		●	●	●			●	●	●		●	●	
2158	ハチ目(膜翅目)	ハキリバチ科	オオハキリバチ		●					●	●			●	●	
2159	ハチ目(膜翅目)	ハキリバチ科	ヒメハキリバチ		●	●				●	●					
2160	ハチ目(膜翅目)	ハキリバチ科	ツルガハキリバチ		●	●										
2161	ハチ目(膜翅目)	ハキリバチ科	キバラハキリバチ											●		
19目258科2161種				519種	767種	742種	445種	358種	675種	771種	445種	326種	332種	1124種	346種	334種

種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和4年度版)」に準拠した。
過年度確認された種も、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和4年度版)」の対象外となった種についてはリストから除外している。

平成3年度鳴鹿大堰環境調査業務報告書は九頭竜川中流域環境調査業務報告書(平成2年度)に春季の調査を加えて補完しているため、まとめて取り扱った(H2・3と表記)。

調査範囲

H2・3：距離標 25.5km 付近～31km 付近

H4：距離標 22.3～23.5km

H9、H14：距離標 22.5～23.5km、26.5～27.5km

H20：距離標 22.5～23.5km、26.5～27.5km、30.0～31.0km

H30：距離標 22.5～23.5km、26.5～27.5km、30.0～30.5km

H2・3：「九頭竜川中流域環境調査業務報告書」アジア航測(株)

「平成3年度鳴鹿大堰環境調査業務報告書」(財)ダム水源環境整備センター

H4：「平成4年度九頭竜川水系陸上昆虫類等調査報告書」

H9：「平成9年度九頭竜川水系陸上昆虫類等調査報告書(河川水辺の国勢調査)」

H14：「平成14年度河川水辺生物調査業務(九頭竜川水系陸上昆虫類等調査)報告書」(株)北陸環境科学研究所

H16：「平成16年度九頭竜川鳴鹿大堰環境調査業務報告書」(株)ウエスコ

H20：「平成20年度九頭竜水系河川水辺国勢調査業務(陸上昆虫類等調査)報告書」(株)北陸環境科学研究所

H30：「平成30年度福井管内河川水辺の国勢調査他業務報告書」(株)建設環境研究所